

津市立明合小学校長寿命化 改修工事

特 記 事 項		株式 会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
									検図		縮 尺 A2: NS A2: NS 図面番号 A000 原図: A2

図 面 目 録									
図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容
A001	特記仕様書（新営）№1	A039	改修前 改修後 E V断面詳細図№.1	A077	改修後 2階展開図№.7（廊下）	S001	構造特記仕様書№.1	M001	機械設備工事 特記仕様書（1）
A002	特記仕様書（新営）№2	A040	改修後 E V断面詳細図№.2	A078	改修後 2階展開図№.8（廊下）	S002	構造特記仕様書№.2	M002	機械設備工事 特記仕様書（2）
A003	特記仕様書（新営）№3	A041	改修前 1階平面詳細図№.1	A079	改修前 3階展開図（廊下）	S003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.1	M003	機器表
A004	特記仕様書（新営）№4	A042	改修後 1階平面詳細図№.1	A080	改修後 3階展開図（廊下）	S004	鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.2	M004	改修前 改修後 給排水設備 1階平面図
A005	特記仕様書（新営）№5	A043	改修前 1階平面詳細図№.2	A081	改修前 階段室展開図	S005	鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.3	M005	改修前 改修後 給排水設備 2階平面図
A006	特記仕様書（新営）№6	A044	改修後 1階平面詳細図№.2	A082	改修後 階段室展開図	S006	鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.4	M006	改修前 改修後 給排水設備 3階平面図、屋根伏図
A007	特記仕様書（新営）№7	A045	改修前 1階平面詳細図№.3	A083	改修前 改修後 1階天井伏図	S007	溶接基準図	M007	改修後 給排水設備 1・2階平面詳細図
A008	特記仕様書（新営）№8	A046	改修後 1階平面詳細図№.3	A084	改修前 改修後 2階天井伏図	S008	鉄骨基準図	M008	改修前 改修後 給排水設備 E V平面詳細図
A009	特記仕様書（改修）№1	A047	改修前 2階平面詳細図№.1	A085	改修前 改修後 3階天井伏図	S009	露出柱脚工法設計施工標準図	M009	改修前 改修後 給排水設備 渡り廊下 平面図
A010	特記仕様書（改修）№2	A048	改修後 2階平面詳細図№.1	A086	改修前 改修後 1階建具符号図	S010	合成スラブ設計・施工標準図		
A011	特記仕様書（改修）№3	A049	改修前 2階平面詳細図№.2	A087	改修前 改修後 2階建具符号図	S011	改修前 改修後 土質柱状図、基礎伏図、基礎梁・1階床伏図	E V001	エレベーター詳細図№.1（参考）
A012	特記仕様書（改修）№4	A050	改修後 2階平面詳細図№.2	A088	改修前 改修後 3階建具符号図	S012	改修前 改修後 基礎詳細図、スラブリスト、基礎梁リスト	E V002	エレベーター詳細図№.2（参考）
A013	特記仕様書（改修）№5	A051	改修前 2階平面詳細図№.3	A089	改修前 改修後 1階・2階・3階建具符号図	S013	改修前 改修後 梁伏図、部材リスト	E V003	エレベーター詳細図№.3（参考）
A014	特記仕様書（改修）№6	A052	改修後 2階平面詳細図№.3	A090	建具表＜撤去＞、建具表＜カバー工法改修＞	S014	改修後 軸組図	E V004	エレベーター詳細図№.4（参考）
A015	特記仕様書（改修）№7	A053	改修前 3階平面詳細図№.1	A091	建具表＜新設＞、建具表＜遮煙性能改修＞、建具表＜危害防止装置改修＞	S015	改修後 鉄骨詳細図	E V005	エレベーター詳細図№.5（参考）
A016	配置図、付近見取図	A054	改修後 3階平面詳細図№.1	A092	建具表＜既設＞、 建具表＜フィルム張＞№.1	S016	改修前 改修後 渡り廊下 構造図	E V006	エレベーター詳細図№.6（参考）
A017	外部・内部仕上表（増築部）	A055	改修前 1階展開図№.1（普通教室（一年））	A093	建具表＜フィルム張＞№.2			E V007	エレベーター詳細図№.7（参考）
A018	改修前 改修後 外部・内部仕上表№.1（既設部）	A056	改修後 1階展開図№.1（普通教室（一年））	A094	建具表＜フィルム張＞№.3	E01	電気設備工事 特記仕様書（1）		
A019	改修前 改修後 内部仕上表№.2（既設部）	A057	改修前 1階展開図№.2（図工室）	A095	各部詳細図№.1	E02	電気設備工事 特記仕様書（2）		
A020	改修前 改修後 内部仕上表№.3（既設部）	A058	改修後 1階展開図№.2（図工室）	A096	各部詳細図№.2	E03	電気設備工事 特記仕様書（3）		
A021	敷地求積図・求積表、建物求積図・求積表	A059	改修前 1階展開図№.3（廊下）	A097	防水平面図	E04	電気設備工事 配置図・付近見取図		
A022	改修後 法規チェック№.1	A060	改修前 1階展開図№.4（廊下）	A098	改修前 改修後 防水詳細図№.1	E05	受変電設備単線結線図		
A023	改修後 法規チェック№.2	A061	改修後 1階展開図№.3（廊下）	A099	改修前 改修後 防水詳細図№.2	E06	照明器具・トイレ呼出器具 姿図		
A024	改修後 法規チェック№.3	A062	改修後 1階展開図№.4（廊下）	A100	改修前 改修後 防水詳細図№.3	E07	改修前 改修後 電灯設備 1階平面図		
A025	改修後 法規チェック№.4	A063	改修前 2階展開図№.1（パソコン教室）	A101	改修前 改修後 防水詳細図№.4	E08	改修前 改修後 電灯設備 2階平面図		
A026	改修前 改修後 1階平面図	A064	改修後 2階展開図№.1（パソコン教室・準備室）	A102	改修前 改修後 外構平面図	E09	改修前 改修後 コンセント設備 1階平面図		
A027	改修前 改修後 2階平面図	A065	改修前 2階展開図№.2（準備室）	A103	改修前 改修後 渡り廊下 平面図	E10	改修前 改修後 コンセント設備 2階平面図		
A028	改修前 改修後 3階平面図、屋根伏図	A066	改修後 2階展開図№.2（多目的WC、廊下）	A104	改修前 改修後 渡り廊下 屋根伏図	E11	改修前 改修後 動力設備 1階平面図		
A029	改修前 南面立面図、東面立面図	A067	改修前 2階展開図№.3（普通教室（四年））	A105	改修前 改修後 渡り廊下 立面図	E12	改修前 改修後 動力設備 2階平面図		
A030	改修後 南面立面図、東面立面図	A068	改修後 2階展開図№.3（普通教室（四年））	A106	仮設計画図（参考）	E13	改修前 改修後 弱電設備 1階平面図		
A031	改修前 北面立面図、西面立面図	A069	改修前 2階展開図№.4（たんぽぽ教室）	A107	内部仮設計画図（参考図）	E14	改修前 改修後 弱電設備 2階平面図		
A032	改修後 北面立面図、西面立面図	A070	改修後 2階展開図№.4（たんぽぽ教室）			E15	自動火災報知設備 系統図		
A033	改修前 改修後 断面図	A071	改修前 2階展開図№.5（普通教室（三年））			E16	防火戸自動閉鎖装置 系統図		
A034	改修前 矩計図	A072	改修後 2階展開図№.5（普通教室（三年））			E17	改修前 改修後 自動火災報知設備 1階平面図		
A035	改修後 矩計図	A073	改修前 2階展開図№.6（普通教室（二年））			E18	改修前 改修後 自動火災報知設備 2階平面図		
A036	改修前 階段詳細図	A074	改修後 2階展開図№.6（普通教室（二年））			E19	改修前 改修後 渡り廊下図		
A037	改修後 階段詳細図	A075	改修前 2階展開図№.7（廊下）						
A038	改修前 改修後 E V平面詳細図	A076	改修前 2階展開図№.8（廊下）						

特 記 事 項		MANNO 株 式 会 社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日	
			一級建築士	一級建築士	一級建築士					津市立明合小学校校長寿命化改修工事		
			第360917号	第378328号	第320204号				検図	図面名称	縮 尺 A2: NS A2: NS	図面番号
			前田 祐作	加藤 早紀	前野 将輝							

工事特記仕様書

I. 工事名

津市立明合小学校長寿命化改修工事

II. 工事概要

1. 工事場所	津市安濃町粟加地内
2. 敷地面積	3,692.49 m ²
3. 工事内容	
棟名称	昇降機棟・教室・特別教室・管理棟
構 造	(昇降機棟) S造2階建 (教室・特別教室・管理棟) RC造一部S造 3階建
建築面積	(昇降機棟) 22.22m ² (教室・特別教室・管理棟) 667.06m ²
延べ面積	(昇降機棟) 44.44m ² (教室・特別教室・管理棟) 1,274.91m ²
工事項目	(昇降機棟) 新築工事 (教室・特別教室・管理棟) 改修工事

Ⅲ. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」令和4年版）（以下「標準仕様書」）及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事偏」令和4年版）による。

2. 特記仕様

- 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
- 3) 項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章	項	目	特 記 事 項
1 一 般 共 通 事 項	①適用基準等	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 1) 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版） 2) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版） 3) 津市公共建築物等木材利用方針	
	②施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。 ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。 ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。 ※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。 ※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。 ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。 ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。 ※ 工事車両及び工事関係車両は、周道路路に駐車しないこと。 ※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。 ※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。 ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。 ※ 高所等の施工箇所にて完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けること。 また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。 ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行う。市監督員の承認を得てから行うこと。 ※ 工事作業については、学校運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。 ※ 撤去工事等の騒音及び振動が生じる作業は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。	

- ※ 外部足場の設置及び解体は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。
- ※ 作業後の校舎等の施錠については学校側と十分協議を行うこと。
- ※ 原則として、撤去工事等の現場への本格着手は7月20日からとする。但し、学校及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りではない。
- ※ 外壁補修（浮き部、ひび割れ補修等）は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うものとする。
- ※ 9月以降に外壁吹付け工事を施工する場合は、感染症対策として、各面を一定スパン毎に分割して工区分けし、各教室にて少なくとも1方向の換気ができるようにすること。南側及び北側の窓を同時に封鎖する状況で施工することが無いように配慮すること。
- ※ 外壁鉄部塗替えにおいて、下地調整ケレン時に集じん機付きディスクグラインダーの使用又は湿潤化し飛散養生するなど粉塵の飛散防止に努めること。
- ※ 工事用水、電力については校内既存の施設を無償で利用できる。但し、学校行事に影響しないよう事前に打合せのうえ利用すること。
- ※ 防火シャッター等の特定防火設備の改修は休校日に作業を行うこと（お盆 8/13-8/16、年末年始 12/29-1/3）

- ※ 下記に示す諸室の改修工事について、2学期または3学期以降の
学校運用に支障が無いよう、市検査課の中間検査（書類を含む）
を受け、引渡すこと。なお、下記に中間検査対象箇所及び引渡し
計画時期を示す。但し、学校との協議により運営に支障がない範囲
であれば、施工範囲を変更できるものとする。
- （8月中引渡）
- ・ 内部改修部
（普通教室、図工室、たんぽぽ教室、職員用便所、1F多目的便所
廊下、玄関、出入口、昇降口、通用口）
 - （9月中引渡）
 - ・ 内部改修部
（パソコン教室・準備室、2F多目的WC、廊下）

※ 各諸室について、作り付け家具のほか、机等の備品があるため、作業に際し移
及び養生を適宜行うこと。(詳細図面参照)
なお、下記に各諸室の主要な備品を明記する。

- ・普通教室、図工室、たんぽぽ教室、パソコン室：机、椅子及び教卓、木棚、
スチール棚、タブレット保管庫
- ・玄関、出入口、昇降口、通風口：傘立て、掲示板、下足入、掃除具入
- ・廊下：掲示板、黒板、タブレット保管庫

- ・本工事は、その施工に特定建設資材に使用する新築工事等であつて、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
- 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議することとする。

・ 分別解体等の方法		
工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	○有・無	・ 手作業 ○手作業、機械作業の併用
屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○有・無	○手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用

- ・ 引渡を要するもの () 無 ()
 - ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有 () 処理方法 ()
 - ・ 石綿含有成形板等解体時の留意点
1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
 2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。
 3. 飛散されない様にすること。

4. 保護具及び作業着を着用すること。
5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。
6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。

- ・再資源化を図るもの
 - ・コンクリート塊
 - ・アスファルトコンクリート塊
 - ・建設発生木材
 - ・（ ）

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。

引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

- ④建設副産物
情報交換
システムの
利用
- 受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促

また、工事完了後は「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。

なお、各計画書及び実施書の作成等は、JARCが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

- ⑤ 三重県産業廃棄物税
本工事は産業廃棄物税相当が計上されていないため、受注者が課税対象とならない場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別定する様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

- 配置する

- (1.3.3)

- ⑦技能士
(1.5.2)

- ⑧建等

- F☆☆☆☆以上とする。

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所（・図示（図面番号： ） ・（ ））

測定方法 (・ パッシブ法 ・ アクティブ法)
測定時期 ・ ()

報告書提出部数 2部

- | | |
|----------------|--|
| ⑩ 特別な材料
の工法 | 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の
指定工法による。 |
|----------------|--|

- | | |
|-----------|---|
| ⑪騒音・振動の防止 | 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。 |
|-----------|---|

- ⑫ 工事写真
(1.2.4)
- 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
監修（最新版））に従い撮影する。
- 提出部数 1 部 用紙は上質紙とする。
- なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デ
ジタル工事写真の小黑板情報電子化について（令和5年3月1日付
国営建技第14号）」による。

- | | |
|-------------------|--|
| ⑬ 完成図等
(1.7.1) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成する ・ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ () |
| (1.7.2) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成図作図範囲 (設計図を訂正) |
| (1.7.3) | <p>完成図はCADにより作成することとし、著作権 (著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む) は発注者に移譲するも</p> |

- ⑭ 完成写真
- デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。
(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
- 面数としては外観4面程度と室内各2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。
- 写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

- ⑮ 設備工事
との取合い

施工範囲

 - 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
 - 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
 - 駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ

施工図

 - 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

- ⑩ 設計GL ① 図示（図面番号： A029 ）

- ⑰ 養生その他 工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上り共に、既存にならない補修すること。

- ⑮ 事故の発生時 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期までに監督員に提出すること。
- また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

- ⑬ 消防法関係の手続き
- 1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
○本工事 ・ 建築工事 ○電気設備工事 ・ 機械設備工事
・ 別途工事
- 2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

- 20 労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、
法に基づく労働災害防止措置
その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工
事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請
負契約を締結することにより得られたものとみなす。

- 21) 不正軽油
の使用の禁止
- 1) 一般事項
工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両含む。）資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等の規定に違反する燃料をいう。））を使用してはならない。
- 2) 調査の協力

- 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。

- 3) 是正措置
- 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

- ②屋外広告物 屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に定める屋外広告業の登録事業者であること。

特 記 事 項						 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
											検図		図面名称 特記仕様書（新営）No. 1 縮 尺 A2: NS A2: NS	図面番号 A001 原図: A2	

仮設工事

2

③仮設便所

④工事用水

⑤工事用電力

⑥足場

⑦交通誘導警備員

1. 監督員事務所
(2.3.1)

2. 監督員事務所
の設備・備品
(2.3.1)

・設置する。
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入 電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	個	個	台	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁・天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

構内既存の施設

・利用できる

・利用できない

構内既存の施設

・利用できる（ ・ 有償

・無償）

・利用できない

構内既存の施設

・利用できる（ ・ 有償

・無償）

・利用できない

本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に
起因する電力料金は本工事に含まれる。

内部足場の種別（参考）

・脚立

・棚足場

・（シャフト内足場）

外部足場の種別（参考）

・手摺先行据置枠組本足場

・その他（ ）

防護シート等による養生

・適用する

・適用しない

設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン
（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場
に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する
足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法に
よる足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)
手すり先行専用足場方式により行うこと。
・足場（つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立
から解体までの期間が60日以上のものに限る）の組立て後、市監
督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し
十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な
知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。
1）足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条
の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者
2）労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント
（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた
者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の
届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者
3）全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講
習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足
場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の
習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安
全点検について、上記1）又は2）に掲げる者と同等の知識
・経験を有する者

配置

・図示(図面番号： A113)

①埋戻し及び盛土
(3.2.3)
(表3.2.1)

②建設発生土
の処理
(3.2.5)

3.山留めの撤去
(3.3.3)

種別

・A種

・B種

・C種

・D種

・処分地指定

処分地（ ）

・処分地未定につき相互協議する。

暫定運搬距離 ・8km

・4km

・（ ）km

鋼矢板等の抜き跡の処理

・砂充填

・（ ）

山留め壁等

・撤去

・存置

4

地業工事

1.杭の施工管理

2.適用基準

3.施工記録

4.根拠資料

5.試験杭及び
試験掘(4.2.2)

6.支持層

7.水平方向の
位置ずれ
(4.3.4)
(4.5.5)

8.杭の載荷試験
(4.2.3)

⑨地盤の載荷
試験(4.2.4)

10.既製コンクリート
杭(4.3.1)
(表4.3.1)
(4.3.3)
(4.3.4)
(4.3.5)
(4.3.6)
(4.3.8)

杭工事特記仕様書による。

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するため
に講ずべき措置」（平成28年3月4日）

受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭
の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付し
たうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート
紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代
替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記してお
くこと。

特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の
根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリン
トアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければ
ならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項（第38条にお
いてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受け
た日から10年とする。
また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または
提示しなければならない。

・試験杭

位置、本数及び寸法

図示（図面番号： ）

・試験掘

位置、本数及び寸法

図示（図面番号： ）

支持層の位置、土質

・図示（図面番号： ）

・（ ）

（ ）mm以下

試験方法

・鉛直載荷

・水平載荷

・（ ）

試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置、本数

・図示（図面番号： ）

載荷荷重（ kN）

報告書

・提出部数 2部

試験方法

・平板載荷

・（ ）

試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置

・図示（図面番号： S001, S011）

載荷荷重（ 300kN/㎡ ）

報告書

・提出部数 2部

・PHC杭

・A種

・B種

・C種

・SC杭

・PRC杭

上記以外の建築基準法に基づく杭
(参考表)

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セツト数	長期設計 支持力(kN/本)	備考

先端形状

・開放型

・閉そく型

施工方法

・セメントミルク工法

・オーガーの支持層への掘削深さ

・（ ）m

・図示（図面番号： ）

・杭の支持層への根入れ深さ

・（ ）m

・図示（図面番号： ）

・根固め液及び杭周固定液の管理試験

・標準仕様書[4.3.4(6)(ロ)]

・（ ）

・特定埋込杭工法

・杭の根入れ深さ

・（ ）m

・図示（図面番号： ）

継手

・アーク溶接

・無溶接継手（工法： ）

杭頭の処理

・行う

・行わない

11.鋼杭地業
(4.4.3)
(4.4.4)
(4.4.5)
(4.4.6)
(4.3.5)
(4.3.8)

12.場所打ち
コンクリート
杭地業
(4.5.1)
(4.5.4)
(4.5.5)
(4.5.6)

(表4.5.1)

13.地盤改良

⑭砂及び砂利
地業(4.6.2)
(4.6.3)

⑮捨コンクリート
地業(4.6.4)

⑯床下防湿層
(4.6.2)
(4.6.5)

・鋼管杭

・SKK400

・SKK490

・H形鋼杭

・SHK400

・SHK490M

径

・φ300

・φ350

・φ400

・φ450

・φ（ ）

長さ（ ）m

継手の工法

・現場溶接

・機械式継手

溶接材料

・標準仕様書[7.2.5](1)(2)以外（ ）

施工方法

・特定埋込杭工法

・杭の根入れ深さ

・（ ）m

・図示（図面番号： ）

杭頭処理の方法

・ガス切断

・（ ）

施工方法

・アースドリル工法

・リバース工法

・オールケーシング工法

・鋼管コンクリート杭工法

拡底

・行わない

・行う（ ）

杭の根入れ深さ

・（ ）m

・図示（図面番号： ）

孔壁の超音波測定

・行う

・行わない

帯筋の加工及び組立

・図示（図面番号： ）

鉄筋の最小かぶり厚さ（ ）mm

鉄筋かごの補強

・図示（図面番号： ）

継手

・重ね継手

・（ ）

コンクリートの種別

・A種

・B種

設計基準強度（ ）N/mm²

セメントの種類

・高炉セメントB種

・（ ）

スランプ（cm）

・18

・（ ）

構造体強度補正値（S）

・3N/mm²

・（ ）

・（ ）工法

・六価クロム溶出試験

・室内配合試験

・一軸圧縮試験

砂利

・再生クラッシュヤラン

・切込砂利

・切込碎石

・（ ）

砂

・シルト

・山砂

・川砂

・砕砂

・（ ）

施工範囲

・図示（図面番号： S001, S011）

厚さ(mm)

・60

・（ 100 ）</

6

コンクリート工事

①コンクリートの使用骨材による種類及び強度

(6.2.1)

(6.2.2)

(6.2.4)

(6.10.1)

(6.10.2)

(6.10.3)

(6.11.1)

(6.11.3)

(表6.2.2)

(表6.10.1)

②コンクリートの種類

(6.2.1)

(表6.2.1)

③コンクリートの仕上り

(6.2.5)

(表6.2.4)

(表6.2.5)

④セメント

(6.3.1)

(表6.3.1)

⑤骨材

(6.3.1)

⑥コンクリートの材料

(6.3.1)

(6.3.1)

(表6.3.2)

⑦打継ぎ

(6.6.4)

8.養生

(6.7.2)

⑨型枠

(6.6.4)

(6.8.1)

(6.8.2)

(表6.8.1)

(6.8.4)

⑩寒中コンクリート

(6.11.1)

⑪暑中コンクリート

(6.12.2)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランブ
○24(N/mm ²)	基礎		・15(cm)
○24(N/mm ²)	デッキ上		・18(cm)
・			

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランブ
・(N/mm ²)			・t/m ³	・(cm)
・				
・				

・常時土又は水に直接接する部分 図示(図面番号:)

②コンクリートの種類

○Ⅰ類

・Ⅱ類

・大臣認定品 図示(図面番号:)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類

・A種

○B種

・C種

仕上りの平たんさ

○a種

・b種

・c種

種類

○普通ボルトランドセメント、混合セメントA種

・()

高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種

・適用箇所 図示(図面番号:)

アルカリシリカ反応性による区分

○A

・B

・特殊な骨材の使用

・フェロニッケルスラグ細骨材

・銅スラグ細骨材

・電気炉酸化スラグ骨材

・再生骨材H

混和材料

・図示(図面番号:)

混和剤の種類、使用方法、使用量

○標準仕様書 [6.3.1] (4)(a)、標準仕様書 [6.3.2] (4)(f)

・()

混和材の種類、使用方法、使用量

○標準仕様書 [6.3.1] (4)(b)、標準仕様書 [6.3.2] (4)(f)

・()

構造体強度補正值 (S) ○標準仕様書[表6.3.2] ・()

位置

○標準仕様書 [6.6.4] (1) ・図示(図面番号:)

・普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 () 日以上

材料

○複合合板 (厚さ(mm) ○12 ・())

打増し厚さ

○図示(図面番号: S002)

誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法

○図示(図面番号: A028, A030)

・断熱材の兼用

・MCR工法用シート

スリーブの材種、規格等

・鋼管

○硬質ポリ塩化ビニル管

・溶融亜鉛めっき鋼板

・つば付き鋼管

・図示(図面番号:)

型枠存置期間及び取外し

・普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 () 日

適用期間(S02による)

○構造体強度補正值(S)は積算温度を基に定める

構造体強度補正值(S)

○6 N/mm² ・()

12.マスコリート

(6.13.1)

(6.13.2)

(表6.13.1)

⑬無筋コンクリート

(6.14.1)

14.流動化コンクリート

(6.15.1)

①施工管理技術者

(7.1.4)

②製作工場

(7.1.3)

③鋼材

(7.2.1)

(表7.2.1)

④高力ボルト

(7.2.2)

(7.3.2)

(7.4.2)

(7.4.7)

⑤普通ボルト

(7.2.3)

(表7.2.3)

(7.3.2)

6.溶融亜鉛めっき高力ボルト

(7.3.2)

(7.4.2)

(7.12.5)

⑦アンカーボルト

(7.2.4)

(7.3.2)

(7.10.3)

(表7.10.1)

(表7.2.3)

適用箇所

・図示(図面番号:)

・図示(図面番号:)

・普通ボルトランドセメント

・普通ボルトランドセメント

・低熱ボルトランドセメント

・高炉セメントB種

・フライアッシュセメントB種

・シリカセメント

スランブ

・15cm

・()

混和剤の種類

・標準仕様書[6.13.2] (2)(7) ・()

混和材の種類

・標準仕様書[6.13.2] (2)(4) ・()

構造体強度補正值 (S) ・標準仕様書[表16.3.1] ・()

コンクリートの種類

・普通コンクリート ・()

適用箇所

標準仕様書[6.14.1]

・(7) ・(4) ○(4) ・(Ⅰ) ・(Ⅱ) ・(Ⅲ)

・上記以外の適用箇所 ()

設計基準強度

○18(N/mm²) ・() (N/mm²)

スランブ

○15cm

・18cm

適用箇所

・図示(図面番号:)

○配置する

(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

○J ・R ・M ・H ・S

種類、形状及び寸法

○図示(図面番号: S002, S007, S008, S013, S015)

種類

○トルシア形高力ボルト(S10T)

・JIS形高力ボルト2種(F10T)

・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)

・()

高力ボルトのねじの呼び

○図示(図面番号: S002, S008, S013)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

○図示(図面番号: S002, S008, S013)

すべり試験の試験方法

・()

JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合

・回転量 () 。

5.普通ボルト

(7.2.3)

(表7.2.3)

(7.3.2)

6.溶融亜鉛めっき高力ボルト

(7.3.2)

(7.4.2)

(7.12.5)

⑦アンカーボルト

(7.2.4)

(7.3.2)

(7.10.3)

(表7.10.1)

(表7.2.3)

種類

・ABR400B

○図示(図面番号: S002)

構造用

・SS400

・()

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み

・A種

・B種

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度

・標準仕様書[表7.2.3]

・図示(図面番号:)

構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法

○図示(図面番号: S009)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

○図示(図面番号: S009)

⑧溶接材料

(7.2.5)

9.ターンバックル

(7.2.6)

⑩デッキプレート

(7.2.7)

(7.7.8)

11.スタッド

(7.2.8)

⑫柱底均しモルタル

(7.2.9)

(7.10.3)

(表7.10.2)

13.材料試験等

(7.2.10)

14.ボルトの孔径

(7.3.8)

⑮仮組

(7.3.10)

⑯溶接作業における技能資格者

(7.6.3)

⑰溶接部の開先

(7.6.4)

⑱溶接施工

(7.6.7)

⑲溶接部の試験

(7.6.12)

⑳錆止め塗装

(7.8.2)

(7.8.4)

種類

○標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1] (A)種

・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.2] ()種

種類及びねじの呼び等

・図示(図面番号:)

建築用ターンバックル胴

・割枠式

・()

建築用ターンバックルボルト

・羽子板ボルト

・()

材質、形状及び寸法

○図示(図面番号: S002, S010, S013)

溶接方法

○図示(図面番号: S002, S010, S013)

種類等

・図示(図面番号:)

柱底均しモルタルの工法、厚み

○A種 (30)mm

・B種 ()mm

無収縮モルタルの材料及び調合

○標準仕様書[7.2.9] (2) ・()

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験

・JIS G 0901により行う</

特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 MAINO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
									津市立明合小学校長寿命化改修工事		
	検図								図面名称	縮 尺 A2: NS A2: NS	図面番号
									特記仕様書（新営）No.3	A003 原図: A2	

18

塗装工事

3. 耐候性塗料塗り (DP)
(18. 7. 2)
(表18. 7. 1)
(18. 7. 3)
(表18. 7. 2)
(18. 7. 4)
(表18. 7. 3)
4. スリット塗り
(18. 11. 2)

下地の種類

施工箇所

上塗り等級
・ 1級
・ 2級
・ 3級

コンクリート、RCP面における種別
・ A種
・ B種
・ C種

オイルステイン塗り 工程、材料 ・ ()

19

内装工事

①ビニル床シート張り
(19. 2. 2)
(表19. 2. 1)
(19. 2. 3)

2. ビニル床タイル張り
(19. 2. 2)
(表19. 2. 1)

3. 特殊機能床材
(19. 2. 2)
(表19. 2. 2)

④ビニル幅木
(19. 2. 2)

⑤施工
(19. 2. 3)

6. カーペット敷き
(19. 3. 2)
(19. 3. 3)
(表19. 3. 1)
(表19. 3. 2)

種類

色柄

厚さ (mm)

継目

FS
()

無地
()

2. 0
()

熱溶接
・ 突付け

接着剤の種類、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号:)

寸法・色合

種類

厚さ (mm)

・ 300×300
()

・ コンポジションビニル床タイル (KT)

半硬質

・ 2. 0

・ 450×450
()

・ コンポジションビニル床タイル (KT)

軟質

・ ()

・ ホモジニアスビニルタイル

・ ()

接着剤の種類、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号:)

3. 特殊機能床材
(19. 2. 2)
(表19. 2. 2)

・ 帯電防止床シート・床タイル 寸法 ()mm
厚さ ()mm 種類 () 性能 ()
・ 視覚障害者用床タイル
種類 (・ ビニル床タイル ・ ())
形状 (・ 300×300 ・ ())
・ 耐動荷重性床シート
種類 () 厚さ ()mm
・ ゴム床タイル
色柄 () 種類 () 寸法 () 厚さ ()mm
接着剤の種類、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号:)
・ 防滑性床シート・床タイル 種類 () 寸法 () 厚さ ()mm

④ビニル幅木
(19. 2. 2)

種類 ① 図示 (図面番号: A017)
高さ ① 図示 (図面番号: A017) ・ 60mm
厚さ ・ 図示 (図面番号:) ① 1. 5mm以上

⑤施工
(19. 2. 3)

下地 ①モルタル ・セメント・レンガ ・木造 ・(コンクリート直均し)
接合部の処理 ①熱溶接工法 ・()

6. カーペット敷き
(19. 3. 2)
(19. 3. 3)
(表19. 3. 1)
(表19. 3. 2)

種類

色柄

パイル形状

織り方

A種
B種
C種

無地
柄物
(標準品)

ループ
カット
・ カット、ループ併用

ウィルトンカーペット
ダブルフェースカーペット
アキスミンスターカーペット

種別

色柄

パイル形状

パイル長・寸法・総厚

工法

・ タフテッドカーペット

・ 無地
・ 柄物

・ ループ
・ カット

パイル長
・ 5～7mm
・ 4～6mm

・ グリッパ
・ 全面接着

・ タイルカーペット
・ 1種
・ 2種

・ 無地
・ 柄物

・ ループ
・ カット

総厚さ、サイズ
・ 6. 5mm
・ 500角

・ 全面接着

・ 帯電性 (人体帯電圧の値3kV以下)
タイルカーペットの敷き方 (全面接着工法)
平場 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示 (図面番号:)
階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示 (図面番号:)
下敷き材 ・ 第2種1号、呼び厚さ8mm
・ 図示 (図面番号:)
見切り、押え金物
・ 材質 () ・ 種類 ()
・ 形状 (図面番号:)
織りゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()

7. 合成樹脂塗料
(19. 4. 3)
(表19. 4. 4)
(表19. 4. 5)
～(表19. 4. 8)

8. フローリング張り
(19. 5. 2)
(19. 5. 3)
(19. 5. 4)
(19. 5. 5)
(表19. 5. 2)
～(表19. 5. 6)

9. 畳敷き
(19. 6. 2)
(表19. 6. 1)

⑩せつこうボード、
その他のボード
及び合板張り
(19. 7. 2)
(表19. 7. 1)
(19. 7. 3)
(表19. 7. 3)
(表19. 7. 5)

・ 弾性ウレタン塗床材 (JISK 5970)
仕上げ
・ 平滑仕上げ
・ 防滑仕上げ
・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂塗床材 (JISK 5970)
工法、仕上げ
・ 薄膜流しのべ工法 (・ 平滑
・ 防滑)
・ 厚膜流しのべ工法 (・ 平滑
・ 防滑)
・ 樹脂モルタル工法 (・ 平滑
・ 防滑)

材料 ・ 単層フローリング
(・ フローリングボード (1等) ・ フローリングブロック (1等))
・ 複合フローリング
・ 釘留め工法

材料

種別

樹種

・ フローリングボード
(根太張用)

・ A種
・ B種
・ C種

・ なら
・ ()

・ 複合フローリング
(根太張用)

・ A種
・ B種
・ C種

・ なら
・ ()

・ フローリングボード
(直張用)

・ A種
・ B種
・ C種

・ なら
・ ()

・ 複合フローリング
(直張用)

・ A種
・ B種
・ C種

・ なら
・ ()

・ 接着工法

材料

樹種

厚さ (mm)

幅・長さ

裏面不陸緩衝材

・ フローリングボード
(直張用)

・ なら
()

合成樹脂発泡シート

・ フローリングブロック
(直張用)

・ 複合フローリング
(直張用)

・ A種
・ B種
・ C種

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
・ D種の畳床 KT- (・ I ・ II ・ III ・ K ・ N)
衝撃緩和型畳 ・ C 1 ・ C 2

種類

種別

厚さ (mm)

① せつこうボード

① GB-S
① GB-R

壁
天井

① 9. 5 (準不燃)
① 12. 5 (不燃)

① 化粧せつこうボード

① トラバーチン模様
・ 木目模様

・ 9. 5 (不燃)
① 9. 5 (準不燃)

・ 9. 5 (不燃)
・ 9. 5 (準不燃)

・ ロックウール化粧
吸音板

・ 普通
・ 立体模様

・ 9
()

・ 9
()

・ けい酸カルシウム板

・ タイプⅡ0. 8FK

・ ()

① 化粧けい酸カルシウム板

・ ()

① 6

合板張り
・ 普通合板 表面の樹種名 ・ 生地のまま
・ (透明塗料塗り)ラワン ・ (不透明塗料塗り)しな
()
板面の品質 () 厚さ ()mm
防虫処理 ・ ()
・ 天然化粧合板 化粧板の樹種名 ・ ()
厚さ ()mm
防虫処理 ・ ()
・ 特殊加工合板 化粧加工の方法
・ オーバーレイ ・ プリント
・ 塗装 ・ ()
表面性能 () 厚さ ()mm
防虫処理 ・ ()
天井ボードの重ね張り ・ 図示 (図面番号:)
合板類の張付け ・ A種 ・ B種

20

ユニット及びその他工事

1. フリーアクセスフロア
(20. 2. 2)

2. 可動間仕切り
(20. 2. 3)

3. 移動間仕切り
(20. 2. 4)

4. トイレブース
(20. 2. 5)

5. 手すり
(20. 2. 6)

6. 階段滑り止め
(20. 2. 7)

7. 黒板及び
ホワイトボード
(20. 2. 9)

8. 鏡 (20. 2. 10)

⑨表示
(20. 2. 11)

せつこうボードの目地工法
① 継目処理
・ 突付け (・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ)
・ 目透し (・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ)

11. 紙張り
(19. 8. 2)
(19. 8. 3)

素地ごしらえ
せつこうボード面 ・ A種 ・ B種
コンクリート面 ・ A種 ・ B種
モルタル・せつこうプラスター面 ・ A種 ・ B種

断熱材打込み工法
断熱材の種類、厚さ ① 図示 (図面番号: A017, 039, 040)
断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ① A種1 ・ A種1H ・ 図示 (図面番号)
断熱材の厚さ ① 図示 (図面番号: A017, 038, 039)

1. フリーアクセスフロア
(20. 2. 2)

2. 可動間仕切り
(20. 2. 3)

3. 移動間仕切り
(20. 2. 4)

4. トイレブース
(20. 2. 5)

5. 手すり
(20. 2. 6)

6. 階段滑り止め
(20. 2. 7)

7. 黒板及び
ホワイトボード
(20. 2. 9)

8. 鏡 (20. 2. 10)

⑨表示
(20. 2. 11)

フリーアクセスフロア及び表面仕上げ材の寸法、フリーアクセスフロア高さ、耐震性能、
所定荷重、帯電防止性能、漏えい抵抗
・ 図示 (図面番号:)
試験方法 20. 2. 2 (2) (4) (a) ～ (d)
寸法精度 20. 2. 2 (2) (オ) (a) ～ (c)

組立て方式
・ スタッド式 ・ パネル式 ・ スタッドパネル式
パネル内建具寸法及び形状 ・ 図示 (図面番号:)
構成基材の種類 ・ 図示 (図面番号:)
遮音性 ・ 図示 (図面

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
								検図	図面名称 特記仕様書（新営）No. 7	縮 尺 A2: NS A2: NS	図面番号 A007 原図: A2

21

排水工事

3. 地業の材料
(21. 2. 1)

砂
・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 ・ ()
砂利
・ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利 ・ 切込碎石
試験 ・ 砂の粒度試験

4. 埋め戻し土
(21. 2. 1)

・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土

5. 施工
(21. 2. 2)

場所打ち排水樹の足掛け金物の材料
・ ステンレス製 (幅400mm、径22mm) ・ 鉄製 (径22mm、防錆処理済み)
・ 合成樹脂被膜加工を行ったもの (径19mm) ・ 図示 (図面番号:)
遠心力鉄筋コンクリート管
基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号:)
硬質ポリ塩化ビニル管
基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号:)
継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪

6. 街きょ
緑石、側溝
(21. 3. 1)
(21. 3. 2)

コンクリート縁石、側溝
種類、形状、寸法 ・ 図示 (図面番号:)
砂利地業
厚さ ・ 100mm ・ 図示 (図面番号:)

22

舗装工事

1. 路床
(22. 2. 2)
(22. 2. 3)
(表22. 2. 1)
(22. 2. 4)
(22. 2. 5)

路床の材料 (厚さは図示 (図面番号:))
遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂
凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ ()
フィルター層 ・ 砂
路床安定処理 ・ 行う
添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰()号
・ 消石灰()号
添加量()kg/m³(目標CBR ・ 5以上 ・ ())
盛土に用いる材料
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土
C種の場合: 建設発生土受入量()m³
片道の運搬距離()km
試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験
・ 路床締固め度の試験
・ 現場CBR試験

2. 路盤
(22. 3. 2)
(表22. 3. 1)
(22. 3. 3)

舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャラン
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャラン
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	鉄鋼スラグ
・ インターロッキング ブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャラン ・ ()
・ ()	・ () ・ ()	

3. アスファルト
舗装
(22. 4. 2)～
(22. 4. 6)
(表22. 4. 1)～
(表22. 4. 6)

舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:)
・ A-3-10 ・ ()
平坦性
・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度
・ 図示 (図面番号:)
再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ 図示 (図面番号:)
表層の種類
・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)
・ ()
試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験

4. コンクリート
舗装
(22. 5. 2)～
(22. 5. 6)
(表22. 5. 1)

舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:)
平坦性
・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度
・ 図示 (図面番号:)
コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号)
設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ ()
早強セメント ・ 使用する
注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ
目地 ・ 種類 () ・ 間隔 ()
・ 標準仕様書 [表22. 5. 3]
目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)

23

植栽工事

5. カラー舗装
(22. 6. 2)
(22. 6. 3)
(22. 6. 4)
(表22. 6. 1)

種類
・ 加熱系 構成及び厚さ ()
結合材 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系 (顔料の添加量:)
添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石
・ 常温系
工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法
着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装
ニート工法及び塗布工法の配合その他 ・ 図示 (図面番号:)
試験 ・ アスファルト混合物等の抽出試験

6. 透水性アス
ファルト舗装
(22. 7. 2) (表22. 7. 1)

舗装構成 ・ 図示 (図面番号:)
平坦性 ・ 著しい不陸がないこと ・ 図示 (図面番号:)

7. ブロック系舗装
(22. 8. 2)
(22. 8. 3)
(表22. 8. 1)

舗装	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
・ コンクリート 平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し
・ インター ロッキング ブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()
	・ 植生用ブロック		・ 80 ・ 100	
・ 舗石舗装	・ 小舗石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80～100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装 基層の厚さ ・ () mm

コンクリートの平板舗装及び舗石舗装のクッション材
・ 砂 ・ 空練りモルタル ・ 図示 (図面番号:)
平坦性 ・ 平板等の段差3mm以内 ・ 図示 (図面番号:)

8. 砂利敷き
(22. 9. 2)
(表22. 9. 1)

・ 通路部 ・ A種 ・ B種 ・ ()
・ 建物周囲 ・ A種 ・ B種 ・ ()

24

外構工事

6. 芝張り、
吹付けは種
及び地被類
(23. 4. 2)
(23. 4. 3)
(23. 4. 7)

種類 ・ コウライシバ ・ ノシバ ・ ()
吹付けは種用種子 種類 ・ 標準仕様書 [23. 4. 2] (3) (7) 後段
・ 図示 (図面番号:)
量 ・ () ・ 図示 (図面番号:)
地被類種類、芽立数、径、単位面積当たりの株数
・ 図示 (図面番号:)
芝張り工法
平地 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号:)
法面 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号:)
芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間
・ 引渡日から1年間 ・ ()

7. 屋上緑化
(23. 5. 2)
(23. 5. 3)
(23. 5. 4)
(23. 5. 5)

植栽基盤及び材料
・ 屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・ 図示 (図面番号:)
排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ:) ・ 板状成形品
植込み用土 ・ 改良土 ・ 人工軽量土
樹種・種類、寸法、株立数、刈込み
・ 図示 (図面番号:)
芝及び地被類の樹種並びに種類等
図示 (図面番号:)
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等
・ 図示 (図面番号:)
風圧力に対応した工法 (建設省告示第1458号)
・ 図示 (図面番号:)
支柱 ・ 図示 (図面番号:)
かん水装置 ・ 図示 (図面番号:)
新植樹木の枯補償期間
・ 引渡日から1年間 ・ 図示 (図面番号:)
芝及び地被類の枯補償期間
・ 引渡日から1年間 ・ 図示 (図面番号:)

24

外構工事

1. 旗竿

材種 ・ アルミニウム製 ・ ()
形式 テーパー付き ・ ロープ式 ・ ハンドル式
脚部 ・ 埋込式 ・ ベース式
高さ ・ 5m ・ 6m ・ 7m

2. フェンス

・ ネットフェンス ・ 網材種 (・ ビニル被覆鉄線 ・ ())
・ メッシュフェンス
網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())
・ 格子フェンス
網材種 (・ 樹脂皮膜 ・ 工場塗装 ・ ())

[illegible]

Ⅰ. 工事特記仕様書（改修）

Ⅱ. 工事概要

Ⅲ. 建築改修工事仕様

Ⅳ. 共通仕様

Ⅴ. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。

Ⅵ. 特記仕様

Ⅶ. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

Ⅷ. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

Ⅸ. 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕の該当項目等を示す。

章	項 目	特 記 事 項																				
一 般 共 通 事 項	① 適用基準等	１）公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版） ２）公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版） ３）建築物解体工事共通仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版） ４）建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版）																				
	② 施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 以下、A001による。																				
	③ 発生材の処理等 （1.3.12）	本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。 ・分別解体等の方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造成等</td><td>・ 有 ☒ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td><td>・ 有 ☒ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td><td>☒ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ☒ 并作業、機械作業の併用</td></tr> <tr> <td>屋根</td><td>・ 有 ☒ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td><td>☒ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ☒ 并作業、機械作業の併用</td></tr> <tr> <td>その他 （ ）</td><td>・ 有 ☒ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr> </tbody> </table> ☒ 引き渡しを要するもの ☒ 無 ・ （ ） ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有 （ ・ PCBを含む機器類 ・ 廃油、廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン類 ・ 水銀を含む特別管理産業廃棄物 ・ 废水銀等 ） 処理方法（ ） ・ 水銀使用製品産業廃棄物 ・ 有 （ ・ 蛍光ランプ ・ HIDランプ ・ （ ） ） 「水銀廃棄物ガイドライン」（第２版）（平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）に基づき適切に処理すること。 ☒ 石綿含有成形板等解体時の留意点 １．手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 ２．可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。 ３．飛散されない様にするごと。 ４．保護具及び作業着を着用すること。 ５．解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。 ６．事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。 ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ☒ 再資源化を図るもの ☒ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ （ ） 引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ☒ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ☒ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	☒ 有 ・ 無	・ 手作業 ☒ 并作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 ☒ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	☒ 有 ・ 無	・ 手作業 ☒ 并作業、機械作業の併用	その他 （ ）	・ 有 ☒ 無
工程	作業の有無	分別解体等の方法																				
造成等	・ 有 ☒ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
基礎・基礎ぐい	・ 有 ☒ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
上部構造部分・外装	☒ 有 ・ 無	・ 手作業 ☒ 并作業、機械作業の併用																				
屋根	・ 有 ☒ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
建築設備・内装等	☒ 有 ・ 無	・ 手作業 ☒ 并作業、機械作業の併用																				
その他 （ ）	・ 有 ☒ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				

④	建設副産物情報交換システムの利用	受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 また、工事完了後は「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。 なお、各計画書及び実施書の作成等は、JAGICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。																																
⑤	三重県産業廃棄物税	本工事に係る産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の４月１日から８月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。																																
⑥	電気保安技術者 (1.3.3)	○ 配置する																																
⑦	技能士 (1.7.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。																																
⑧	施工数量調査 (1.6.2)	調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による																																
⑨	調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）																																
⑩	建築材料等	１） 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 ２） 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、☆☆☆以上とする。																																
⑪	化学物質の濃度測定 (1.6.9)	測定対象化学物質（●で示したものとする。） <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th><th>施設用途</th><th>ホルムアルデヒド</th><th>トルエン</th><th>キシレン</th><th>エチルベンゼン</th><th>スチレン</th><th>パラジクロロベンゼン</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td><td>学校・教育施設</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr> <td></td><td>住宅</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>その他</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr> </tbody> </table> 測定対象室及び測定箇所数 ○ 図示（図面番号：A026～027） ・ （ ） 測定方法 ・ （○）パッシブ法 ・ アクティブ法 測定時期 ・ （ ） 報告書提出部数 ２部	適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン	○	学校・教育施設	●	●	●	●	●	●		住宅	●	●	●	●	●			その他	●	●	●	●	●	
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																											
○	学校・教育施設	●	●	●	●	●	●																											
	住宅	●	●	●	●	●																												
	その他	●	●	●	●	●																												
⑫	特別な材料の工法	改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。																																
⑬	騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。																																
⑭	工事写真 (1.2.4)	宮崎工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部（最新版））に従い撮影する。 提出部数 １部 用紙は上質紙とする。 なお、デジタル工事写真の黒板板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の黒板板情報電子化について（令和5年3月1日宮営建技14号）」による。																																
⑮	完成図等 (1.8.2) (1.8.3)	作成する （○）完成図 ・ 保全に関する資料 ・ （ ） 完成図作図範囲（設計図を訂正） 完成図はC A Dにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる著作権は発注者に移譲するものとする。また、製本 2 部（原図サイズ）により提出すること。																																
⑯	完成写真	○ デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。 （A 4版用紙に1ページあたり3枚） １部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なして撮影すること。																																
⑰	設備工事との取合い	施工範囲 ○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ○ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ○ 自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強 ○ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。																																
⑱	既存部分等への処置 (1.3.13)	工事施工に際し、既存部分を汚損した場合は又又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。																																
⑲	事故の発生時	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。																																
㉒	消防提出書類	１） 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ○ 本工事 ・ 建築工事 ○ 電気設備工事 ・ 機械設備工事 ・ 別途工事 ２） 防火対象物使用開始届出書 書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。																																
㉔	労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第 1 項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第 2 項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。																																
㉔	不正軽油の使用の禁止	１） 一般事項 工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 ２） 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 ３） 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。																																
23	屋外広告物	屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第 2 3 条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。																																

石綿含有建材
の調査

(1.5.1)

石綿含有建材の事前調査

調査範囲
質与資料

・改修部分すべて
既存の設計図書

・石綿含有建材の調査報告書

分析調査

分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

分析方法

材料名	定性分析法 JIS A 1481-1 JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4 JIS A 1481-5
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル

採取箇所 ・図面(図面番号：) ・ ()

騒音・粉じん等の対策

(2.1.3)

足場

(2.2.1)
(表2.2.1)

既存部分の養生

(2.3.1)

仮設間仕切り

(2.3.2)
(表2.3.1)

監督員事務所

(2.4.1)

監督員事務所の設備・備品等

(2.4.1)(2.7)

仮設便所

工事用水

工事用電力

交通誘導警備員

・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）
・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）

設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年４月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の２の（２）手すり据置き型方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと。

内部足場の種別（参考）
外部足場の種別（参考）

・ 脚立 ・ 棚足場 ・ その他（ ）
・ 手摺先行据置枠組本足場 ・ 移動足場 ・ 高所作業車
その他（ ）

外部足場設置範囲（参考）
防護シート等による養生

・ 外部改修部 ・ 設備改修部 ・ 昇降用 ・ 転落防止用
・ 適用する ・ 適用しない

足場の組立て後、足場に關し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。
つり足場、張出し足場又は高さ１０m以上の足場で、組立から解体までの期間が６０日以上ものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の人足場に關し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。

１) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第１９条の２に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者
２) 労働安全衛生法第８１条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第８８条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成担当者」に必要な資格を有する者
３) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全管理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記１）又は２）に掲げる者と同等の知識・経験を有する者

既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ）
既存フラインド・カーテンの養生
養生方法（ ）
保管場所 ・ 構内既存施設内
固定された備品、机、ロッカ－の移動
・ 行方 ・ 行わない

屋内の仮設間仕切り ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
合板 厚さ 9mm ・ （ ）
せこうボード 厚さ 9.5mm ・ （ ）
合板又は石こうボードの塗装 ・ 行方 ・ 行わない
仮設扉 設置箇所 ・ 図示（図面番号： A114 ）
仕様 ・ 合板張り木製扉 ・ （ 7½製 ）

・ 構内建物内の一部を使用する。
・ 設置する ・ 設置しない
監督員事務所の規模(単位:m)

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

監督員事務所の仕上げ

部位等	仕上
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	装着融垂れめっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

種類	機・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

構内既存の施設
・ 利用できる ・ 利用できない

構内既存の施設
・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない

構内既存の施設
・ 利用できる（ ・ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない
有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

配置 ・ 図示（図面番号： A106 ）

特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事	設計日
									校図	図面名称 特記仕様書（改修）No. 1	縮 尺 A2: NS A2: NS

3 防水改修工事

3

防水改修工事

1

アスファルト防水

(3.3.3)
(表3.3.3)～
(表3.3.10)

種別

工法
・PIB
・PIE
・P2E

種別
・B-1　・B-2

・E-1　・E-2

施工箇所

改質アスファルトルーフィングシート

種類　・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による　・()
厚さ　・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による　・()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類　・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による　・()
厚さ　・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による　・()

(3.3.2)

断熱工法の断熱材（P1BI、P2AI、POD1、M3DI、M4DI）

材質　・()

・押出法ポリステレンフォーム断熱材3種 b A（スキんあり）
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種 1号
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種 2号

厚さ　・()
ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置　・図示（図面番号： ）

(3.3.3)(2)(イ)
(3.3.3)(3)

脱気装置（M3D、POD、POD1、M3DI、M4DI）

・設ける（設置数量　・図示（図面番号： ）、材質（ ））
・設けない
・仕上塗料　種類（ ）　使用量（ ）

(3.3.5)

保護コンクリートの厚さ　こて仕上げ　・水下80mm以上　・()
床タイル張り　・水下60mm以上　・()

(表8.1.5)

こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ　・a種　・b種　・c種

保護層　・設ける　・設けない
屋上排水溝の適用　・適用する
立上り保護　・乾式保護材（ ）
・れんが（材質　・JIS R1250）

2

改質アスファルトシート防水

(3.4.2)

改質アスファルトシート

種類　・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による　・()
厚さ　・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による　・()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類　・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による　・()
厚さ　・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による　・()

断熱工法の断熱材（M3ASI、M4ASI、POASI）

材質、厚さ（ ）
図示　・()

(3.4.3)
(表3.4.1)～
(表3.4.3)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・ M4AS	・ AS-T1　・ AS-T2 ・ AS-J2		

脱気装置

・設ける（設置数量　・図示（図面番号： ）、材質（ ））
・設けない

3

合成高分子系ルーフィングシート防水

(3.5.2)

ルーフィングシート

種類　・改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による　・()
厚さ　・改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による　・()

絶縁用シート　・発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質及び寸法形状　・図示（ ）

断熱工法の断熱材（POS1、S4SI、S3SI、M4SI）

材質、厚さ（ ）
・図示（ ）

(3.5.3)
(表3.5.1)～
(表3.5.3)

工法	種別	種別	仕上塗料
・ S3S	・ S-F1 (SI-F1)		
・ S3SI	・ S-F2 (SI-F2)		
・ S4S	・ S-M2		

(3.5.3)

脱気装置

・設ける（設置数量　・図示（図面番号： ）、材質（ ））
・設けない

(3.5.4)

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合

目地処理　・図示（図面番号： ）
増張り　・図示（図面番号： ）

機械式固定方法

風圧力に対応した工法　・図示（図面番号： ）

保護層の施工　・図示（図面番号： ）

④

塗膜防水

(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3)(1)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料
・ POX ⊙ L4X	⊙ X-1 ⊙ X-1H　⊙ X-2 ⊙ X-2H		

脱気装置

⊙ 設ける（設置数量　・図示（図面番号： AO97 ））、材質（ステンレス）
・設けない

(3.6.3)(2)

工法	種別	施工箇所
・ P1Y ・ P2Y	・ Y-2　・	

保護層　・図示（図面番号： ）

5

既存防水層表面の仕上塗装の除去

(3.2.6)(3)(イ)
(3.2.6)(3)(ハ)

(M4AS、M4ASI、M4C、M4DI）

・行う　・行わない
（L4X）　・行う　・行わない

⑥

シーリング

(3.7.2)
(表3.7.1)

(3.7.4～7)

工法

・

シーリング充填工法

・

シーリング再充填工法

・

拡張シーリング再充填工法

・

ブリッジ工法

(3.7.8)

シーリング材の試験

・

簡易接着性試験

・

引張接着性試験

・

行わない

⑦

とい

(3.8.2)
(表3.8.1)
(表3.8.2)

材料

・

硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）

・

（ ）

・

配管用鋼管（白管）

とい受金物及び足金物

といの材種	形状	取付け間隔
VP管		1200mm以下

工法

・

図示（図面番号： ）

8

アルミニウム製
笠木

(3.9.2)(3)
(表3.9.1)

(3.9.3)(2)

部材の種類

・

押出し250形

・

押出し300形

・

押出し350形

・

板材折曲げ形（本体幅（ ）mm、板厚 ・ 2.0mm ・ （ ））

(3.9.3)(2)

固定金具の間隔（ mm）

固定方法

・

（ ）

(3.9.2)(4)
(3.9.3)

表面処理

・

（ ）

工法

・

既存笠木等の撤去

・

図示（図面番号： ）

・

下地補修の工法

・

図示（図面番号： ）

・

板材折曲げ形の笠木の取付方法

・

図示（図面番号： ）

・

図示（図面番号： ）

・

図示（図面番号： ）

・

図示（図面番号： ）

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

⑨

保証書

工事区分	材料名	保証年数
防水工事	・ 防水	・ 10年 ・ 年

※防水施工業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。

4

外壁
改修
工事

①

施工数量調査

(4.1.4)
(4.1.5)

・

行う

・

行わない

調査範囲

・

全面

・

（ ）

調査項目

・

ひび割れ部（ ・ 幅0.2mm未満

・

0.2mm以上～1.0mm以下

・

1.0mm以上超）

・

はがれ及びはく落部分

・

浮き部

調査方法

・

打診、目視及びクラックスケール等（

・

足場

・

ゴンドラ）

報告書

2部（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）

②

改修工法の種類

(4.1.4)
(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
・ モルタル塗り仕上 げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
・ タイル張り仕上げ 外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
		・ 目地 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法
・ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ マスチック塗材塗り ・ 外壁用塗膜防水材塗り

③	改修工法等 (4. 2. 4) (1) (4. 2. 5) (4. 3. 6) (4. 4. 6)	・ 樹脂注入工法 種類 ① 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () 材料 エポキシ樹脂JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂) コア抜き検査 ・ 行う ① 行わない ・ 抜き取り個数 () ・ 抜き取り部分補修方法 ()
	(4. 2. 4) (2) (4. 2. 6) (4. 3. 7)	① ・ Uカットシーリング材充填工法 材料 ① シーリング用材充填 (① ・ PU-1 ・ PU-2 ・ ()) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 ① 行う ・ 行わない
	(4. 2. 4) (3) (4. 2. 7) (4. 3. 8)	・ シール工法 材料 ・ バテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂
	(4. 2. 4) (4) (4. 2. 8) (4. 3. 9)	① ・ 充填工法 材料 ① エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル
	(4. 3. 5) (5) (4. 3. 10)	・ モルタル塗替え工法 材料 ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 ・ 既製目地材の適用及び形状 () ・ 仕上げ厚 ()
	(4. 3. 5) (6) (4. 3. 11) (4. 4. 9) (図4. 3. 1)	① ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数 ① 標準 ・ () 材料 ① ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ ()
	(4. 3. 5) (6) (4. 3. 12) (4. 4. 10) (図4. 3. 2)	・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ ()
	(4. 3. 5) (6) (4. 3. 13) (4. 4. 11) (図4. 3. 2)	・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ ()
	(4. 3. 5) (7) (4. 3. 14) (4. 4. 12) (図4. 3. 3)	・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ () 呼び径 ・ 6mm ・ ()
	(4. 3. 5) (7) (4. 3. 15) (4. 4. 13) (図4. 3. 4)	・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ () 呼び径 ・ 6mm ・ ()
	(4. 3. 5) (7) (4. 3. 16) (4. 4. 14) (図4. 3. 4)	・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ポリマーセメントスラリー () ・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (SUS 3 0 4) ・ ()) 呼び径 ・ 6mm ・ ()
	(4. 4. 5) (4) (4. 4. 7)	・ タイル部分張替え工法 張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 接着剤 (一液反応硬化形成型シリコーン樹脂) ・ ()

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無

・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない
・ 既調合モルタル ・ 使用する ・ 使用しない

(4. 4. 5) (4) (4. 4. 8) (表4. 4. 5)	・ タイル張替え工法 タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚 (mm)
・ 外装 タイル	小口平 二丁掛 100角		・ 密着張り	5～8
			・ 改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 1～3
・ ユニットタイル	50二丁以下		・ マスク張り	3～4
			・ モザイクタイル貼り	3～5

(4. 4. 15) ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの本数 (本)

(4. 4. 5) (5)
(4. 4. 16) ・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
(位置 寸法 ×)
検査 シーリング接着性試験
・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

[illegible]

7

アクリル樹脂系
非水分散形塗料
(NAD)

(7. 7. 2)
(表7. 7. 1)

8

耐候性塗料塗り
(DP)

(7. 8. 2)～
(7. 8. 4)
(表7. 8. 1)～
(表7. 8. 3)

9

つや有合成樹脂
エマルションペ
イント塗り
(EP-G)

(7. 9. 2)～(7. 9. 5)
(表7. 9. 1)～
(表7. 9. 4)

10

合成樹脂エマ
ルションペイ
ント塗り (EP)

(7. 10. 2)
(表7. 10. 1)

11

ウレタン樹脂
ワニス塗り
(UC)

(7. 11. 2)
(表7. 11. 1)

12

ステイン塗り
(OS)

(7. 12. 2)
(表7. 12. 1)

13

木材保護塗料
塗り (WP)

(7. 13. 2)
(表7. 13. 1)

種別

・ A 種 ・ B 種

上塗り等級

・ 1 級（フッ素系） ・ 2 級（シリコン系） ・ 3 級（ポリウレタン系）

下地	種別
コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A－1 種 ・ A－2 種 ・ B－1 種 ・ B－2 種 ・ C－1 種 ・ C－2 種

種別

下地

種別

コンクリート、モルタル、
プaster、せつこうボード、
その他ボード面

・ A 種 ・ B 種 ・ C 種
しみ止め（ ）

木部（屋内）

・ A 種 ・ B 種 ・ C 種

鉄鋼面（屋内）

・ A 種 ・ B 種 ・ C 種

亜鉛めっき鋼面（屋内）

・ A 種 ・ B 種 ・ C 種

種別

・ A 種 ・ B 種 ・ C 種
しみ止め ・（ ）

種別

・ A 種 ・ B 種

工程 1 の着色 ・ 適用する ・ 適用しない

種類

・ ビグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り
オイルステイン塗りの工程、塗料 ・（ ）

種別

・ A 種 ・ B 種

8
の
1

耐震改修工事
共通事項

（一般事項）
① 適用範囲

(8. 1. 1)
(8. 1. 2)

工事内容

・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・ 鉄骨ブレースの設置工事
・ 柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・ 柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・ 柱補強工事（連続繊維補強工法）
・ 耐震スリット新設工事
・ 免震改修・制振改修工事

工事種別

・ 鉄筋工事
・ あと施工アンカー工事
・ コンクリート工事
・ 鉄骨工事
・ グラウト工事
・ 連続繊維補強工事
・ スリット新設工事
・ 免震改修、制振改修工事
・ 土工事及び地業工事

8
の
2

耐震改修工事
撤去工事

① 既存部分の撤去等

(8. 21. 2)

撤去の範囲

・ 図示（図面番号： ）
・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分
・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分
・（ ）

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置
本工事の範囲

・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分
・ 設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。
・（ ）
撤去範囲 ・ 図示（図面番号： ）

② 既存構造体の撤去

(8. 21. 2)
(8. 22. 2)
(8. 23. 2)
(8. 24. 4)

既存構造体の撤去
撤去範囲

・ 図示（図面番号： A039、A040 ）
はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断

鉄筋の切断	範囲	適用
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示（図面番号： ） ・ 全ての撤去部分 ・（ ） ・ 適用なし	
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示（図面番号： A041 ） ・ 全ての撤去部分 ・（ ） ・ 適用なし	
・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・（ ）	

はつりだした鉄筋の処置

・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。
・（ ）

はつりだした鉄骨の処置

・ 発泡スチロール等で養生する。
・（ ）

(既存部分の処理)
③ 既存構造体コン
クリート面の
目荒らし

(8. 21. 3)
(8. 22. 3)
(8. 23. 3)

既存構造体コンクリート面の目荒らし
目荒らし程度

・ 平均深さ2～5mmで最大深さ5～7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15～30％程度の面積となるように施す。
・ 図示（図面番号： ）

8
の
3

耐震改修工事
鉄筋工事

① 鉄筋

(8. 2. 1)
(表8. 2. 1)

② 溶接金網

(8. 2. 2)

3 加工

(8. 3. 2)

④ 鉄筋の継手及び
定着

(8. 3. 4)

材料 改修標準仕様書(表8. 2. 1)による

種別	径(mm)
・ S0295	・ D 1 0
・ S0345	
・ S0390	
・（ ）	

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)
100×100	6. 0

90° 未満の折曲げの内法直径

・ 図示（図面番号： ）

鉄筋の継手の長さ

・ 各部配筋参考図による
・ 図示（図面番号： ）

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ

・ 改修標準仕様書(8. 3. 4) (3) (7)による
・ 図示（図面番号： ）

継手位置

・ 各部配筋参考図による
・ 図示（図面番号： ）

先組み工法等

・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ

・ 改修標準仕様書(表8. 3. 4)による
・ (表8. 3. 4) のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 図示（図面番号： ）
・ 図示（図面番号： ）

機械式定着工法

適用箇所（ ） 種類（ ）

常筋組立の形、継手及び定着

・ 図示（図面番号： ）

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

・（ 40 ）mm

⑤ 鉄筋のかぶり厚
さ及び間隔

(8. 3. 5)
(表8. 3. 6)

⑥ 各部配筋

7 ガス圧接

(8. 3. 8)

(現場打ち鉄筋コン
クリート壁の増設工事
及び鉄骨ブレースの
設置工事等)

8 割製補強筋

(8. 21. 6)
(8. 22. 7)

9 鉄筋の機械式継
手及び溶接継手

(8. 4. 2)
(8. 4. 3)

⑦ 図示（図面番号： S012 ）

圧接完了後の試験
超音波探傷試験

・ 行う ・ 行わない

割製補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用 棒鋼	・ R235 ・（ ）	・ 6Φ （ ） ・ 9Φ （ ）	・ スパイラルの径(mm) （ ） ・ スパイラルのピッチ(mm) （ ）	・ 図示 (図面番号：)
・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋)	・ 295 ・（ ）	・ 10 ・（ ）	・ 壁内方向筋 （ ） ・ 壁面外方向筋 （ ）	

・ 機械式継手

（ ） 適用箇所（ ）
（ ） 鉄筋相互のあき（ ）mm
性能（ ）
施工完了後の継手部の試験（ ）
不合格となった継手部への措置等（ ）

・ 溶接継手

（ ） 適用箇所（ ）
（ ） 鉄筋相互のあき（ ）mm
性能（ ）
溶接完了後の溶接部の試験（ ）
不合格となった溶接部への措置等（ ）

8
の
4

コンクリート工事
耐震改修工事

(コンクリート工事一
般事項)

① コンクリートの
種類及び強度

(8. 1. 3)
(8. 1. 4)

② 構造体コンク
リートの上り

(8. 1. 4)
(表8. 1. 4)
(表8. 1. 5)

コンクリートの種類

・ I 類 ・ II 類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm2]	適用範囲	気乾単位 容積質量	スランプ
・ 24		・ 2. 3t/m3程度	
・（ 18 ）	土間復旧部	・ 2. 3t/m3程度	S15

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm2]	種類	適用箇所	気乾単位 容積質量	スランプ
・ 36	・ 1 種 ・ 2 種			
・（ ）				

合板せき板を用いる場合の打直し仕上の種別

・ A 種 ・ B 種 ・ C 種

コンクリートの仕上りの平たんさ

・ a 種 ・ b 種 ・ c 種

(コンクリート)
③ コンクリートの
材料

(8. 2. 5)
(表8. 2. 3)

セメントの種類

・ 普通ポルトランドセメント
・ 高炉セメントA種
・ シリカセメントA種
・ フライアッシュセメントA種
・（ ）
・ 高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種
適用箇所（ ）

④ 混和材料

(8. 2. 5)

⑤ 調合管理強度

(8. 2. 5)
(8. 8. 3)
(8. 10. 2)

⑥ 養生

(8. 7. 7)

7 型枠

(8. 2. 7)
(8. 7. 8)

8 暑中コンクリ
ート

(8. 10. 2)

9 無筋コンクリ
ート

(8. 11. 1)

(現場打ち鉄筋コンク
リート壁の増設工事
、溶接金網巻き工法
及び溶接閉鎖フープ
巻き工法)

10 コンクリートの
打込み工法等

(8. 21. 8)
(8. 23. 5)

⑦ 図示（図面番号： ）

コンクリートの種類

・ 普通コンクリート ・（ ）

設計基準強度

・ 18N/mm2 ・（ ）

スランプ

・ 15cm ・ 18cm ・（ ）

部位別のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8. 21. 8) (1) (7)及び(2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）
	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8. 21. 8) (1) (4)及び(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ） ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8. 21. 8) (1) (7)及び(2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）
	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8. 21. 8) (1) (4)及び(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示（図面番号： ） ・（ ） ・ 図示（図面番号： ） ・（ ）

柱頭柱脚の隙間部間の型枠

・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む
・（ ）

柱頭柱脚の隙間寸法

・ 図示（図面番号： ）

打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ

・ 図示（図面番号： ） ・ 60mm ・（ ）

・ 図示（図面番号： ）

11 増設壁工事後の
仕上げ

(8. 21. 10)
(8. 23. 7)

⑧ 図示（図面番号： ）

9

環境配慮改修工事

①

石綿含有建材の除去工事

(9.1.1)

○

石綿粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点
○	測定2		・ 調査対象室外部の付近 ○ 処理作業室外（敷地境界）	計 点 計 4 点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定4		負圧・除じん装置の排出出し口	出口吹出し風速1m/s 以下の位置 計 点
○	測定5	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室外（敷地境界）	計 4 点
○	測定6		・ 処理作業室内 ○ 処理作業室外（敷地境界）	計 点 計 4 点
・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計 点
・	測定8		調査対象室外部の付近	計 点

測定方法

	測定 3	測定 1, 4, 7, 8	測定 2, 5, 6
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	・ 25 ・ (45)	○ 17 ・ (45)
試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ (10)	○ 10 ・ ()
試料の吸引時間 (min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ (240)	○ 240 ・ ()

(9.1.3)

・ 石綿含有吹付け材の除去

除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ）

除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ ()

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止

・ 湿潤化 ・ 固化

除去した石綿含有吹付け材等の処分

・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.4)

・ 石綿含有保温材等の除去

除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ）

除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ ()

除去した石綿含有保温材等の処分

・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.5)

・ 石綿含有成形板の除去

除去対象範囲 ・ 図示（図面番号： ）

石綿含有せっこうボードの処分

・ 埋立処分（管理型最終処分場）

石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分

・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による）

(9.1.6)

○ 石綿含有仕上塗材の除去

除去対象範囲 ○ 図示（図面番号： A030, A032 ）

除去した石綿含有仕上塗材等の処分

・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融又は無害化による）

※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル（令和3年3月）」に基づき適切に処理すること。

○ 除去等作業の結果報告

除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。

2

断熱アスファルト防水改修工事

(9.2.1)～(9.2.3)

3

外断熱改修工事

(9.3.2)

4

断熱・防露改修工事

(9.5.2)

5

屋上緑化改修工事

(9.6.1)～(9.6.3)

改修特記仕様書3章による

断熱材

種類	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ロックウール断熱材	
・ グラスウール断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示（図面番号： ） ・ ()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3)

既存外壁の措置

既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし

下地の清掃 ・ 行う ・ 行わない

欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ()

(9.3.4)

工法

通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし

断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ ()

外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ ()

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・ 適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法)

・ 適用しない

不陸等の下地調整 ・ 行う

・ 断熱材打込み工法

種類	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキンなし）	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示（図面番号： ） ・ ()

(9.5.3)

・ 断熱材現場発泡工法

断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ ()

厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ ()

施工箇所 ・ 図示（図面番号： ）

・ 現場発泡断熱材（品質・性能）

工事建築材料等品質性能表による（試験方法）

工事建築材料等品質性能表による

(9.5.4)

・ 断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ ()	・ 有 ・ 無	

施工箇所 ・ 図示（図面番号： ） ・ ()

植栽基盤及び材料

屋上緑化軽量システム

・ 適用する ・ 適用しない

芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示（図面番号： ） ・ ()

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示（図面番号： ） ・ ()

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・ 適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)

・ 適用しない

かん水装置 ・ 設置する（種類 ・ ）

既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

6

透水性アスファルト舗装改修工事

(9.5.2)～(9.5.7) (9.5.9)

既存舗装の撤去及び再利用

・ 図示（図面番号： ） ・ ()

路床

種別	材料	厚さ [mm]
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示（図面番号： ） ・ ()
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下)	・ 図示（図面番号： ） ・ ()
・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示（図面番号： ） ・ ()

路床安定処理

・ 添加材料による安定処理

種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰（・特号 ・ 1号） ・ 消石灰（・特号 ・ 1号）

添加量 (kg/m2)（目標CBR ・ 5以上 ・ ）

・ ジオテキスタイル

単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ ()

厚さ [mm] ・ 0.5～1.0 ・ ()

引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ ()

透水係数 ・ 1.5×10⁻⁷ -1cm/sec 以上 ・ ()

試験

路床土の支持力比（CBR）試験 ・ 行う ・ 行わない

路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤

路盤の構成及び厚さ ・ 図示（図面番号： ） ・ ()

路盤材料 ・ 再生材のクラッシュラン
・ クラッシュラン鉄鋼スラグ
・ 図示（図面番号： ）
・ ()

試験

路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

舗装

材料	厚さ [mm]
・ ストレートアスファルト	・ 図示（図面番号： ） ・ ()

試験

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない

舗装の平たん性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()

特記事項

代表設計者

一級建築士

第360917号

前田 祐作

設計担当

一級建築士

第378328号

加藤 早妃

設計担当

一級建築士

第320204号

前野 将輝

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

工事名称

津市立明合小学校長寿命化改修工事

図面名称

特記仕様書（改修）No.7

縮尺

A2: NS
A2: NS

図面番号

A015
原図: A2

設計日

株 会社

前野建築設計

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

株 会社

前野建築設計

代表設計者

一級建築士

第360917号

前田 祐作

設計担当

一級建築士

第378328号

加藤 早妃

設計担当

一級建築士

第320204号

前野 将輝

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

工事名称

津市立明合小学校長寿命化改修工事

図面名称

特記仕様書（改修）No.7

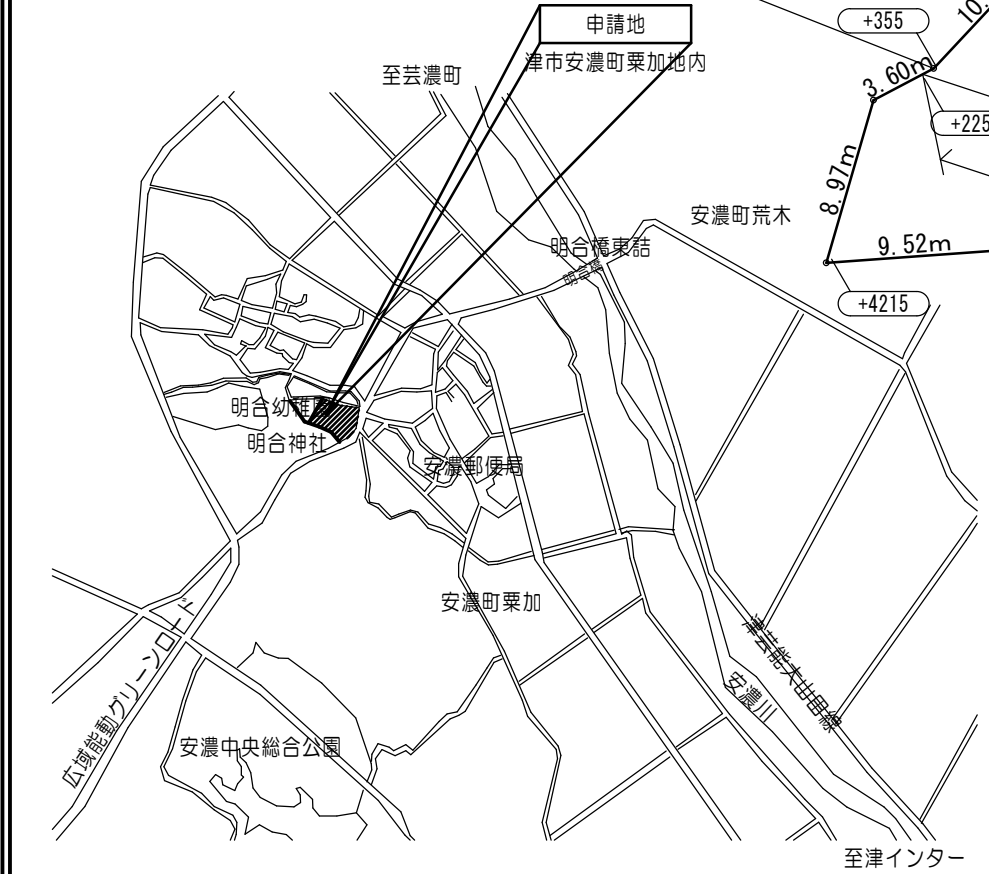
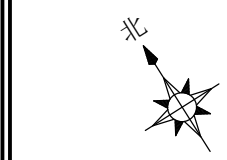
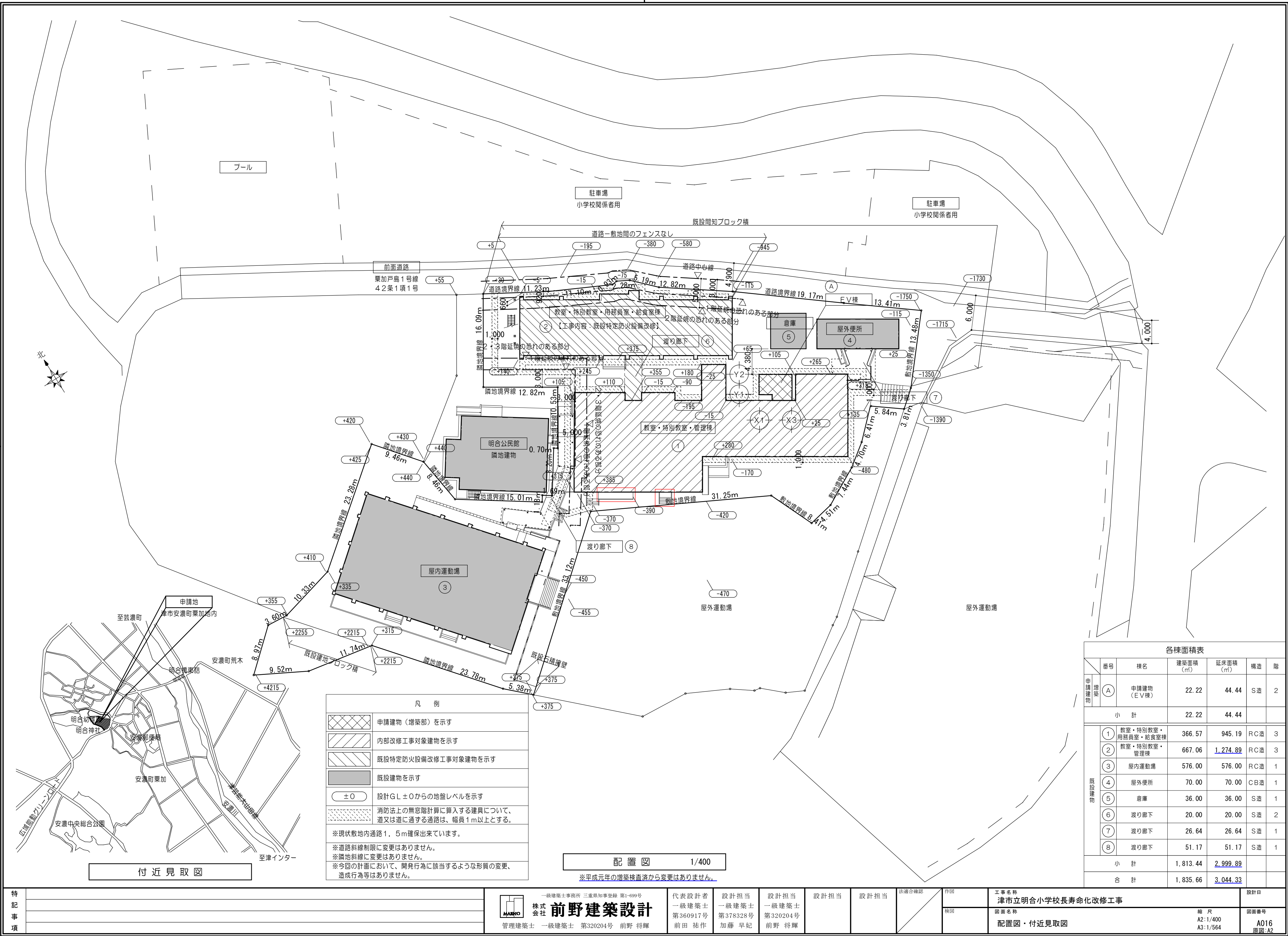
縮尺

A2: NS
A2: NS

図面番号

A015
原図: A2

設計日



凡 例	
	申請建物（増築部）を示す
	内部改修工事対象建物を示す
	既設特定防火設備改修工事対象建物を示す
	既設建物を示す
± 0	設計GL ± 0 からの地盤レベルを示す
	消防法上の無窓階計算に算入する建具について、 道又は道に通ずる通路は、幅員1m以上とする。
※現状敷地内通路1.5m確保出来ています。	
※道路斜線制限に変更はありません。	
※隣地斜線に変更はありません。	
※今回の計画において、開発行為に該当するような形質の変更、 造成行為等はありません。	

配置図 1/400

※平成元年の増築検査済から変更はありません。

各棟面積表					
	番号	棟名	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	構造 階
申請建物	(A)	申請建物 (EV棟)	22.22	44.44	S造 2
	小 計		22.22	44.44	
既設建物	(1)	教室・特別教室・ 用務員室・給食室棟	366.57	945.19	RC造 3
	(2)	教室・特別教室・ 管理棟	667.06	1,274.89	RC造 3
	(3)	屋内運動場	576.00	576.00	RC造 1
	(4)	屋外便所	70.00	70.00	CB造 1
	(5)	倉庫	36.00	36.00	S造 1
	(6)	渡り廊下	20.00	20.00	S造 2
	(7)	渡り廊下	26.64	26.64	S造 1
	(8)	渡り廊下	51.17	51.17	S造 1
小 計			1,813.44	2,999.89	
合 計			1,835.66	3,044.33	

設 計 概 要						外 部 仕 上 表 （ 増 築 部 ）						主 要 構 造 部 関 係 ・ ・ ・ 耐 火 建 築 物 （ 増 築 部 ）											
工 事 名 称		津市立明合小学校改修工事				部 位		仕 上				部 位		仕 上				部 位		使用材料		認 定	
工 事 場 所		津市 安濃町粟加 地内				陸屋根		ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法（X-1）遮熱仕様（フッ素） 合成スラブ用デッキプレートA1. 2 ワイヤーメッシュ 6φ-150×150 コンクリート金コテ押エ ア80+50 アルミ笠木 W350（コーナー用共） オーバーフロー管（塩ビ製φ40）2か所				外 壁		屋 根		合成スラブ用デッキプレートA1. 2 デッキ高50 コンクリートア80 溶接金網：6φ-150×150		FP060FL-0100					
用 途 地 域		都市計画区域（区域区分非設定）										EXP. J		SUS製 1時間耐火仕様									
防 火 指 定		指定なし										根廻り		コンクリート打放シ補修 誘発目地@3, 000内外		延焼内		ALCア100		平12建告1399号第1ト			
そ の 他		法22条区域										建具		アルミサッシ		延焼外		ALCア100		平12建告1399号第1ト			
道 路 幅 員		4. 90m				樋		铸铁製横引ドレン φ100用 タテ樋 ：硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 掃除口 ：硬質塩化ビニル管（カラー） 掘み金物：SUS製@1200						床		合成スラブ用デッキプレートA1. 2 デッキ高50 コンクリートア80 溶接金網：6φ-150×150		FP060FL-0100					
敷 地 面 積		3, 692. 49 ㎡																					
建 築 面 積		EV増築部分		既設部分		渡り廊下⑥		渡り廊下⑥		合 計				柱		鉄骨柱 ロックウール吹付 ア25		FP060CN-9460					
		22. 22㎡		1, 033. 63㎡		51. 17㎡		20. 00㎡		1, 127. 02㎡													
延 床 面 積		EV増築部分		既設部分		渡り廊下⑥		渡り廊下⑥		合 計				梁		鉄骨梁 ロックウール吹付 ア25		FP060BM-9408					
		44. 44㎡		2, 220. 08㎡		51. 17㎡		20. 00㎡		2, 335. 69㎡													

＜ 増 築 部 ＞ 内 部 仕 上 表 No. 1

階	内装制限	室 名	床			巾木			壁			天井			廻縁	CH	室名札	備 考	
			記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上					
各階 (EV増築部)	準	EVホール	F1	モルタル金コテ押工	ビニル床シートA2.0張	FW1	ビニル巾木	100	W1	LGS下地	PBA12.5 EP塗	C1	LGS下地	化粧PBA9.5張	塩ビ	1階： 2,700 2階： 3,100	ピクト サイン	ステンレス流シ台	
		W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地															
		W3		モルタル金コテ押工 EP塗															
		W8		耐火中空二重壁② EP塗															
		EVシャフト	F2	コンクリート金コテ押工	ケイ酸質系塗布防水塗 (C-U1)	FW2	ケイ酸質系塗布防水塗 (C-U1)		W5	ALCア100表シ		――	デッキ表シ 硬質ウレタンフォームA25吹付 (ノンフロン)						
										耐火中空二重壁② 表シ									
＜特記事項＞					【シックハウス対応策】				【仕上記号略号】				【防火認定番号】			【内装制限凡例】			
・壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。 （寒冷紗・ジョイントテープ張処理）					・使用建材：F☆☆☆☆（天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共）				記号	JIS番号	名称	PB（石膏ボード）A12.5：NM-8619 ＜不燃＞			Ⓢ 仕上、下地共不燃材				
・ボード類 壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、 ジョイントコンパウンド塗とする。					・内部塗料は、F☆☆☆☆品 家具等F☆☆☆☆品				EP	K5663	合成樹脂エマルションペイント	塗料一般（EP）：NM-8585 ＜不燃＞			Ⓢ 仕上不燃材				
・土間コンクリート下は、ポリエチレンフィルムA0.15敷 （タテ、ヨコ重ね部分L=200以上とする）。					・クロルピリホス使用なし				DP	K5658	耐候性塗料塗	化粧PBA9.5：QM-0524 ＜準不燃＞			Ⓢ 仕上、下地共準不燃材以上				
・参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。															Ⓢ 仕上準不燃材以上				
・使用建築材料：特記なき限りJIS・JAS認定品を使用すること。									【記号略号】							Ⓢ 仕上難燃材以上			
・EV棟に石綿・ホルムアルデヒドの使用はないものとする。									記号	名称		【認定番号】							
・外壁面はすべて硬質ウレタンフォーム（ノンフロン）吹付A25とすること。									PB	石膏ボード	耐火中空二重壁① LGS下地 強化PBA12.5+強化PBA12.5（両面） GWア50 24kg品			耐火構造 FP060NP-0175					
									LGS	軽量鉄骨下地									
											耐火中空二重壁② LGS下地 強化PBA21+強化PBA21（片面）			耐火構造 FP060NP-0189					

特 記 事 項				 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号			代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称		設計日
					一級建築士 第360917号	一級建築士 第378328号	一級建築士 第320204号			検図	津市立明合小学校校長寿命化改修工事						
					前田 祐作	加藤 早妃	前野 将輝			図面名称		縮 尺 A2: NS A3: NS		図面番号			
												外部・内部仕上表（増築部）		A017 原図: A2			

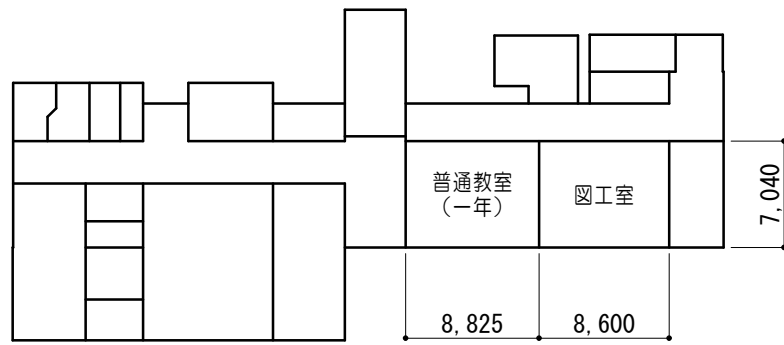
＜ 既 設 部 ＞ 外 部 仕 上 表										主要構造部関係・・・耐火建築物（既設部分）																				
部 位			仕 上			部 位			仕 上			部 位			仕 上			部 位		使用材料		認 定								
屋 上 （西・東）	改修前	平場：シート防水ア1. 5 シルバー仕上 撤去 立上：シート防水ア1. 5 シルバー仕上 撤去 モルタル塗 既設のまま 防水押工金物 撤去			1 階屋根 （北側増築部）	改修前	カラー鉄板ア0. 4 横葺 既設のまま アスファルトルーフィング 既設のまま センチュリーボードア18下地 既設のまま 雨押工：カラー鉄板ア0. 4 既設のまま			軒裏 庇裏	改修前	吹付タイル（アスベスト含有）			屋 根	鉄筋コンクリート造		耐火構造 平12建告1399号 第5第1号												
		平場：ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法（X－1）遮熱仕様（フッ素） 水洗 下地調整共 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X－2） 遮熱仕様（フッ素） 撤去跡ケレン清掃 下地調整					下地調整RB種の上DP塗					ALCア100		耐火構造 平12建告1399号 第5第6号																
3階屋根 階段室屋根	改修前	平場：シート防水ア1. 5 シルバー仕上 撤去 立上：シート防水ア1. 5 シルバー仕上 撤去 モルタル塗 既設のまま アルミ押工金物 撤去			階段室屋根 （北側増築部）	改修前	平場：ALCア100 シート防水ア1. 5 シルバー仕上 撤去 立上：シート防水ア1. 5 撤去 ラスモルタル金コテ 既設のまま 笠木：アルミ笠木 W160 取外シ			外壁	改修前	吹付タイル 撤去（アスベスト含有） CB横 既設のまま 吹付タイル 撤去（アスベスト含有） ALCア100 既設のまま 吹付タイル ALCア100 既設のまま			外 壁	耐 力 壁	鉄筋コンクリート造ア100以上	耐火構造 平12建告1399号 第1第7号												
		平場：ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法（X－1）遮熱仕様（フッ素） 水洗 下地調整共 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X－2） 遮熱仕様（フッ素） 撤去跡ケレン清掃 下地調整					下地調整塗材（C－1） 複層塗材E吹付（フッ素） 剥離剤併用手工具ケレン工法 下地調整塗材（C－1） 複層塗材E吹付（フッ素） 高圧水洗工法 モルタル金コテ押工 複層塗材E吹付（フッ素） 剥離剤併用手工具ケレン工法					間仕 壁	非耐力壁	鉄筋コンクリート造ア70以上				耐火構造 平12建告1399号 第1第3号												
屋 上 （昇降口）	改修前	平場：アスファルト系塗膜防水 撤去 立上：アスファルト系塗膜防水 撤去 モルタル塗 既設のまま 防水押工金物 撤去			庇天端	改修前	モルタル塗			根廻り	改修前			モルタル金コテ押工 既設のまま			床	鉄筋コンクリート造ア70以上		耐火構造 平12建告1399号 第1339号										
		平場：ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法（X－1）遮熱仕様（フッ素） 水洗 下地調整共 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X－2） 遮熱仕様（フッ素） 撤去跡ケレン清掃 下地調整					ウレタン塗膜防水 密着工法（X－2） 遮熱仕様（フッ素） 水洗い					改修後		水洗い		鉄筋コンクリート造		耐火構造 平12建告1399号 第2第3号口												
1 階屋根 （職員室）	改修前	平場：ALCア100 シート防水ア1. 5 シルバー仕上 撤去 立上：シート防水ア1. 5 撤去 ラスモルタル金コテ 既設のまま 笠木：アルミ笠木 W160 取外シ EXP.J（屋根－外壁）取外シ			樋	改修前	ルーフドレン：ステンレス製 φ100（タテ型）ドレン上皿 撤去 ルーフドレン：ステンレス製 φ100（ヨコ型）ドレン上皿 撤去 タテ樋：硬質塩化ビニル製φ100 DP塗（掘ミ金物φ1000）撤去 飾り枒：硬質塩化ビニル製 撤去 軒 樋：硬質塩化ビニル製 W120 撤去 タテ樋：硬質塩化ビニル製φ100 撤去			開口部	改修前	アルミ建具 一部撤去			梁	鉄筋コンクリート造		耐火構造 平12建告1399号 第2第3号ハ												
		平場：ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法（X－1）遮熱仕様（フッ素） 水洗 下地調整共 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X－2） 遮熱仕様（フッ素） 撤去跡ケレン清掃 下地調整 笠木：アルミ笠木 W160 再取付 EXP.J（屋根－外壁）再取付					ルーフドレン：ステンレス製 φ100（ヨコ型）ドレン上皿 撤去 タテ樋：硬質塩化ビニル製φ100撤去 掃除口：硬質塩化ビニル製 撤去					改修後		既設アルミサッシ：飛散防止フィルム張 （網入りガラス・強化ガラスを除く）		鉄骨梁＋ ロックウールア30吹付		耐火構造 平12建告1399号 第4第3号口												
						改修後	改修用二重ドレン：鋳鉄製 φ100（タテ型） 改修用二重ドレン：鋳鉄製 φ100（ヨコ型） タテ樋：硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 飾り枒：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100用 軒 樋：硬質塩化ビニル製 W120 タテ樋：硬質塩化ビニル製 φ100			タラップ 手すり	改修前	塗装仕上			階 段	鉄筋コンクリート造		耐火構造 平12建告1399号 第6第1号												
							改修用二重ドレン：鋳鉄製 φ100（ヨコ型） タテ樋：硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 掃除口：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100用					改修後		下地調整RB種の上 DP塗		鉄骨造		耐火構造 平12建告1399号 第6第4号												
＜ 既 設 部 ＞ 内 部 仕 上 表 No. 1																														
階	上段：既設室名			床				巾木				壁				天井		廻縁	CH	室名札	備 考									
	下段：改修後室名		記号	下地		仕上		記号	仕上		H	記号	下地		仕上		記号					下地		仕上						
1 階	玄関・ホール 廊下		モルタル金コテ下地 既設のまま モルタル下地 既設のまま		Pタイルア3. 0張 既設のまま 100角タイル張 既設のまま			木製巾木 OP塗 既設のまま 100角タイル張 既設のまま		100		モルタル下地 既設のまま		AEP塗 既設のまま			LGS下地 既設のまま		化粧PBア9張 既設のまま		塩ビ 既設	2, 960 3, 080								
					―――			木製巾木 EP－G塗 既設のまま		100	W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地		C2	―――								揭示板クロス張替						
	通用口		モルタル金コテ仕上 既設のまま 真鍮目地		ソフト巾木 既設のまま		100		モルタル金コテ下地 既設のまま LGS下地 既設のまま			AEP塗 既設のまま ラスモルタル下地 AEP塗 既設のまま			LGS下地 既設のまま LGS下地 既設のまま		化粧PBア9張 既設のまま ケイカル板ア6 AEP塗 既設のまま		塩ビ 既設	2, 960										
					―――			―――			W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地		C2 C4	下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板														
	昇降口 出入口		モルタル金コテ下地 既設のまま モルタル下地 既設のまま		Pタイルア3. 0張 既設のまま 100角タイル張 既設のまま		100		木製巾木 OP塗 既設のまま 100角タイル張 既設のまま		100		モルタル下地 既設のまま		AEP塗 既設のまま			木組下地 既設のまま		ケイカル板ア6 AEP塗 既設のまま		塩ビ 既設	2, 960 3, 060							
					―――			木製巾木 EP－G塗 既設のまま		100	W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地		C4	下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板														
	多目的便所		土間コンクリート 一部撤去		ビニル床シートア2. 5張 撤去		100		ビニル巾木 撤去		100		LGS下地 既設のまま		AEP塗 既設のまま PBア12. 5 目透シ張 NAD塗 既設のまま			LGS下地 既設のまま		化粧PBア9. 5張 一部撤去		塩ビ 既設	2, 350	○						
		F3	土間コンクリート		ビニル床シートア2. 0張			FW4 床同材巻上		200			―――		C6	既設下地		化粧PBア9. 5張		塩ビ										
	校長室		モルタル金コテ下地 既設のまま		カーベット敷 既設のまま		100		木製巾木 OP塗 既設のまま		100		LGS下地 既設のまま モルタル金コテ下地 既設のまま		ビニルクロス張 既設のまま PBア12. 5 既設のまま			LGS下地 既設のまま		化粧PBア9張 既設のまま		塩ビ 既設	2, 800	○						
	職員室		モルタル金コテ下地 既設のまま		フローリングブロック張 塗装品 既設のまま		100		木製巾木 OP塗 既設のまま		100		LGS下地 既設のまま		ラワン合板ア5. 5 目透シ張 OP塗 既設のまま			LGS下地 既設のまま		化粧PBア9張 既設のまま		塩ビ 既設	2, 805 2, 905	○						
	湯沸室		モルタル金コテ下地 既設のまま		Pタイルア3. 0張 既設のまま		100		ソフト巾木 既設のまま		100		モルタル金コテ下地 既設のまま LGS下地 既設のまま		AEP塗 既設のまま ラスモルタル下地 AEP塗 既設のまま			LGS下地 既設のまま		化粧PBア9張 既設のまま		塩ビ 既設	2, 500							
	放送室 スタジオ		モルタル金コテ下地 既設のまま		カーベット敷 既設のまま		100		木製巾木 OP塗 既設のまま		100		LGS下地 既設のまま		有孔シナ合板ア6 目透シ張 OP塗 既設のまま			LGS下地 既設のまま		化粧PBア9張 既設のまま		塩ビ 既設	2, 800	○						
	保健室		モルタル金コテ下地 既設のまま		フローリングブロック張 塗装品 既設のまま		100		木製巾木 OP塗 既設のまま		100		モルタル金コテ下地 既設のまま LGS下地 既設のまま		AEP塗 既設のまま ラワン合板ア5. 5 目透シ張 OP塗 既設のまま			LGS下地 既設のまま		化粧PBア9張 既設のまま		塩ビ 既設	2, 800	○						
特 記 事 項							一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 MAENO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝						代表設計者 一級建築士 第378328号 前田 祐作		設計担当 一級建築士 第320204号 加藤 早紀		設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝		設計担当		設計担当		法適合確認		作図		工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事		設計日	
																		検図		図面名称 改修前 改修後 外部・内部仕上表No. 1（既設部）		縮 尺 A2: NS A3: NS A018 原図: A2		図面番号						

＜ 既 設 部 ＞ 内 部 仕 上 表 No. 2																		
階	上段：既設室名	床			巾木			壁			天井			廻縁	CH	室名札	備 考	
	下段：改修後室名	記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	既設のまま 下地	既設のまま 仕上	記号	下地	仕上					
1階	印刷室		モルタル金コテ下地 既設のまま	PタイルA3、0張 既設のまま		ソフト巾木 既設のまま	100		モルタル金コテ下地 既設のまま LGS下地	AEP塗 既設のまま ラスモルタル下地 AEP塗		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9張 既設のまま	塩ビ 既設	2,400	○		
	物置		モルタル金コテ下地 既設のまま	フローリング張 塗装品 既設のまま タタミ敷 既設のまま		木製巾木 OP塗 既設のまま	100		モルタル金コテ下地 既設のまま LGS下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま ケイカル板A6 目透シ張 VP塗 既設のまま PBA12、5 既設のまま		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9張 既設のまま	塩ビ 既設		○		
	図工準備室		モルタル金コテ下地 既設のまま	PタイルA3、0張 既設のまま		ソフト巾木 既設のまま	100			ALC 吹付タイル 既設のまま			段裏表シ OP塗 既設のまま					
	職員男子便所		下地調整材塗（カチオン系） 既設のまま	エポキシ樹脂系塗床塗 既設のまま		ビニル巾木 既設のまま	60		モルタル金コテ下地 既設のまま モルタル下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま 半磁器質100角タイル張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9、5張	塩ビ 既設	2,350	○		
	職員女子便所		下地調整材塗（カチオン系） 既設のまま	エポキシ樹脂系塗床塗 既設のまま		ビニル巾木 既設のまま	60		モルタル金コテ下地 既設のまま モルタル下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま 半磁器質100角タイル張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9、5張	塩ビ 既設	2,350	○		
	女子更衣室			ビニル床シートA2、5張 既設のまま		ビニル巾木 既設のまま	60		モルタル金コテ下地 既設のまま 木組下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま PBA12、5 目透シ張 NAD塗 既設のまま		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9、5張 既設のまま	塩ビ 既設	2,350	○		
2階	パソコン室		モルタル金コテ下地 既設のまま	フローリング張 塗装品 既設のまま		木製巾木 OP塗 一部撤去	100		モルタル金コテ下地 既設のまま 木組下地 撤去	AEP塗 既設のまま ラスモルタル下地 AEP塗 撤去		木組下地 既設のまま	化粧PBA9張 一部撤去	塩ビ 一部 撤去	3,120	○	CB 一部撤去	
	準備室		モルタル金コテ下地 一部撤去			木製巾木 OP塗 撤去	100		木組下地 既設のまま モルタル金コテ下地 既設のまま 木組下地 撤去	AEP塗 既設のまま ラスモルタル下地 AEP塗 撤去		木組下地 撤去	ケイカル板A6 AEP塗 撤去	塩ビ 撤去	3,120	○		
	パソコン室 準備室				FW1	ビニル巾木	100	W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地	C2		―――		3,120	○	CB 下地調整RB種の上 EP-G塗	
					FW3	下地調整RB種の上 EP-G塗	100	W6		耐火中空二重壁① EP塗								
								W7		下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板	C3	既設下地	化粧PBA9、5 EP塗	塩ビ				
	多目的WC	F4		ビニル床シートA2、0張	FW4	床同材巻上	200	W1	LGS下地	PBA12、5 EP塗					2,500	○ ビクト サイン		
	階段ホール		モルタル金コテ下地 既設のまま	PタイルA2、3張 既設のまま		ソフト巾木 既設のまま	100		モルタル金コテ下地 既設のまま 木組下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま PBA12 AEP塗 既設のまま		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9張 既設のまま	塩ビ 一部 撤去	2,400			
								W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地	C2		既設のまま		2,400			
1・2階	廊下		モルタル金コテ下地 一部撤去 コンクリート下地 一部撤去	PタイルA3、0張 一部撤去		テラソ巾木 一部撤去	100		木組下地 既設のまま コンクリート下地 一部撤去	ラスモルタル下地 AEP塗 既設のまま モルタル金コテ下地 AEP塗 一部撤去		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9張 一部撤去	塩ビ 既設	1階： 2,945 2階： 2,960 3,100			
		F5	モルタル金コテ押工	ビニル床タイルA3、0張	FW1	ビニル巾木	100	W1	LGS下地	PBA12、5 EP塗	C1	LGS下地	化粧PBA9、5張					
								W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地	C2		―――					
	廊下				FW3	下地調整RB種の上 EP-G塗	100	W3		モルタル金コテ押工 EP塗				塩ビ	1階： 2,945 2階： 3,100		掲示板クロス張替	
		F6		ビニル床タイルA3、0張 下地調整RB種の上				W6		耐火中空二重壁① EP塗	C3	既設下地	化粧PBA9、5張					
					FW5	ビニル巾木 モルタル金コテ押工	100	W8		耐火中空二重壁② EP塗	C4		下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板					
								W9		下地調整RB種の上 EP塗 既設PB下地				C8	既設下地	ケイカル板A6 EP塗		
								W10		下地調整RB種の上 EP塗 既設ケイカル板								
3階	特別活動室		木組下地 既設のまま	フローリング張 塗装品 既設のまま		木製巾木 OP塗 既設のまま	100		モルタル下地 既設のまま 木組下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま ラスモルタル下地 AEP塗 既設のまま			化粧PBA9張 既設のまま	塩ビ 既設	3,100			
	廊下		モルタル金コテ下地 既設のまま	PタイルA3、0張 既設のまま		ソフト巾木 撤去	100		木組下地 既設のまま モルタル下地 既設のまま	ラスモルタル下地 AEP塗 既設のまま AEP塗 既設のまま		木組下地 既設のまま	既設ケイカル板 AEP塗 既設のまま	塩ビ 既設	2,850			
							ビニル巾木	100	W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地	C4		下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板		2,850		掲示板クロス張替
								W9		下地調整RB種の上 EP塗 既設PB下地								
特 記 事 項								一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
														概図	図面名称 改修前 改修後 内部仕上表No.2（既設部）	縮 尺 A2: NS A3: NS	図面番号 A019 原図: A2	

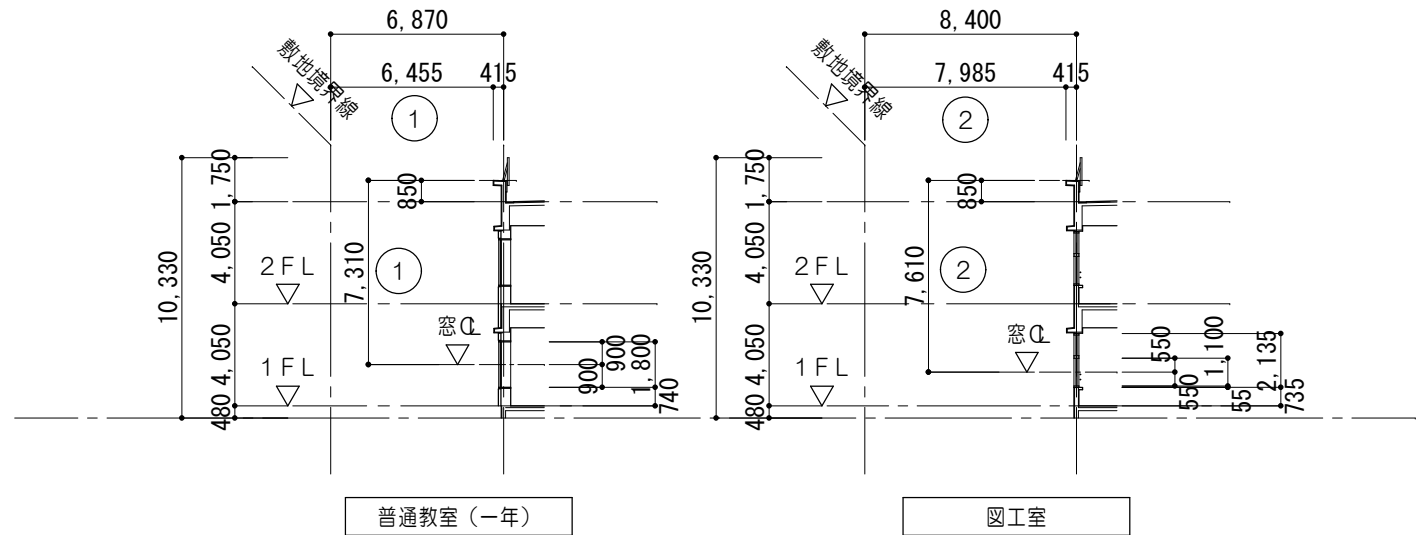
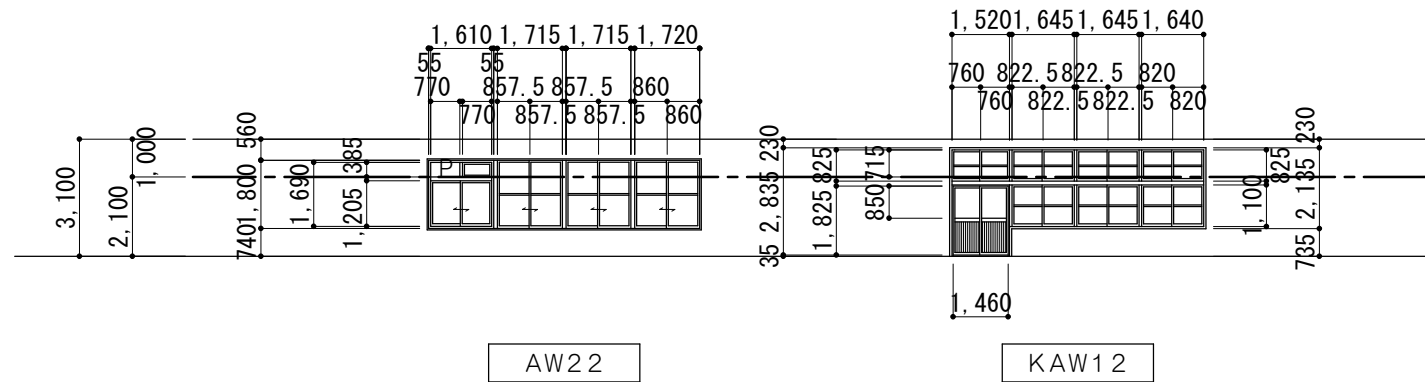
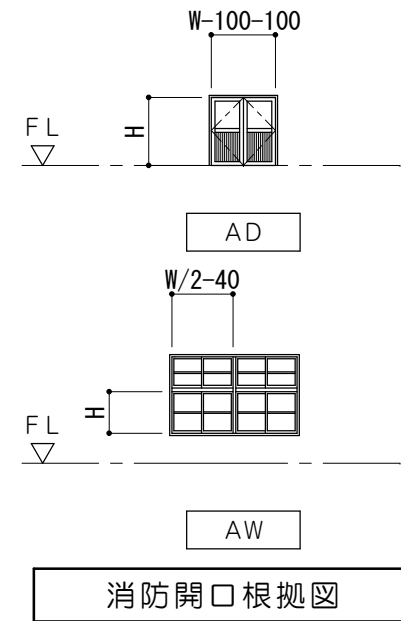
＜ 既 設 部 ＞ 内 部 仕 上 表 No. 3																
階	上段：既設室名	床				巾木			壁		天井		廻縁	CH	室名札	備 考
	下段：改修後室名	記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地				
各階共通	普通教室（一年） 普通教室（二年） 普通教室（三年） 普通教室（四年） 図工室 たんぽぽ教室	木組下地 既設のまま	フローリング張 塗装品 既設のまま	木製巾木 OP塗 既設のまま	100			モルタル金コテ下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま		LGSD下地（1階） 既設のまま	化粧PBア9張 既設のまま	塩ビ 既設	3,120 （四年） 3,100 （他）	○	カーレンレール（シングル）取外シ CB 既設のまま
								木組下地 既設のまま	ケイカル板ア6 目透シ張 VP塗 既設のまま PBア12.5 既設のまま		木組下地（2階） 既設のまま	化粧PBア9張 一部撤去				
			FW1	ビニル巾木	100	W1	LGSD下地	PBア12.5 EP塗	C2					カーレンレール（シングル）再取付 CB 下地調整RB種の上 EP-G塗 掲示板クロス張替		
						W2	下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地									
						W7	下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板	C3							既設下地	化粧PBア9.5 EP塗
	W10	下地調整RB種の上 EP塗 既設ケイカル板														
	階段室	モルタル金コテ下地 既設のまま	塗床 既設のまま					モルタル金コテ下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま		木組下地 既設のまま	段裏表シ OP塗 既設のまま 既設ケイカル板 AEP塗 既設のまま	塩ビ 既設			
								PB下地 AEP塗	化粧PBア9張 既設のまま							
							W2	下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地		C2						掲示板クロス張替
							W9	下地調整RB種の上 EP塗 既設PB下地	C4		下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板	C5				
	東階段室	モルタル金コテ下地 既設のまま	PTailア2.3張 既設のまま			100		モルタル金コテ下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま		LGSD下地 既設のまま	化粧PBア9張 既設のまま	塩ビ 既設			
							スチール巾木 OP塗 既設のまま		W2	下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル金コテ下地	C2					
						W9	下地調整RB種の上 EP塗 既設PB下地									

＜特記事項＞				【シックハウス対応策】			【記号略号】		【防火認定番号】			
・壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。 （寒冷紗・ジョイントテープ張処理）				・WC内手摺は設備工事（下地補強建築工事）とする。			・使用建材：F☆☆☆☆品 （天井、壁、家具、建具仕上材、接着剤、下地共）		記号	名称	PB（石膏ボード）ア12.5：NM-8619 ＜不燃＞	
・ボード類 壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、 ジョイントコンパウンド塗とする。				・参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。			・内部塗料は、F☆☆☆☆品 家具等F☆☆☆☆品		PB	石膏ボード	化粧PBア9.5：QM-9824 ＜準不燃＞	
・特記なき床ステンレス巻摺は、 SUS304□7-40×20×2（HL仕上）とする。 また、床仕上が異なる部分には、床ステンレス巻摺を入れること。				・使用建築材料：特記なき限りJIS・JAS認定品を使用すること。			・クロルピリホス使用なし		LGSD	軽量鉄骨下地	塗料一般（EP）：NM-8585 ＜不燃＞	
				・既設教室・特別教室・用務員室・給食室棟、教室・特別教室・管理棟に 石綿・ホルムアルデヒドの使用はないものとする。			【仕上記号略号】		【認定番号】			
・ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。				・耐火中空二重壁の端部は耐火シール充填とすること。			記号	JIS番号	名称	耐火中空二重壁① LGSD下地 強化PBア12.5+強化PBア12.5（両面） GWア50 24kg品	耐火構造 FP060NP-0175	
・床と巾木は床勝ちの納まりとすること。				・施工範囲外かつ、法的に制限のない室については記載を省略する。			EP	K5663	合成樹脂エマルジョンペイント			
・下地調整RB種の既存塗膜の除去範囲は、劣化部分は除去し、活膜部分は残すこと。 ただし、木部の透明塗りの場合は既存塗膜を前面除去する。				・タテ樋の組み金物はSUS製@1200とすること。			EP-G	K5663 K5660	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	耐火中空二重壁② LGSD下地 強化PBア21+強化PBア21（片面）	耐火構造 FP060NP-0189	
				・CL塗（クリヤラッカー）は水性とすること。			DP	K5659	耐候性塗料（鉄鋼面）			
							SOP	K5516	合成樹脂調合ペイント			

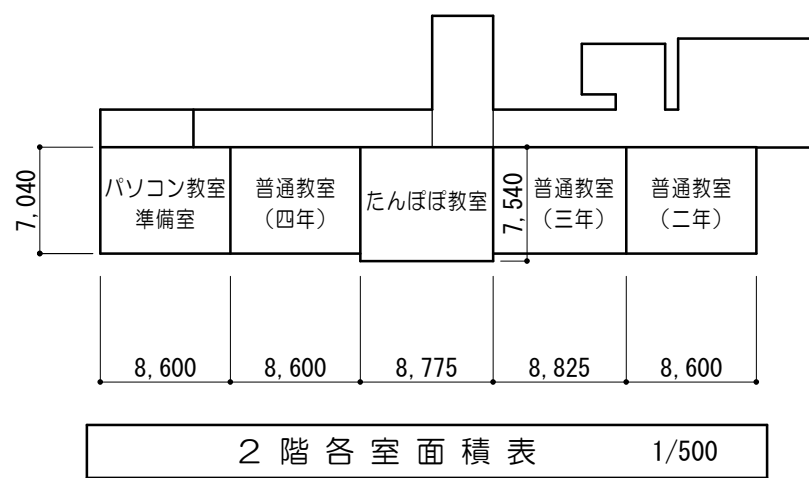
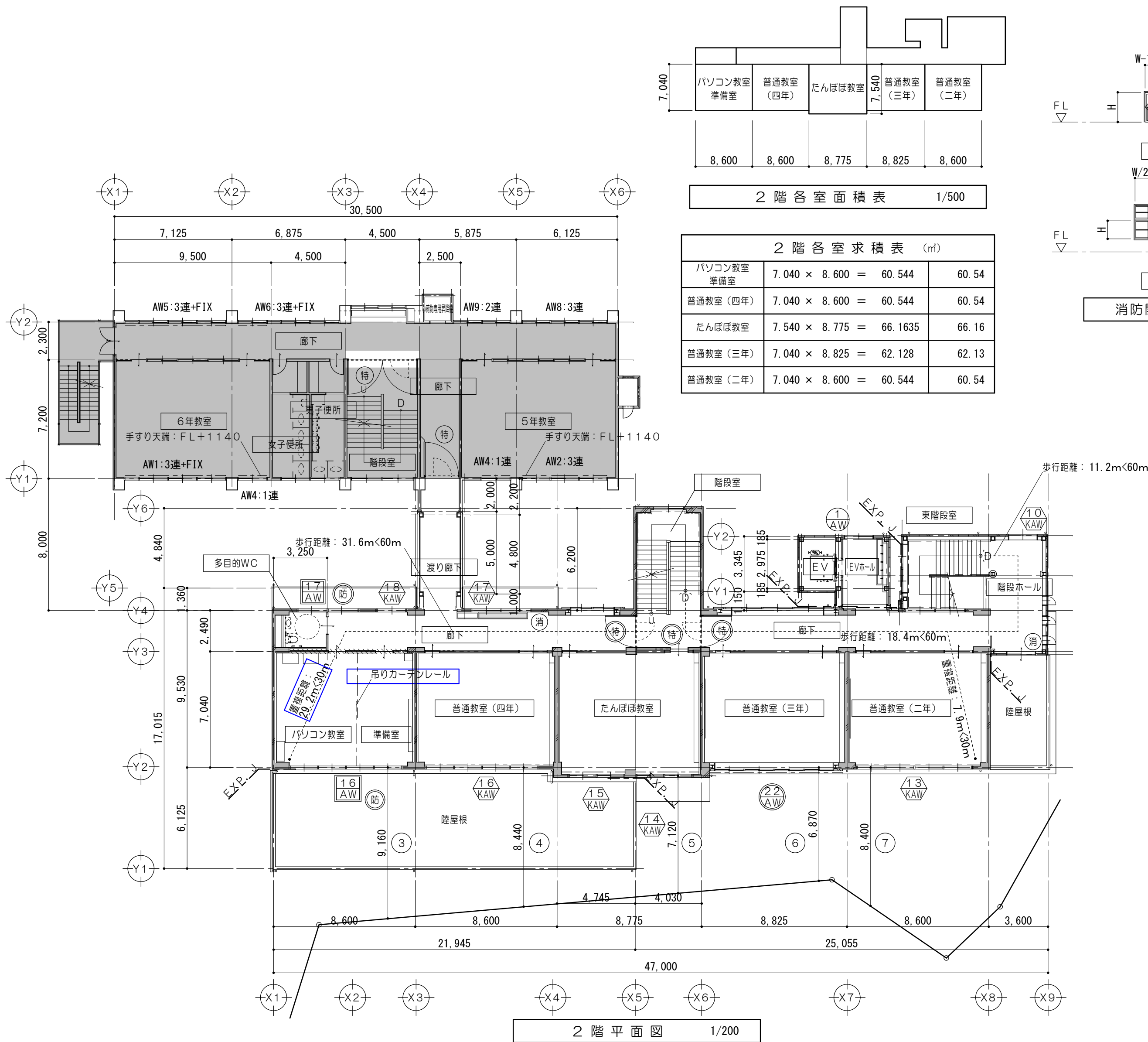
特 記 事 項	MAINO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀 設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝 設計担当 設計担当 法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
		検図	図面名称 改修前 改修後 内部仕上表No.3（既設部） 縮 尺 A2: NS A3: NS	図面番号 A020 原図: A2



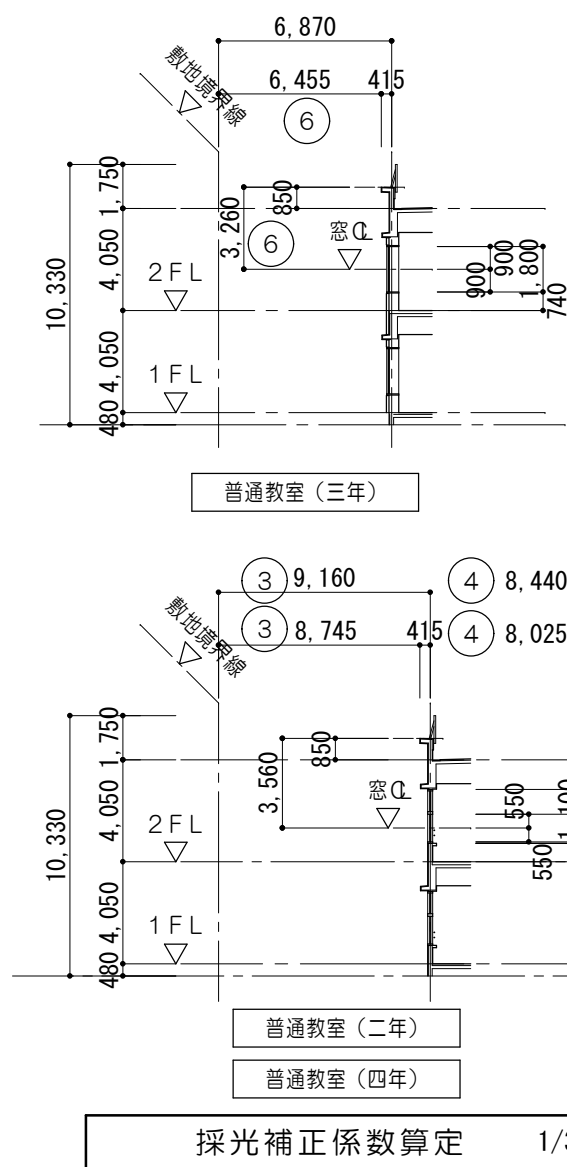
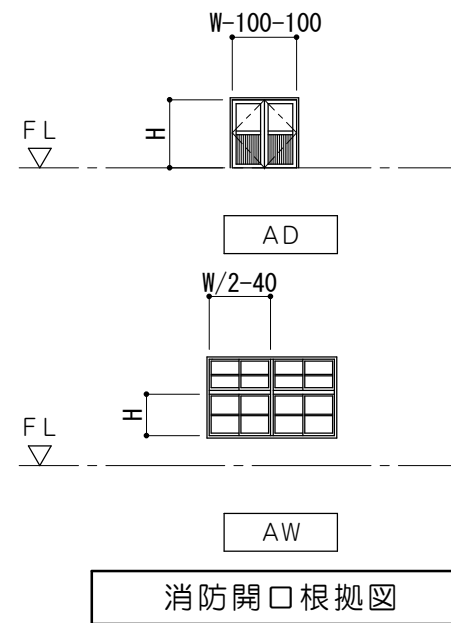
1 階各室求積表 (㎡)		
普通教室 (一年)	7.040 × 8.825 =	62.128
図工室	7.040 × 8.600 =	60.544



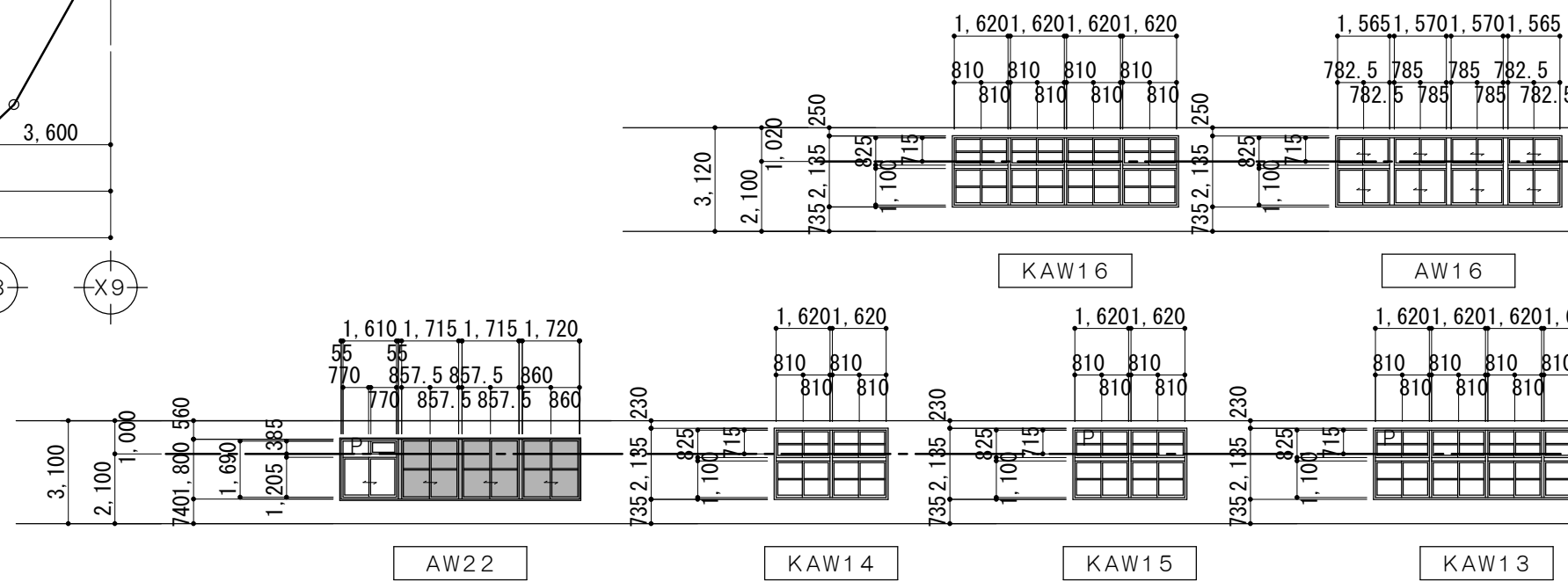
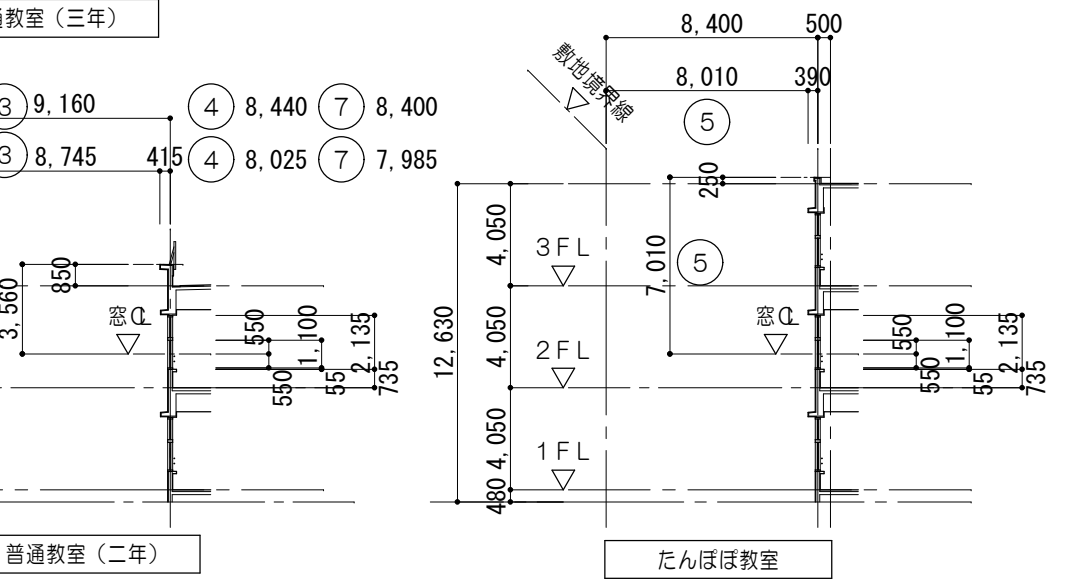
1 階 消防無窓階の検討		
必要面積	有効面積	判定
1,043.25/30 =34.78	■教室・特別教室・管理棟	OK
	KAD1 0.81 × 2.00 × 1 = 1.62	
	KAD3 1.10 × 2.00 × 1 = 2.20	
	KAD4 1.40 × 2.20 × 1 = 3.08	
	KAD7 1.00 × 2.00 × 1 = 2.00	
	KAD8 1.50 × 1.80 × 1 = 2.70	
	KAD9 1.60 × 2.01 × 1 = 3.21	
	KAD10 1.70 × 2.00 × 1 = 3.40	
	KAW12 0.7825 × 1.10 × 2 = 1.72	
	0.78 × 1.10 × 1 = 0.85	
	0.69 × 1.825 × 1 = 1.25	
	■教室・特別教室・用務員室・給食室棟	
	AD1 0.81 × 2.00 × 1 = 1.62	
	AW1 0.81 × 1.10 × 3 × 2 = 5.34	
	AW3 0.816 × 1.10 × 2 = 1.79	
	AW4 0.81 × 1.10 × 1 = 0.89	
	AW7 0.816 × 1.50 × 2 = 2.44	
	SD1 1.60 × 2.00 × 1 = 3.20	
TOTAL		37.31
(註記) 消防法上の無窓階計算に算入する建具について ・建物内側から鍵を用いずに手動開放可能とする ・引き残し等を除いた実際の有効開口部分で算定したものとする ・鍵付き制限ストッパーは設置しない ・消防無窓階の検討に使用する窓にかかる手すり、床面よりH1200以下とする ただし、教室・特別教室・用務員室・給食室棟の3階音楽室は一部H1200を超えるため除く		

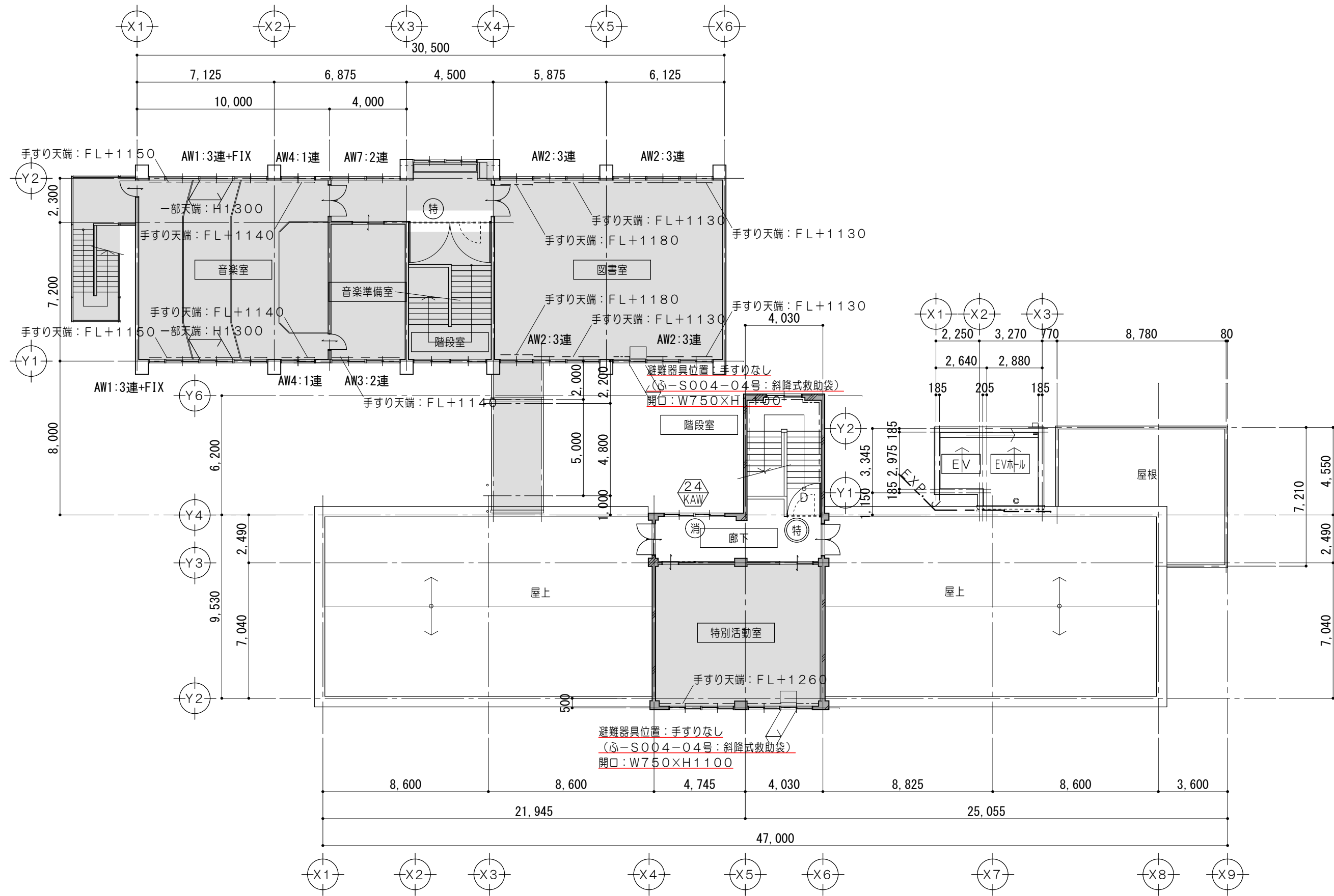


2階各室求積表 (㎡)			
パソコン教室準備室	7.040 × 8.600	=	60.544
普通教室 (四年)	7.040 × 8.600	=	60.544
たんぼ教室	7.540 × 8.775	=	66.1635
普通教室 (三年)	7.040 × 8.825	=	62.128
普通教室 (二年)	7.040 × 8.600	=	60.544



2階 消防無窓階の検討				
必要面積	有効面積	判定		
831.47/30 =27.72	■教室・特別教室・管理棟	OK		
	AW1		$0.81 \times 1.30 \times 1 = 1.05$	
	AW16		$0.745 \times 1.10 \times 2 = 1.63$	
			$0.7425 \times 1.10 \times 2 = 1.63$	
	AW17		$0.745 \times 1.10 \times 1 = 0.81$	
			$0.7425 \times 1.10 \times 1 = 0.81$	
	KAW10		$0.81 \times 1.26 \times 1 = 1.02$	
	KAW17		$0.835 \times 1.19 \times 2 = 1.98$	
	KAW18		$0.81 \times 1.19 \times 1 = 0.96$	
	■教室・特別教室・用務員室・給食室棟			
	AW1		$0.81 \times 0.86 \times 3 = 2.08$	
	AW2		$0.7875 \times 0.86 \times 3 = 2.03$	
	AW4		$0.81 \times 0.86 \times 2 = 1.39$	
	AW5		$0.81 \times 1.50 \times 3 = 3.64$	
	AW6		$0.81 \times 1.50 \times 1 = 1.21$	
			$0.816 \times 1.50 \times 2 = 2.44$	
	AW8		$0.7875 \times 1.50 \times 3 = 3.54$	
	AW9		$0.7935 \times 1.50 \times 2 = 2.38$	
	TOTAL		28.60	
	(註記) 消防法上の無窓階計算に算入する建具について			
	・建物内側から鍵を用いずに手動開放可能とする			
	・引き残し等を除いた実際の有効開口部分で算定したものとする			
・鍵付き制限ストッパーは設置しない				
・消防無窓階の検討に使用する窓にかかの手すりは、床面よりH1200以下とする				
ただし、教室・特別教室・用務員室・給食室棟の3階音楽室は一部H1200を超えるため除く				



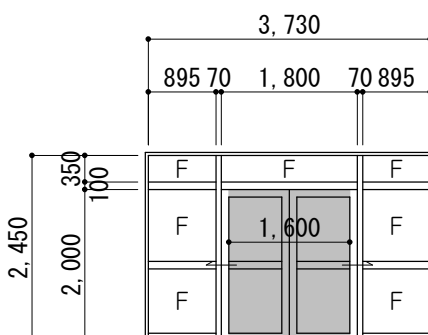
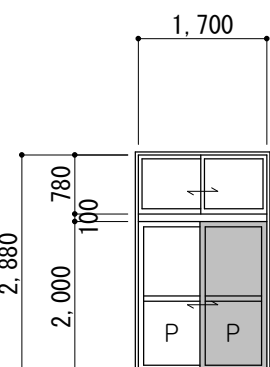
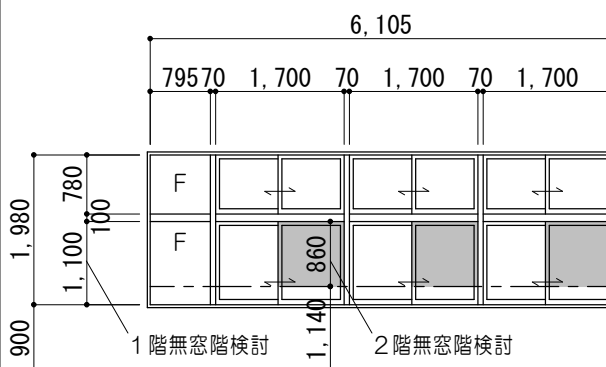
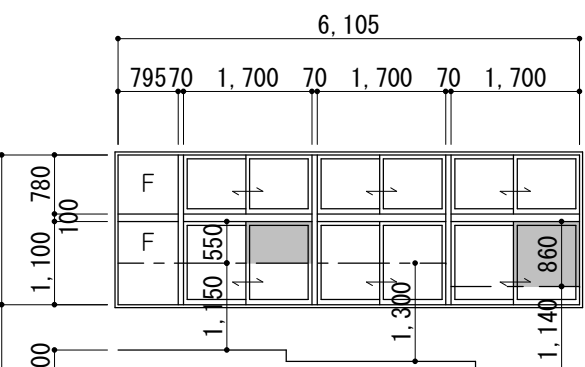
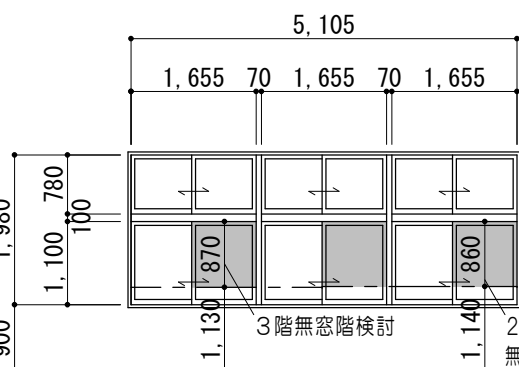
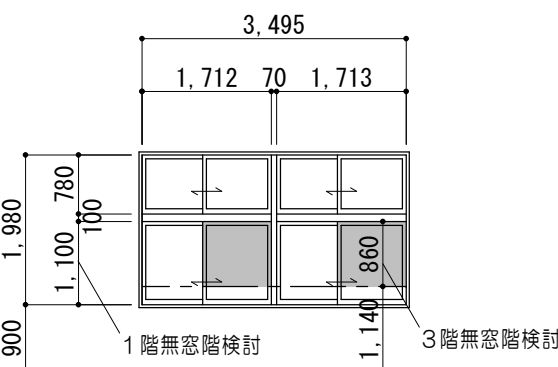
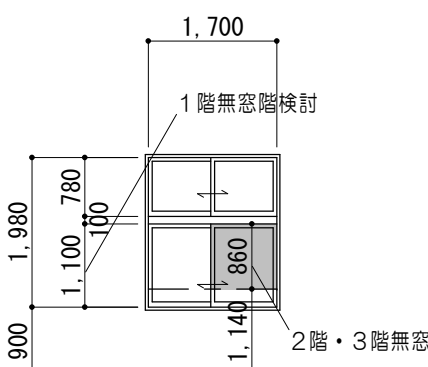
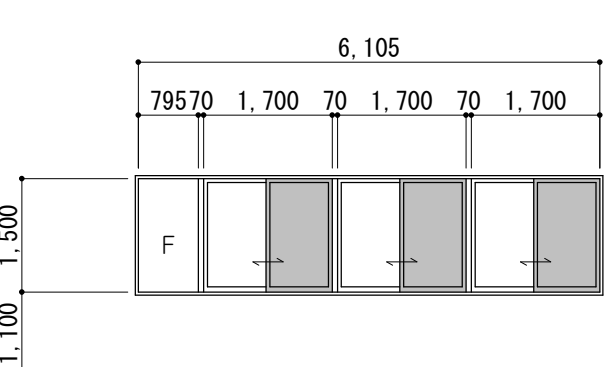
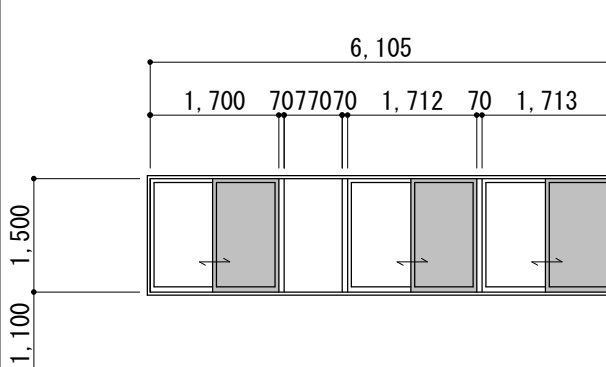
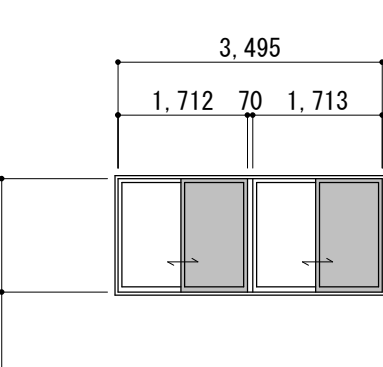
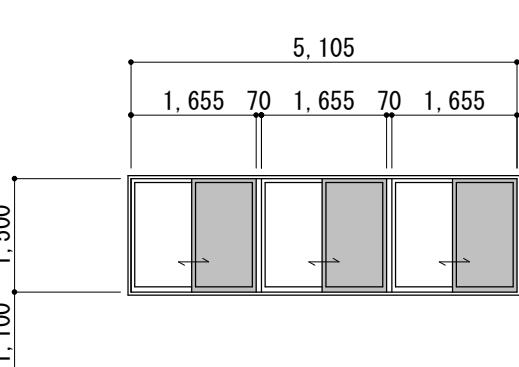
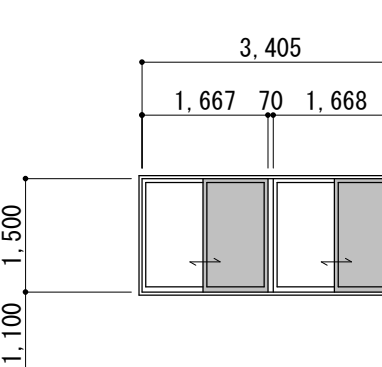


3 階 平 面 図 1/200

3 階 消防無窓階の検討		
必要面積	有効面積	判定
409.80/30 =13.67	■教室・特別教室・管理棟 KAW24 0.72×1.20×2＝1.72	OK
	■教室・特別教室・用務員室・給食室棟 AW1 0.81×0.55×1×2＝0.89	
	AW1 0.81×0.86×1×2＝1.39	
	AW2 0.7875×0.87×3×4＝8.22	
	AW3 0.816×0.86×2＝1.40	
	AW4 0.81×0.86×2＝1.39	
	AW7 0.816×1.10×2＝1.79	
	TOTAL 16.80	
（註記）消防法上の無窓階計算に算入する建具について ・建物内側から鍵を用いずに手動開放可能とする ・引き残し等を除いた実際の有効開口部分で算定したものとする ・錠付き制限ストッパーは設置しない ・消防無窓階の検討に使用する窓にかかるとする、床面よりH1200以下とする ただし、教室・特別教室・用務員室・給食室棟の3階音楽室は一部H1200を超えるため除く		

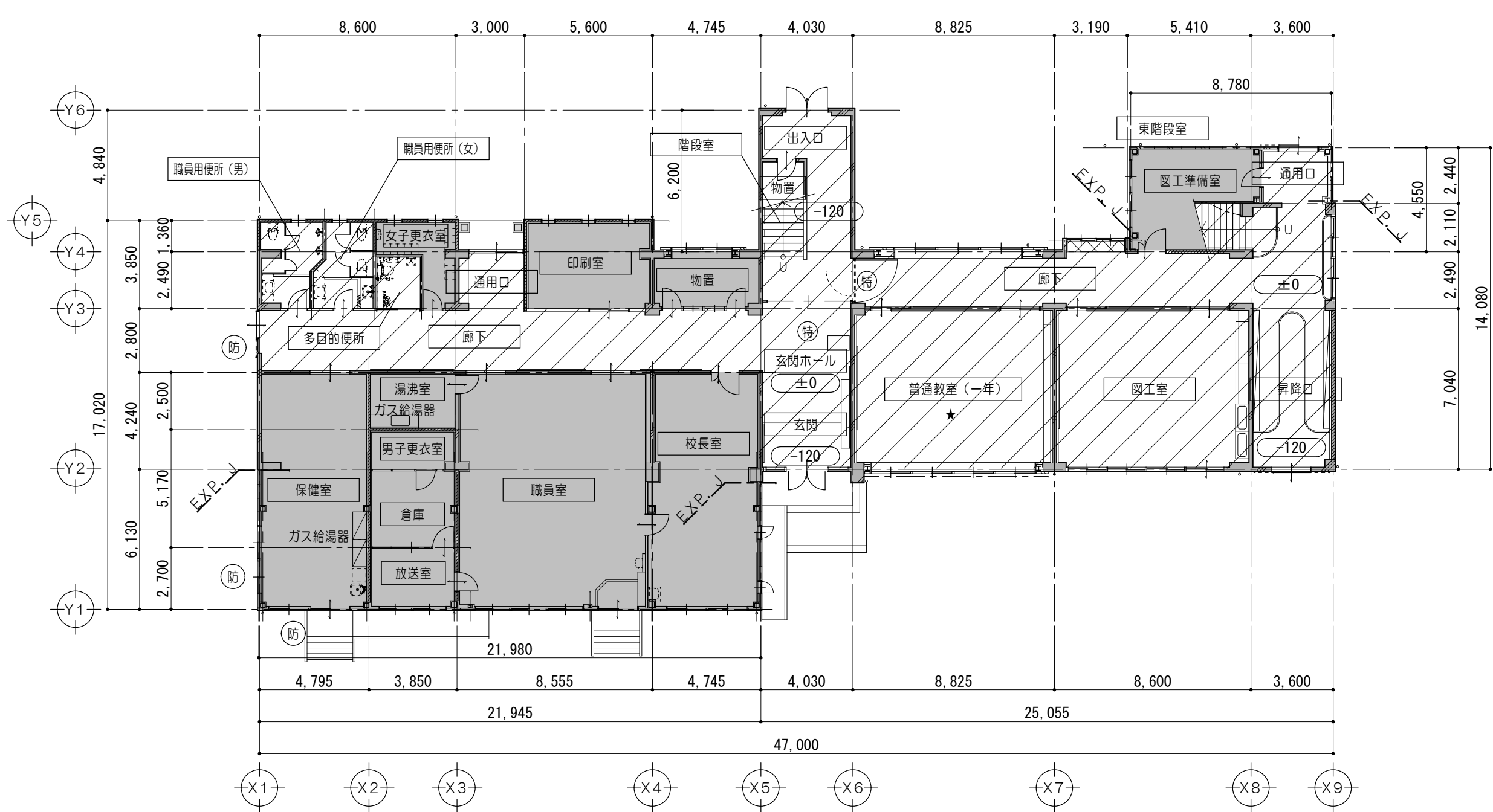
1 階 法 規 チェックリスト																
採 光 算 定 表								換 気 算 定 表					排 煙 算 定 表			
室 名	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	窓記号	窓の種類	有効採光面積	指定なし D/H×10-1	判 定	必要換気面積 (㎡)	窓記号	有効換気面積	判 定	必要排煙面積 (㎡)	窓記号	有効排煙面積	判 定	
		室面積×係数						室面積×係数				室面積×係数				
普通教室 (一年)	62.13	62.13 × 1/5 = 12.43	AW22	引違い窓	1.720×1.800×1=3.09 1.715×1.800×2=6.17 1.610×1.205×1=1.94 ■11.20×3 (採光補正係数)=33.60	①	6.455/7.310×10-1=7.83 →3.0 (算定値)	OK	62.13 × 1/20 = 3.11	AW22	0.860 ×1.800×1=1.54 0.8575×1.800×2=3.08 0.770 ×1.205×1=0.92	OK	62.13 × 1/50 = 1.24	AW22	0.860 ×0.440×1=0.37 0.8575×0.440×2=0.75 0.770 ×0.385×1=0.29	OK
図工室	60.54	60.54 × 1/5 = 12.11	KAW12	引違い窓	1.460×0.850×1=1.24 1.520×0.825×1=1.25 1.645×1.100×2=3.61 1.645×0.825×2=2.71 1.640×1.100×1=1.80 1.640×0.825×1=1.35 ■11.96×3 (採光補正係数)=35.88	②	7.985/7.610×10-1=9.49 →3.0 (算定値)	OK	60.54 × 1/20 = 3.03	KAW12	0.730 ×1.825×1=1.33 0.760 ×0.825×1=0.62 0.8225×1.100×2=1.80 0.8225×0.825×2=1.35 0.820 ×1.100×1=0.90 0.820 ×0.825×1=0.67	OK	60.54 × 1/50 = 1.21	KAW12	0.760 ×0.715×1=0.54 0.8225×0.715×2=1.17 0.820 ×0.715×1=0.58	OK

2 階 法 規 チェックリスト																	
採 光 算 定 表								換 気 算 定 表					排 煙 算 定 表				
室 名	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	窓記号	窓の種類	有効採光面積	指定なし D/H×10-1	判 定	必要換気面積 (㎡)	窓記号	有効換気面積	判 定	必要排煙面積 (㎡)	窓記号	有効排煙面積	判 定		
		室面積×係数						室面積×係数				室面積×係数					
パソコン教室 準備室	60.54	60.54 × 1/5 = 12.11	AW16	引違い窓	1.565×1.100×2=3.44 1.565×0.825×2=2.58 1.570×1.100×2=3.45 1.570×0.825×2=2.59 ■12.06×3 (採光補正係数) =36.18	③	OK	60.54 × 1/20 = 3.03	AW16	0.7825×1.100×2=1.72 0.7825×0.825×2=1.29 0.785 ×1.100×2=1.72 0.785 ×0.825×2=1.29	6.02	OK	60.54 × 1/50 = 1.21	AW16	0.7825×0.715×2=1.11 0.785 ×0.715×2=1.12	2.23	OK
普通教室 (四年)	60.54	60.54 × 1/5 = 12.11	KAW16	引違い窓	1.620×1.100×4=7.12 1.620×0.825×4=5.34 ■12.46×3 (採光補正係数) =37.38	④	OK	60.54 × 1/20 = 3.03	KAW16	0.810×1.100×4=3.56 0.810×0.825×4=2.67	6.23	OK	60.54 × 1/50 = 1.21	KAW16	0.810×0.715×4=2.31	OK	
たんぼぼ教室	66.16	66.16 × 1/5 = 13.23	KAW14 KAW15	引違い窓	1.620×1.100×4=7.12 1.620×0.825×4=5.34 ■12.46×3 (採光補正係数) =37.38	⑤	OK	66.16 × 1/20 = 3.31	KAW14 KAW15	0.810×1.100×4=3.56 0.810×0.825×3=2.00	5.56	OK	66.16 × 1/50 = 1.32	KAW14 KAW15	0.810×0.715×3=1.73	OK	
普通教室 (三年)	62.13	62.13 × 1/5 = 12.43	AW22	引違い窓	1.720×1.800×1=3.09 1.715×1.800×2=6.17 1.610×1.205×1=1.94 ■11.20×3 (採光補正係数) =33.60	⑥	OK	62.13 × 1/20 = 3.11	AW22	0.860 ×1.800×1=1.54 0.8575×1.800×2=3.08 0.770 ×1.205×1=0.92	5.54	OK	62.13 × 1/50 = 1.24	AW22	0.860 ×0.440×1=0.37 0.8575×0.440×2=0.75 0.770 ×0.385×1=0.29	1.41	OK
普通教室 (二年)	60.54	60.54 × 1/5 = 12.11	KAW13	引違い窓	1.620×1.100×4=7.12 1.620×0.825×4=5.34 ■12.46×3 (採光補正係数) =37.38	⑦	OK	60.54 × 1/20 = 3.03	KAW13	0.810×1.100×4=3.56 0.810×0.825×3=2.00	5.56	OK	60.54 × 1/50 = 1.21	KAW13	0.810×0.715×3=1.73	OK	

既 設 建 具 表 （ 教 室 ・ 特 別 教 室 ・ 用 務 員 室 ・ 給 食 室 棟 ）																		1/100 ※  消防無窓階検討範囲を示す																								
符 号 名 称 数 量	① SD		袖・ランマF I X付 引分スチールドア		1		① AD		ランマ引違い付引違いアルミサッシ		1		① AW		ランマ引違い・袖F I X付 3連引違いアルミサッシ		3		① AW		ランマ引違い・袖F I X付 3連引違いアルミサッシ		2		② AW		ランマ引違い付3連引違いアルミサッシ		5		③ AW		ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ		2							
姿 図																																										
見 込 硝 子			100 40		一 般：フロート6. 8 ランマ：フロートα3		70		フロートα3 アルミパネルα3		70		フロートα3		70		フロートα3		70		フロートα3		70		フロートα3		70		フロートα3		70		フロートα3									
室 名			1階：玄関				1階：理科室				1階：理科室 2階：6年教室				3階：音楽室				2階：5年教室 3階：図書室				1階：理科準備室 3階：音楽準備室																			
符 号 名 称 数 量	④ AW		ランマ引違い付引違いアルミサッシ		5		⑤ AW		袖F I X付3連引違いアルミサッシ		1		⑥ AW		袖F I X付3連引違いアルミサッシ		1		⑥ AW		袖F I X付3連引違いアルミサッシ		2		⑦ AW		2連引違いアルミサッシ		2		⑧ AW		袖F I X付3連引違いアルミサッシ		1		⑨ AW		引違いアルミサッシ		1	
姿 図																																										
見 込 硝 子	70		フロートα3		70		フロートα3		70		フロートα3		70		フロートα3		70		フロートα3		70		フロートα3		70		フロートα3		70		フロートα3		70		フロートα3							
室 名			1階：理科室 2階：5年教室、6年教室 3階：音楽室				2階：廊下				2階：廊下				2階：廊下				1階：廊下 3階：廊下				2階：廊下				2階：廊下				2階：廊下				2階：廊下							

特 記 事 項						MAENO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事		設計日
	検図	図面名称 改修後 法規チェックNo. 4	縮 尺 A2: NS A3: NS	図面番号 A025 原図: A2												

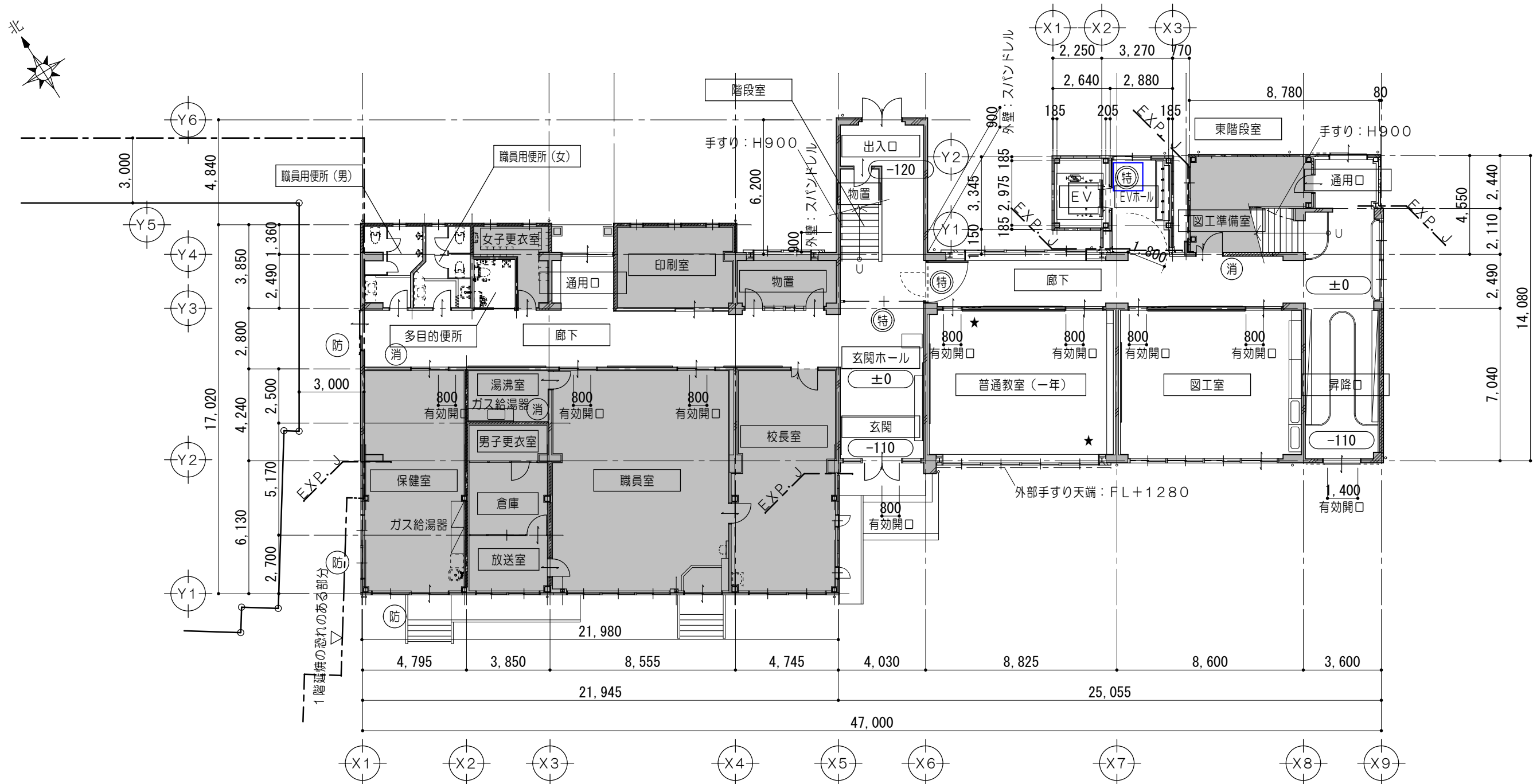
改修前



凡 例	
	既設のままを示す
	改修範囲を示す
	解体範囲を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す

1 階 平 面 図 1/200

改修後

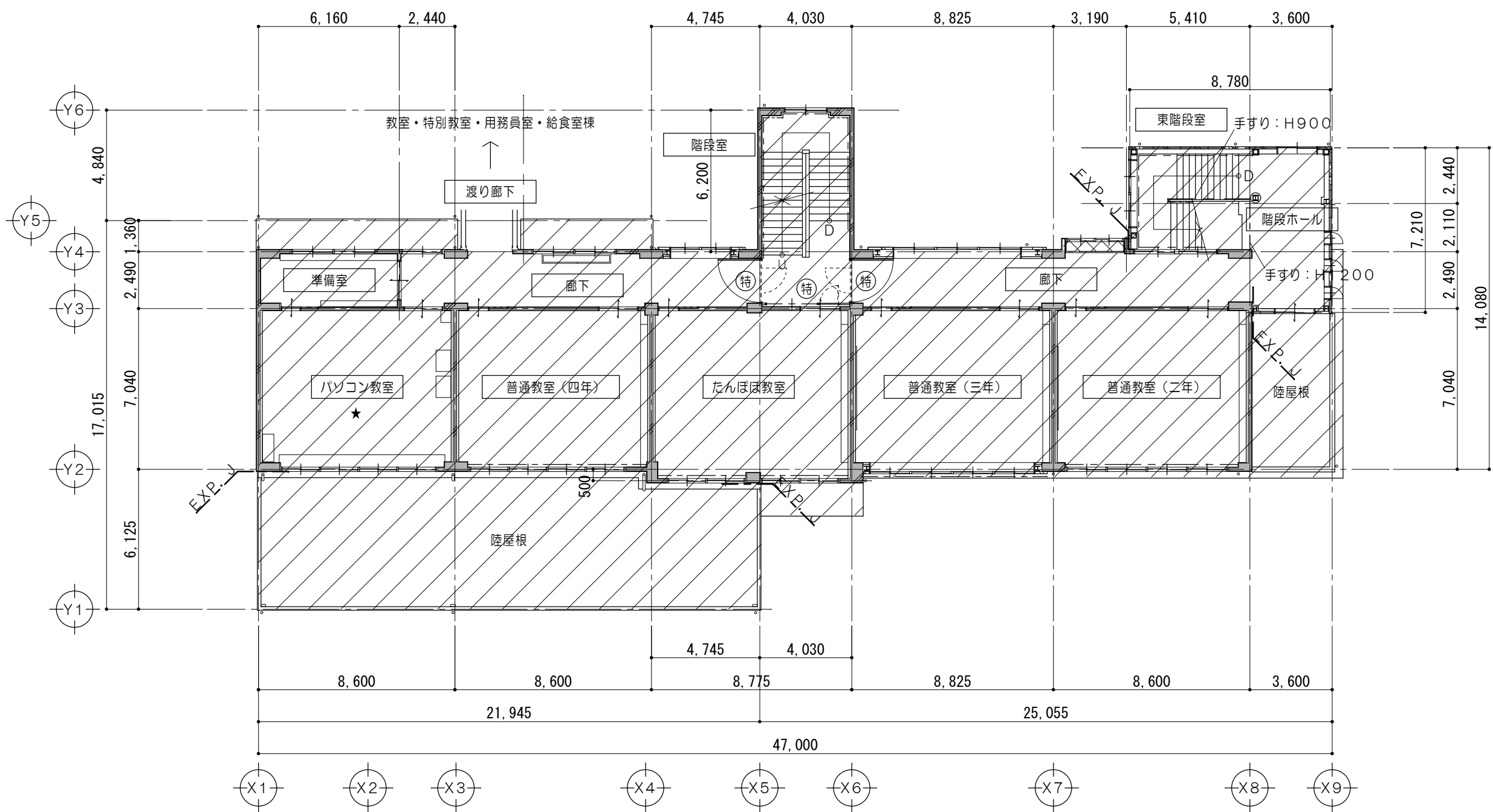


凡 例	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す (スラブ下まで施工)
	既設コンクリートブロックを示す (スラブ下まで施工)
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す
	消火器 (ABC粉末10型) (備品) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
	室内空気汚染物質測定箇所を示す 測定時期: 改修前、改修後 (測定する室は監督員と協議すること)
1. 防火区画貫通部 (両側) 給水管 鉄管 1.0m (モルタル充填) 給湯管 銅管 1.0m (モルタル充填) 排水管 耐火2層管 1.0m (モルタル充填) (堅管は全て耐火2層管) その他VP 電線管 金属管保護 1.0m (モルタル充填) ガス管 金属管 1.0m (モルタル充填) 上記の仕様または国土交通省大臣の認定を受けたものとする。 ※小管径の設備管類は、平12建告1422号に遵法とする。 ※風道等の材料は、不燃材料を使用する。	

1 階 平 面 図 1/200

特 記 事 項		株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 代表設計者 一級建築士 第378328号 前田 祐作 設計担当 一級建築士 第320204号 加藤 早紀 設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝 設計担当 設計担当	法適合確認 作図 検図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事 図面名称 改修前 改修後 1階平面図 縮 尺 A2:1/200 A3:1/282	設計日 図面番号 A026 原図:A2

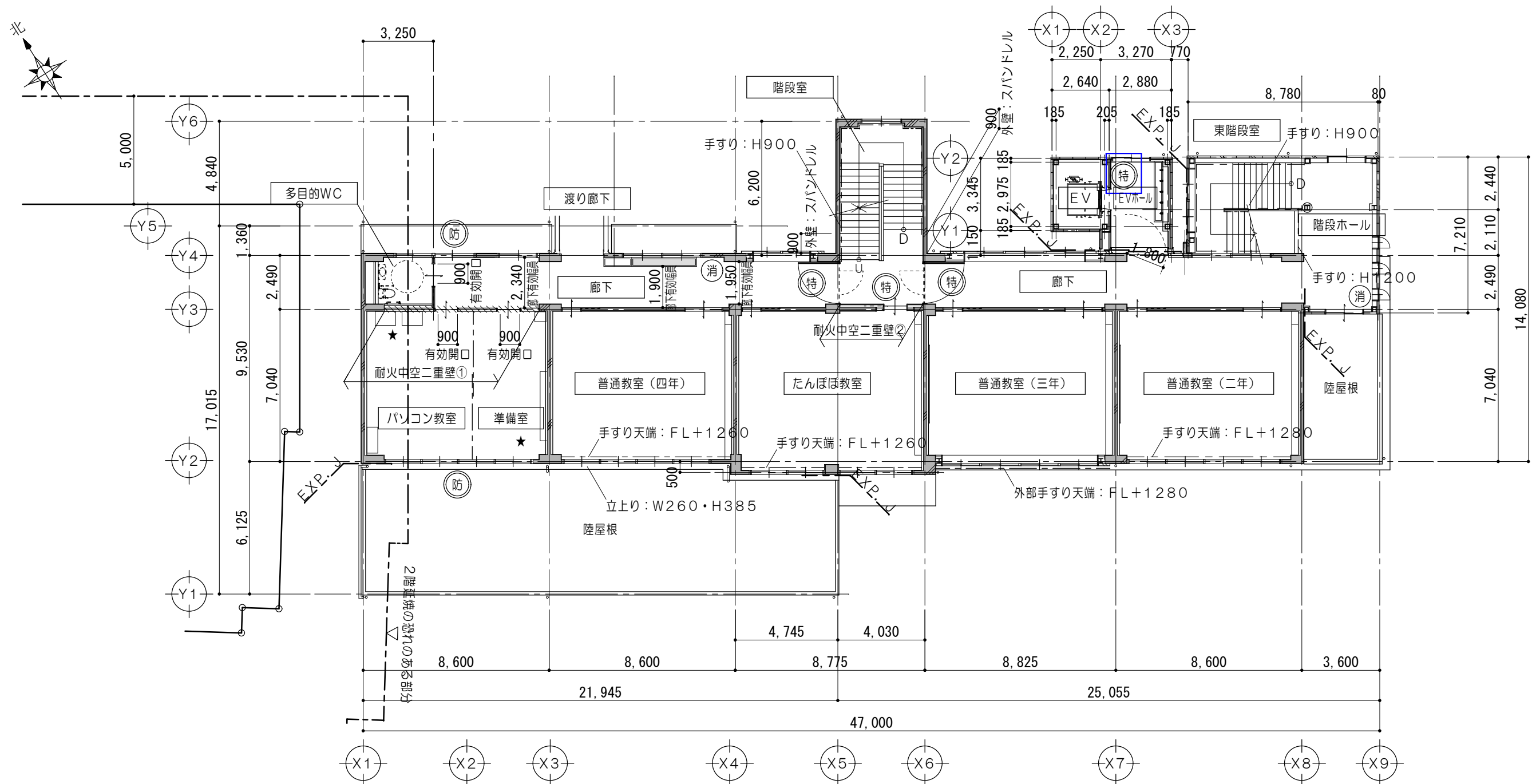
改修前



凡 例	
	既設のままを示す
	改修範囲を示す
	解体範囲を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す

2 階 平 面 図 1/200

改修後

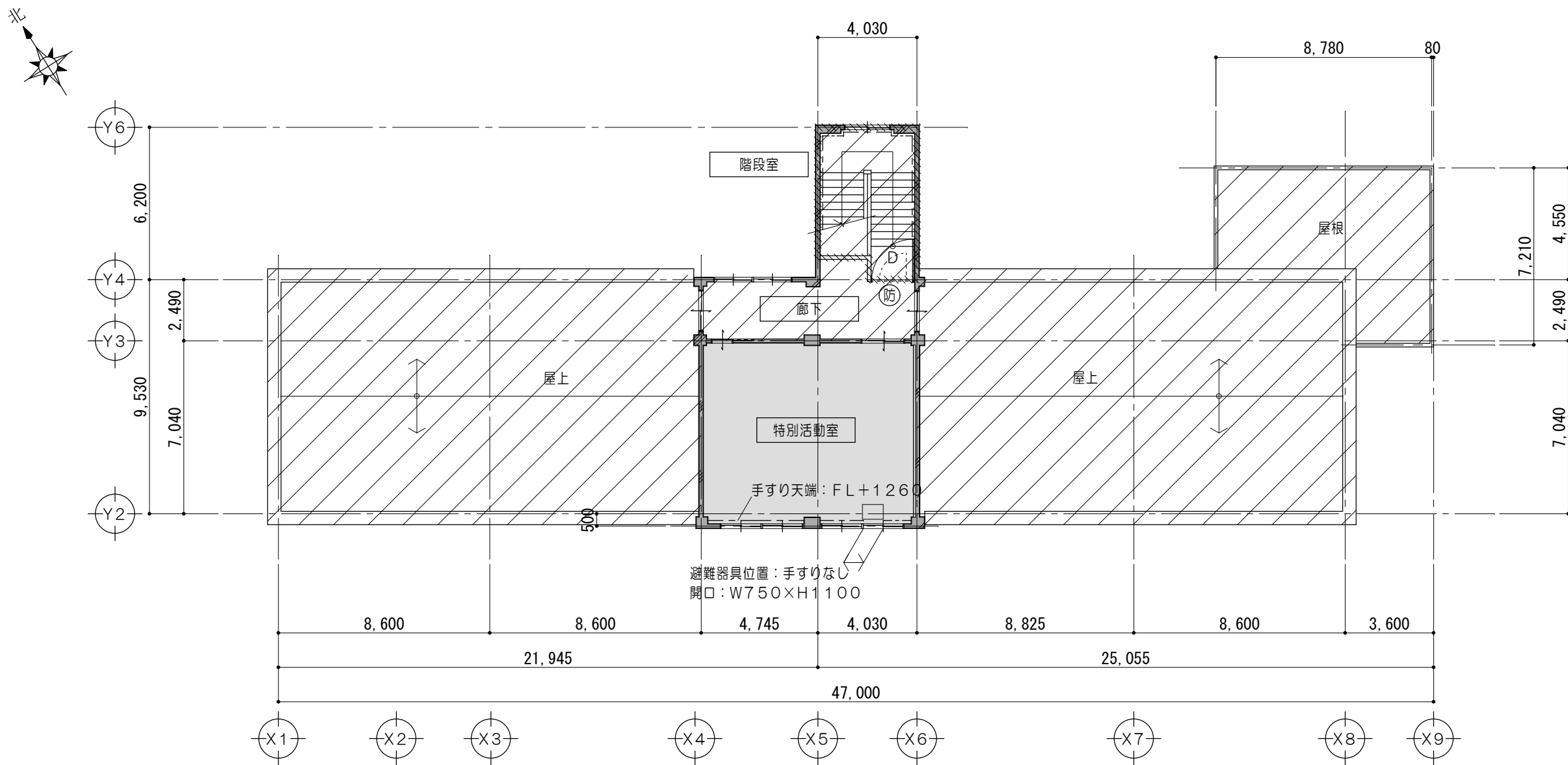


凡 例	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す (スラブ下まで施工)
	114条区画を示す (耐火中空二重壁) 強化PBA12.5+強化PBA12.5 (両面) (スラブ下まで施工)
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す
	消火器 (ABC粉末10型) (備品) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
	室内空気汚染物質測定箇所を示す 測定時期：改修前、改修後 (測定する室は監督員と協議すること)
1. 防火区画貫通部 (両側)	
給水管	鉄管 1.0m (モルタル充填)
給湯管	銅管 1.0m (モルタル充填)
排水管	耐火2層管 1.0m (モルタル充填) (堅管は全て耐火2層管) その他VP
電線管	金属管保護 1.0m (モルタル充填)
ガス管	金属管 1.0m (モルタル充填)
上記の仕様または国土交通省大臣の認定を受けたものとする。 ※小管径の設備管類は、平12建告1422号に遵法とする。 ※風道等の材料は、不燃材料を使用する。	

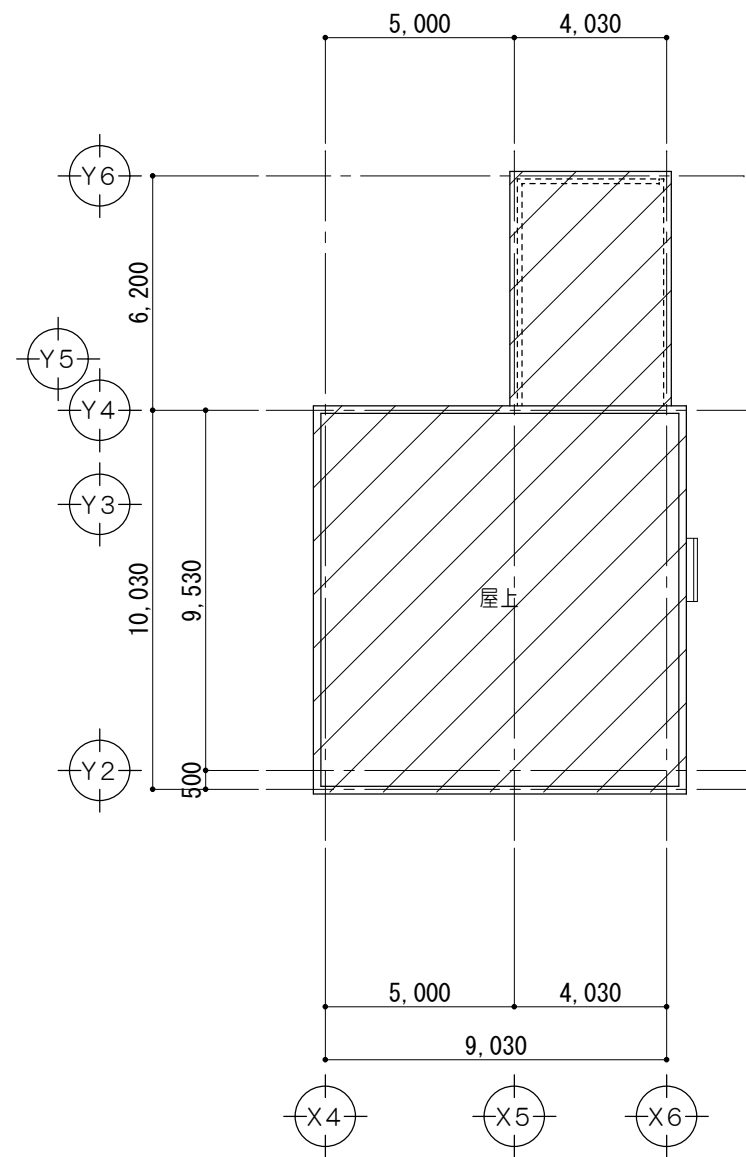
2 階 平 面 図 1/200

特 記 事 項		MARKO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事	設計日
	検図									図面名称 改修前 改修後 2階平面図	縮 尺 A2:1/200 A3:1/282	図面番号 A027 原図:A2

改修前



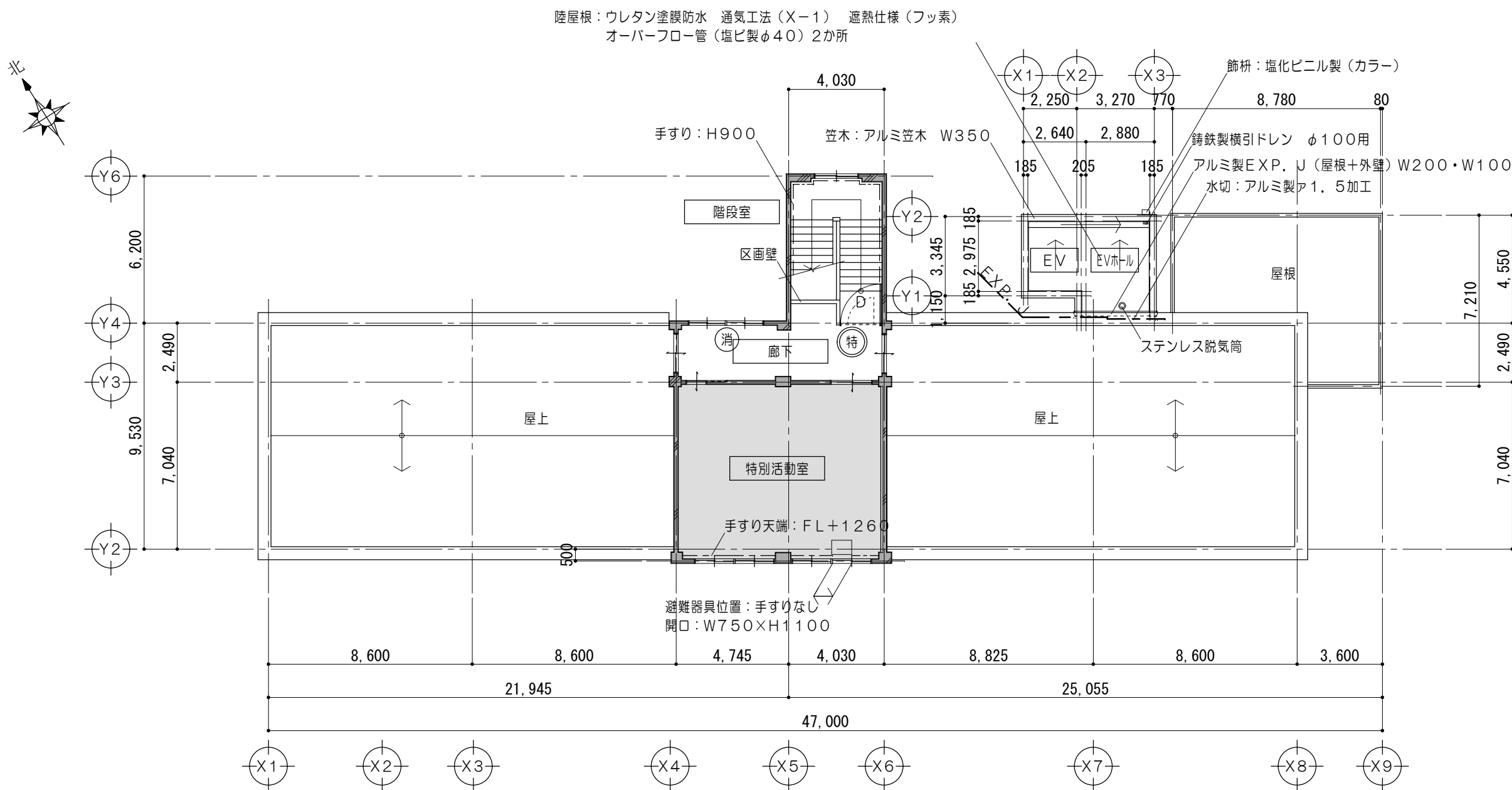
3 階 平 面 図 1/200



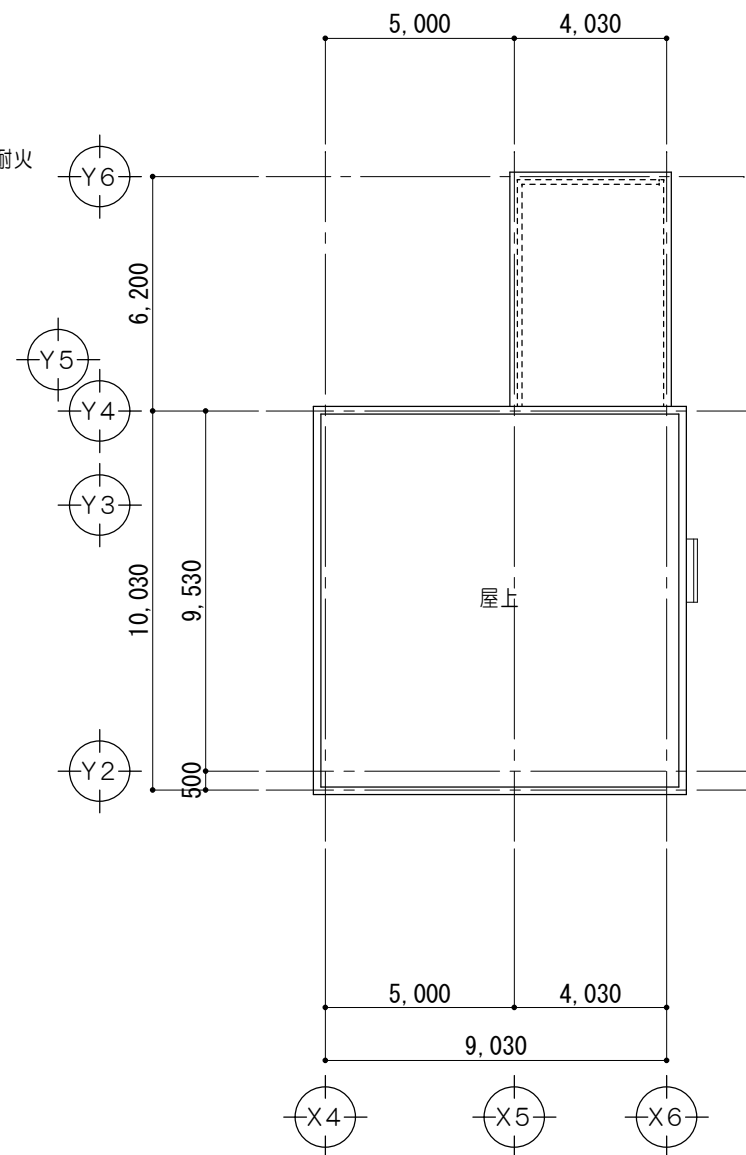
屋 根 伏 図 1/200

凡 例	
	既設のままを示す
	改修範囲を示す
	解体範囲を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す

改修後



3 階 平 面 図 1/200



屋 根 伏 図 1/200

凡 例	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す (スラブ下まで施工)
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す
	消火器 (ABC粉末10型) (備品) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
1. 防火区画貫通部 (両側) 給水管 鉄管 1.0m (モルタル充填) 給湯管 銅管 1.0m (モルタル充填) 排水管 耐火2層管 1.0m (モルタル充填) (堅管は全て耐火2層管) その他VP 電線管 金属管保護 1.0m (モルタル充填) ガス管 金属管 1.0m (モルタル充填) 上記の仕様または国土交通省大臣の認定をうけたものとする。 ※小管径の設備管類は、平12建告1422号に遵法とする。 ※風道等の材料は、不燃材料を使用する。	

特	
記	
事	
項	



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	------

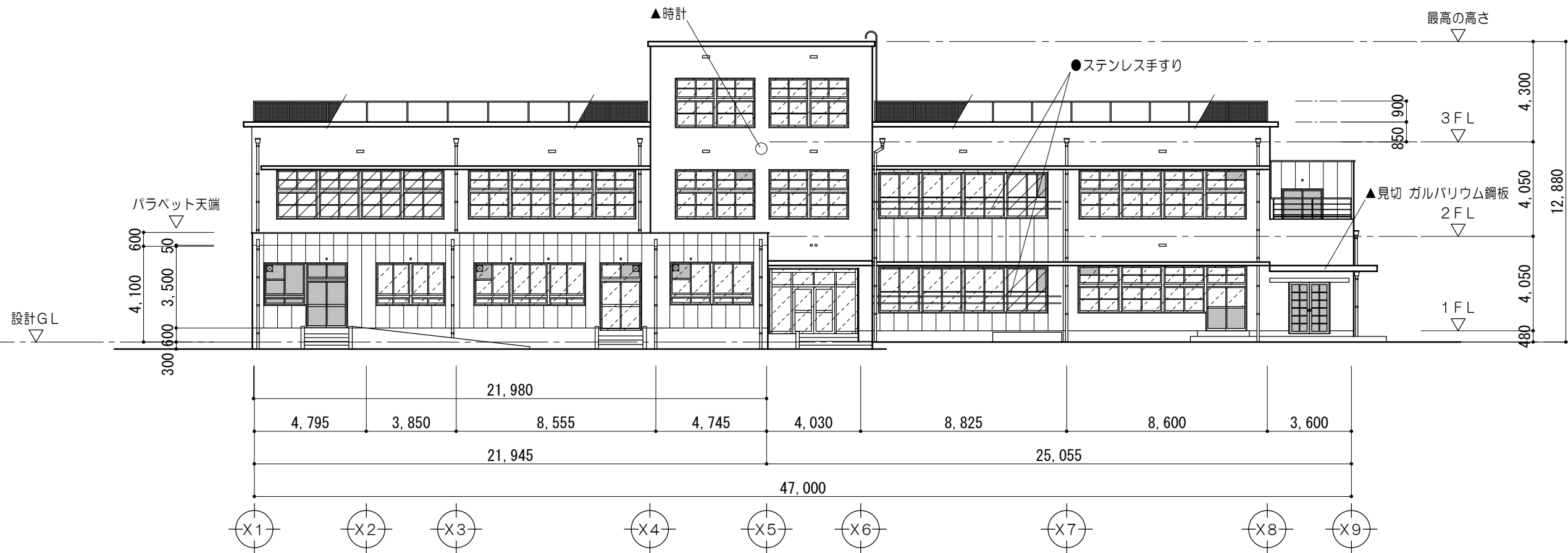
法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
検図	検図	図面名称 改修前 改修後 3階平面図、屋根伏図	図面番号 縮尺 A2: 1/200 A3: 1/282 A028 原図: A2

改修前

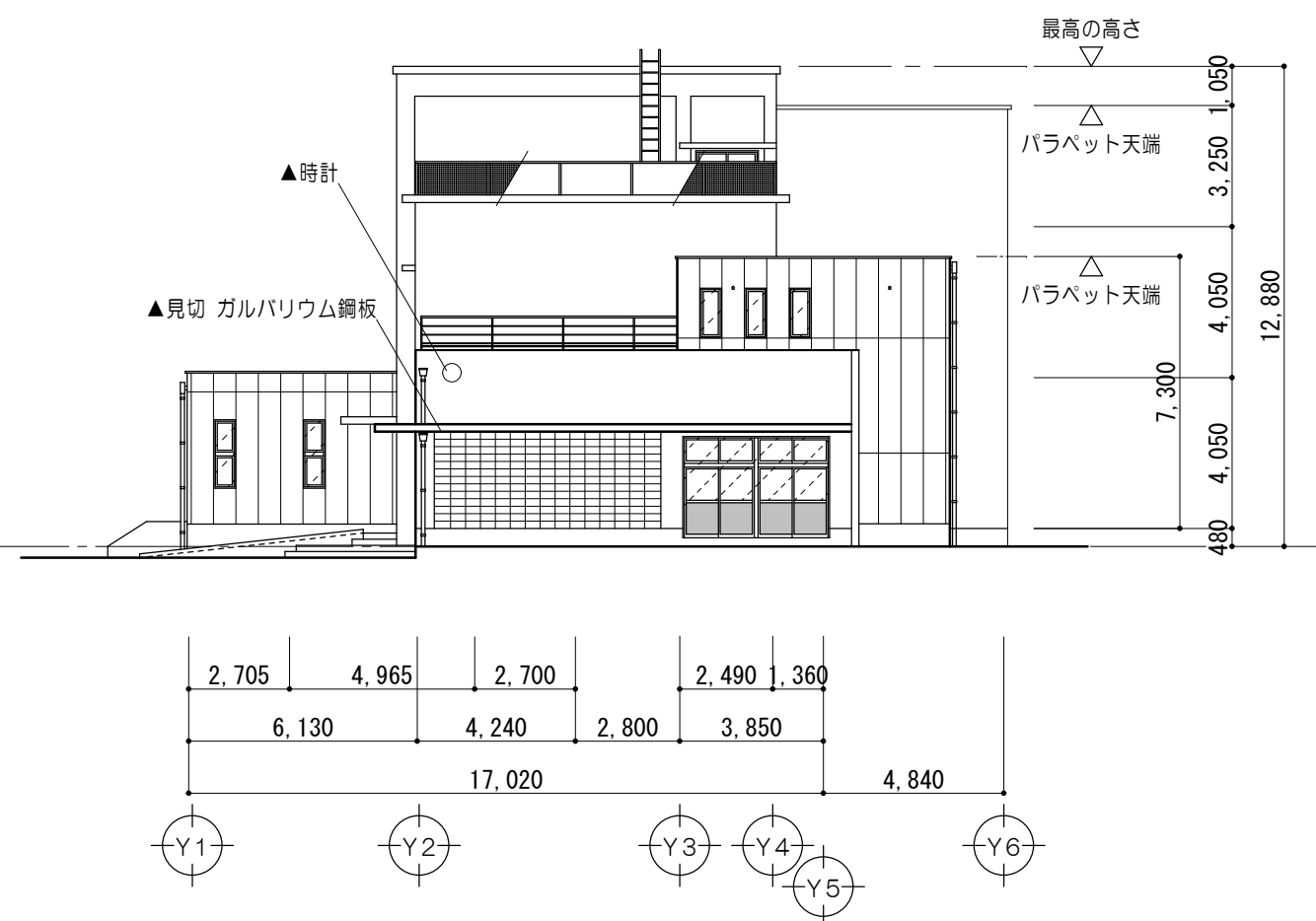


キープラン 1/700

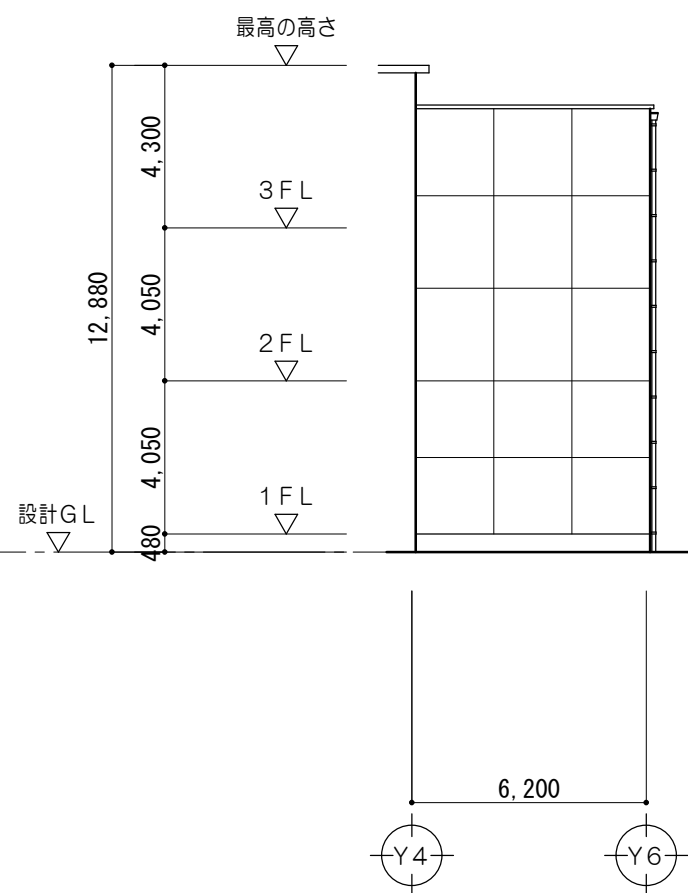
凡 例	
	着色部はアルミパネル又は 既設のままを示す
	カー工法にて改修建具を示す ※改修内容は別図参照
	ガラスフィルム張範囲を示す ※改修内容は建具表参照
	撤去範囲を示す ※改修内容は別図参照
	コンクリートカッター切を示す
	既設のままを示す
	取外し再取付を示す
	既設塗装を示す 下地調整RＢ種の上 DP塗



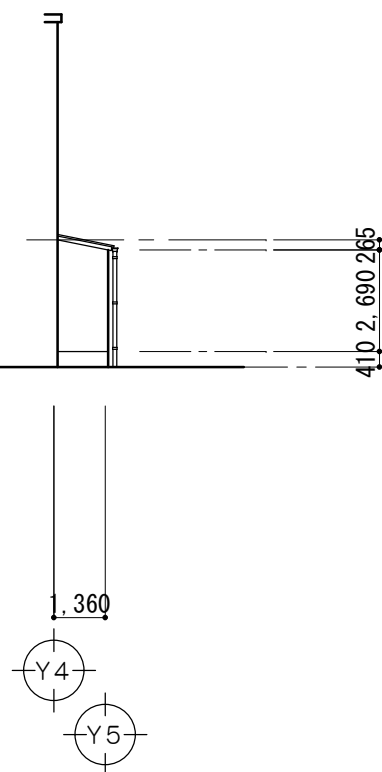
1 南面立面图 1/200



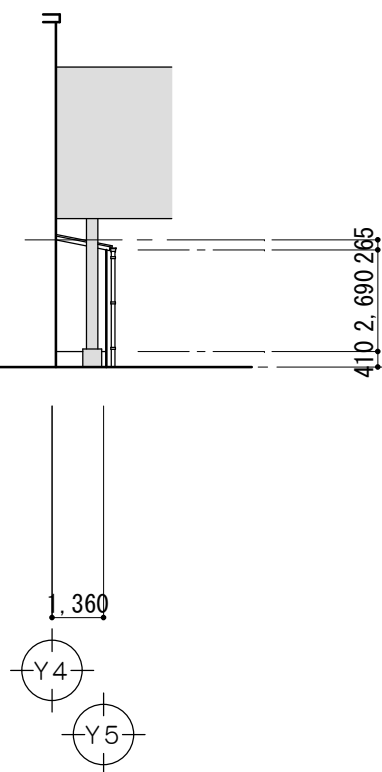
② 東面立面図 1/200



3 東面立面図 1/200



4 東面立面図 1/200



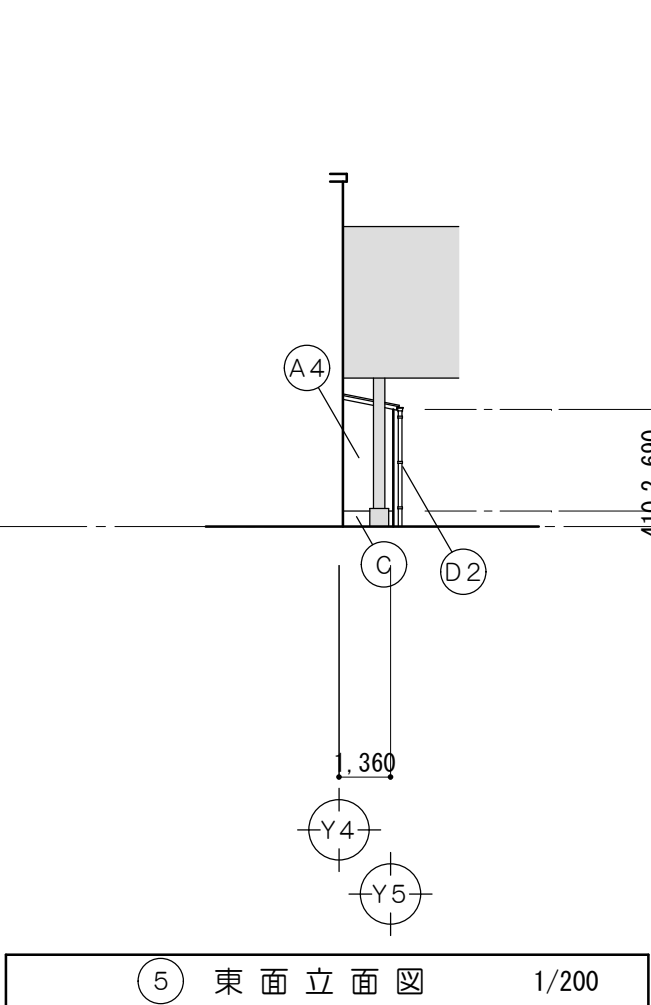
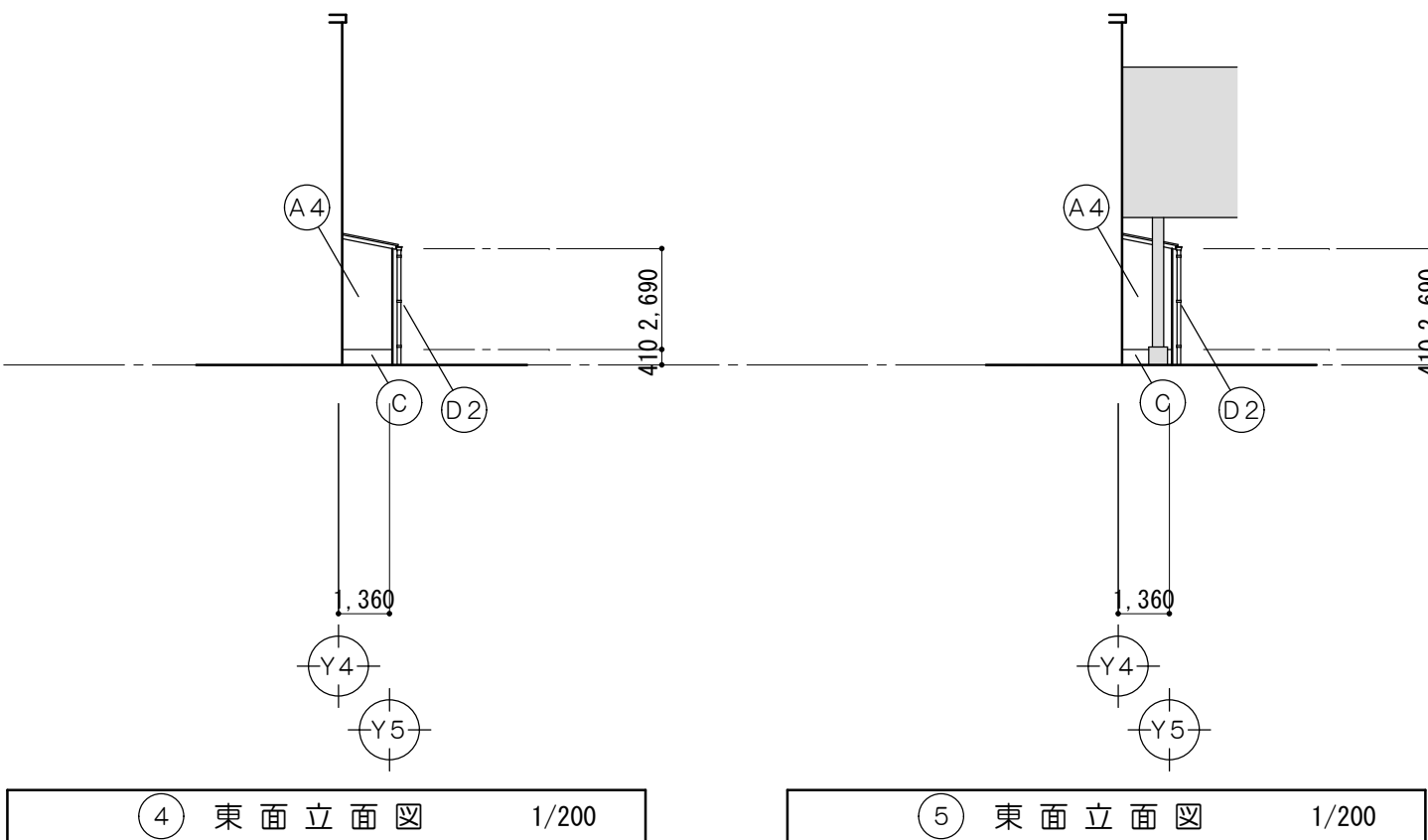
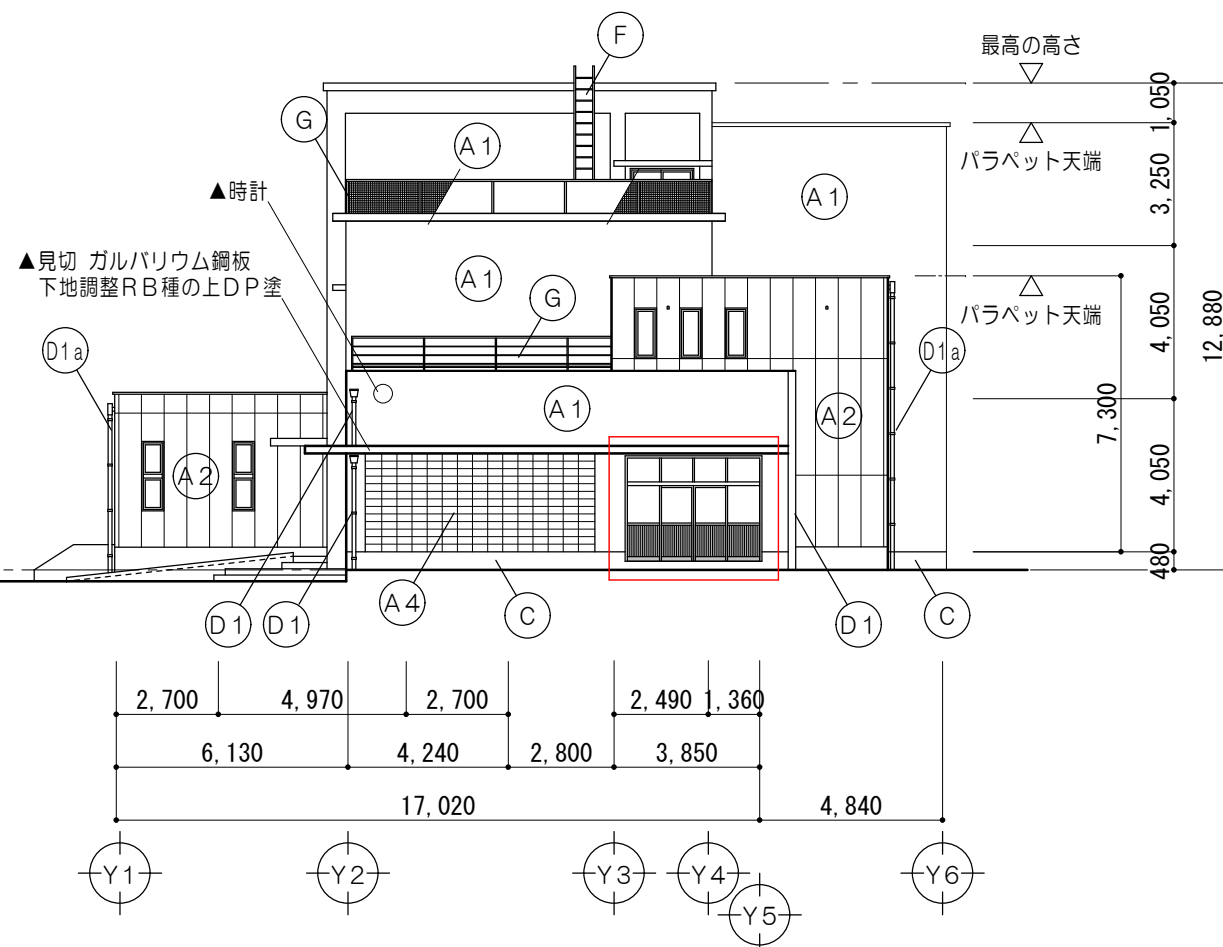
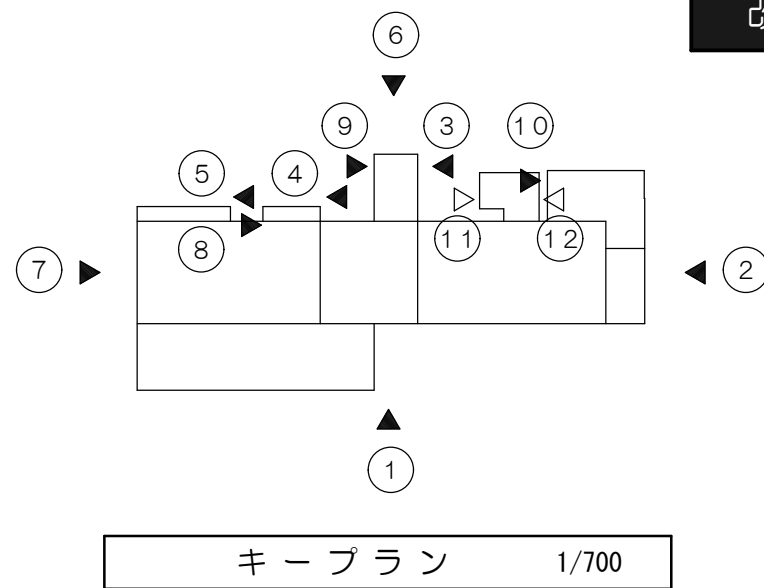
5 東面立面図 1/200

- ※外壁改修工事 特記事項
- ・サッシ回りのシーリング撤去の上、シーリング新設のこと。
(Ｅ×Ｐ、Ｊ及び仮設倉庫取り合いのシール打替えにいても含む)
 - ・外壁改修対象範囲内のアルミサッシ(パネル部を除く)は飛散防止フィルム貼とする。
(仕様は建具表参照のこと)
 - ・外壁に取付のシーリング撤去の上、シーリング(ＰＵ－２)新設のこと。
(壁面に対して取付設備配管は、養生し脱着しないものとする)
 - ・※脱着を行う設備は、設備図参照のこと)
 - ・県内機器器具、露出の鋼製盤等については下地調整ＲＢの上ＯＰ塗とする。

- ※外壁改修工事 特記事項
- 【施工数量調査】
- ・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部
 - ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等
 - ・報告書：２部（補修方法別に調査数量を集計すること）
- 【外壁クラック補修仕様】
- ・1mm以上のヒビ割れ補修：Ｕカットシーリング充填工法
 - ・1mm未満のヒビ割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
 - ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法：（一般部）16本/㎡、25ml/穴、
（見上部）25本/㎡、25ml/穴、（細幅部）5本/㎡、25ml/穴
 - ・火災部改修工事：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式 前野建築設計 会社 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認 	作図	工事名称	設計日
			一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第320204号 前野 将輝				図面 図面名称 ☒ 改修前 南面立面図、東面立面図	縮 尺 A2:1/200 A3:1/282	図面番号 A029 原図:A2

凡 例	
	既設のままを示す
●	既設のままを示す
▲	取外シ再取付を示す
◆	既設塗替を示す 下地調整 R B 種の上 D P 塗



- ※外壁改修工事 特記事項
- ・サッシ回りのシーリング撤去の上、シーリング新設のこと。
 - （ＸＰ、Ｊ及び仮設倉庫取り合いのシール打替えについても含む）
 - ・外壁改修対象範囲内のアルミサッシ（パネル部を除く）は飛散防止フィルム貼とする。
（仕様は建具表参照のこと）
 - ・外壁目地のシーリング撤去の上、シーリング（ＰＵ－２）新設のこと。
 - ・外壁に取付設備配管は、養生し脱着しないものとする。
（※脱着を行う設備は、設備図参照のこと）
 - ・外部照明器具、露出の銅製盤等については下地調整ＲＢの上ＤＰ塗とする。

- ※外壁改修工事 特記事項
- 【施工数量調査】
- ・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部
 - ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等
 - ・報告書：2部（補修方法別に調査数量を集計すること）
- 【外壁クラック補修仕様】
- ・1mm以上のヒビ割れ補修：Uカットシール充填工法
 - ・1mm未満のヒビ割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
 - ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法：（一般部）16本/㎡、25ml 1/穴、
（見上部）25本/㎡、25ml 1/穴、（細幅部）5本/㎡、25ml 1/穴
 - ・欠損部改修工法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填

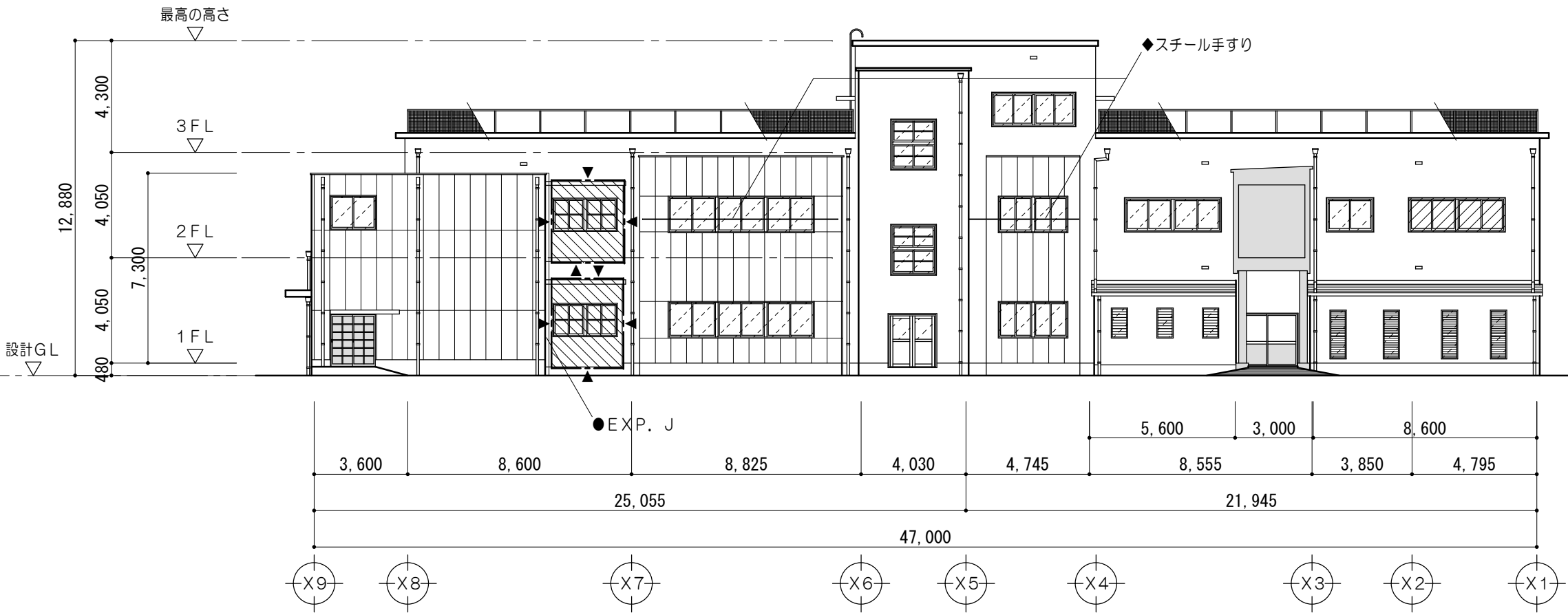
特 記 事 項		 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
	検図								図面名称 ☒ 改修後 南面立面図、東面立面図	縮 尺 A2:1/200 A3:1/282	図面番号 A030 原図:A2

改修前

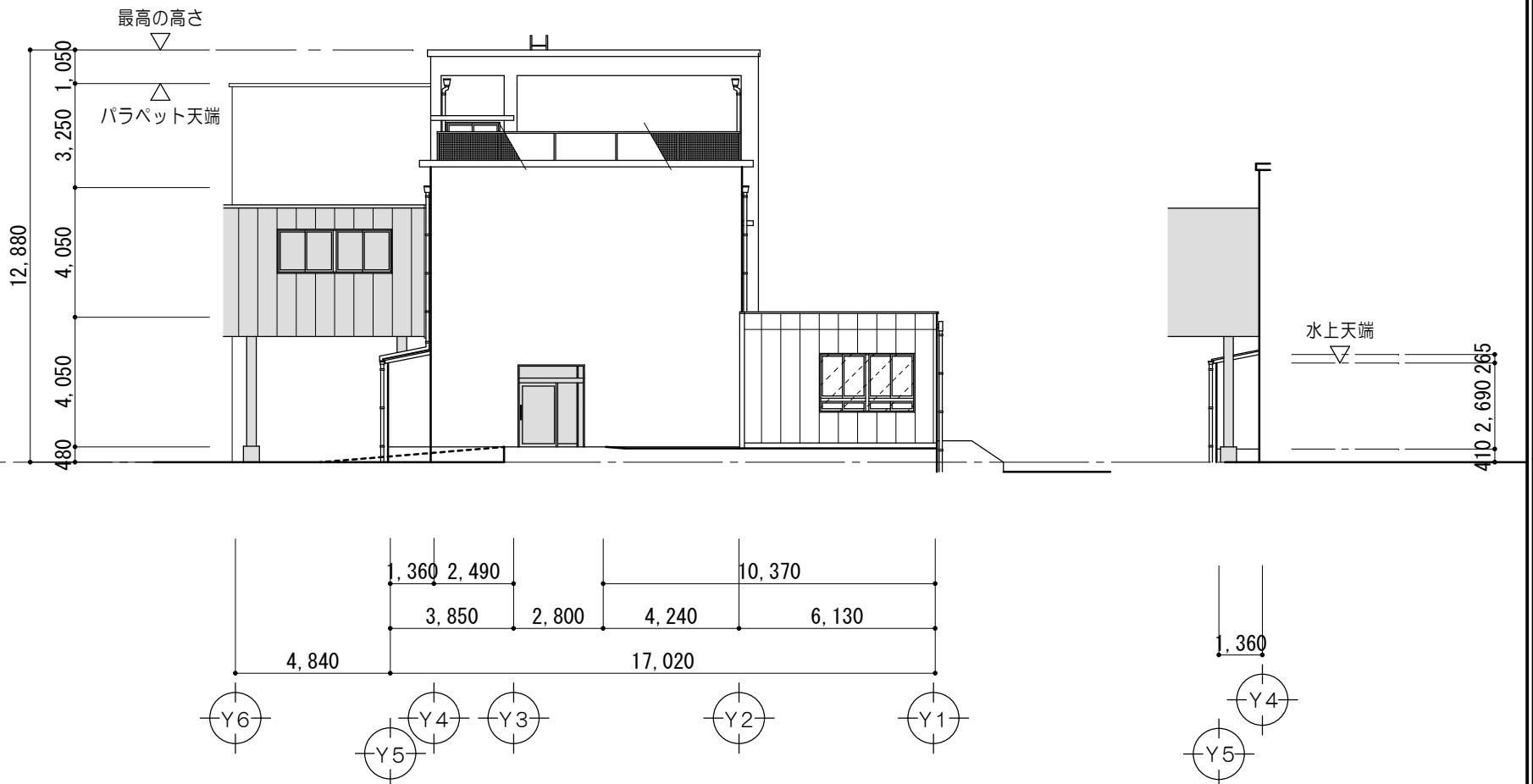


キープラン 1/700

凡 例	
	着色部はアルミパネル又は 既設のままを示す
	カー工法にて改修建具を示す ※改修内容は別図参照
	ガラスフィルム張範囲を示す ※改修内容は建具表参照
	撤去範囲を示す ※改修内容は別図参照
	コンクリートカッター切を示す
	既設のままを示す
	取外し再取付を示す
	既設塗装を示す 下地調整RＢ種の上 DP塗

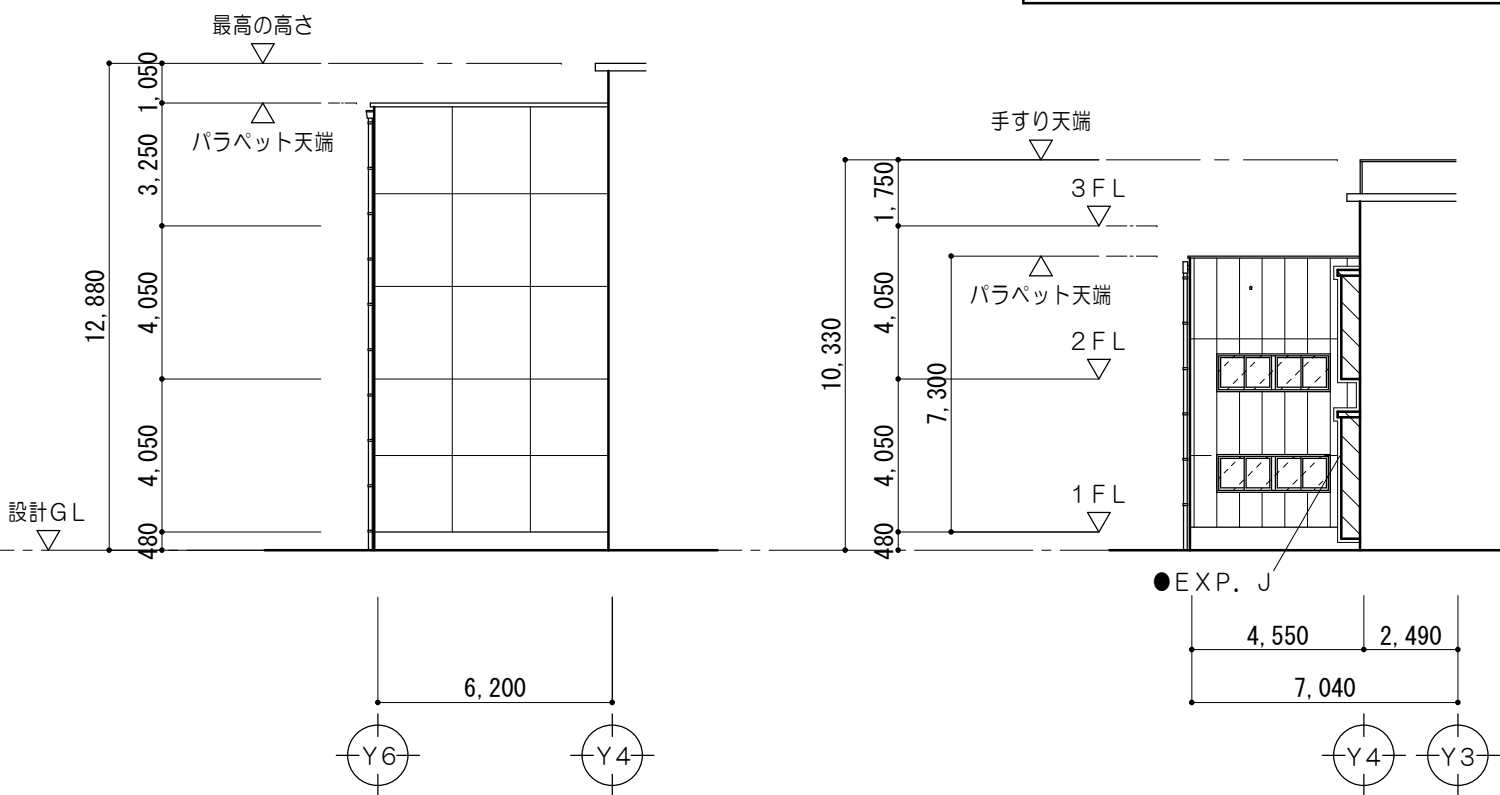


⑥ 北面立面图 1/200



⑦ 西面立面图 1/200

8 西面立面图 1/200



⑨ 西面立面图 1/200

10 西面立面图 1/200

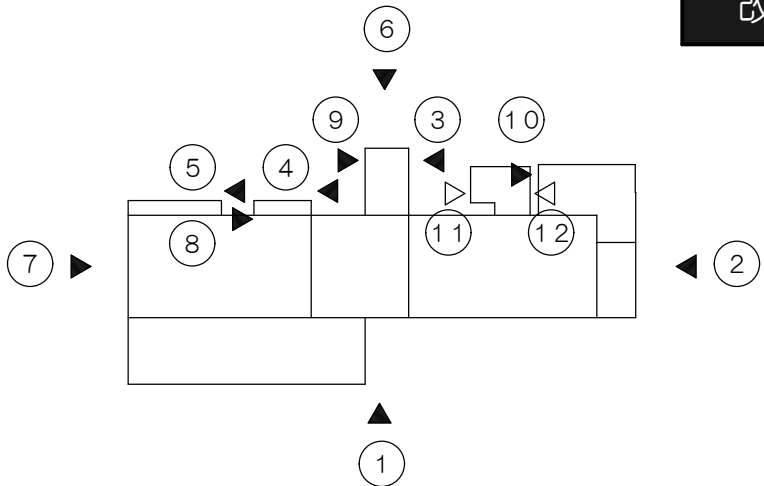
- ※外壁改修工事 特記事項
- ・サッシ回りのシーリング撤去の上、シーリング新設のこと。
(ＥＸＰ、Ｊ及び仮設倉庫取り合いのシール材替えについても含む)
 - ・外壁改修対象範囲のアルミサッシ(パネル部を除く)は飛散防止フィルム貼とする。
(仕様は建具表参照のこと)
 - ・外壁目地部のシーリング撤去の上、シーリング(ＰＵ－２)新設のこと。
 - ・外壁に取付く設備配管は、養生し脱着しないものとする。
(※除着を行う設備は、設備図面参照のこと)
 - ・外廊照明器具、露出の鋼製盤等については下地調整ＲＢの上ＤＰ塗とする。

- ※外壁改修工事 特記事項
- 【施工数量調査】
- ・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部
 - ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等
 - ・報告書：2部（補修方法別に調査数量を集計すること）
- 【外壁クラック補修仕様】
- ・1mm以上のヒビ割れ補修：Uカットシーリング充填工法
 - ・1mm未満のヒビ割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
 - ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法：（一般部）16本/m²、25ml/穴、（見上部）25本/m²、25ml/穴、（幅端部）5本/m²、25ml/穴
 - ・欠損部改修工法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填

特 記 事 項		MAINO 株式会社 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 校図	工事名称	設計日	
			一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第320204号 前野 将輝						図面名称	縮 尺	図面番号
											改修前 北面立面図、西面立面図	A2:1/200 A3:1/282	A031 原図:A2

外壁工事仕様											
部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上
外壁	改修前	吹付タイル（アスベスト含有）撤去 モルタル下地 既設のまま	屋根	改修前	カラー鉄板φ. 4 横葺 既設のまま	軒裏・庇裏	改修前	吹付タイル（アスベスト含有）		改修前	吹付タイル（アスベスト含有）
	改修後	下地調整塗材（C-1） 複層塗材E吹付 剥離剤併用手工具ケレン工法		改修後	DP塗 下地調整RB種の上	改修後	改修後	下地調整塗材（C-1） 外装薄塗材E吹付 剥離剤併用手工具ケレン工法		改修後	下地調整RB種の上 DP塗
	改修前	吹付タイル（アスベスト含有）撤去 ALCφ100 既設のまま		改修前	モルタル金コテ押工 既設のまま	タラップ	改修前	塗装仕上		改修前	塗装仕上
	改修後	下地調整塗材（C-1） 複層塗材E吹付 剥離剤併用手工具ケレン工法	根回り	改修後	水洗い		改修後	下地調整RB種の上 DP塗		改修後	下地調整RB種の上 DP塗
	改修前	吹付タイル ALCφ100 既設のまま	樋	改修前	タテ樋：硬質塩化ビニル製φ100 DP塗（堀ミ金物φ1000）撤去 飾り枘：硬質塩化ビニル製 撤去	手すり	改修前	塗装仕上		改修前	塗装仕上
	改修後	下地調整塗材（C-1） 複層塗材E吹付 高圧水洗工法		改修後	タテ樋：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100 飾り枘：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100用 タテ樋：硬質塩化ビニル製φ100		改修後	下地調整RB種の上 DP塗		改修後	下地調整RB種の上 DP塗
	改修前	吹付タイル（アスベスト含有）撤去 モルタル下地 撤去		改修前	掃除口：硬質塩化ビニル製 撤去 タテ樋：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100						
	改修後	剥離剤併用手工具ケレン工法 吹付タイル（アスベスト含有）撤去		改修後	掃除口：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100用 軒 樋：硬質塩化ビニル製 W120 撤去						
	改修前	モルタル金コテ押工 複層塗材E吹付 剥離剤併用手工具ケレン工法		改修前	タテ樋：硬質塩化ビニル製 φ100 撤去 軒 樋：硬質塩化ビニル製 W120						
	改修後	吹付タイル（アスベスト含有）撤去 CB構 モルタル下地 既設のまま		改修後	タテ樋：硬質塩化ビニル製 φ100 撤去 軒 樋：硬質塩化ビニル製 W120						
	改修前	下地調整塗材（C-1） 複層塗材E吹付 剥離剤併用手工具ケレン工法		改修後	タテ樋：硬質塩化ビニル製 φ100						
	改修後			改修後							

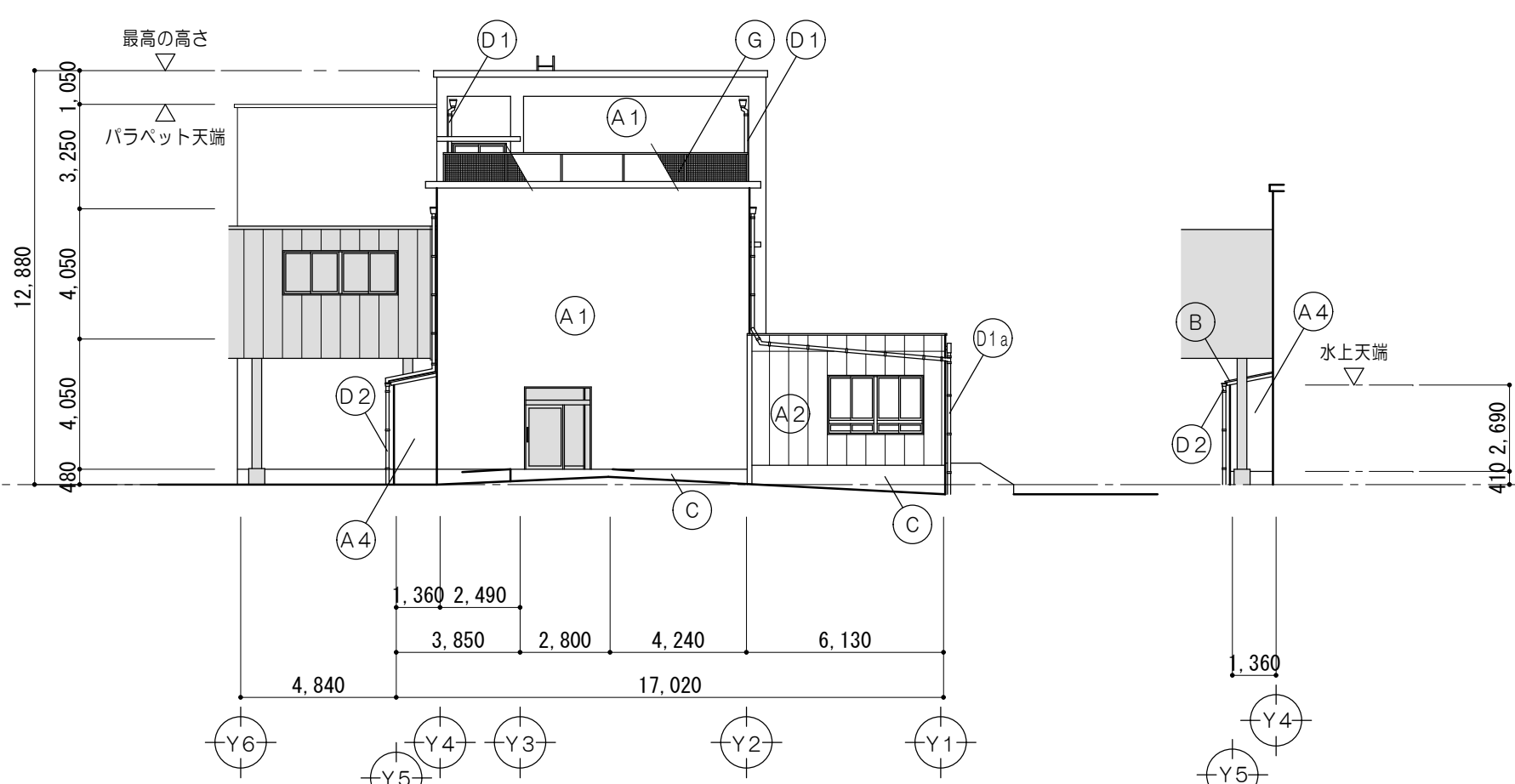
凡 例	
①	笠木：アルミ笠木 W350（コーナー用共）
②	外壁：ALCφ100 複層塗材E吹付
③	根廻り：コンクリート打放補修
④	タテ樋：硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 堀み金物：SUS製φ1200 掃除口：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100用
	既設のままを示す
●	既設のままを示す
▲	取外し再取付を示す
◆	既設塗壁を示す 下地調整RB種の上 DP塗



キ ー プ ラ ン 1/700

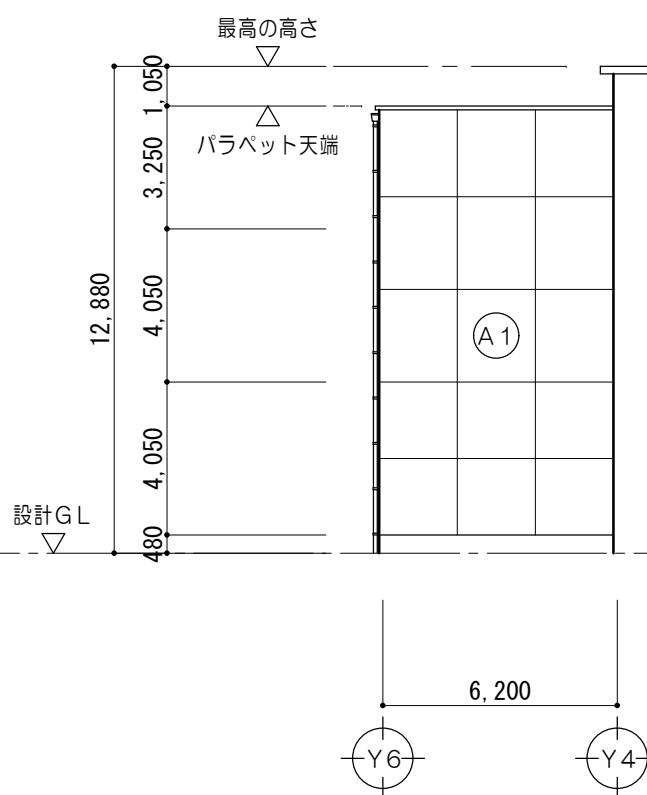


⑥ 北 面 立 面 図 1/200

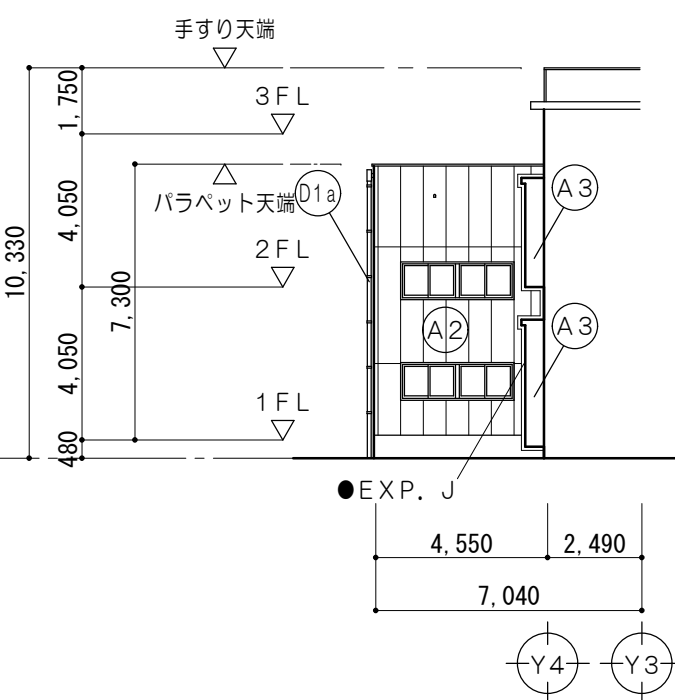


⑦ 西 面 立 面 図 1/200

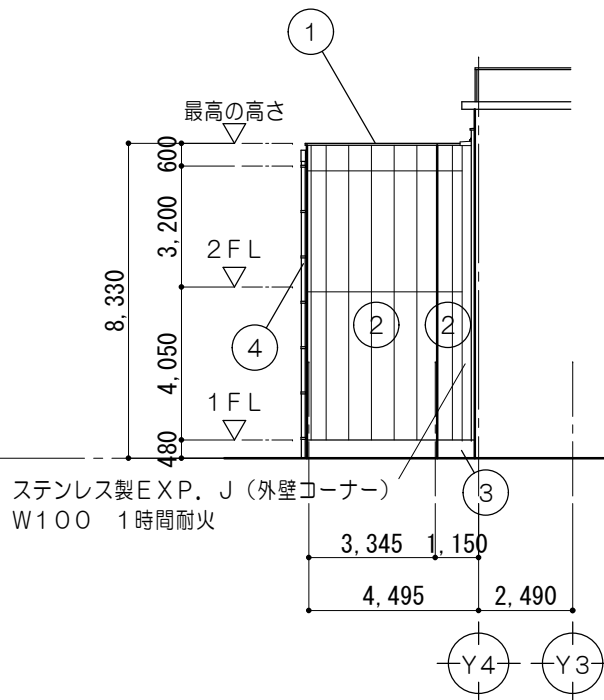
⑧ 西 面 立 面 図 1/200



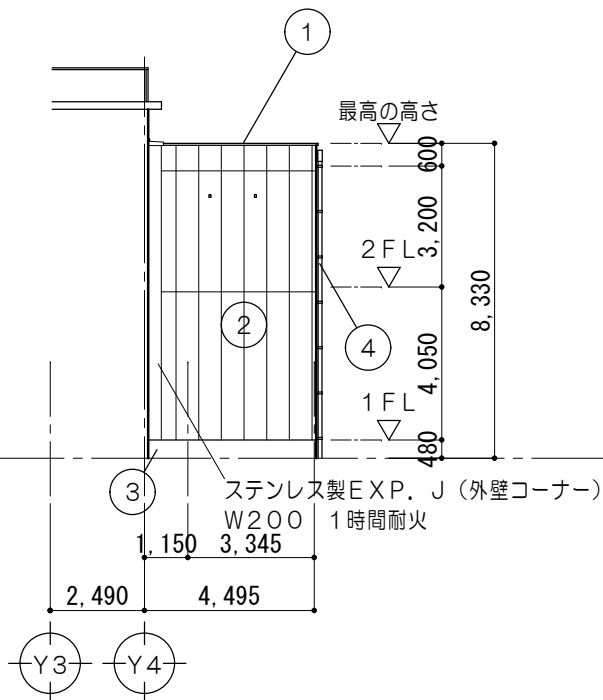
⑨ 西 面 立 面 図 1/200



⑩ 西 面 立 面 図 1/200



⑪ 西 面 立 面 図 1/200

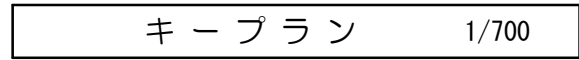
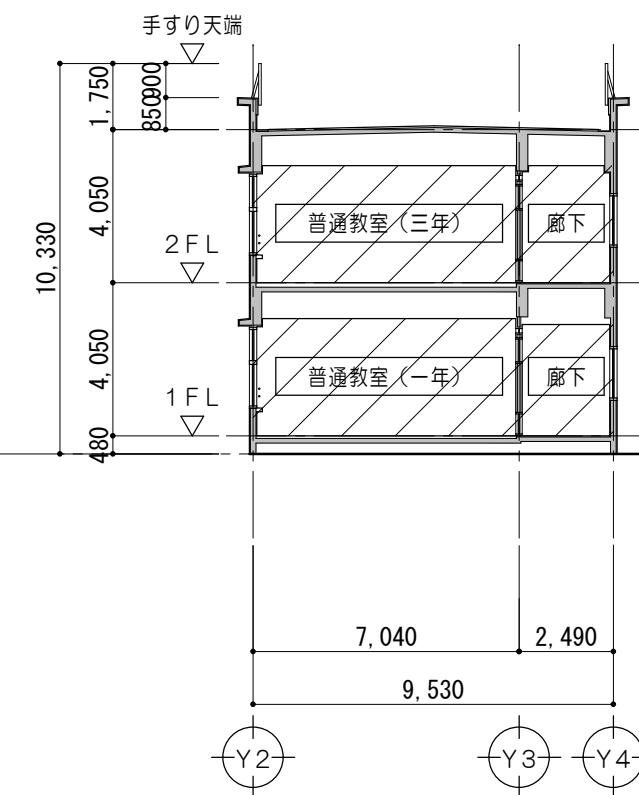


⑫ 東 面 立 面 図 1/200

- ※外壁改修工事 特記事項
- ・サッシ回りのシーリング撤去の上、シーリング新設のこと。
（EXP、J及び仮設倉庫取り合いのシール打替えについても含む）
 - ・外壁改修対象範囲内のアルミサッシ（パネル部を除く）は飛散防止フィルム貼とする。
（仕様は建具表参照のこと）
 - ・外壁目地部のシーリング撤去の上、シーリング（PU-2）新設のこと。
 - ・外壁に取付く設備配管は、養生し脱着しないものとする。
（※脱着を行う設備は、設備図参照のこと）
 - ・外部照明器具、露出の銅製盤等については下地調整RBの上DP塗とする。

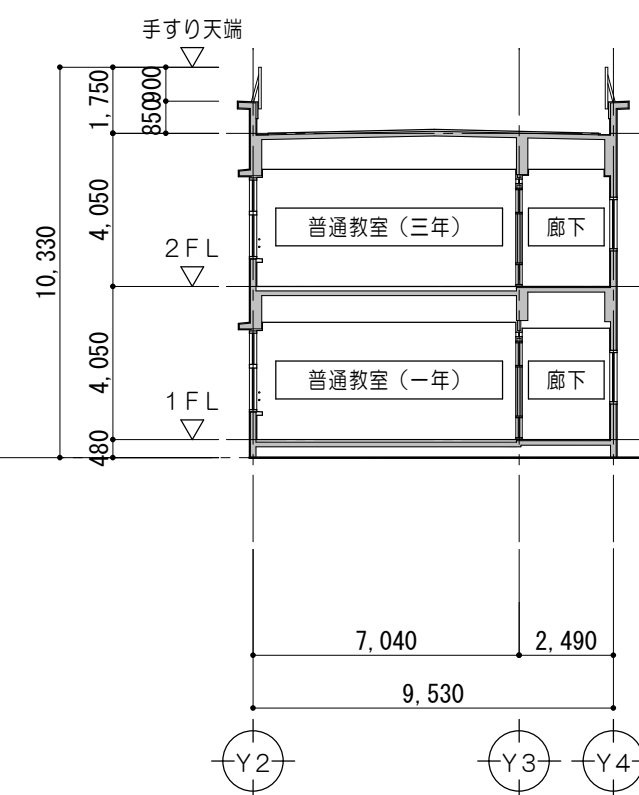
- ※外壁改修工事 特記事項
- 【施工数量調査】
- ・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部
 - ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等
 - ・報告書：2部（補修方法別に調査数量を集計すること）
- 【外壁クラック補修仕様】
- ・1mm以上のヒビ割れ補修：Uカットシール充填工法
 - ・1mm未満のヒビ割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
 - ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法：（一般部）1.6本/㎡、2.5ml/穴、
（見上部）2.5本/㎡、2.5ml/穴、（細幅部）5本/㎡、2.5ml/穴
 - ・欠損部改修工法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填

特 記 事 項				 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日						
	津市立明合小学校校長寿命化改修工事																		
	検図	図面名称	縮 尺									図面番号							
改修後 北面立面図、西面立面図											A2:1/200 A3:1/282	A032 原図:A2							



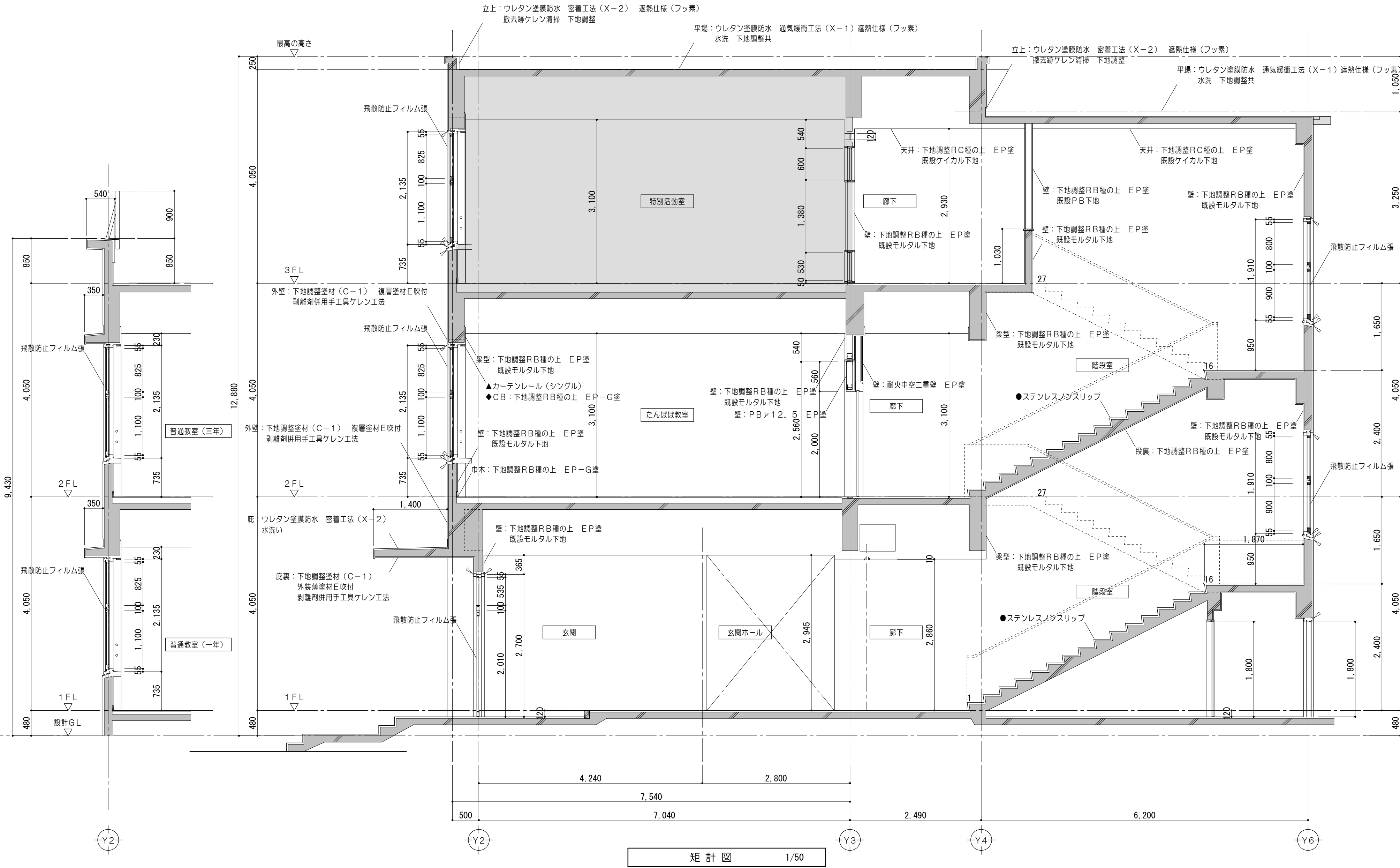
凡 例	
	既設のままを示す
	改修範囲を示す

断面図 1/200



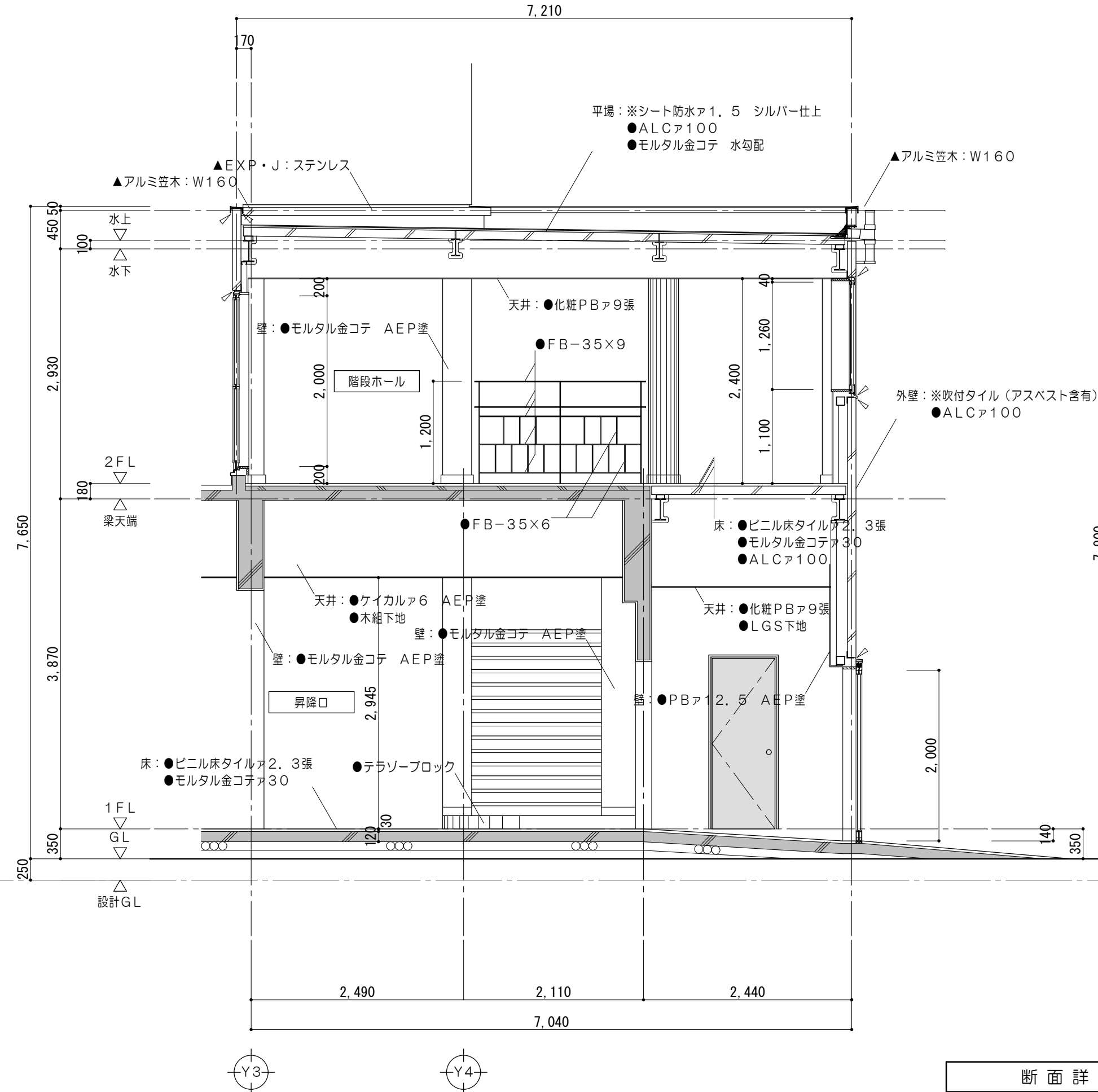
凡 例	
	既設のままを示す

断面図 1/200

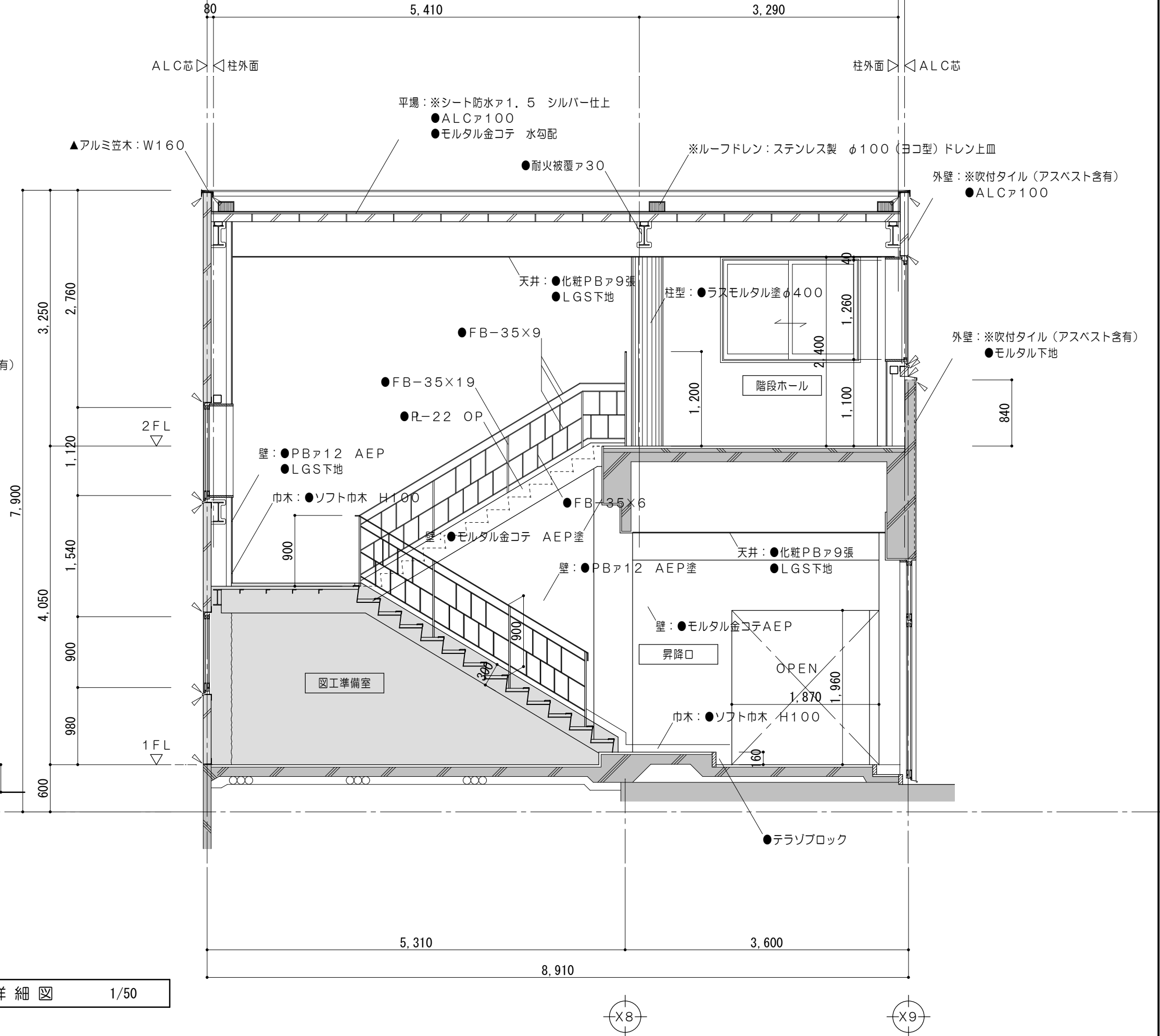


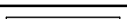
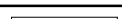
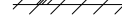
凡例 (工事内容)			
	既設のままを示す	▲	取外し再取付を示す
	既設コンクリート躯体を示す	●	既設のままを示す
	既設C B 積を示す	◆	既設塗替を示す

特 記 事 項					一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 MAENO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 検図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事		設計日
	図面名称		図面番号												
	改修後 矩計図		縮 尺 A2:1/50 A3:1/71												
			A035 原図:A2												

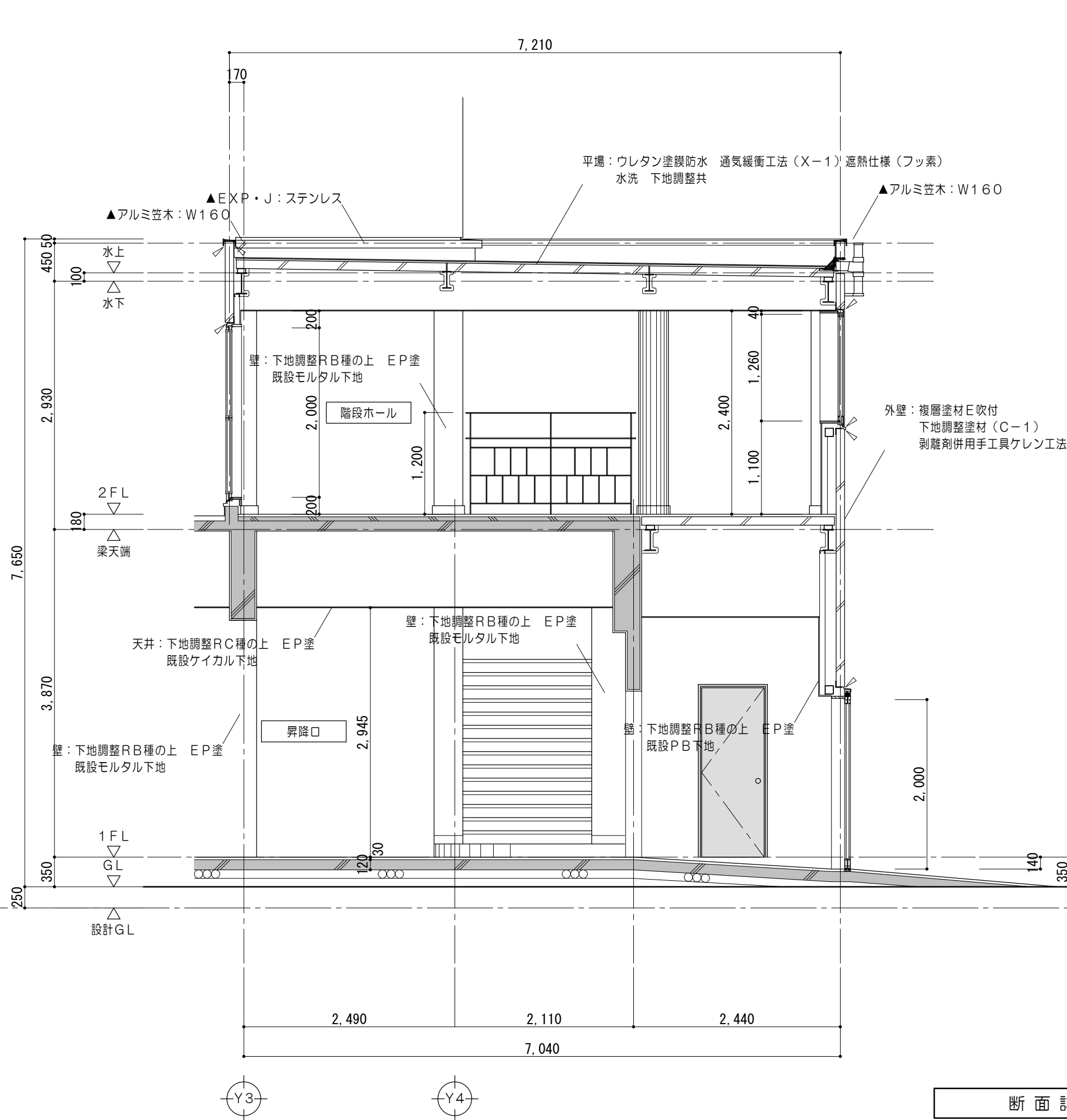


断面詳細図 1/50

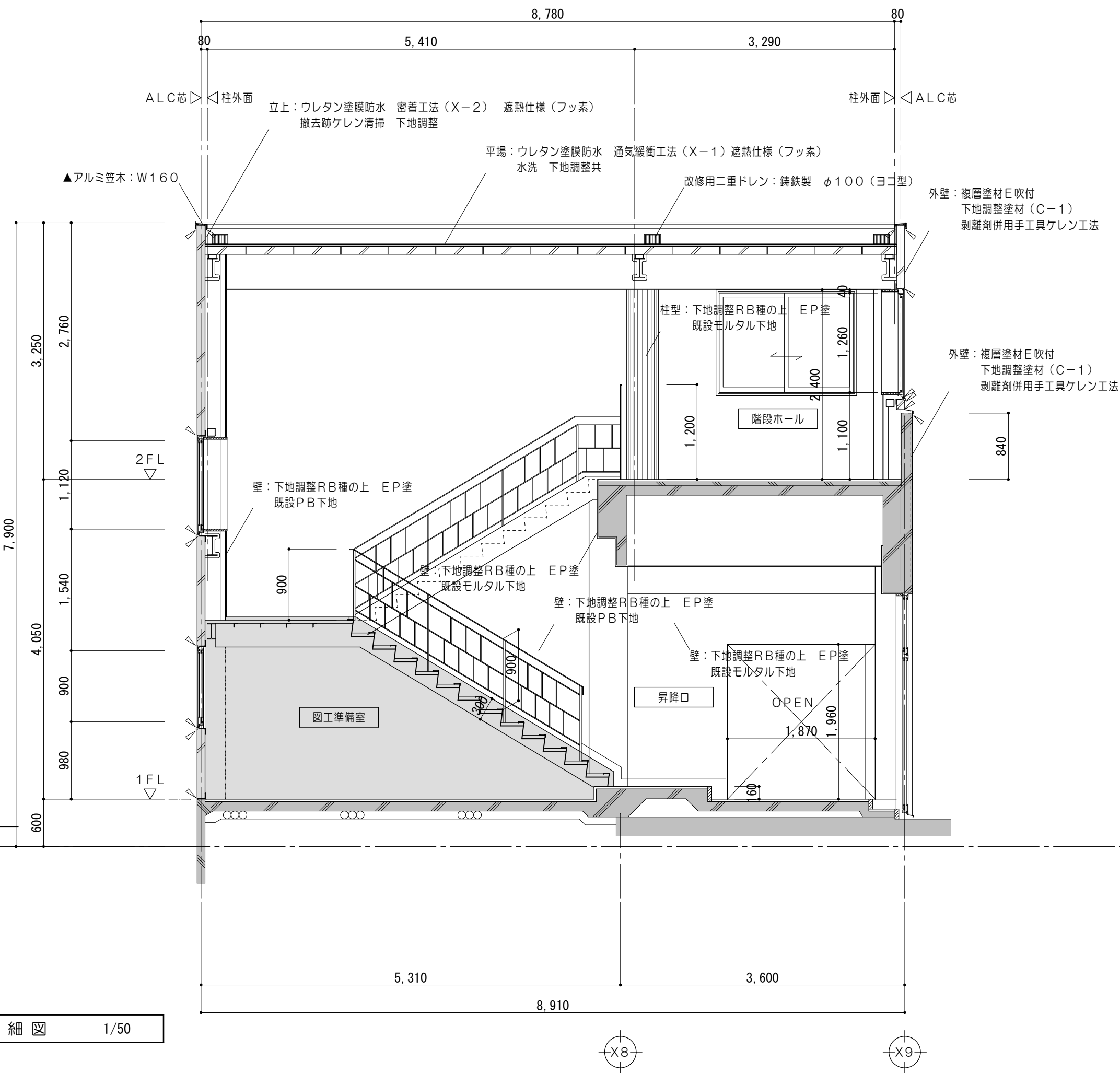


凡例（工事内容）									
	既設のままを示す		コンクリート壁撤去を示す （建具共）		仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す	———	コンクリートカッター切を示す	▲	取外し再取付を示す
	既設コンクリート躯体を示す		既設間仕切壁撤去を示す （建具共）		仕上材撤去範囲を示す	- - - -	モルタルカッター切を示す	●	既設のままを示す
	既設C字横を示す				仕上・下地共撤去を示す	※	解体撤去を示す	◆	既設塗替を示す

 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第36917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
	検図	図面名称 改修前 階段詳細図	縮 尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A036 原図:A2						



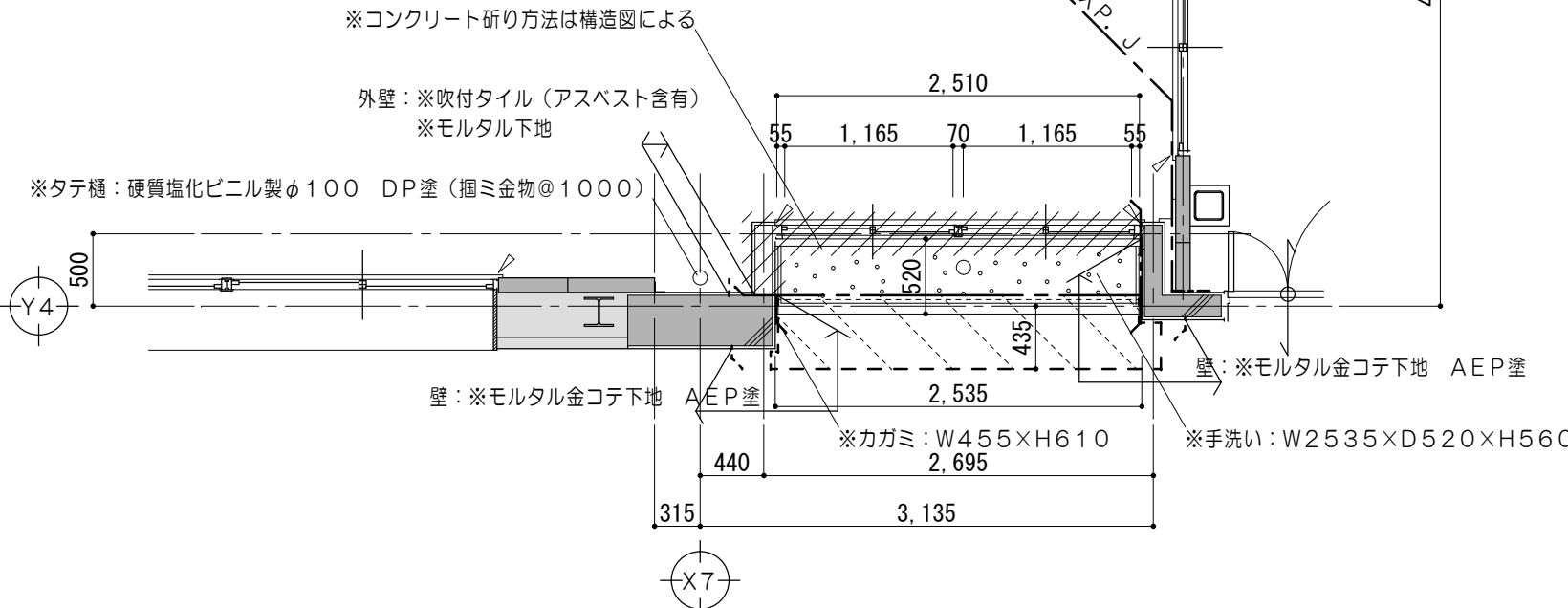
断面詳細図 1/50



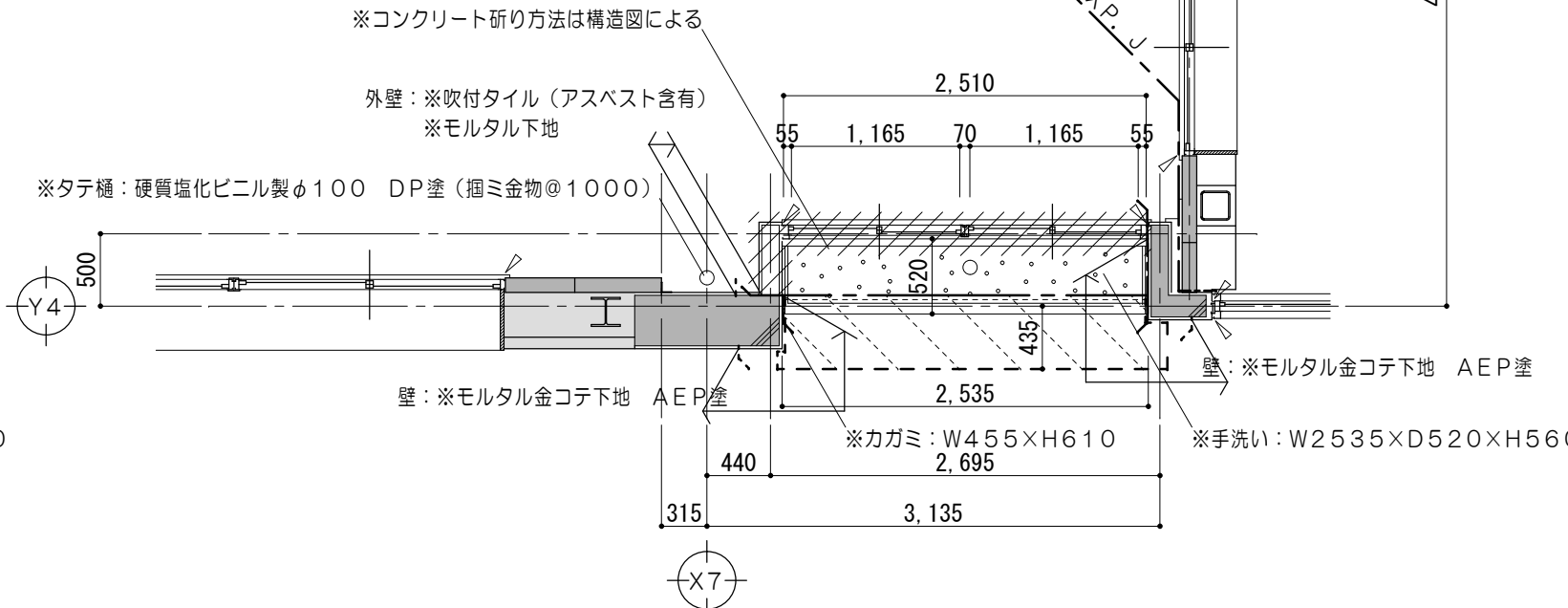
凡例 (工事内容)			
	既設のままを示す	▲	取外し再取付を示す
	既設コンクリート躯体を示す	●	既設のままを示す
	既設C B構を示す	◆	既設塗替を示す

特 記 事 項					MAENO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
						一級建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士	津市立明合小学校校長寿命化改修工事					
						第360917号	第378328号	第320204号	第320204号	第320204号	縮 尺	図面番号				
						前田 祐作	加藤 早妃	前野 将輝	前野 将輝	縮 尺	図面番号					
					管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝						検図	図面名称	A2:1/50 A3:1/71	A037 原図:A2		
												改修後 階段詳細図				

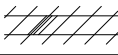
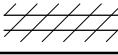
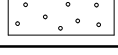
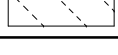
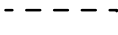
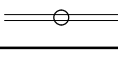
改修前



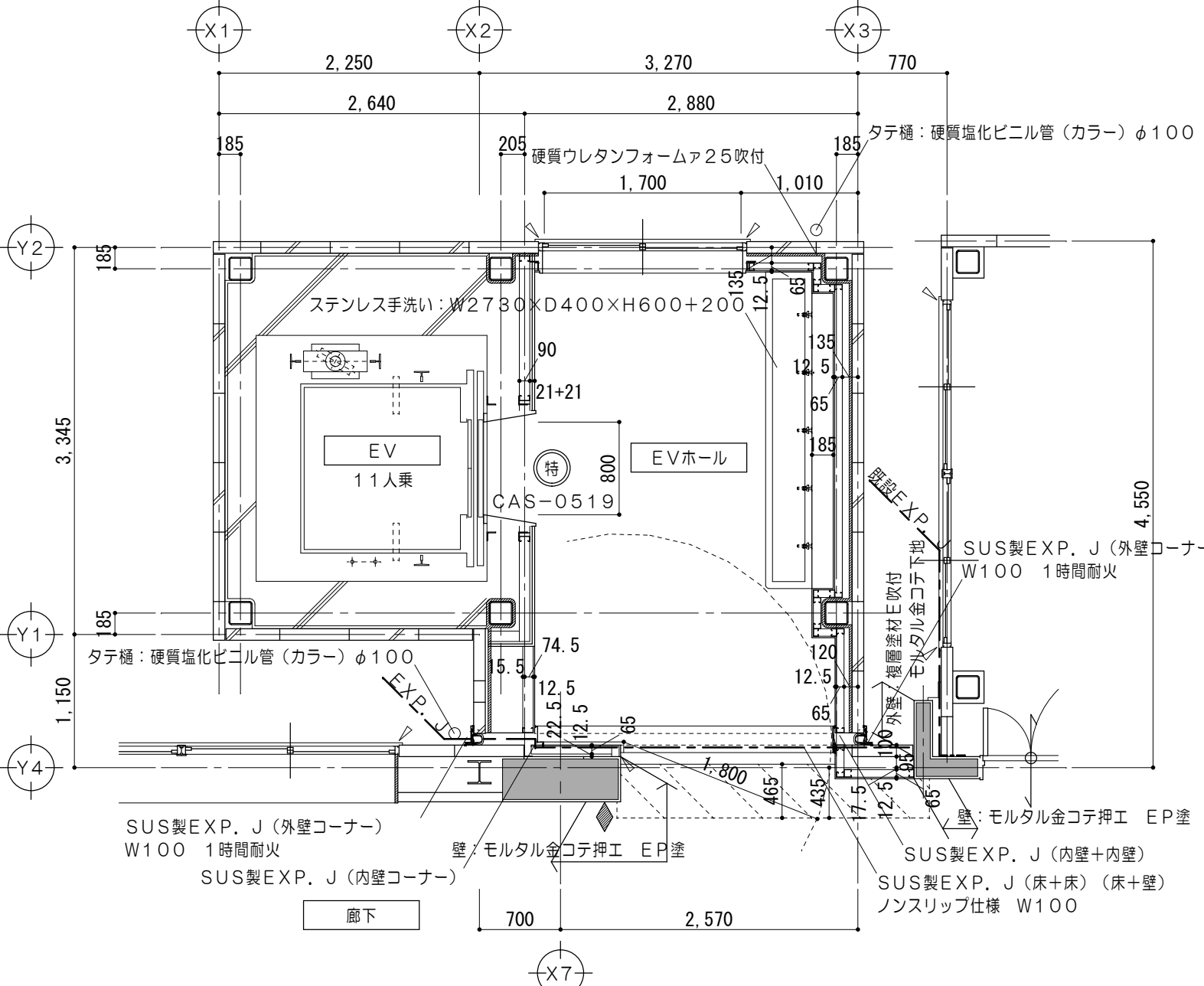
1 階 平 面 詳 細 図 1/50



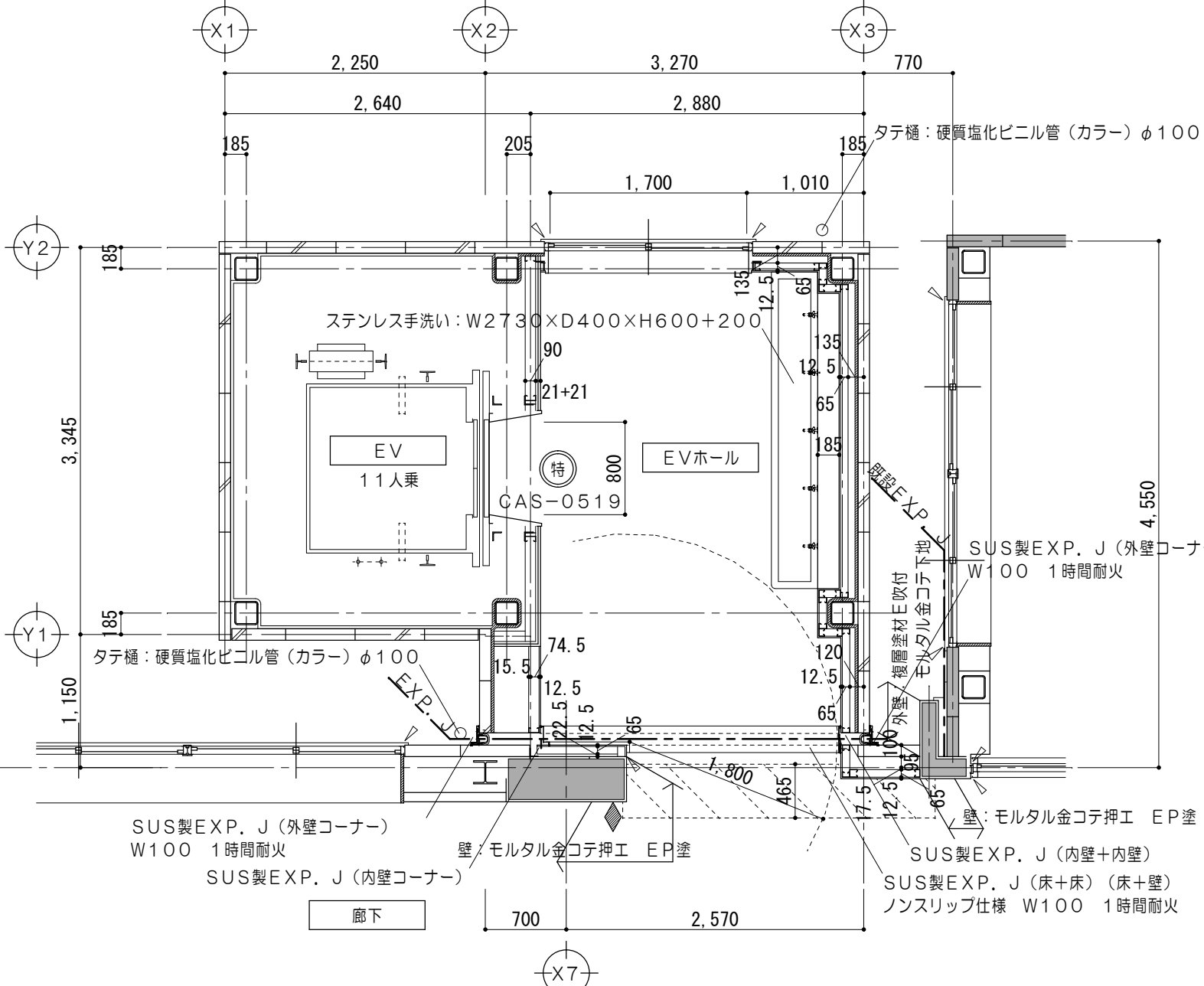
2 階 平 面 詳 細 図 1/50

凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ＣＢ積を示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	ステンレス柵、ステンレスレールを示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
（特）	特定防火設備を示す （遮煙性能なし）
（防）	既設防火設備を示す
±0	特記なき場合ＦＬ±0を示す

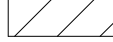
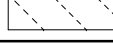
改修後



1 階 平 面 詳 細 図 1/50



2 階 平 面 詳 細 図 1/50

凡例 (工事内容)	
	既設のまゝを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ＡＬＣ壁を示す
	既設ＣＢ構を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	ＥＶビクトサイン位置を示す 突出シ １５０×１５０
	ステンレス柵樫、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のまゝを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	特記なき場合ＦＬ±０を示す

特
記
事
項

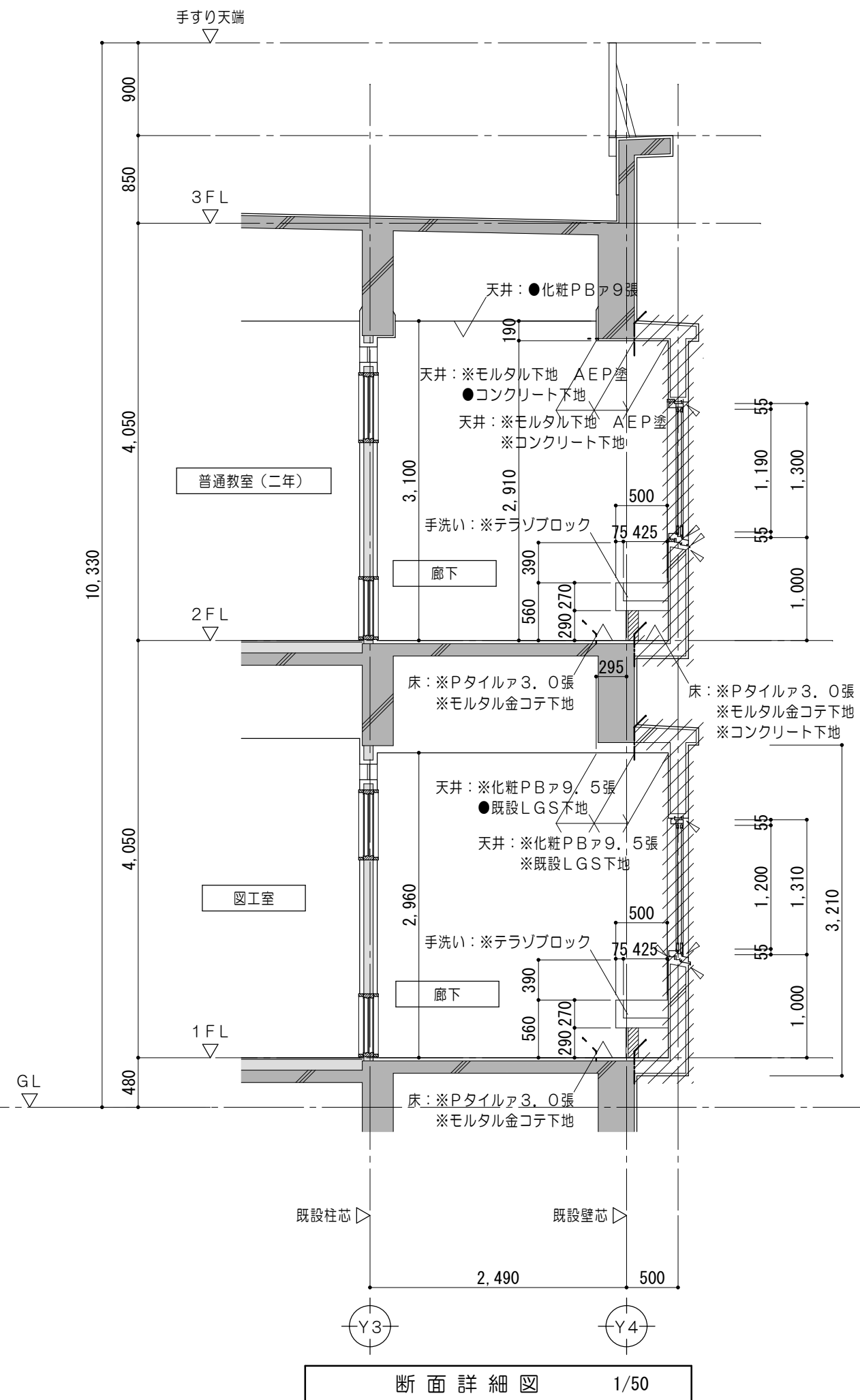
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 **前野建築設計**
 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

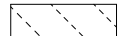
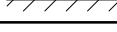
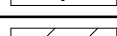
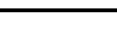
代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	------

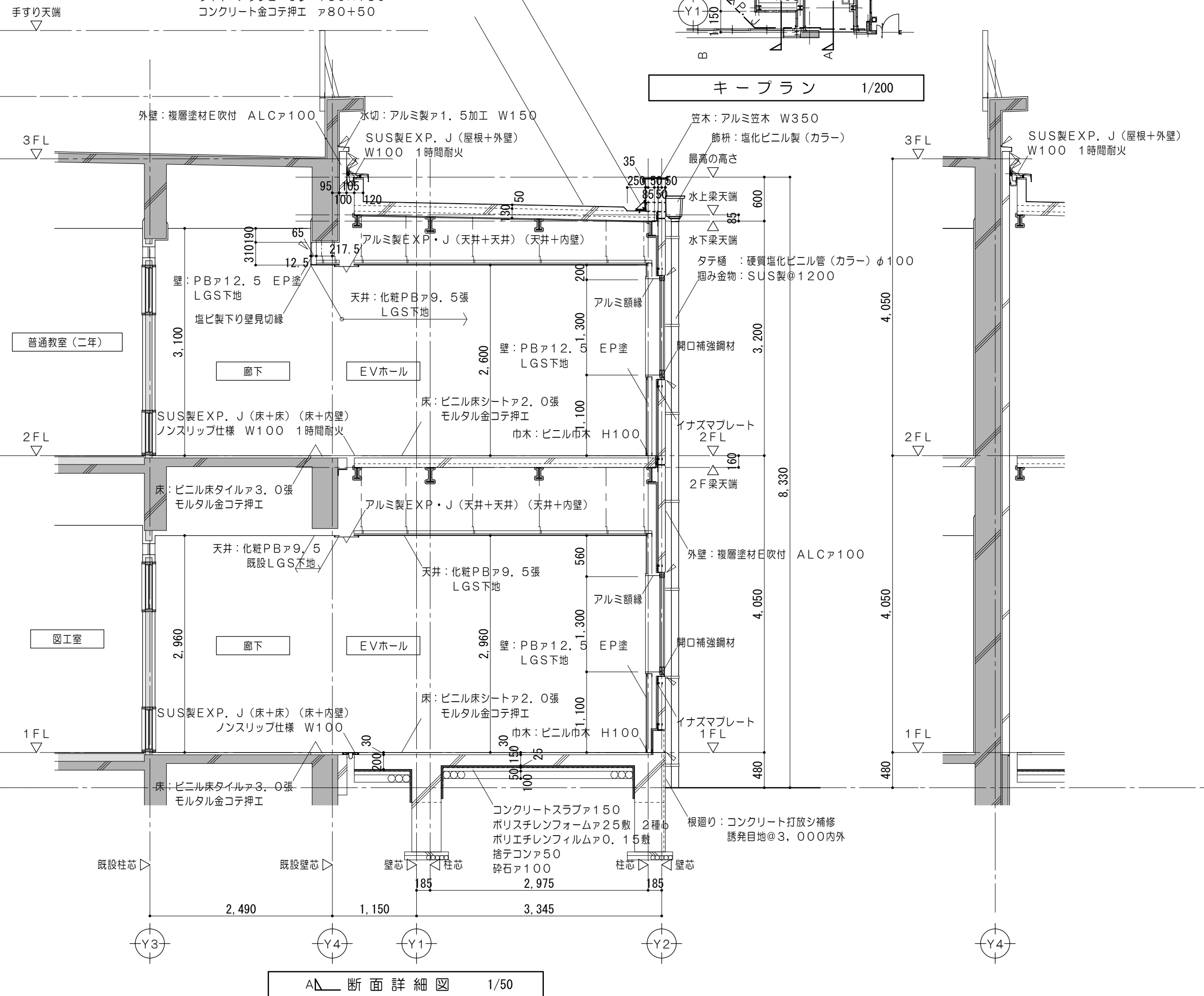
法適合確認

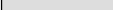
和図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事	
面図	面図名称 改修前 改修後 E V 平面詳細図	縮 尺 A2:1/50 A3:1/71

図面番号
A038
原図:A2



凡例（工事内容）			
	既設のままを示す		仕上・下地共撤去を示す
	既設コンクリート躯体を示す	—— ———	コンクリートカッター切を示す
	既設ＣＢ積を示す	- - - - -	モルタルカッター切を示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）	※	解体撤去を示す
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）	▲	取外シ再取付を示す
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す	●	既設のままを示す
	仕上材撤去範囲を示す		



凡例 (工事内容)			
	既設のままを示す		シーリングを示す
	既設コンクリート躯体を示す		取外シ再取付を示す
	既設ALC壁を示す		既設のままを示す
	既設CB横を示す		既設塗替を示す

特 記 事 項	

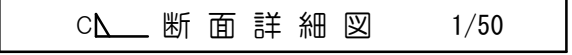
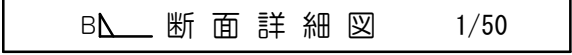
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

 株式会社 **前野建築設計**

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	------

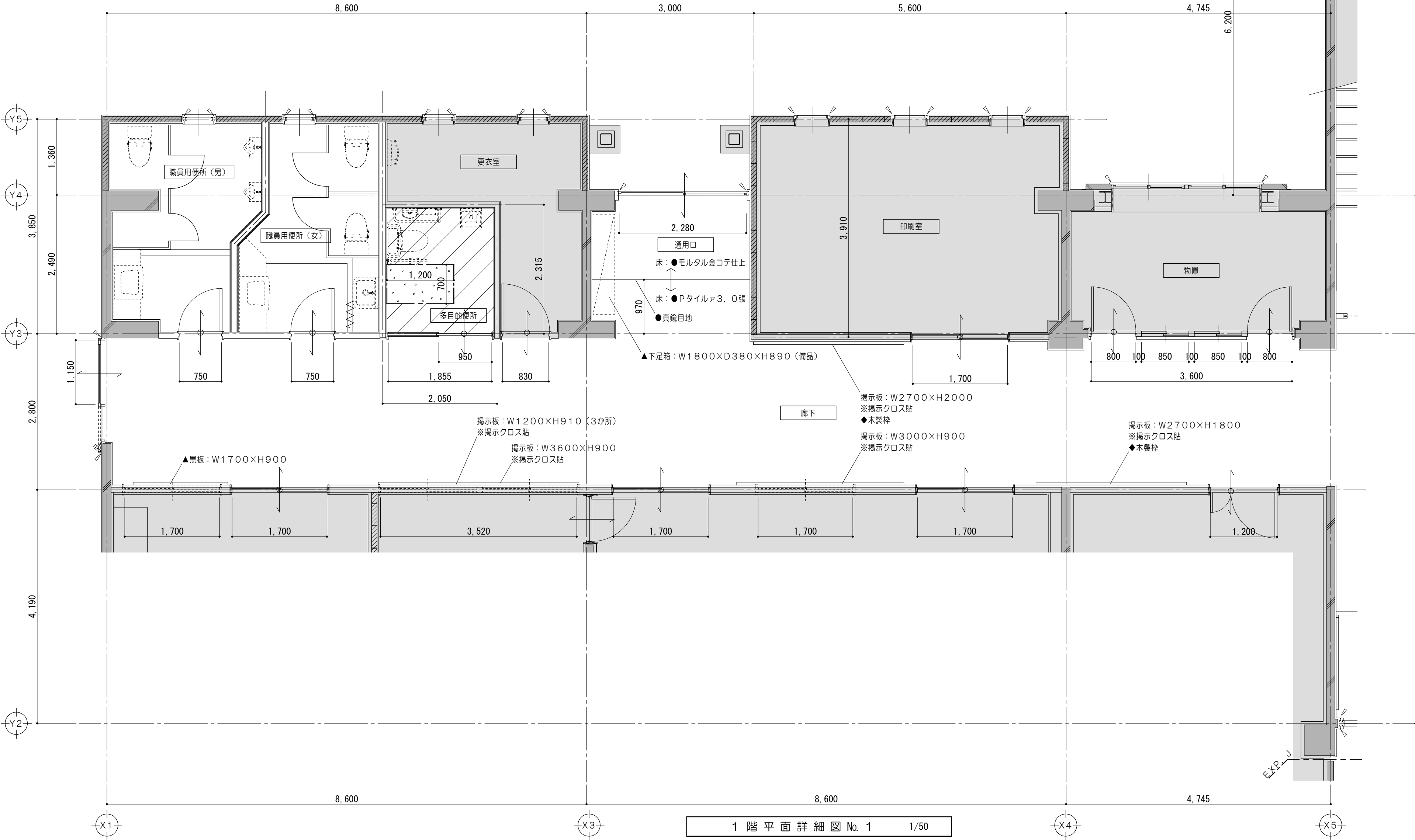
法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事		設計日
	検図	図面名称 縮尺 A2: 1/50 A3: 1/71 改修前 改修後 E V断面詳細図No. 1	図面番号 A039 原図: A2	



特 記 事 項		MAIRO 株式 会社 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
								校図	図面名称 縮 尺 A2:1/50 A3:1/71 改修後 E V断面詳細図No. 2	図面番号 A040 原図:A2	

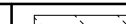
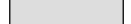
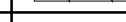
凡例 (工事内容)					
	既設のまますを示す		仕上材・下地・コンクリート撤去範囲を示す	※	解体撤去を示す
	既設コンクリート躯体を示す		仕上材撤去範囲を示す	▲	取外シ再取付を示す
	既設ALC壁を示す		仕上・下地共撤去を示す	●	既設のまますを示す
	既設CB構を示す		コンクリートカッター切を示す	◆	既設塗替を示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)		モルタルカッター切を示す	(特)	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)		吝摺、ステンレスレールを示す	±0	特記なき場合F L ±0を示す

※註記：既設土間撤去範囲の鉄筋はコンクリート切断面から10 d程度残して切断する

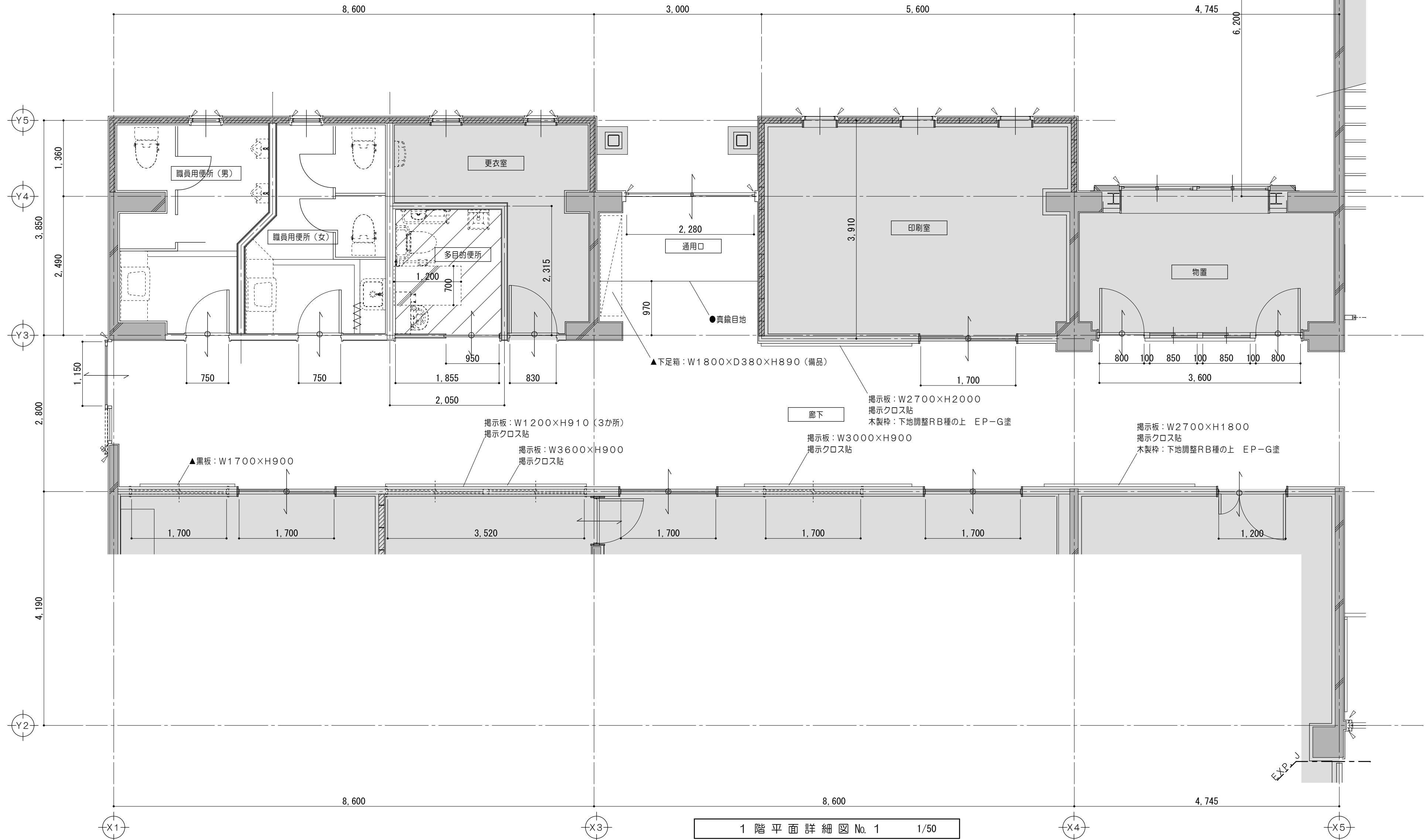


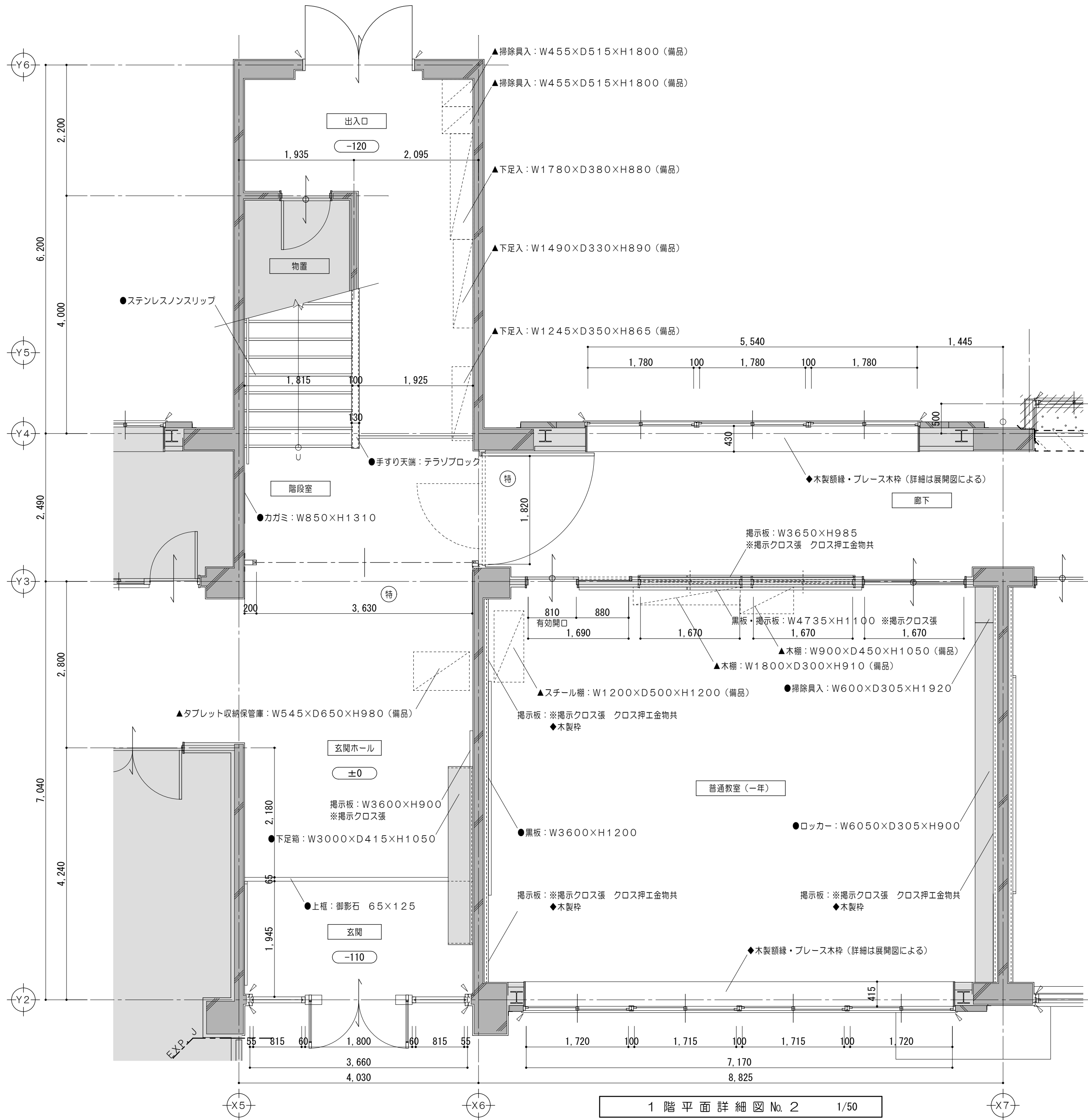
1 階平面詳細図 No. 1 1/50

特 記 事 項					MAHNO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日	
													津市立明合小学校校長寿命化改修工事		
												検図	図面名称	縮 尺	図面番号
												改修前 1 階平面詳細図No. 1	A2: 1/50 A3: 1/71	A041 原図: A2	

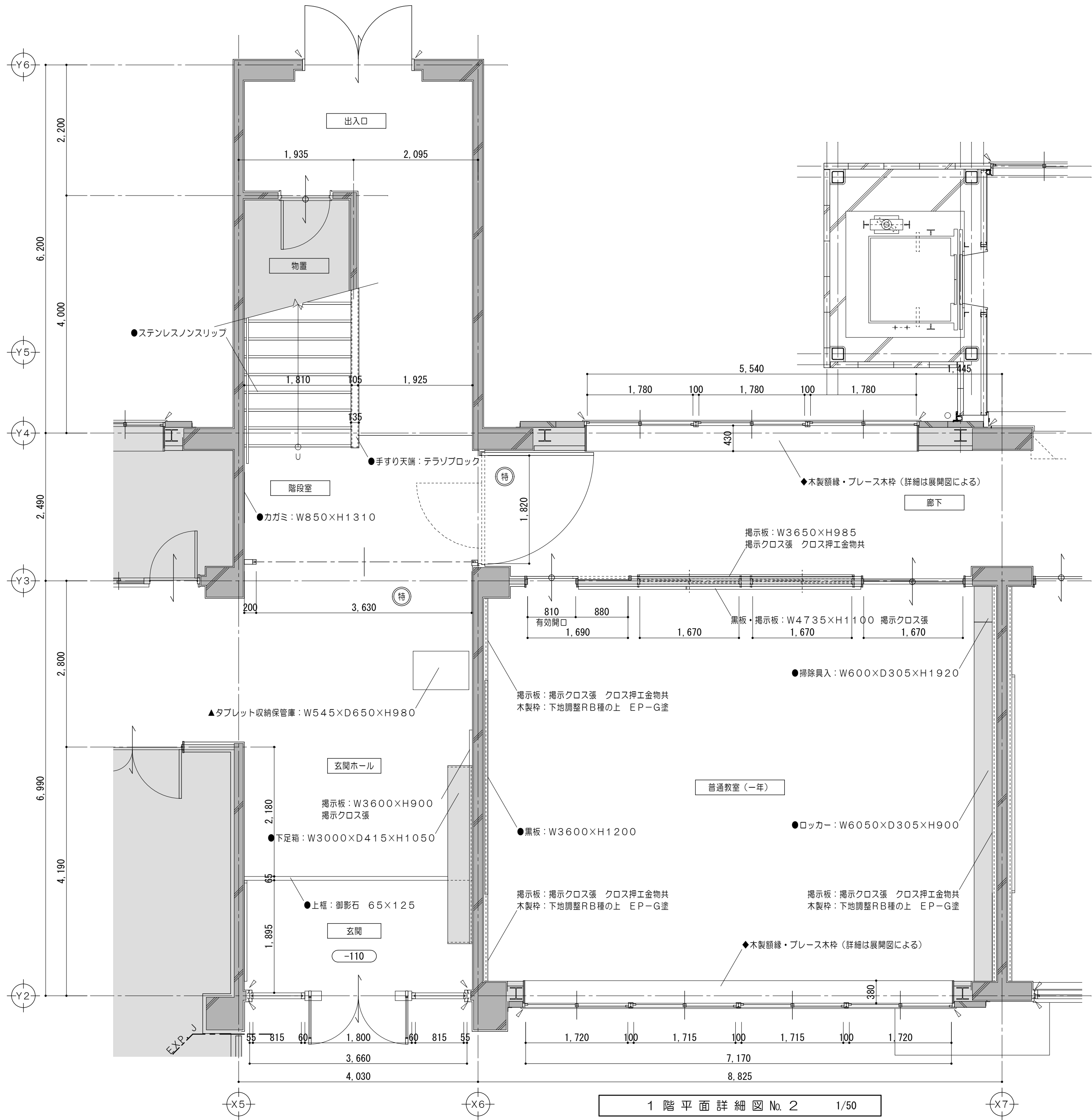
凡例 (工事内容)					
	既設のままを示す		仕上・下地共新設範囲を示す	▲	取外シ再取付を示す
	既設コンクリート躯体を示す		シーリングを示す	●	既設のままを示す
	既設ALC壁を示す		既設壁穴区画を示す	◆	既設塗替を示す
	既設CB積を示す		E/Vピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150	⊙特	特定防火設備を示す(遮煙)
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す		ステンレス柵、ステンレスレール新設を示す	⊙防	防火設備を示す
	仕上材新設範囲を示す			±0	特記なき場合FL±0を示す

※註記：既設土間撤去部分の復旧は以下の通り。
 コンクリート F_{c18} S_{15}
 $\text{D}_{10@200}$ シングル 既設鉄筋にフレア溶接



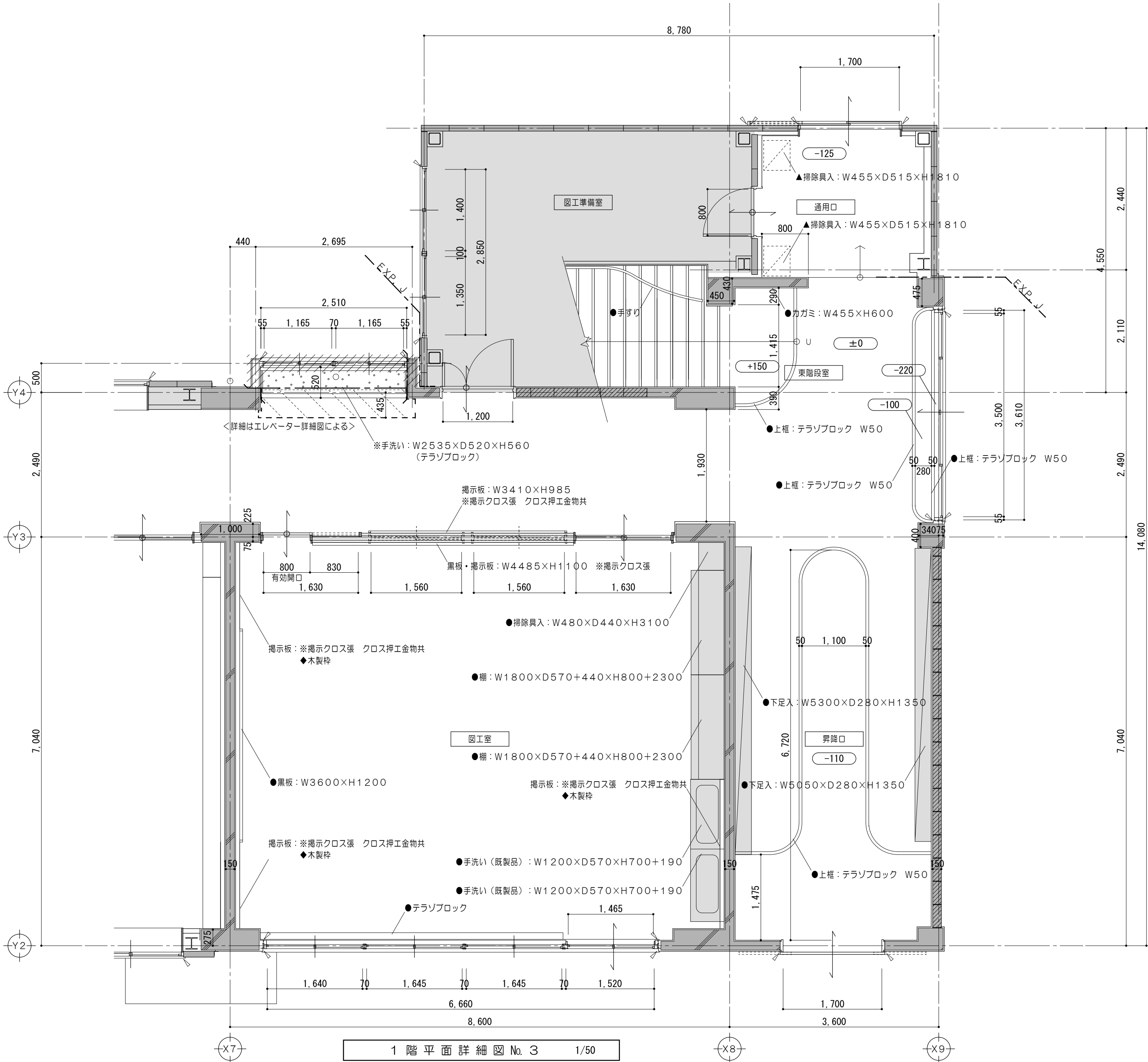


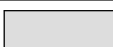
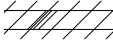
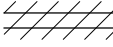
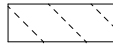
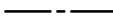
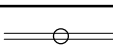
凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB構を示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	ステンレス沓摺、ステンレスレールを示す
※	解体撤去を示す
▲	取外し再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す
(特)	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
±0	特記なき場合FL±0を示す

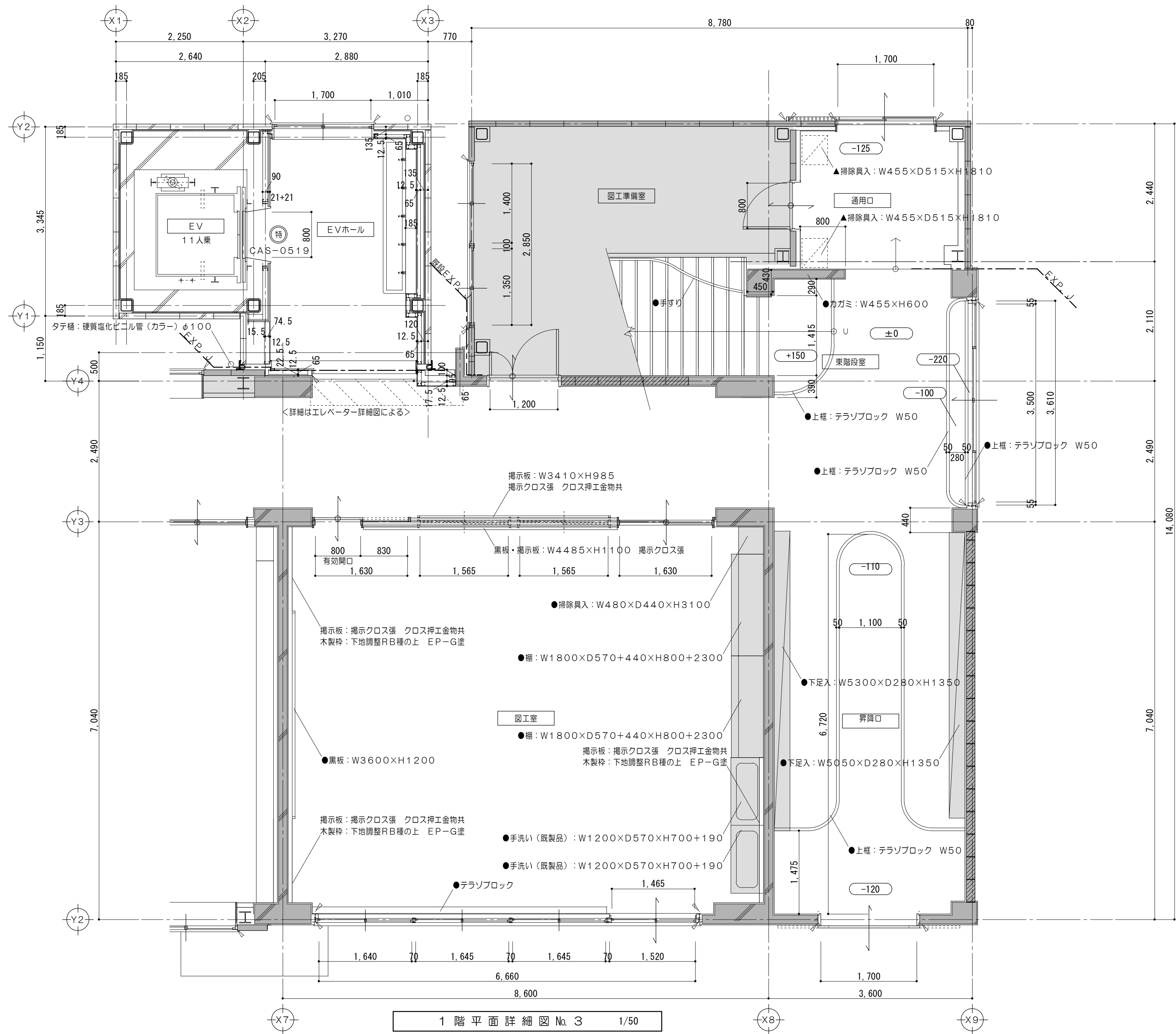


凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB積を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設整穴区画を示す
	EVピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス沓摺、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のままを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	特記なき場合FL±0を示す

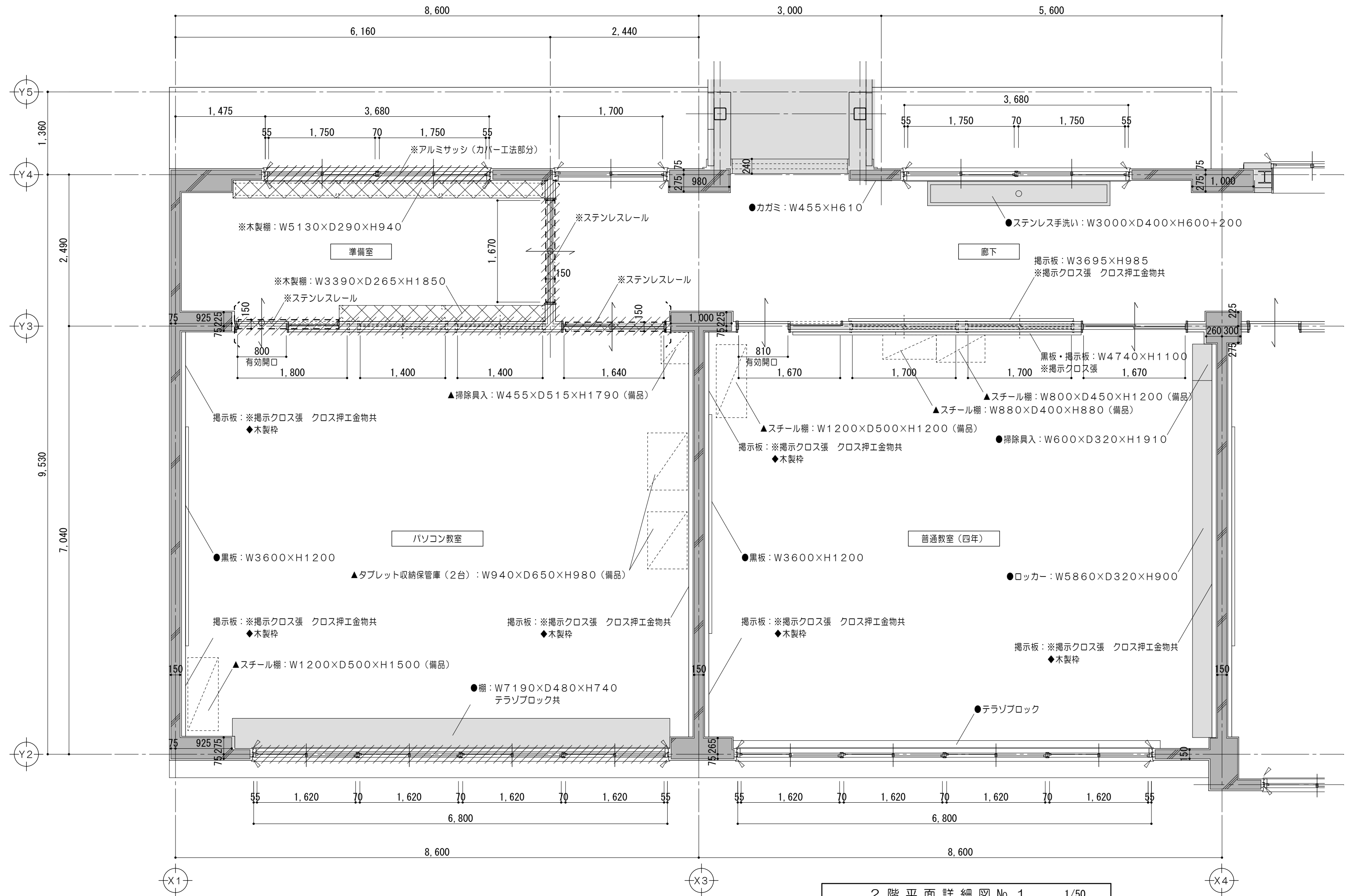
特 記 事 項		MAENO 株式 会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
	検図								図面名称 縮 尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号	
									改修後 1階平面詳細図No.2	A044 原図:A2	



凡例 （工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ＣＢ積を示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	ステンレス柵、ステンレスレールを示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
(特)	特定防火設備を示す （遮煙性能なし）
(防)	既設防火設備を示す
±0	特記なき場合ＦＬ±0を示す

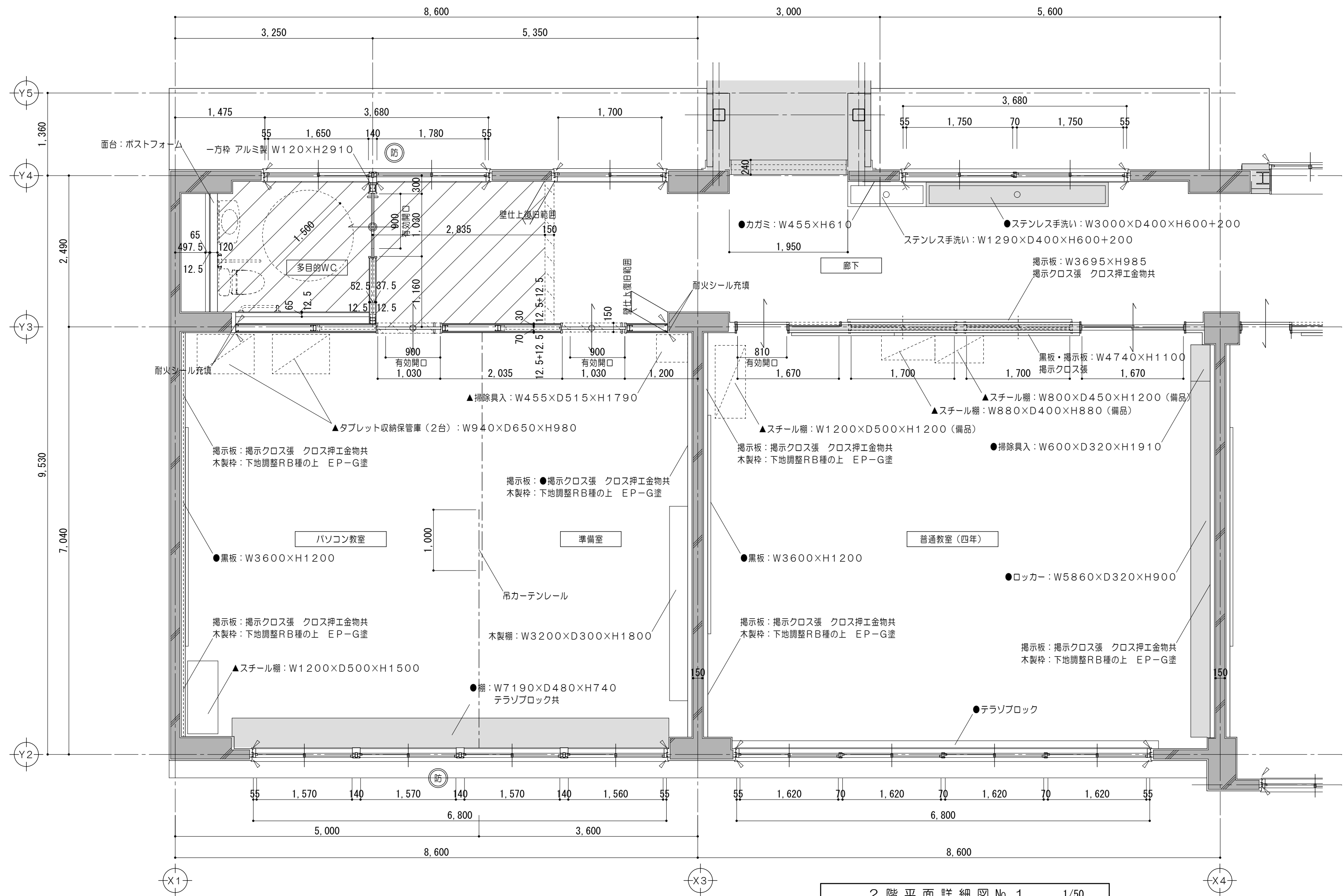


凡例 (工事内容)	
	既設のまますを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB横を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設整穴区画を示す
	EVピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス柵、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のまますを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す
	特記なき場合F.L. ±0を示す



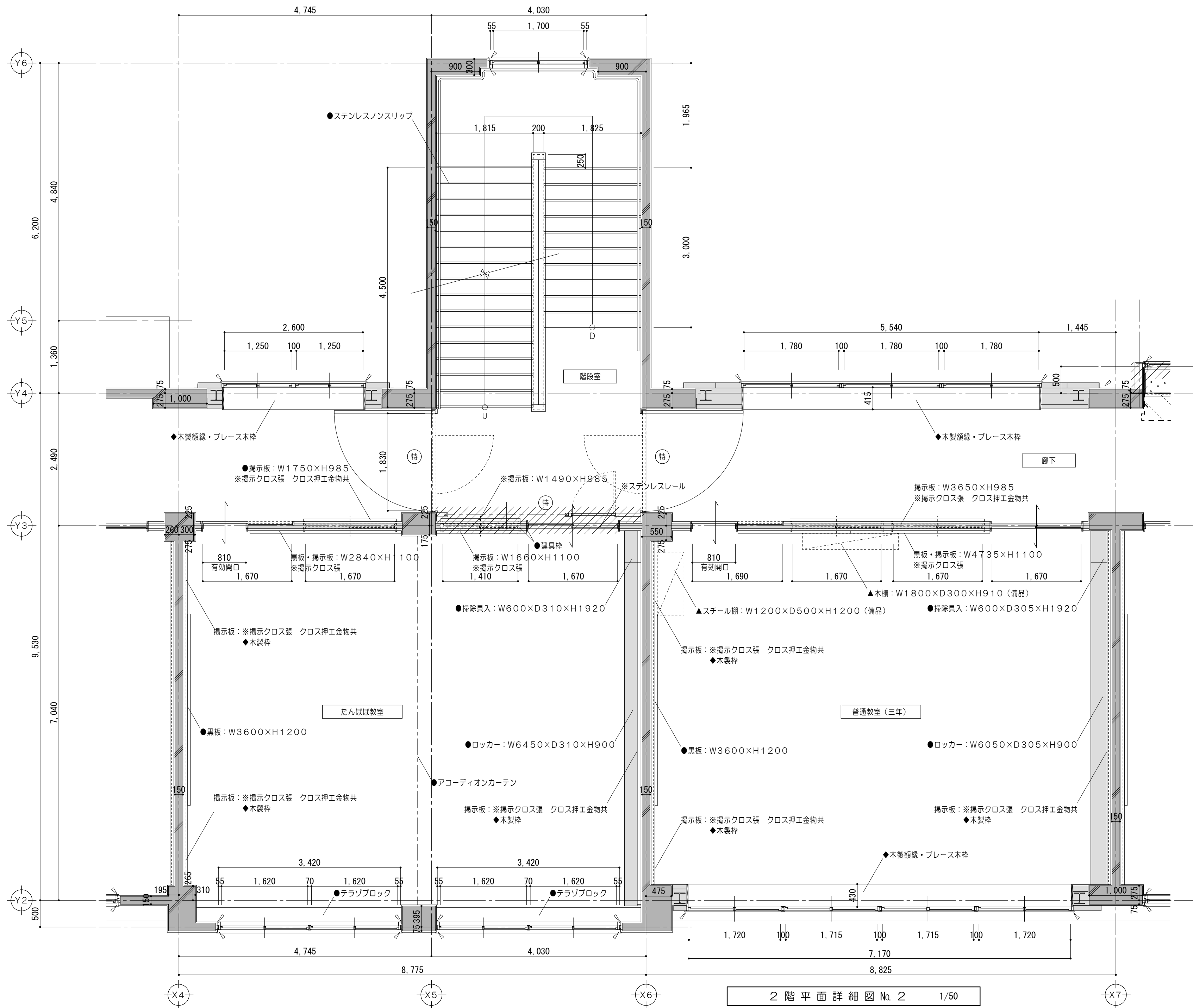
2 階平面詳細図 No. 1 1/50

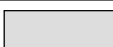
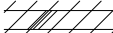
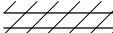
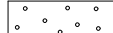
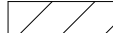
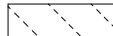
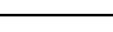
凡例 （工事内容）	
	既設のまます
	既設コンクリート躯体をす
	既設CB構をす
	コンクリート壁撤去をす （建具共）
	既設間仕切壁撤去をす （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲をす
	仕上材撤去範囲をす
	仕上・下地共撤去をす
	家具撤去をす
	コンクリートカッター切をす
	モルタルカッター切をす
	ステンレス柵、ステンレスレールをす
※	解体撤去をす
▲	取外シ再取付をす
◆	既設塗替をす
●	既設のまます
（特）	特定防火設備をす （遮煙性能なし）
（防）	既設防火設備をす
±0	特記なき場合FL±0をす

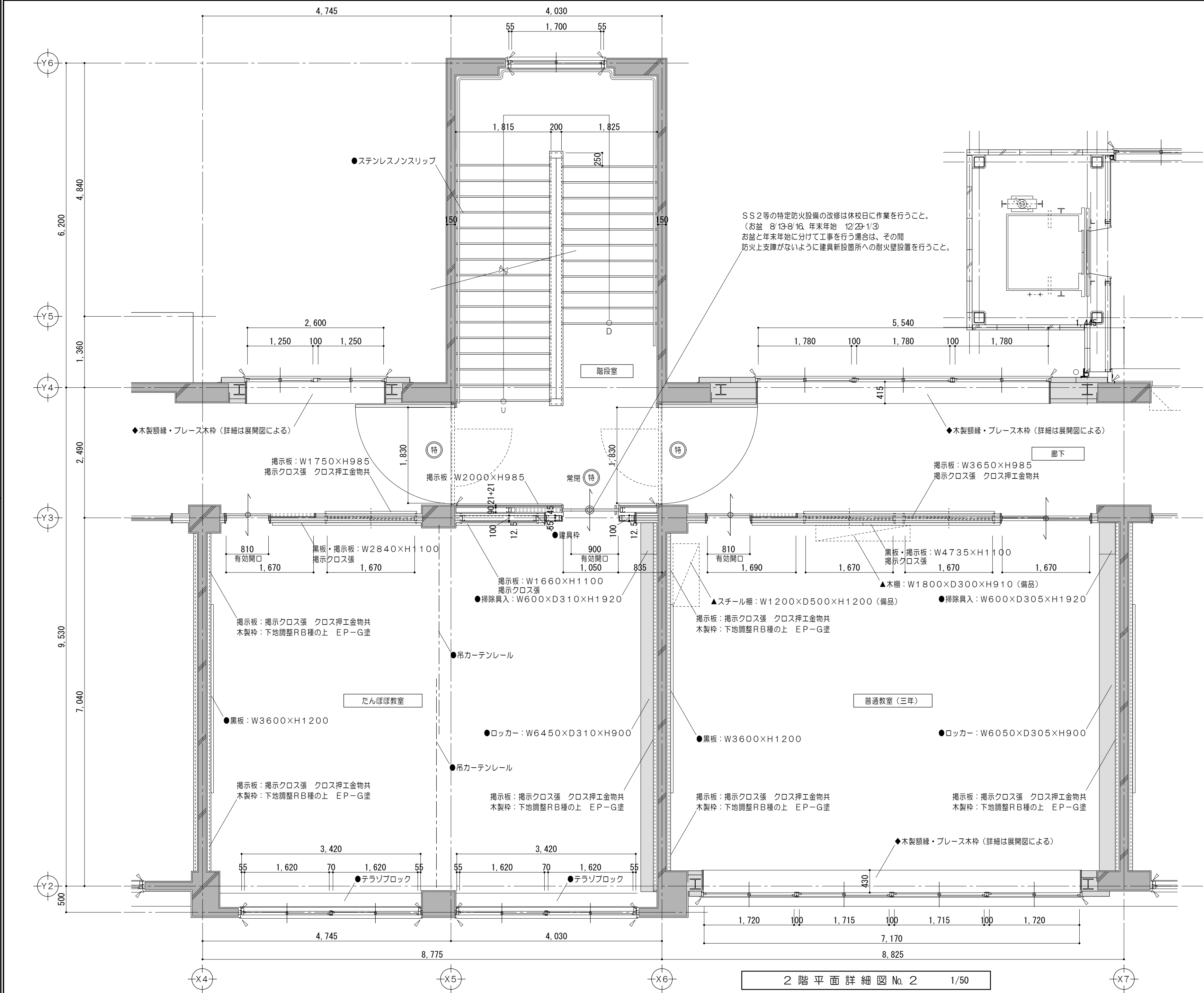


2 階平面詳細図 No. 1 1/50

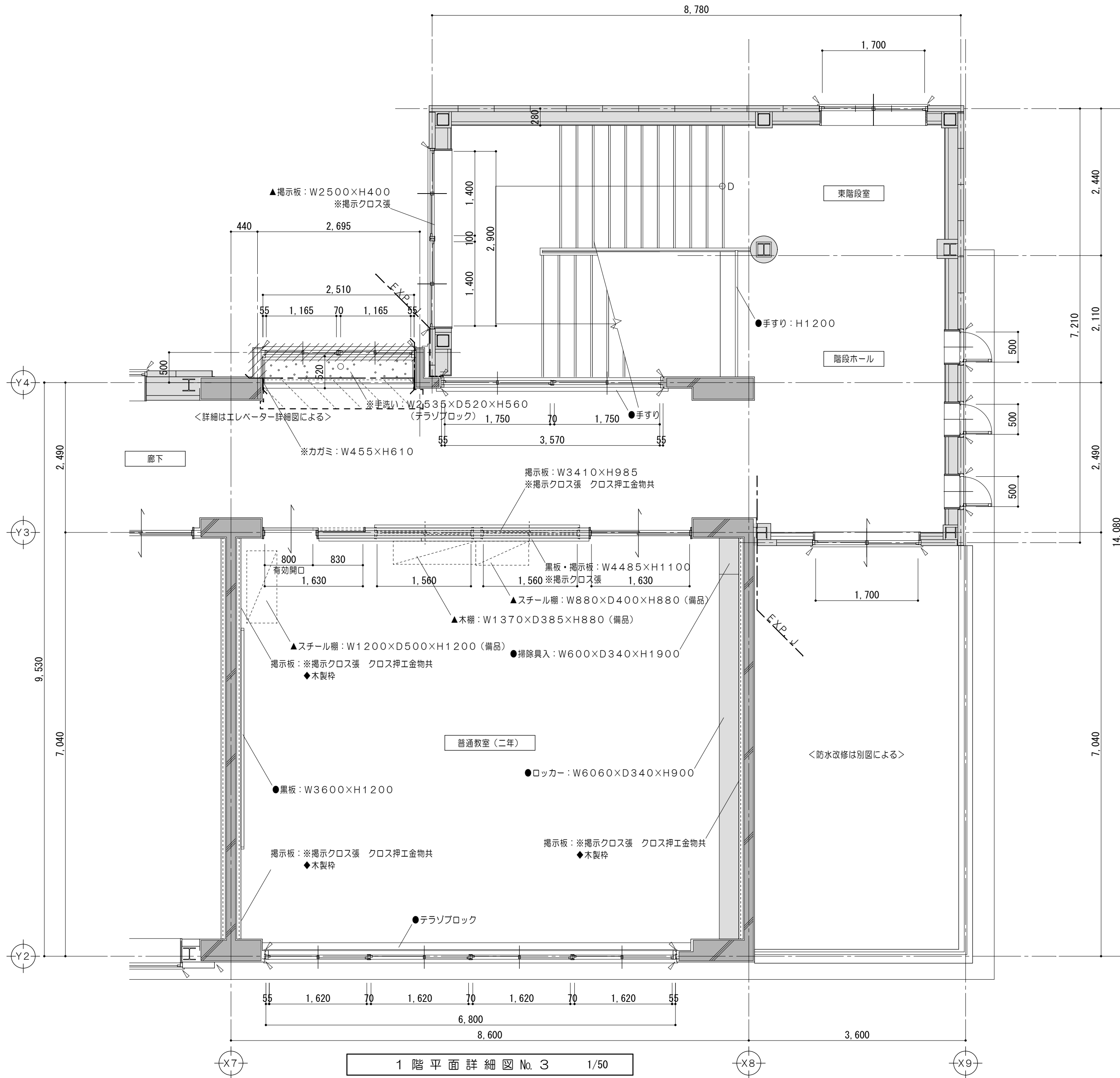
凡例 (工事内容)	
	既設のまますを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALG壁を示す
	既設CB床を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設壁穴区画を示す
	EVピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス沓摺、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のまますを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す
	特記なき場合FL±0を示す



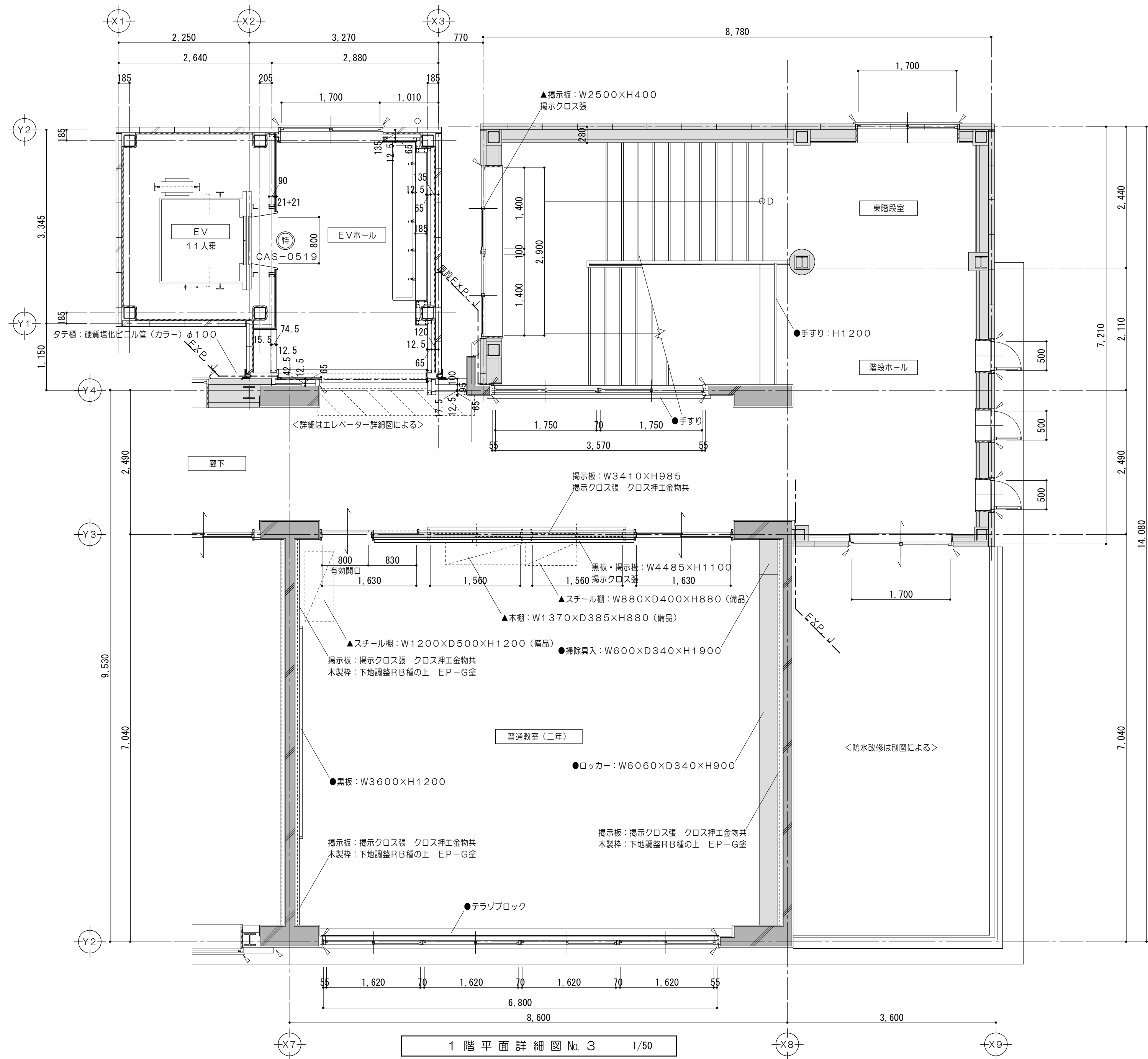
	凡例（工事内容）
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ＣＢ積を示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	ステンレス柵、ステンレスレールを示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
(特)	特定防火設備を示す （遮煙性能なし）
(防)	既設防火設備を示す
±0	特記なき場合ＦＬ±0を示す



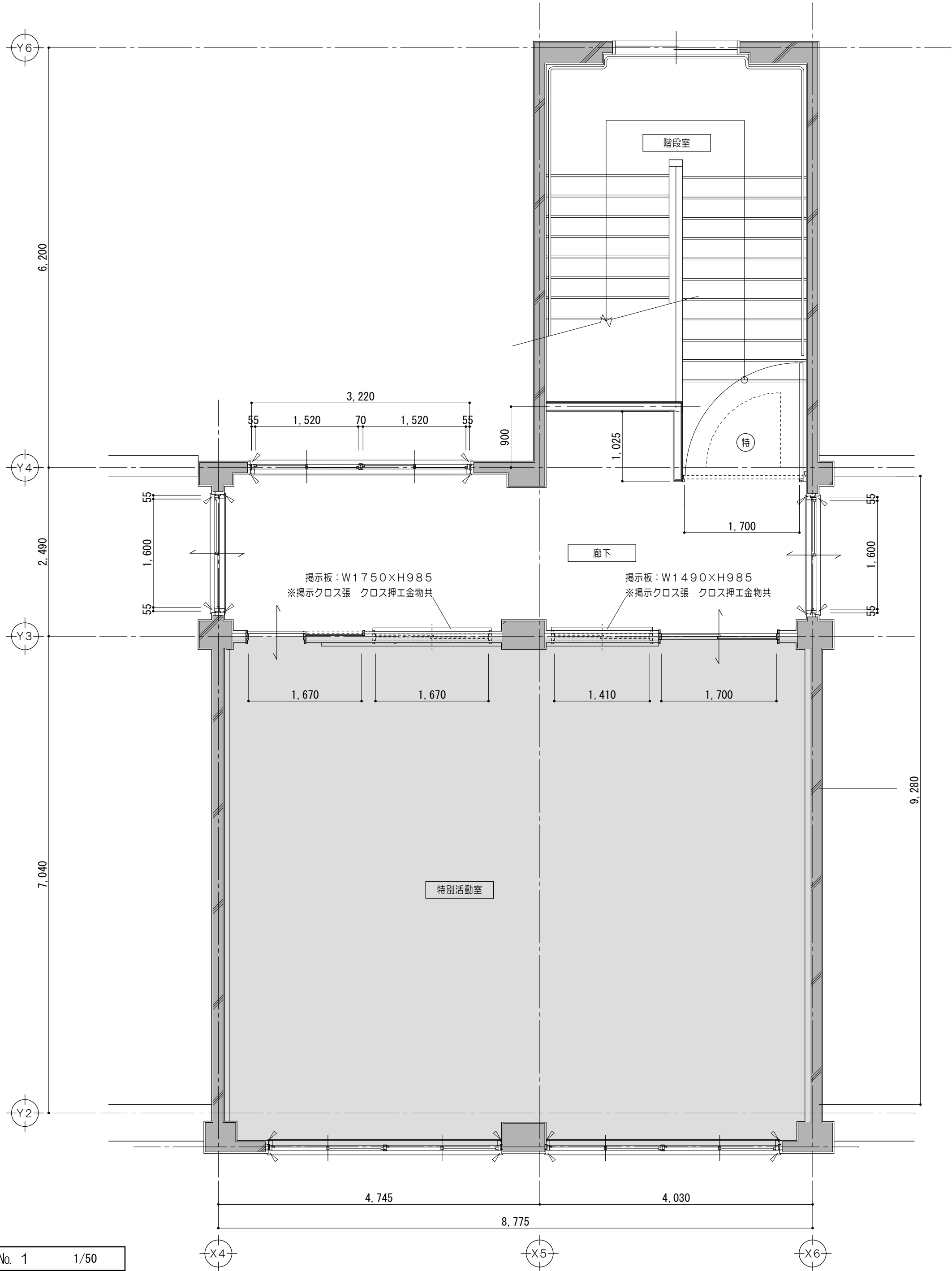
凡例（工事内容）	
	既設のまますを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB横を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設整穴区画を示す
	EVピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス柵、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のまますを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	特記なき場合F.L.±0を示す



凡例 (工事内容)	
	既設のまますを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設コンクリート躯体を示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	特記なき場合 F L ± 0 を示す
	※ 解体撤去を示す
	▲ 取外シ再取付を示す
	● 既設のまますを示す
	(特) 特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
	(防) 既設防火設備を示す

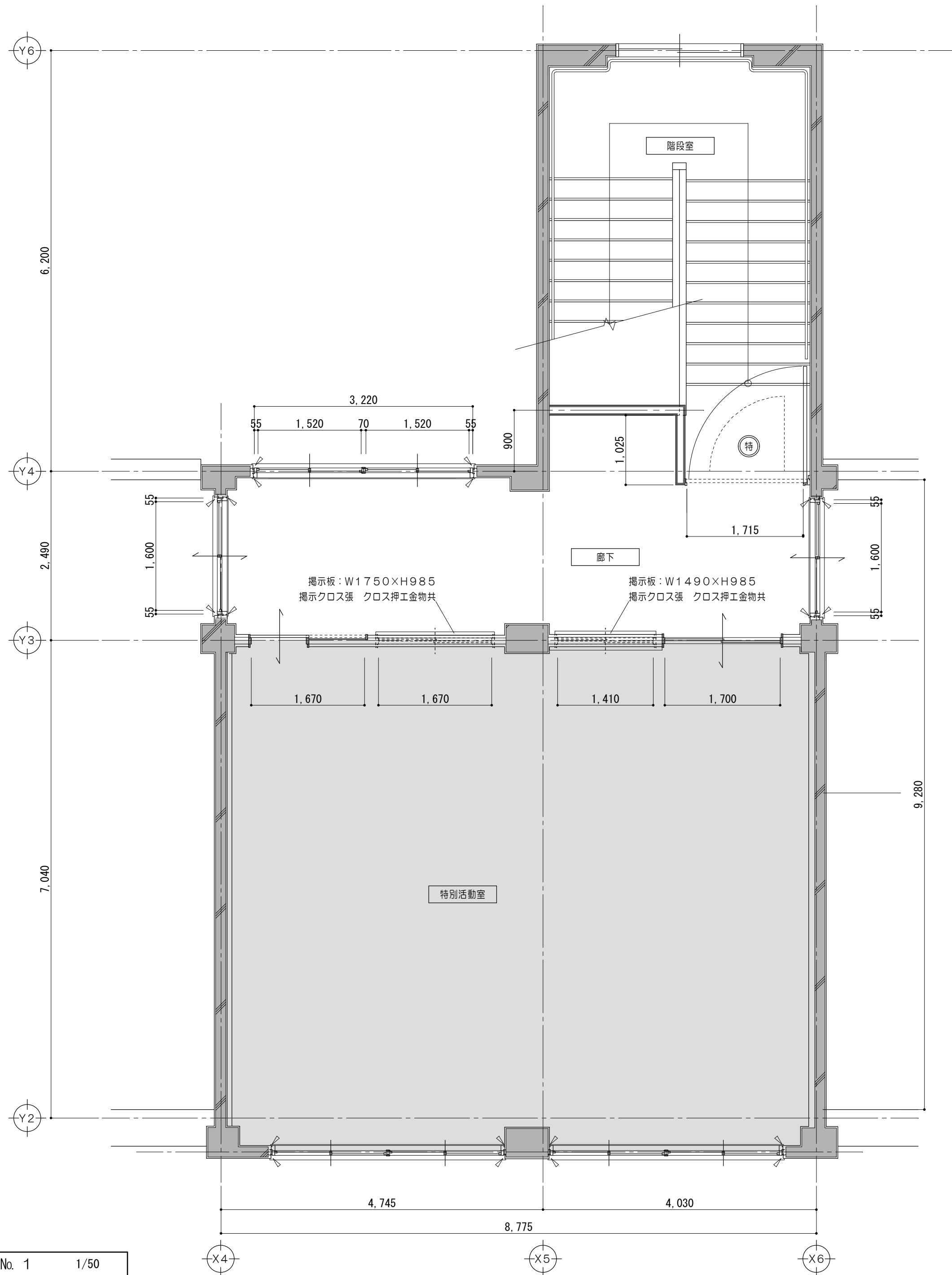


凡 例 （工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設AL壁を示す
	既設CB横を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設整穴区画を示す
	EVピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス沓摺、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のままを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	特記なき場合FL±0を示す



3 階 平 面 詳 細 図 No. 1 1/50

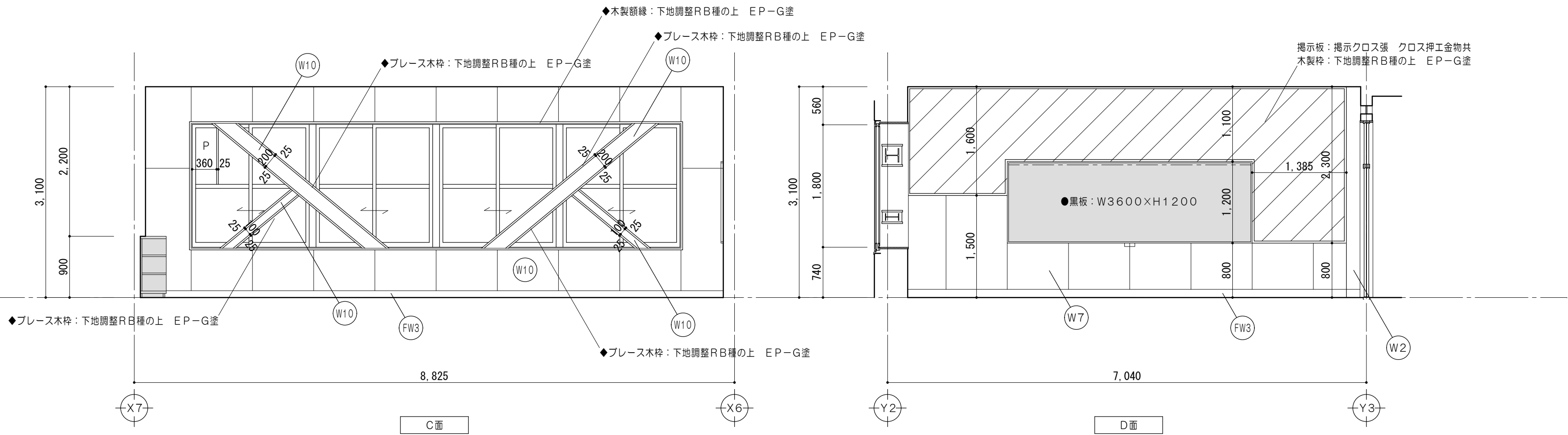
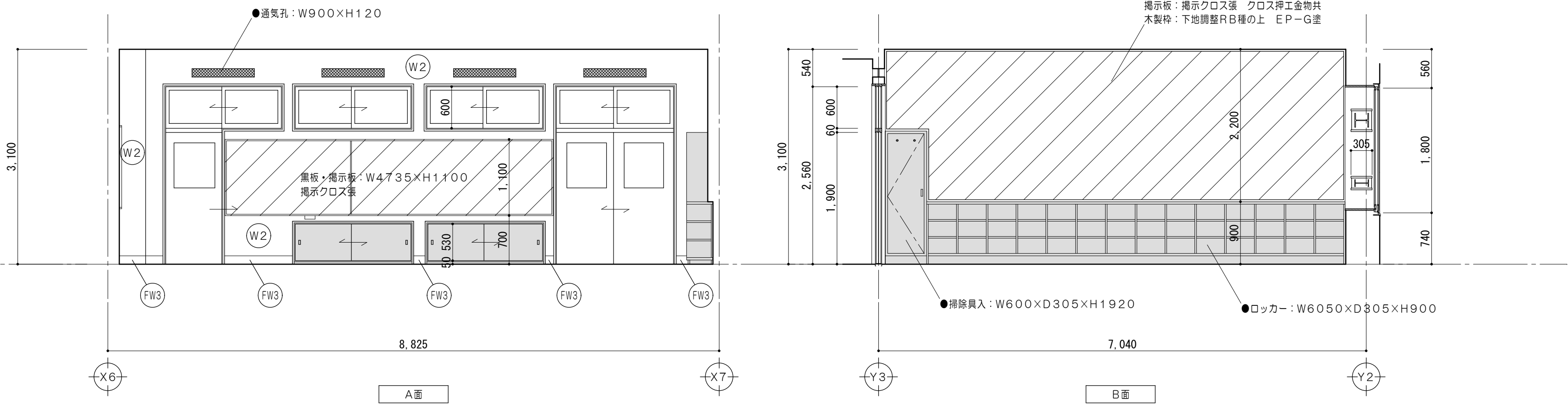
凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB構を示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	ステンレス巻摺、ステンレスレールを示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す
(特)	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
±0	特記なき場合F.L.±0を示す



3 階 平 面 詳 細 図 No. 1 1/50

凡例 （工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB横を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設整穴区画を示す
	EVピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス沓摺、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のままを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	特記なき場合F.L.±0を示す

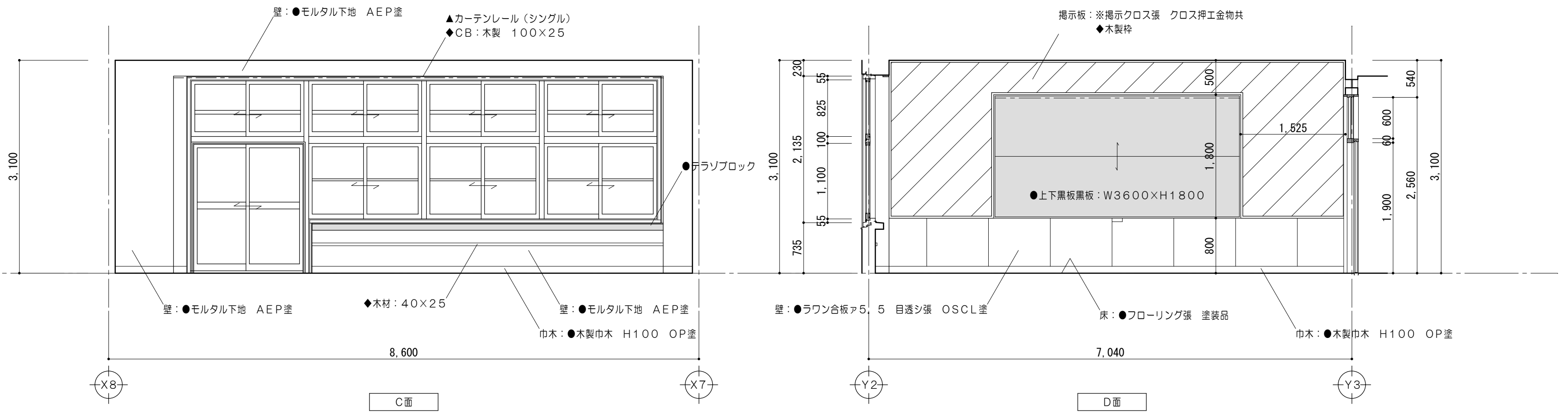
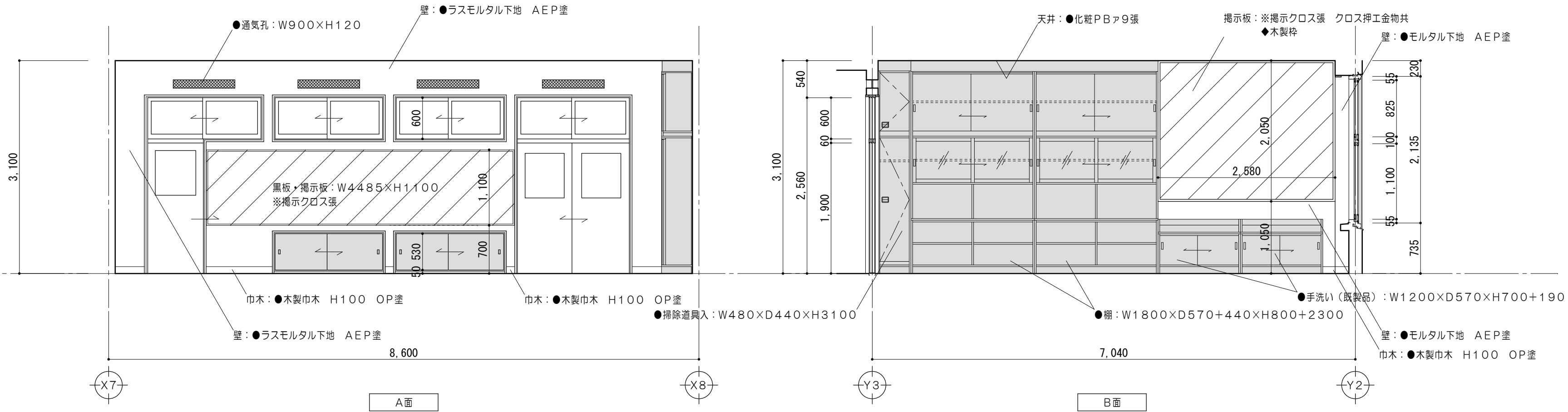
特 記 事 項		株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	図面番号	縮 尺	図面番号
				一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第320204号 前野 将輝				検図	津市立明合小学校長寿命化改修工事	改修後 3 階平面詳細図No. 1	A2:1/50 A3:1/71	A054 原図:A2



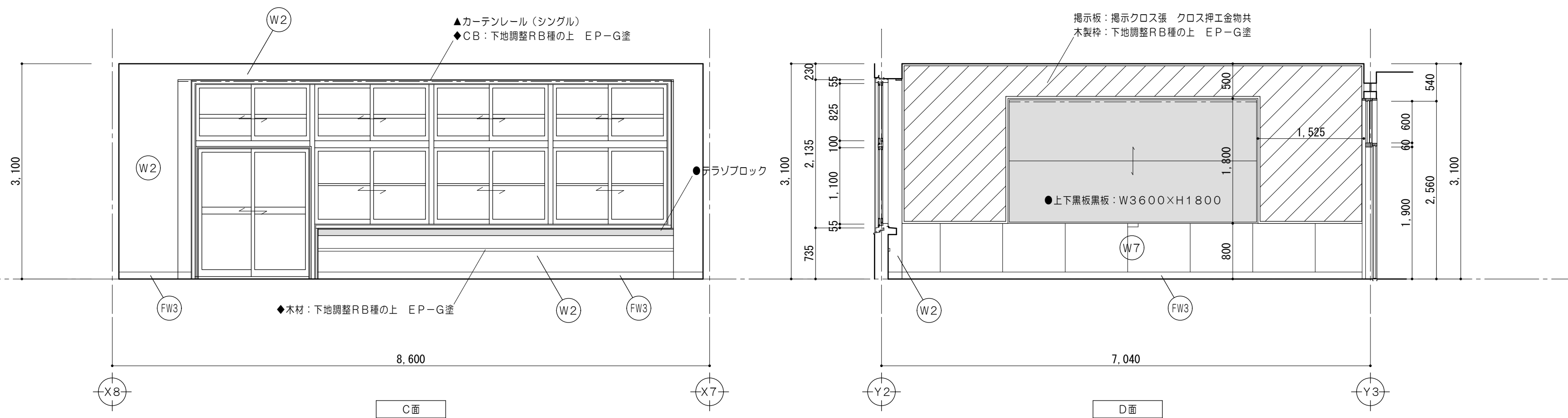
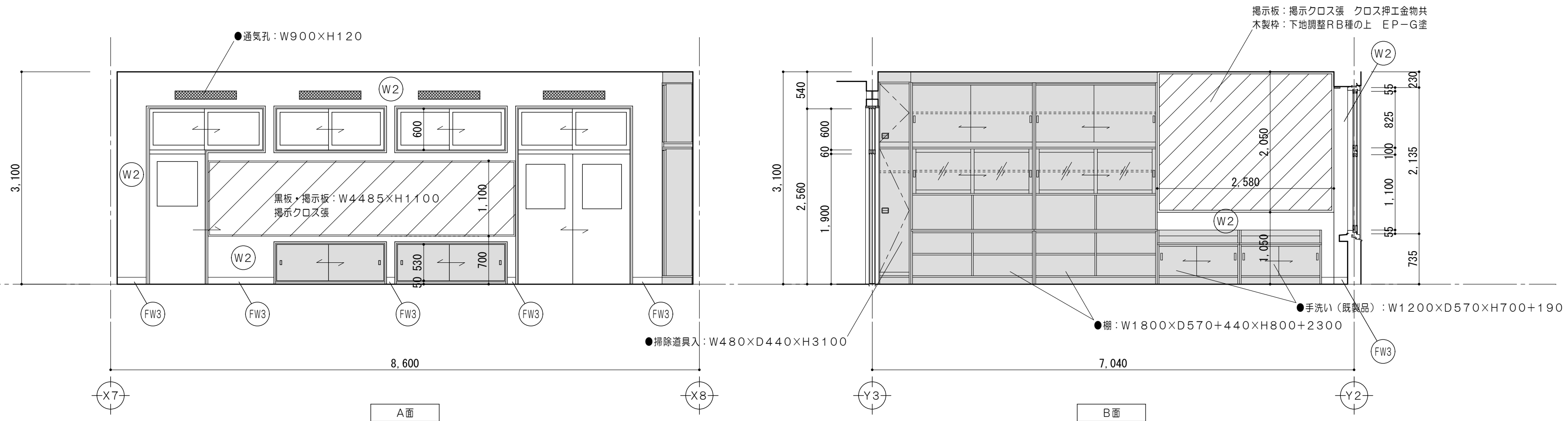
仕上凡例	
(FW3)	巾木：下地調整RB種の上 EP-G塗 H100
(W2)	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
(W7)	壁：下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板
(W10)	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設ケイカル板

凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のままを示す
▲	取外シ再取付を示す

特 記 事 項		前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃 設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 検図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
								図面名称 改修後 1階展開図No.1（普通教室（一年）） 縮尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A056 原図:A2



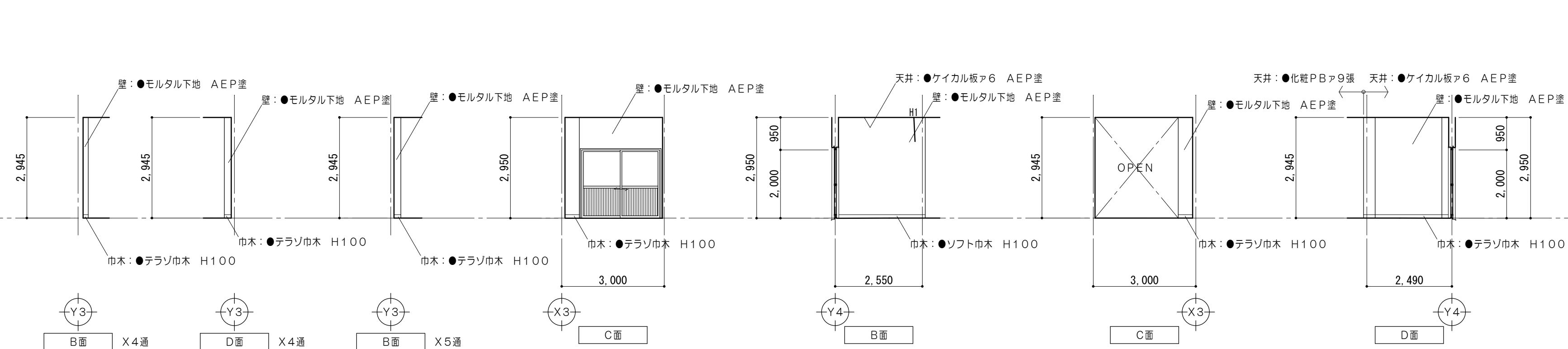
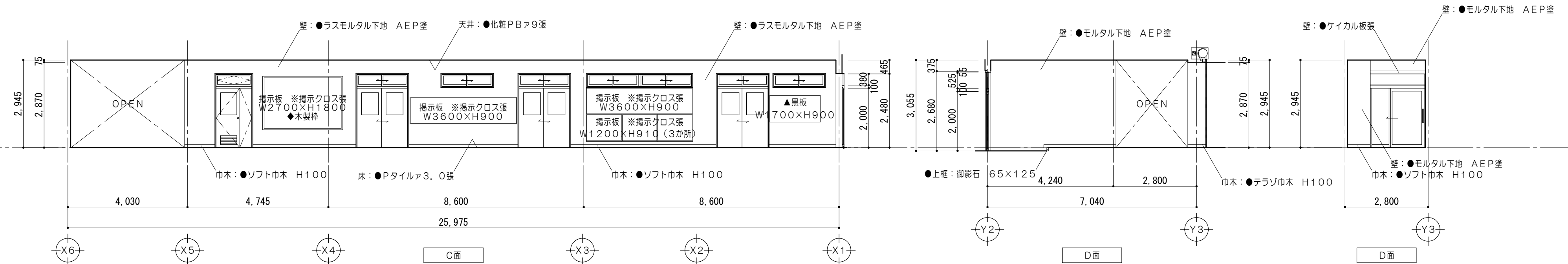
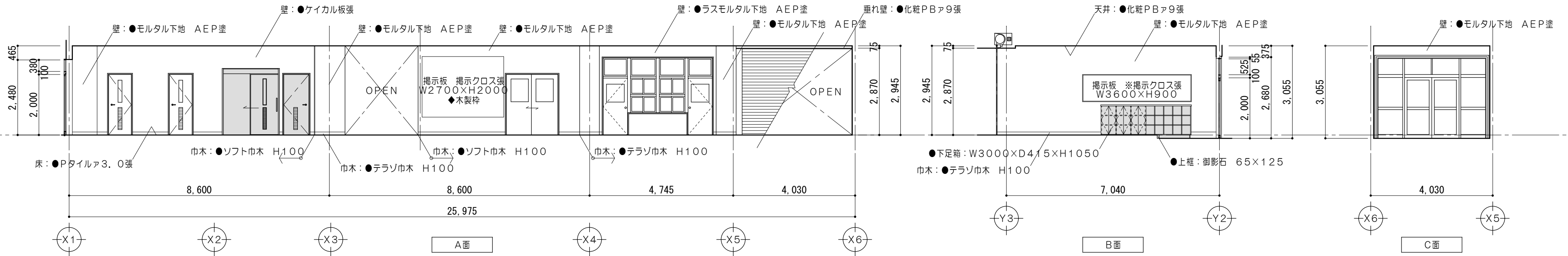
凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切り壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外し再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

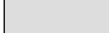
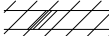
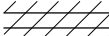
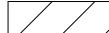
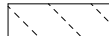
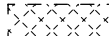


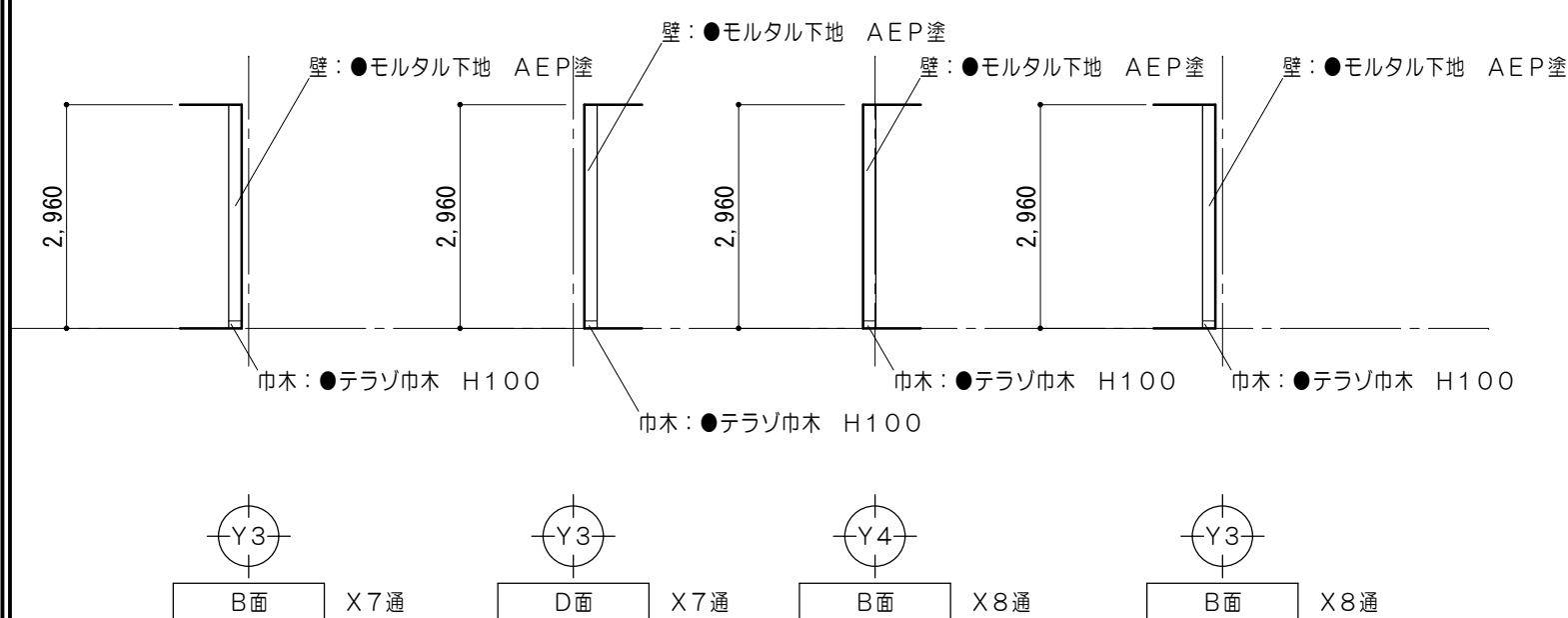
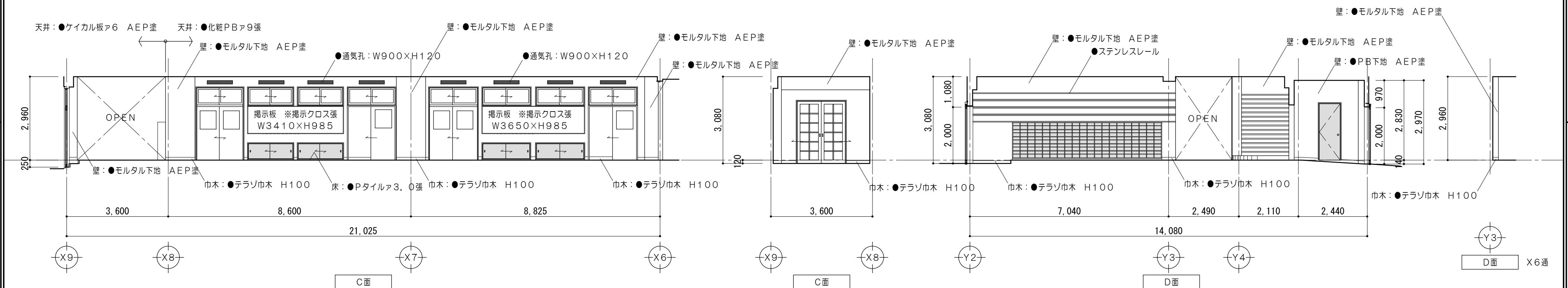
仕上凡例	
FW3	巾木： 下地調整RＢ種の上 EP-G塗 H100
W2	壁： 下地調整RＢ種の上 EP塗 既設モルタル下地
W7	壁： 下地調整RＢ種の上 C1塗 既設ラワン合板

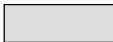
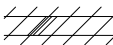
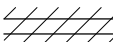
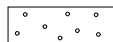
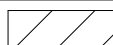
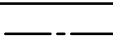
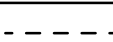
凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のままを示す
▲	取外し再取付を示す

特 記 事 項		MAZDA 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日		
			一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当			設計担当	設計担当
			一級建築士 第378328号	一級建築士 第320204号	一級建築士 第320204号	一級建築士 第320204号	一級建築士 第320204号	一級建築士 第320204号	一級建築士 第320204号			一級建築士 第320204号	一級建築士 第320204号
			前田 祐作	加藤 早紀	前野 将輝	前野 将輝	前野 将輝	前野 将輝	前野 将輝			前野 将輝	前野 将輝
										縮 尺 A2: 1/50 A3: 1/71	図面番号 A058 原図: A2		



凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す



凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

クラック							
番号	幅(mm)	長さ(mm)	補修方法	番号	幅(mm)	長さ(mm)	補修方法
H1	1.30	750	□				
【イ】合計				【ロ】合計			
m				0.75 m			
記号	条 件			補 修 工 法			
イ	0.3mm以上1.0mm未満			自動式低圧エポキシ樹脂注入工法			
ロ	1.0mm以上			ウカツシール材充填工法			

特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 MARINO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事	設計日
			一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝			横図 図面名称 改修前 1 階展開図No.4（廊下） 縮 尺 A2:1/100 A3:1/141 図面番号 A060 原図:A2		

仕上凡例	
(W2)	壁： 下地調整RB種の上 E P 塗 既設モルタル下地
(W10)	壁： 下地調整RB種の上 E P 塗 既設ケイカル板
(C4)	天井： 下地調整RC種の上 E P 塗 既設ケイカル板

凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

1 階 廊 下

1/100

改修後

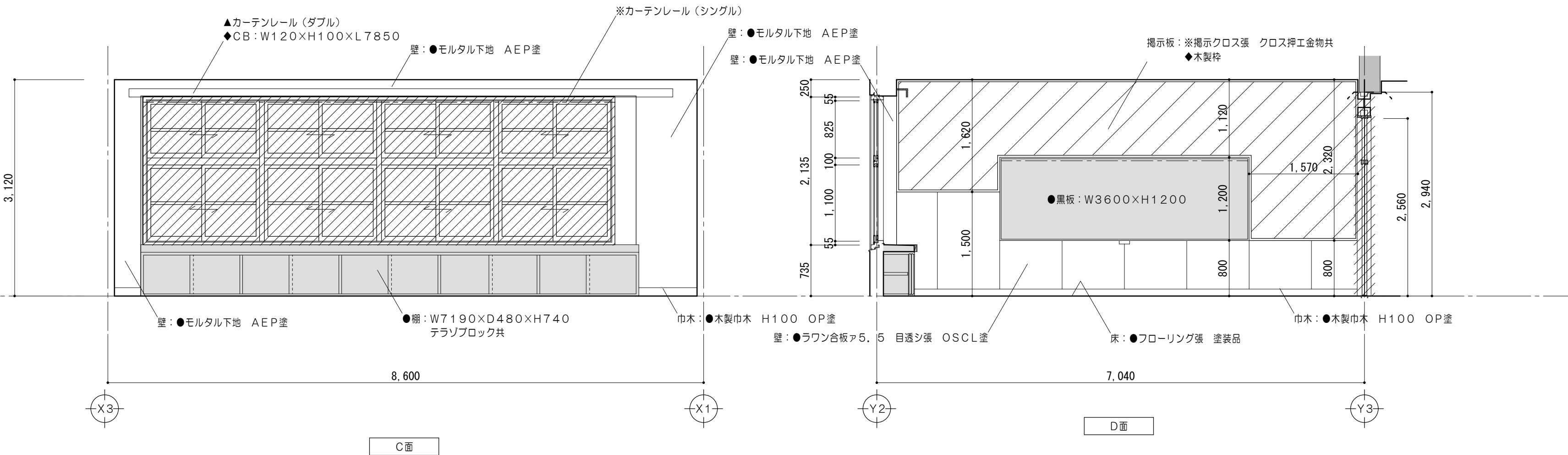
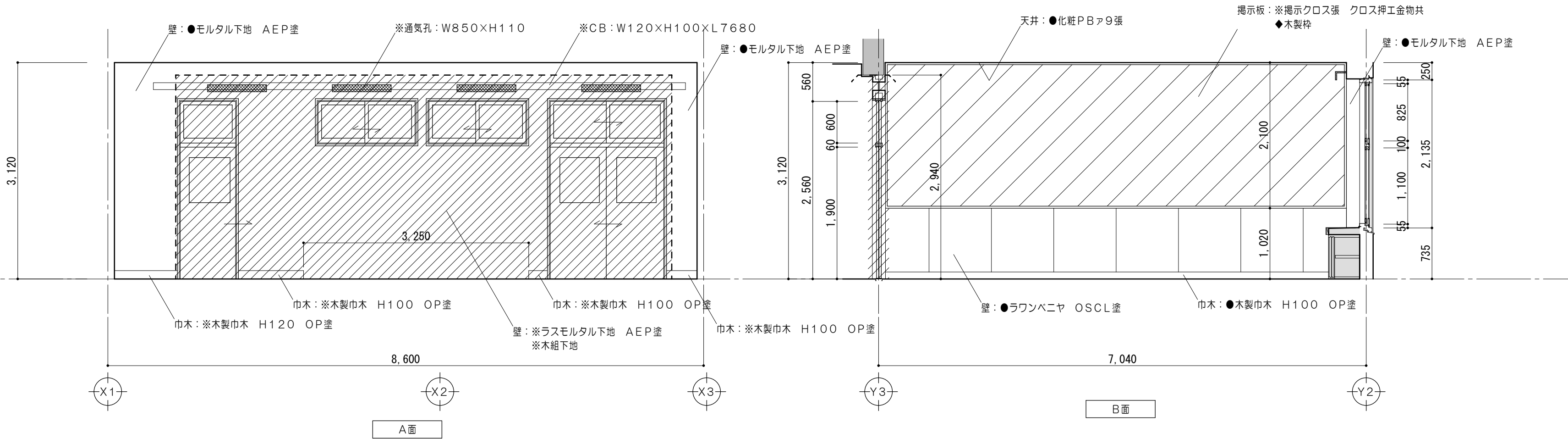
Architectural drawings of the 1st floor corridor renovation project. The drawings include a plan view and four sections (A, B, C, D). The plan view shows the layout of the corridor with various rooms, doors, and windows. Dimensions are provided for each section. The sections show the vertical profile of the corridor, including the floor, walls, and ceiling. The drawings are labeled with 'A面', 'B面', 'C面', and 'D面'.

仕上凡例	
W2	壁：下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
W10	壁：下地調整RB種の上 E P塗 既設ケイカル板
C4	天井：下地調整RC種の上 E P塗 既設ケイカル板

凡例（工事内容）	
	既設のまます
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲をす
	仕上材新設範囲をす
	仕上・下地共新設範囲をす
▲	取外シ再取付をす
●	既設のまます
◆	既設塗替をす

特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第378328号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第320204号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	図面名称 改修後 1 階展開図No.3（廊下）	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日

縮 尺	図面番号
A2:1/100 A3:1/141	A061 原図:A2



凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

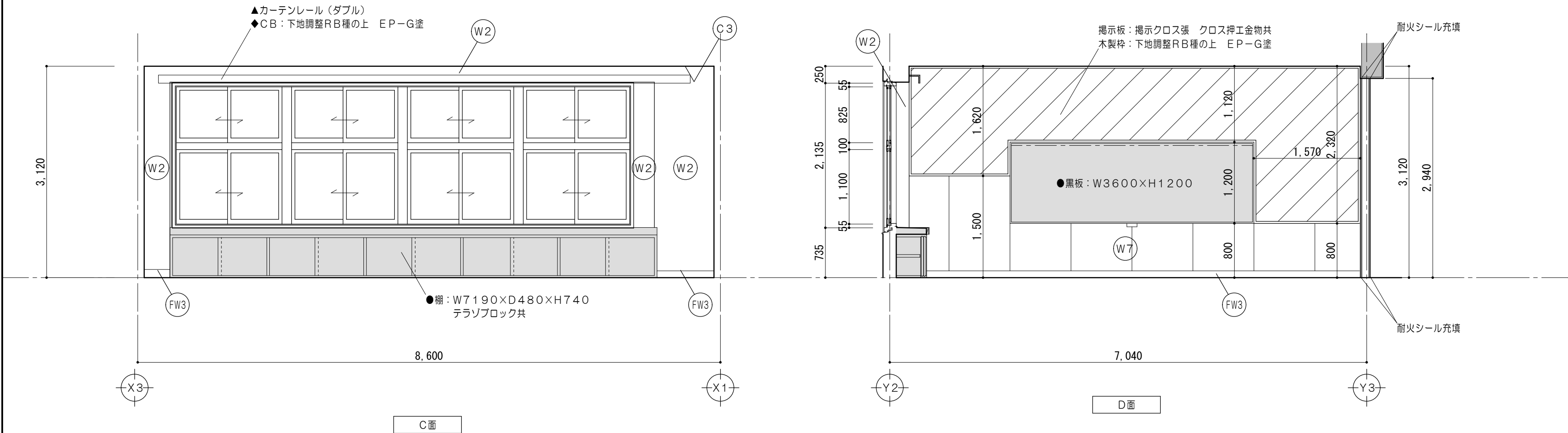
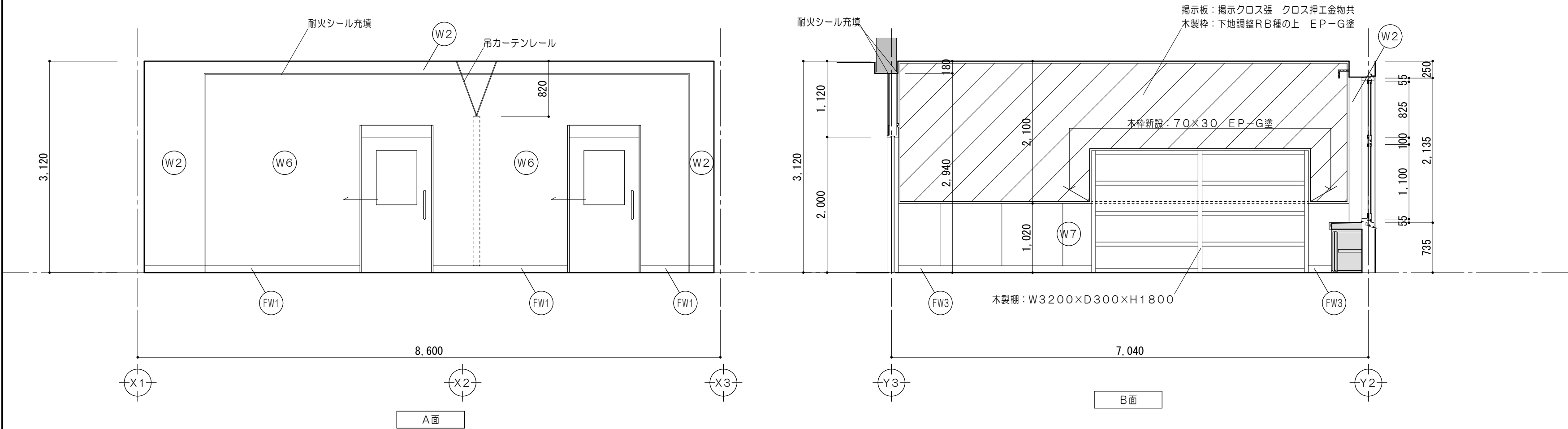
株式会社 前野建築設計

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	------

法適合確認	作図
	検図

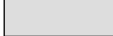
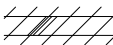
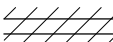
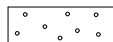
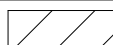
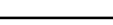
工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	縮尺 A2:1/50 A3:1/71	設計日
図面名称 改修前 2階展開図No.1 (パソコン教室)	図面番号 A063 原図:A2	

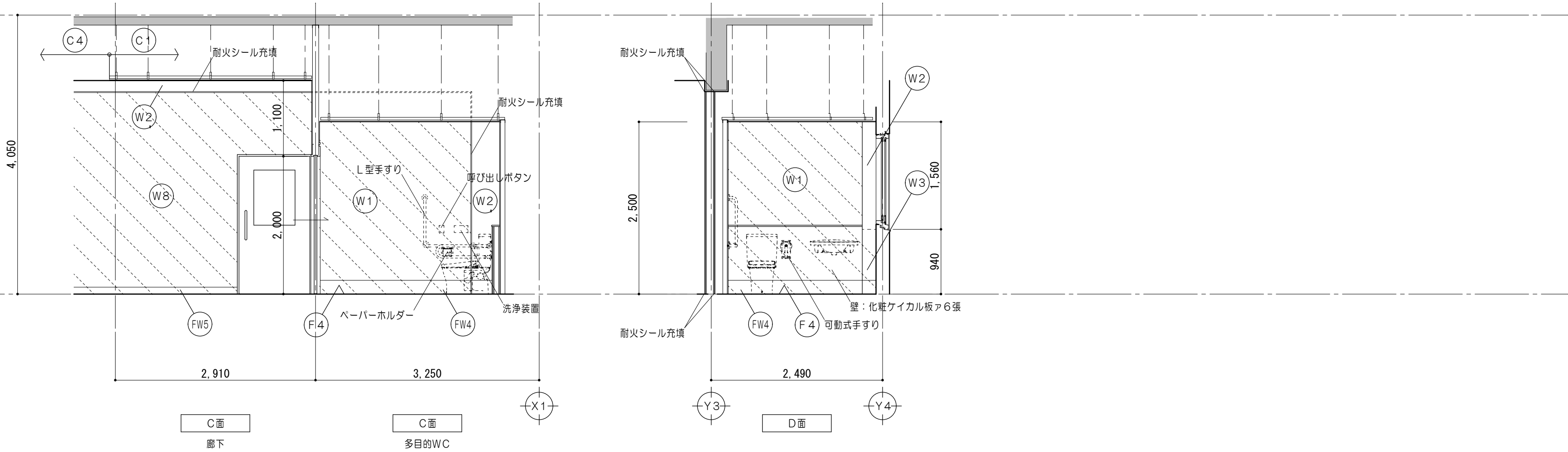
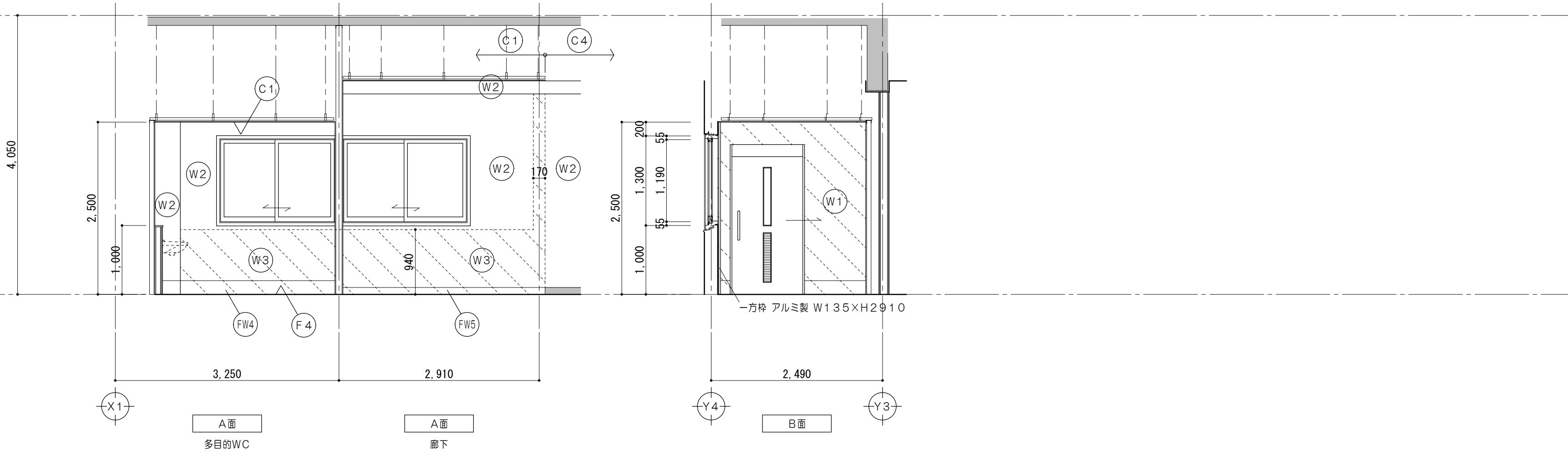


仕上凡例	
FW1	巾木：ビニル巾木 H100
FW3	巾木：下地調整RB種の上 EPG塗 H100
W2	壁：下地調整RB種の上 EPG塗 既設モルタル下地
W6	壁：耐火中空二重壁 EPG塗
W7	壁：下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板
C3	天井：化粧PBア9.5 EPG塗 既設下地

凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	既設塗替を示す
	既設のままを示す
	取外シ再取付を示す



凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す



仕上凡例	
(F 4)	巾木：超防汚性ビニル床シートA2. 0張 下地調整RB種の上
(FW4)	巾木：床同材巻上 H200
(FW5)	巾木：ビニル巾木 H100 モルタル金コテ押工
(W1)	壁：PBア12. 5 EP塗 LGS下地
(W2)	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
(W3)	壁：モルタル金コテ押工 EP塗
(W8)	壁：耐火中空二重壁 EP塗 LGS下地
(C1)	天井：化粧PBア9. 5張 LGS下地

凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のままを示す
▲	取外シ再取付を示す

特記事項	

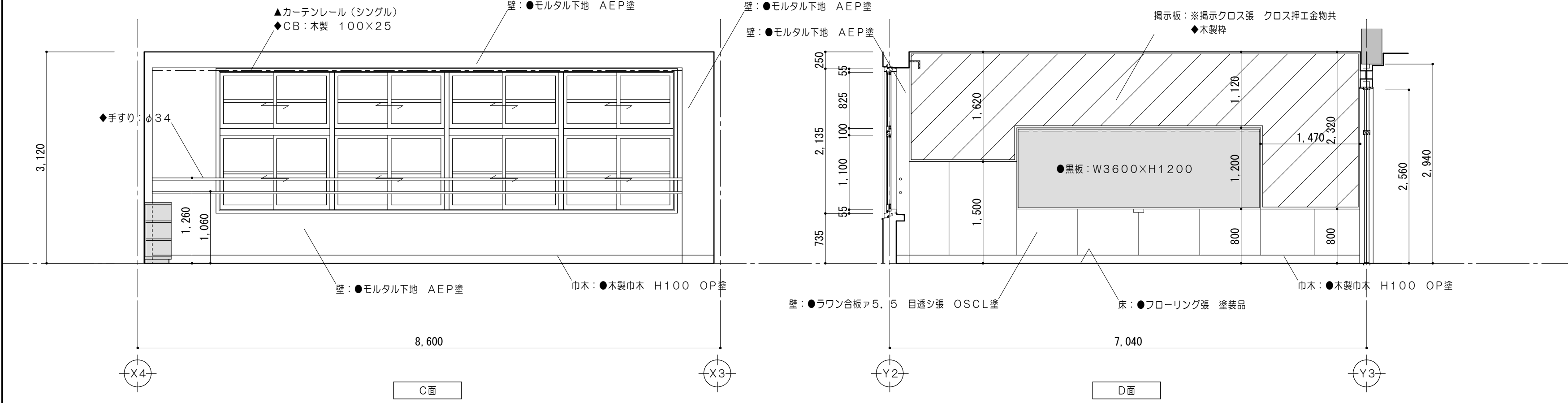
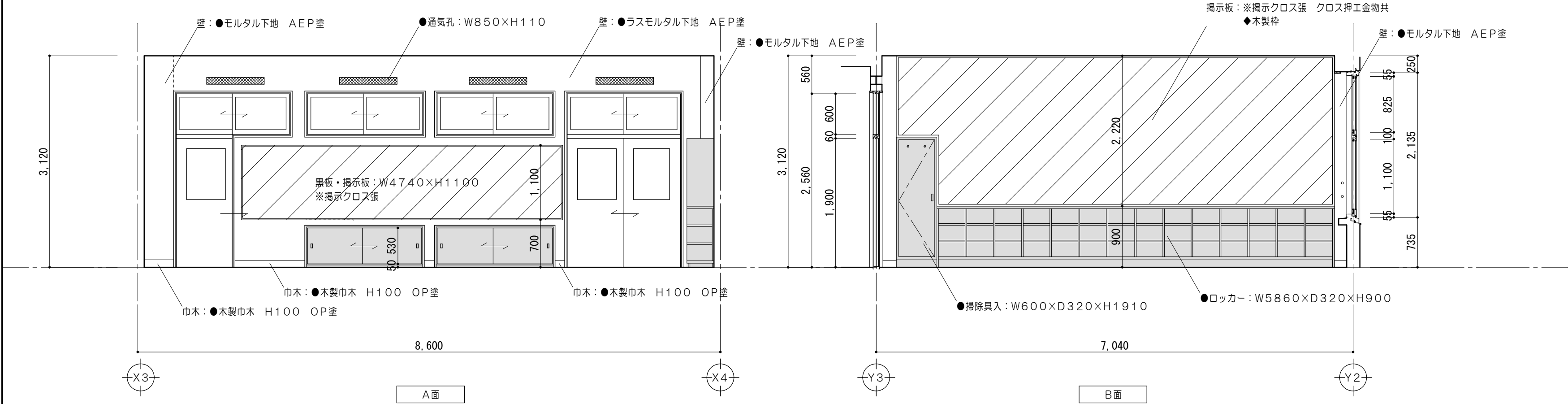
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	

代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	------

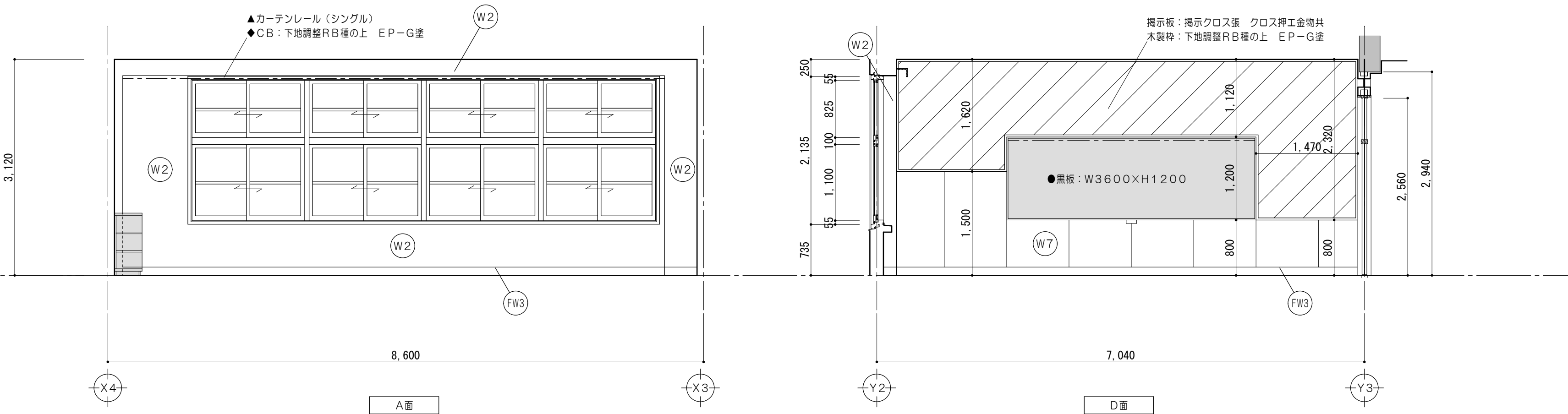
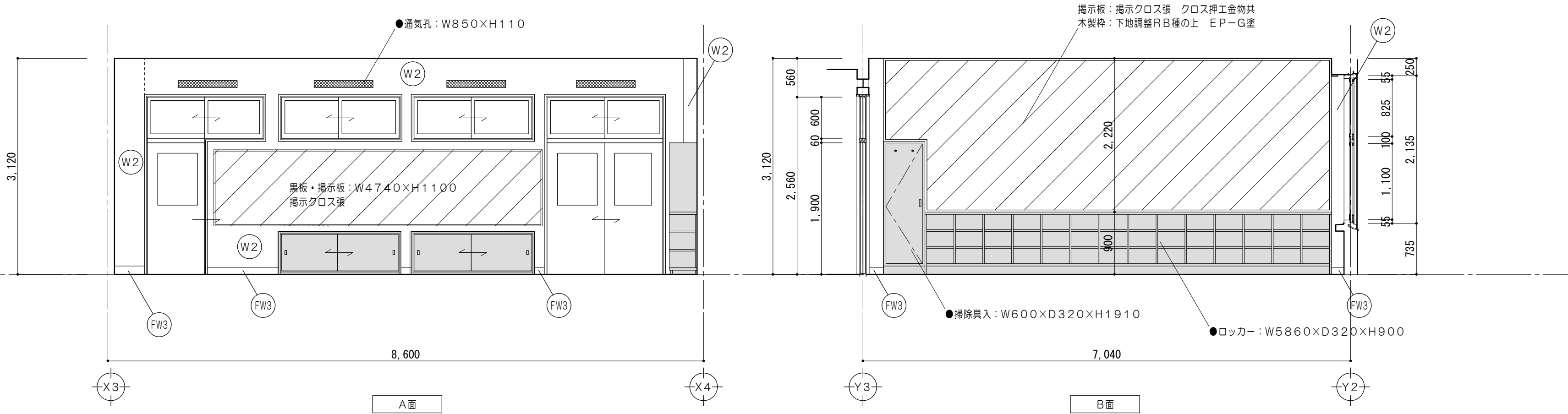
法適合確認	作図
	検図

工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	縮尺 A2:1/50 A3:1/71
図面名称 改修後 2階展開図No.2 (多目的WC、廊下)	図面番号 A066 原図:A2

設計日

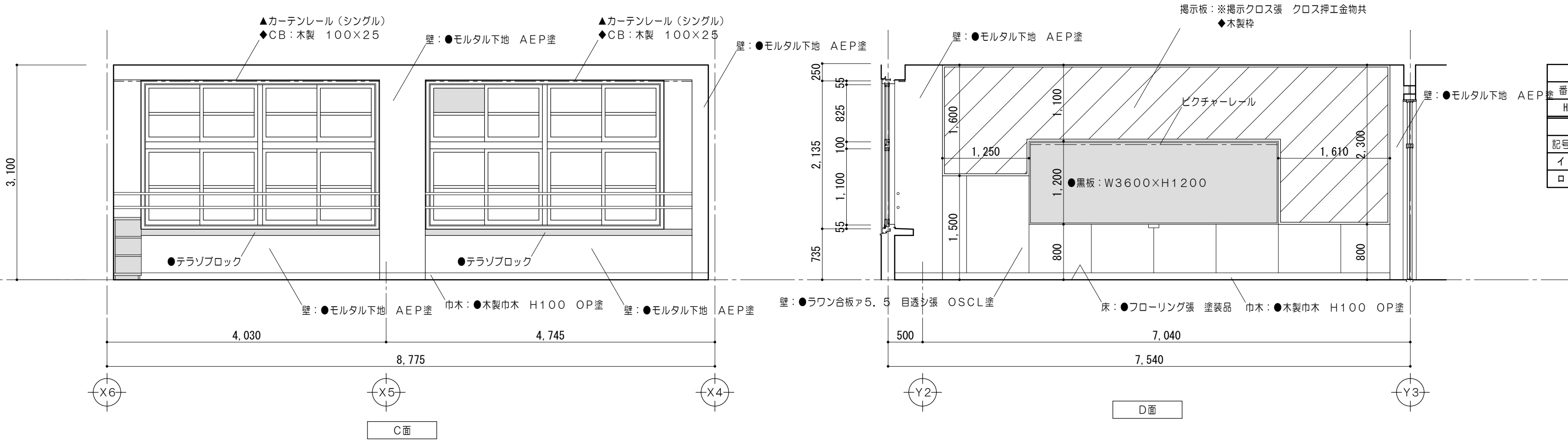
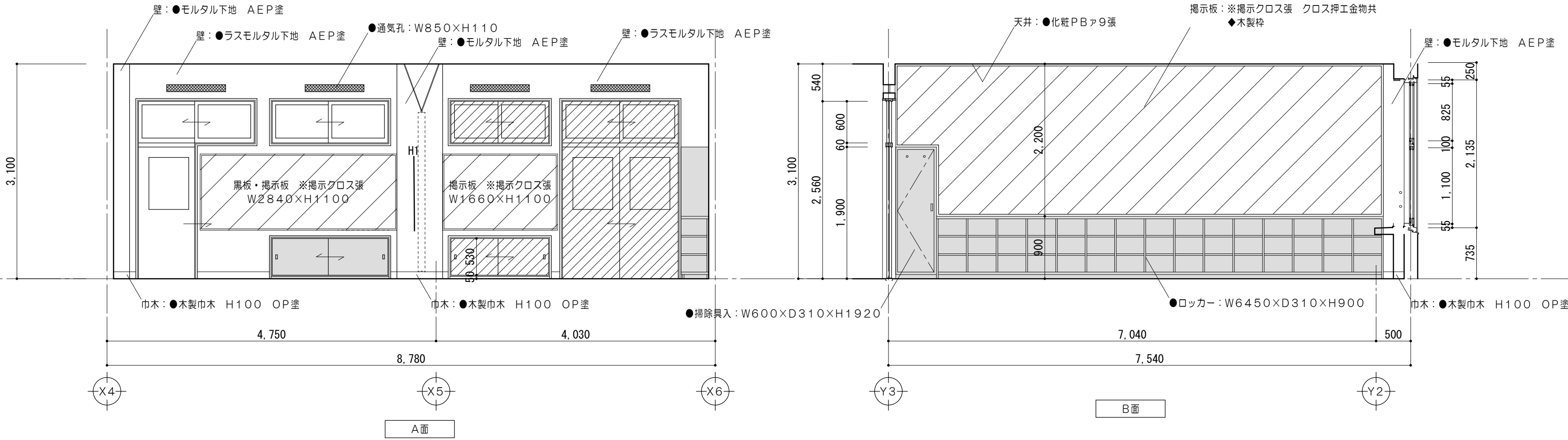


凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す



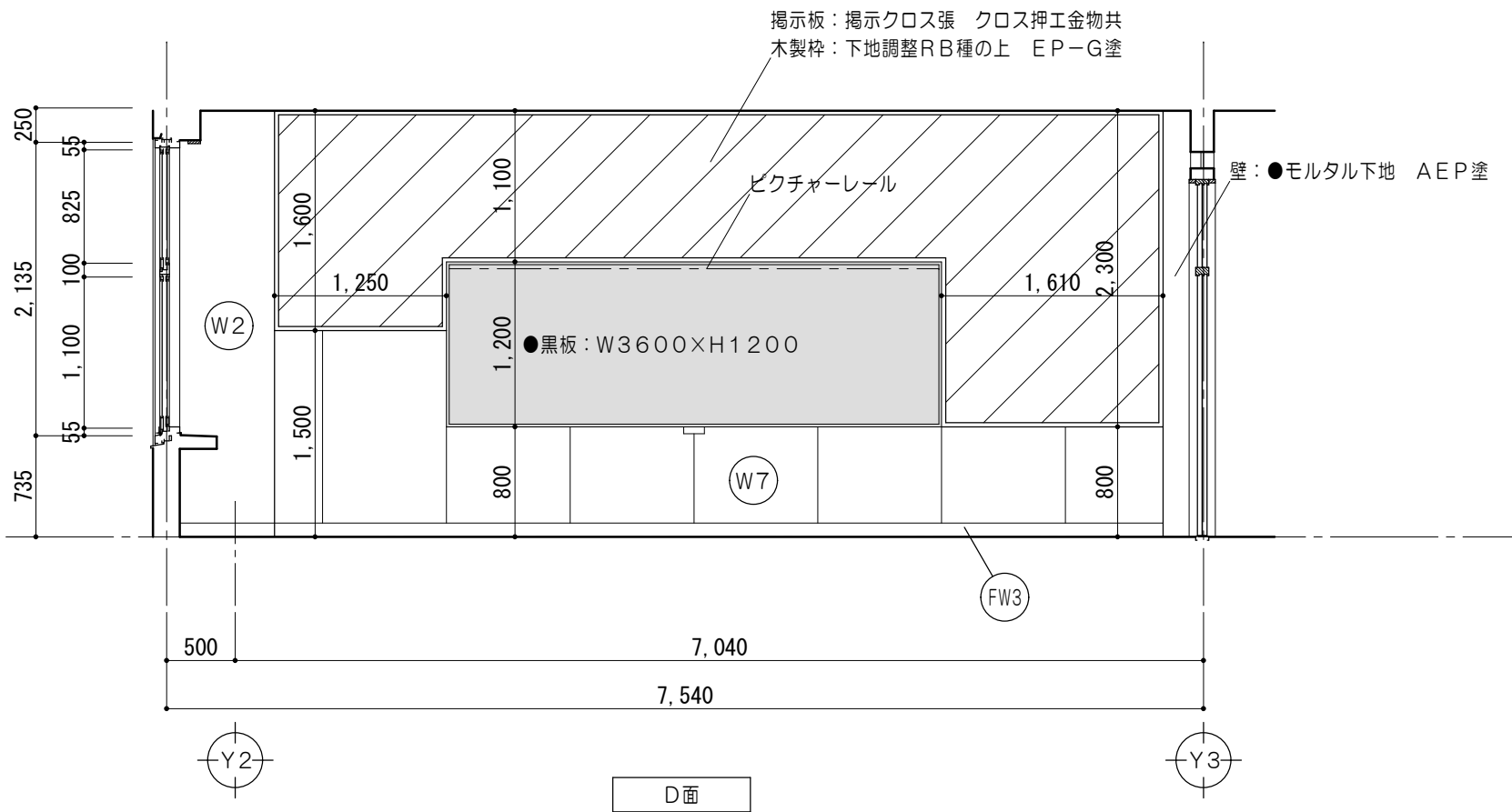
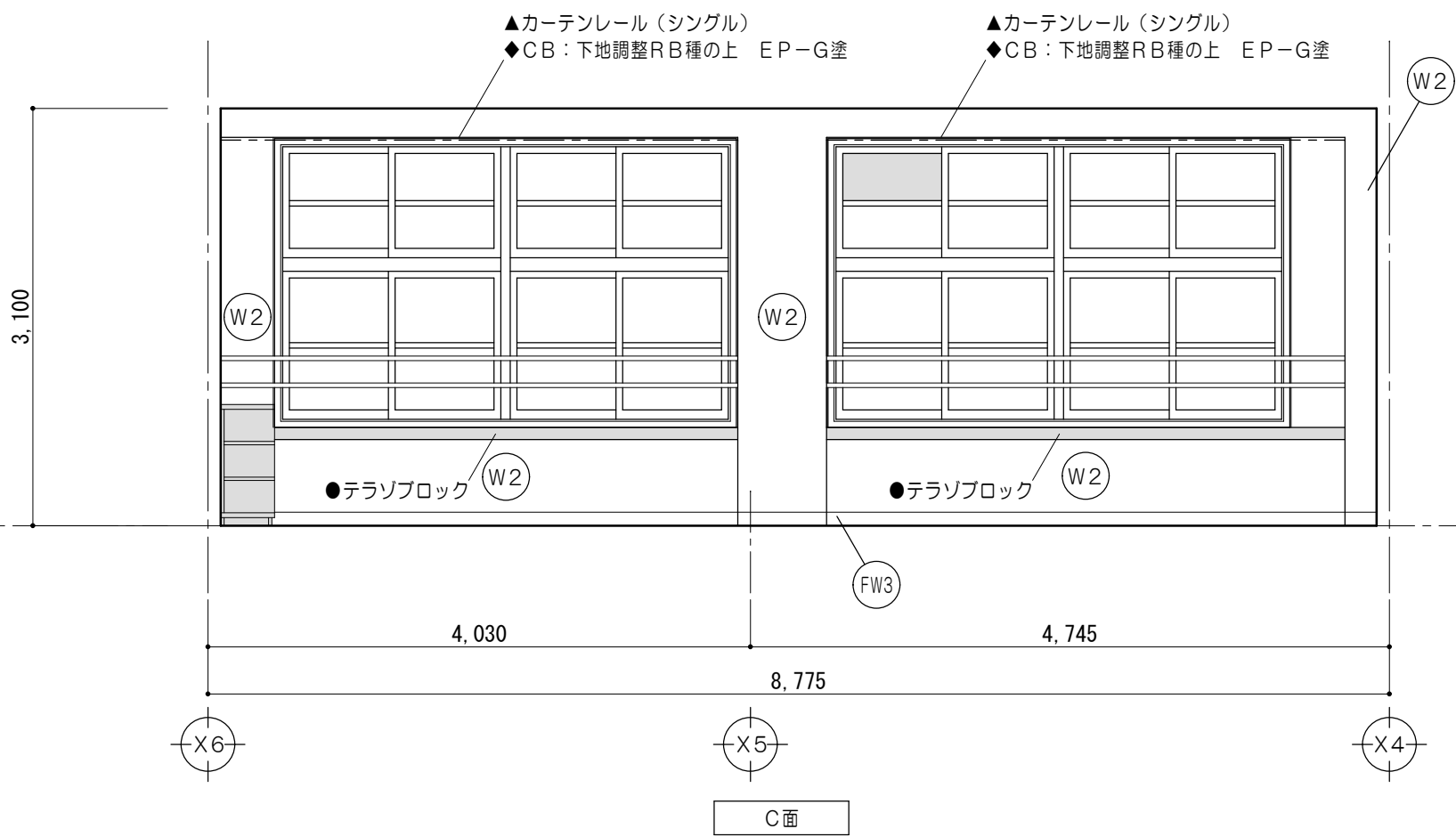
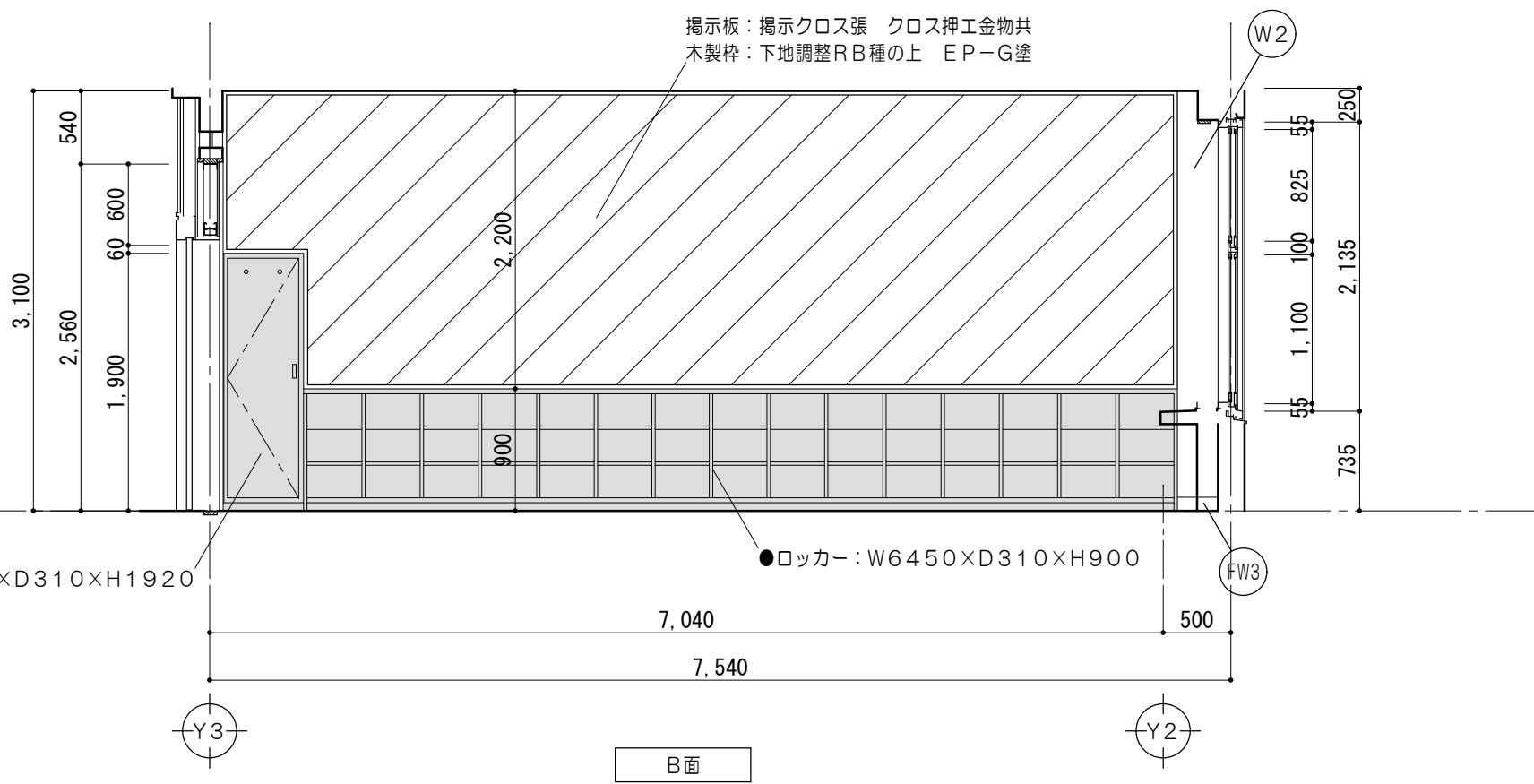
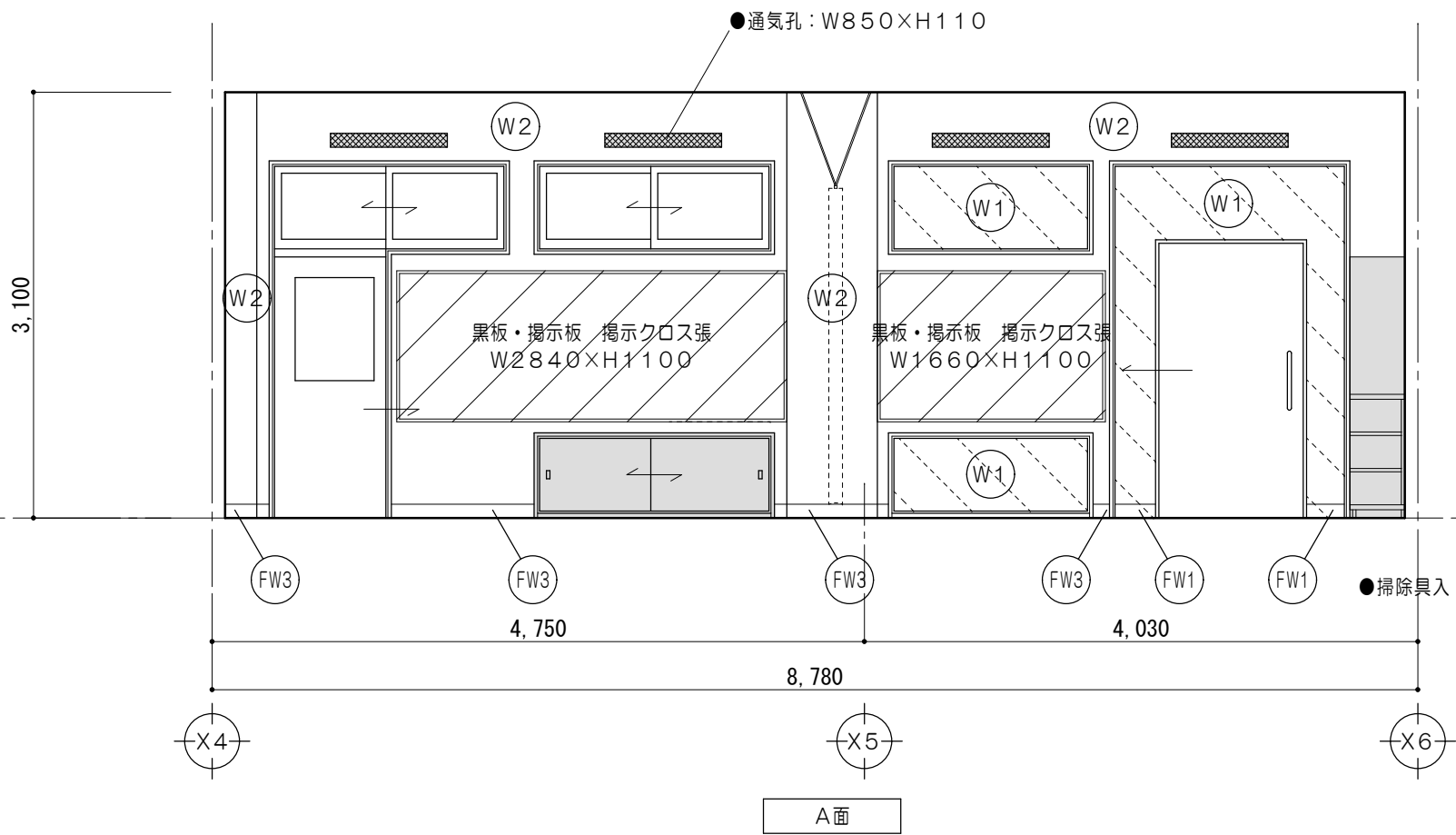
仕上凡例	
(FW3)	巾木：下地調整RB種の上 EP-G塗 H100
(W2)	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
(W7)	壁：下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板
(C3)	天井：化粧PBア9.5 EP塗 既設下地

凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のままを示す
▲	取外シ再取付を示す



クラック							
番号	幅(mm)	長さ(mm)	補修方法	番号	幅(mm)	長さ(mm)	補修方法
H1	1.10	1000	□				
【イ】合計		0.00	m	【ロ】合計		1.00	m
記号	条 件			補 修 工 法			
イ	0.3mm以上1.0mm未満			自動式低圧エポキシ樹脂注入工法			
ロ	1.0mm以上			Uカットシール材充填工法			

凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切り壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す



仕上凡例	
(FW1)	巾木：ビニル巾木 H100
(FW3)	巾木：下地調整RB種の上 EP-G塗 H100
(W1)	壁：PBア12.5 EP塗 LGS下地
(W2)	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
(W7)	壁：下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板

凡例 (工事内容)	
	既設のまますす
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のまますす
▲	取外シ再取付を示す

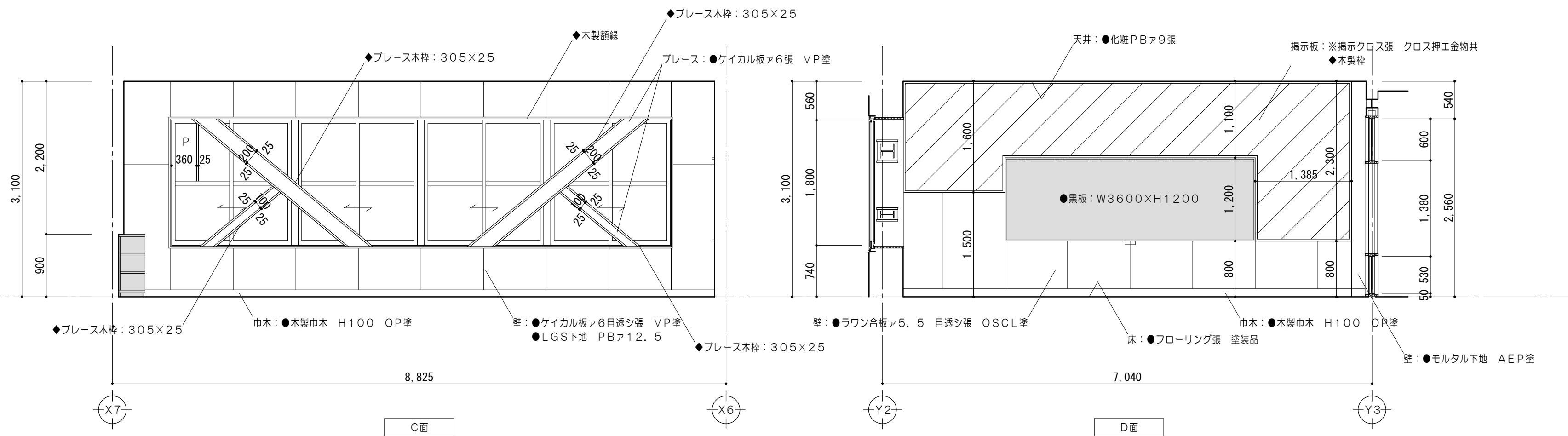
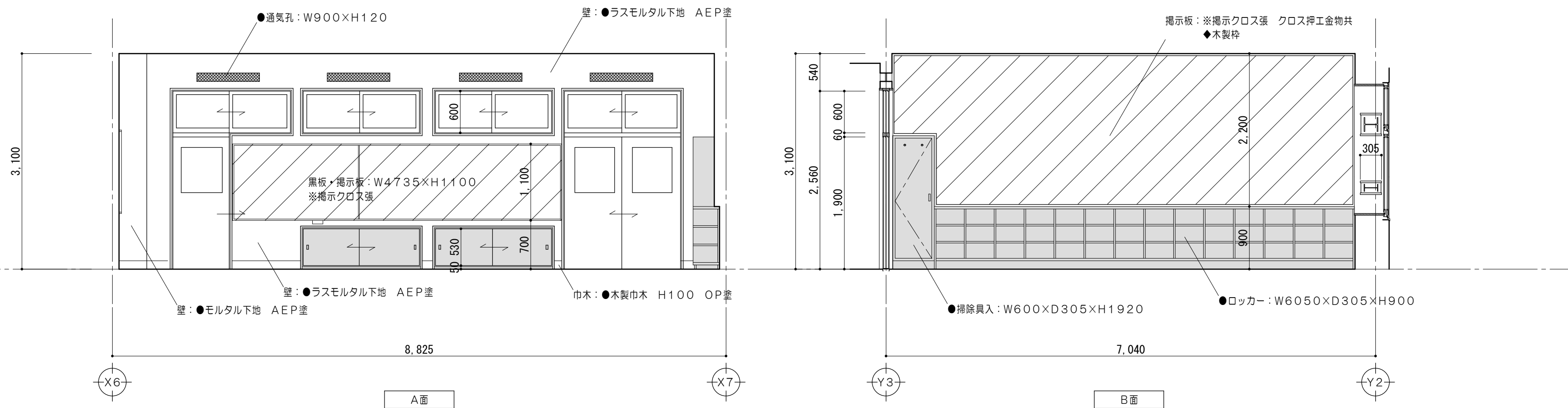
特記事項	

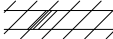
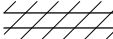
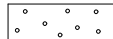
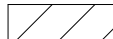
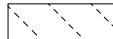
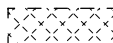
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	

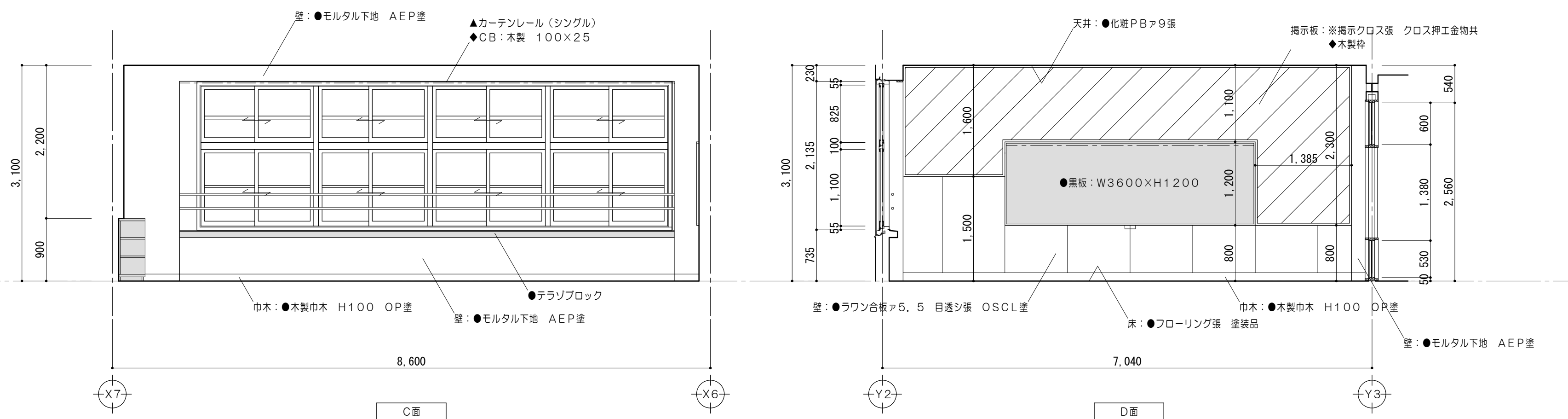
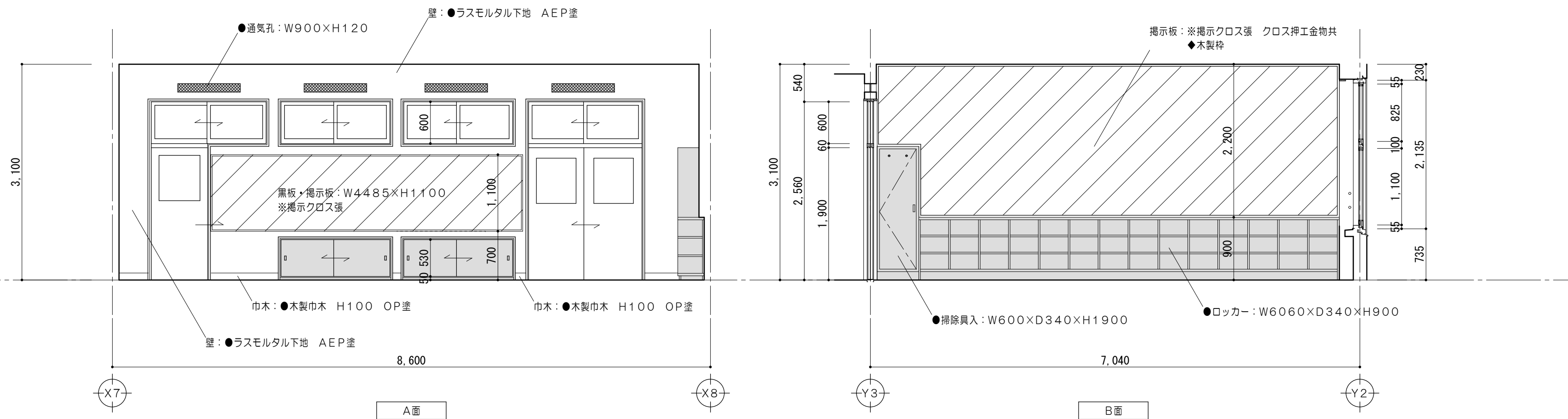
代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当
----------------------------	---------------------------	---------------------------	------	------

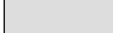
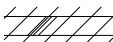
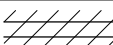
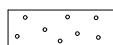
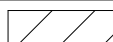
法適合確認	作図
検図	

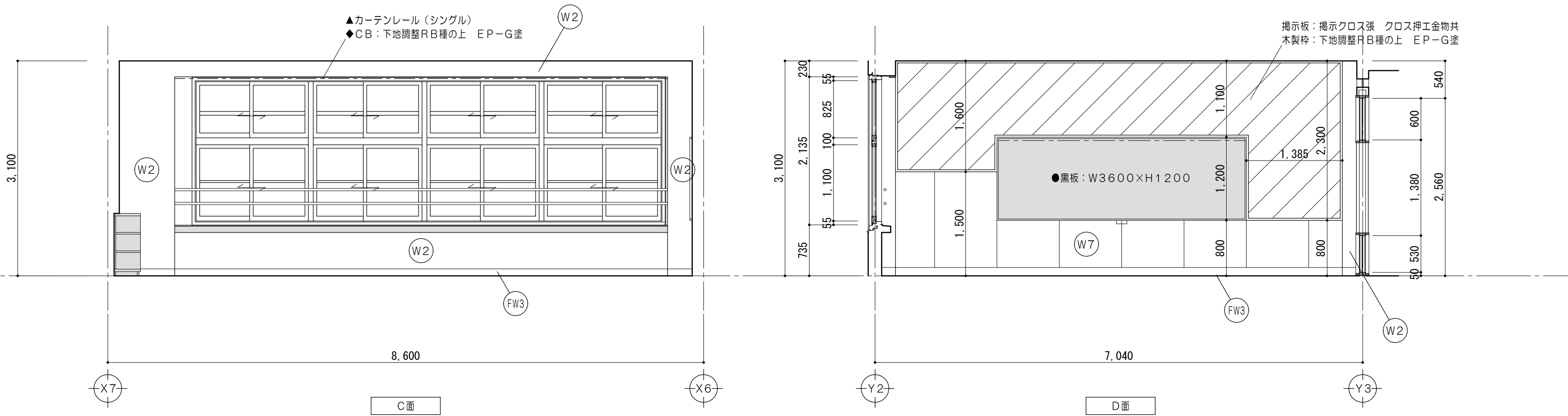
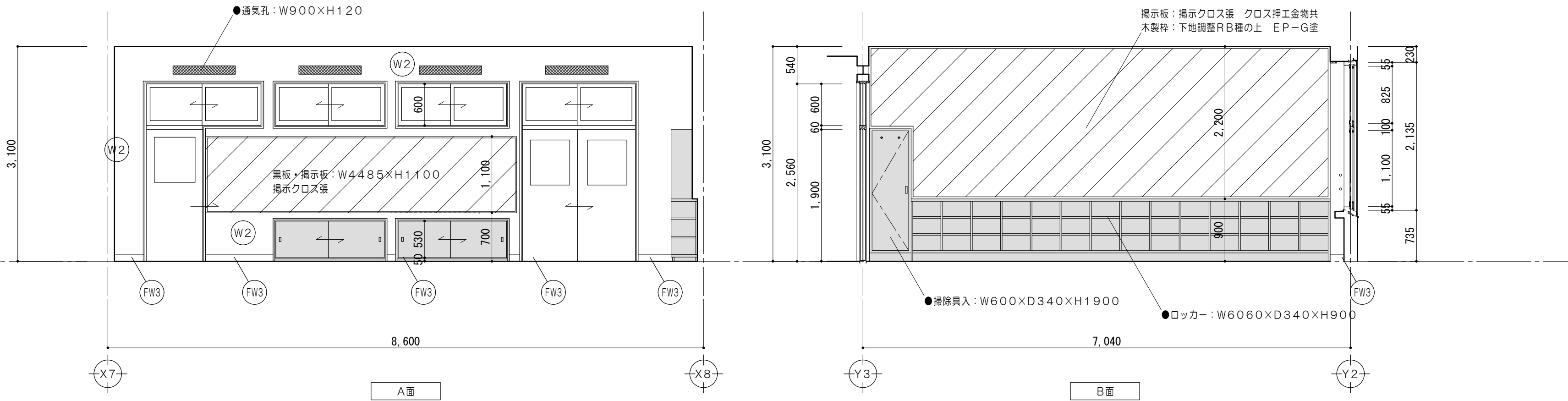
工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
図面名称 改修後 2階展開図No.4 (たんぽぽ教室)	図面番号 A070 原図:A2
縮尺 A2:1/50 A3:1/71	



凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す



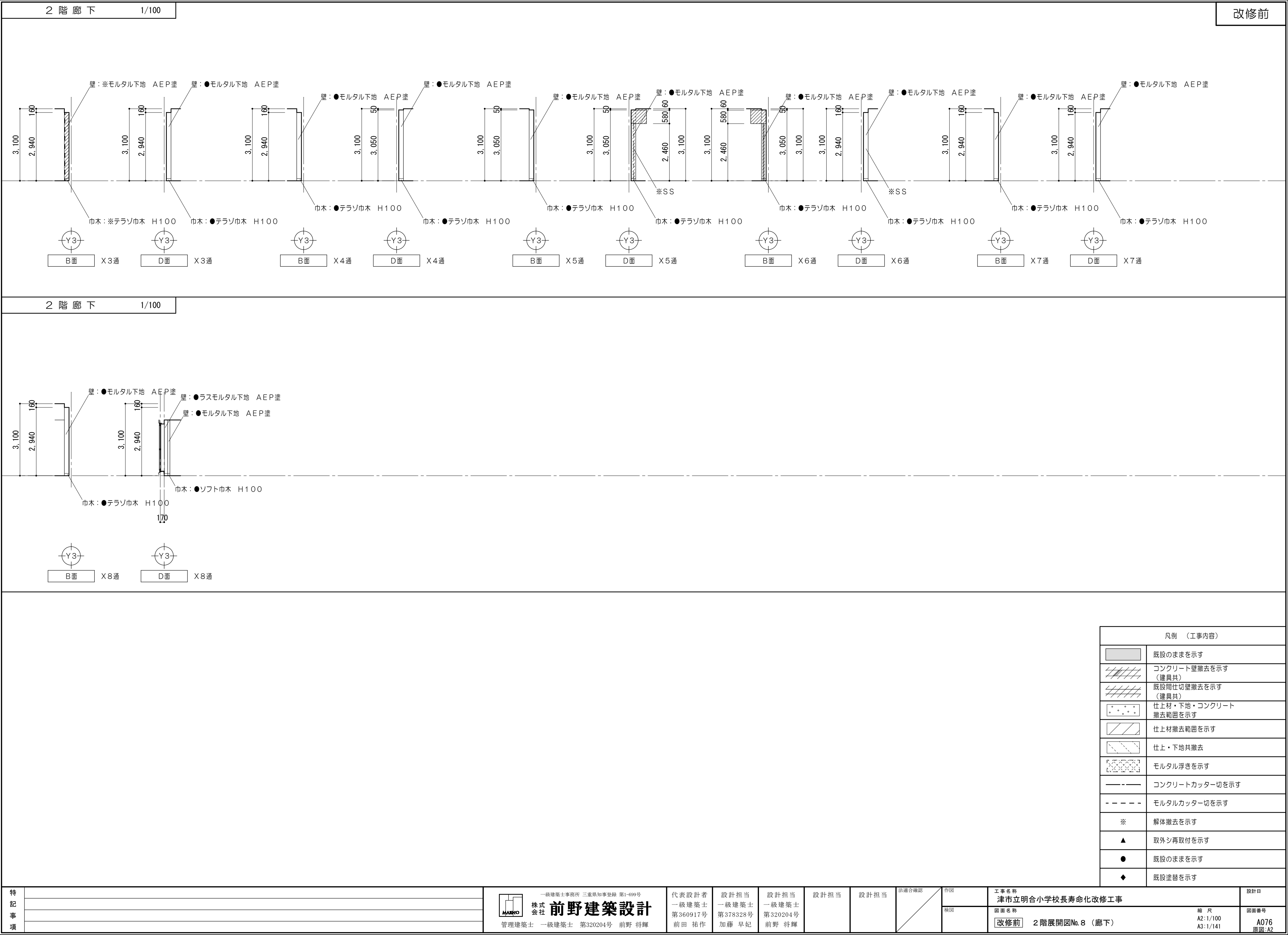
凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

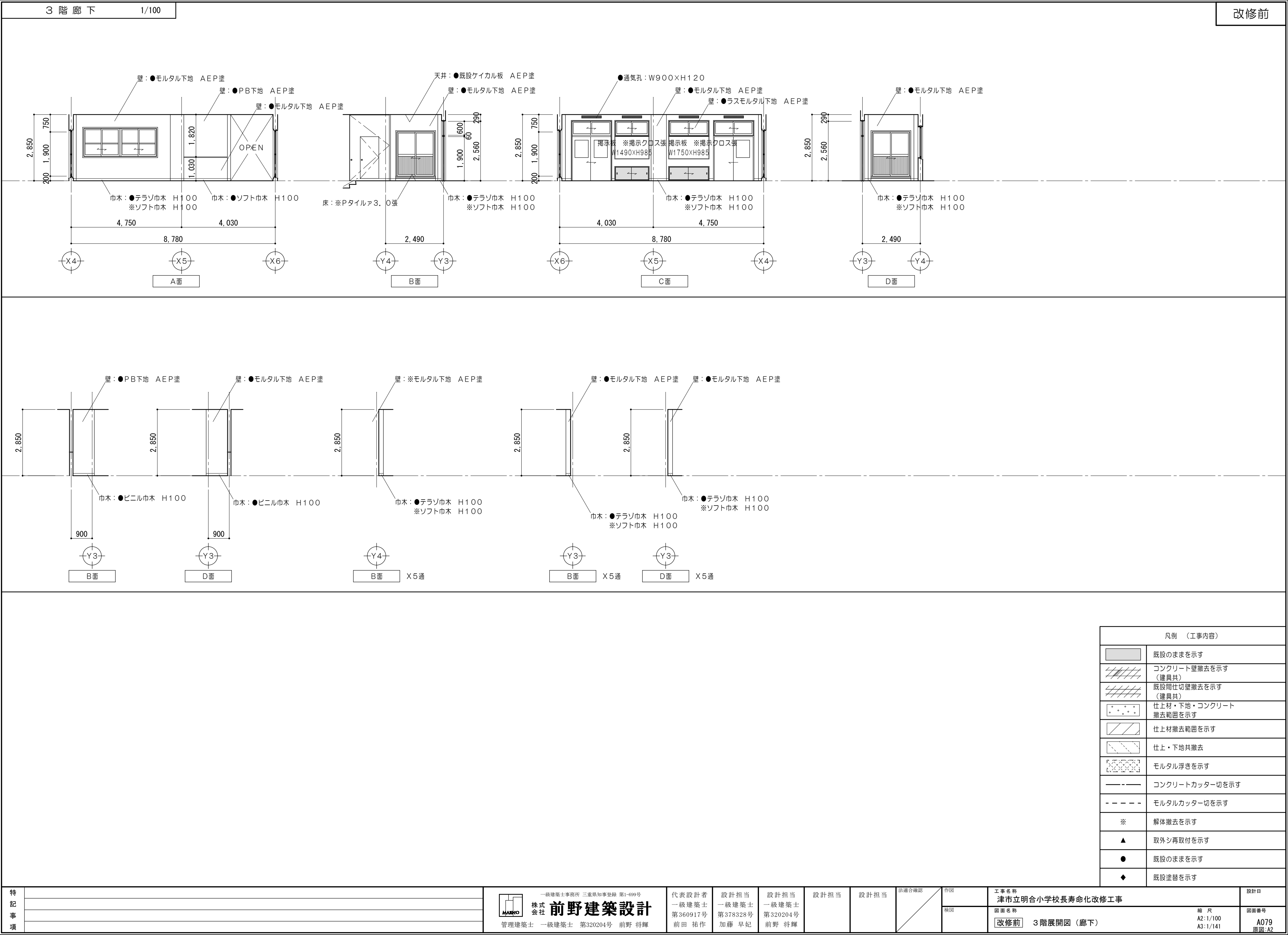


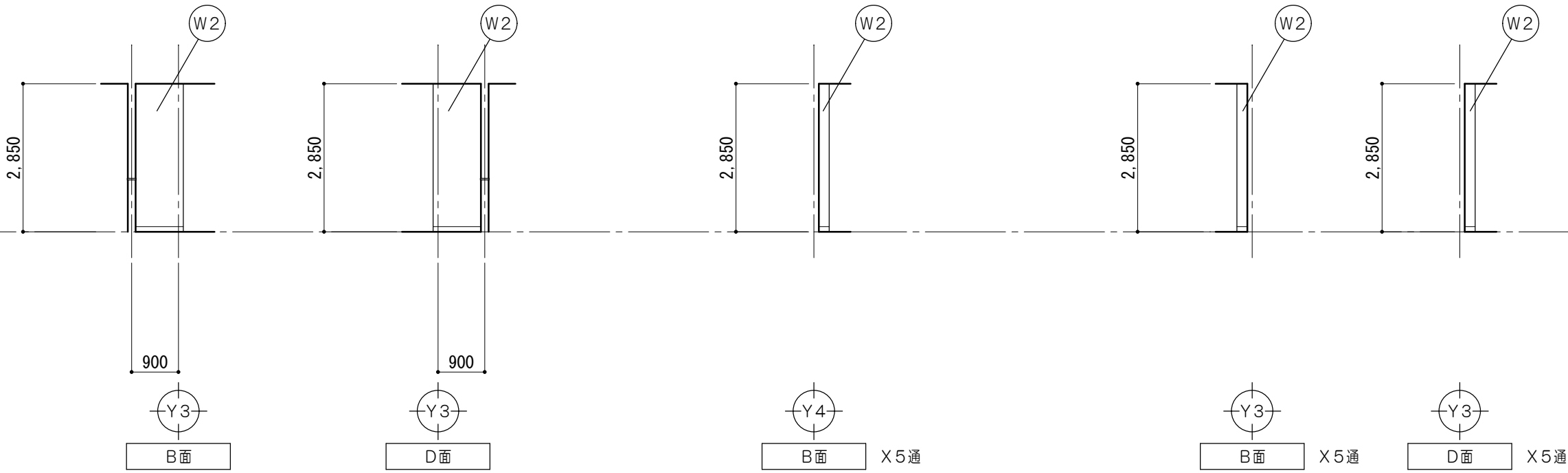
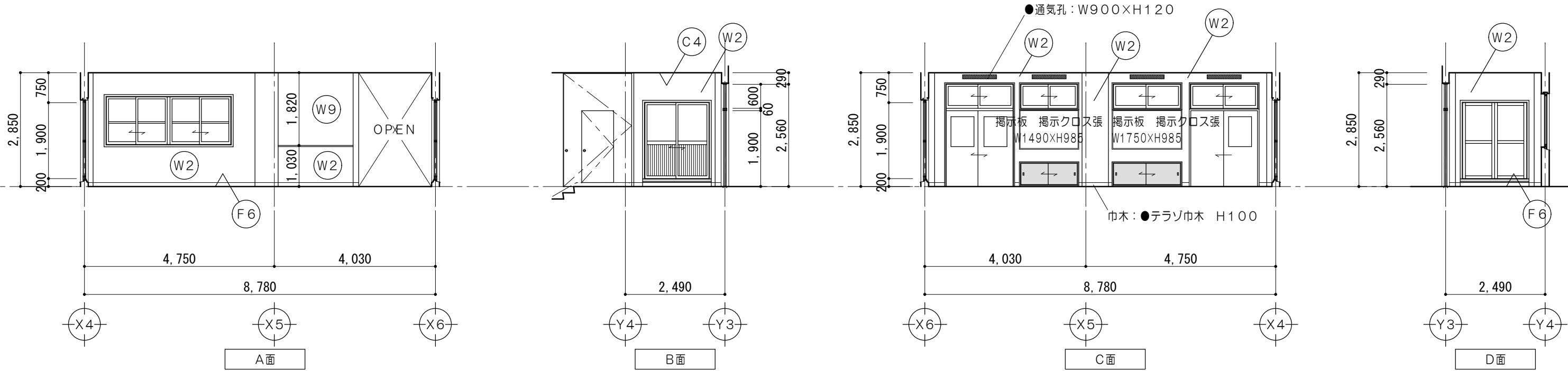
仕上凡例	
FW3	巾木：下地調整RB種の上 EP-G塗 H100
W2	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
W7	壁：下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板
W10	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設ケイカル板

凡例（工事内容）	
	既設のまますす
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のまますす
▲	取外シ再取付を示す

特 記 事 項		株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 検図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
										図面名称 改修後 2階展開図No.6（普通教室（二年）） 縮尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A074 原図:A2

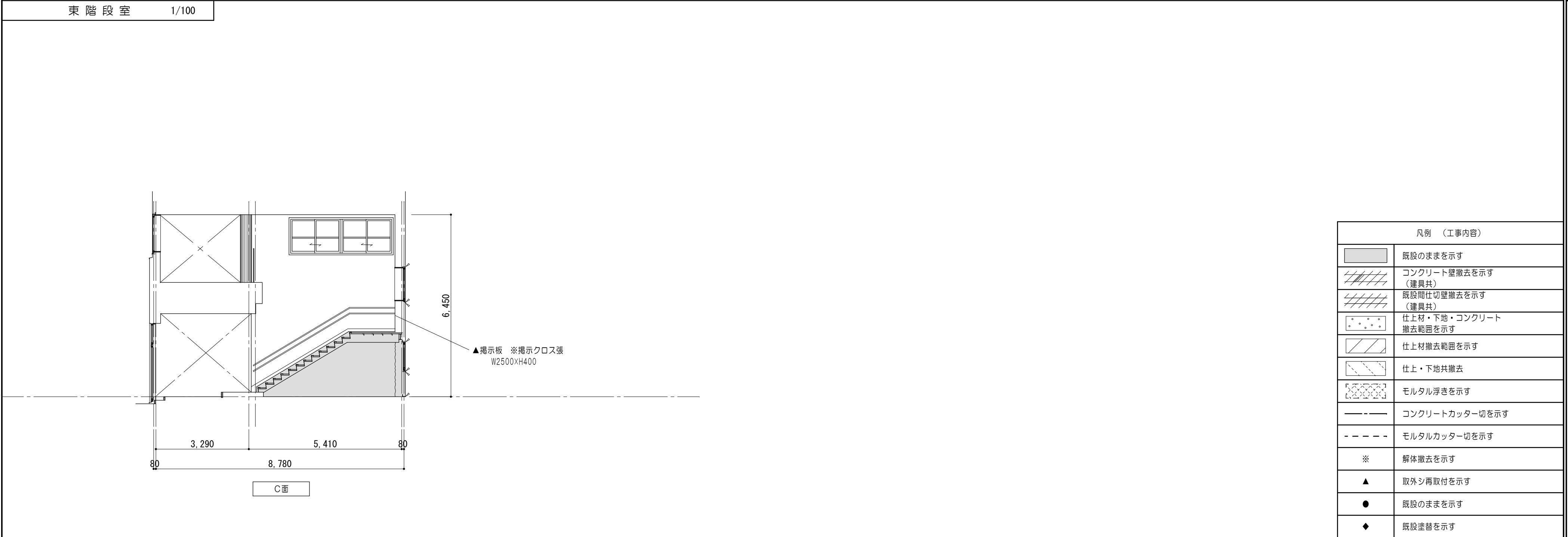
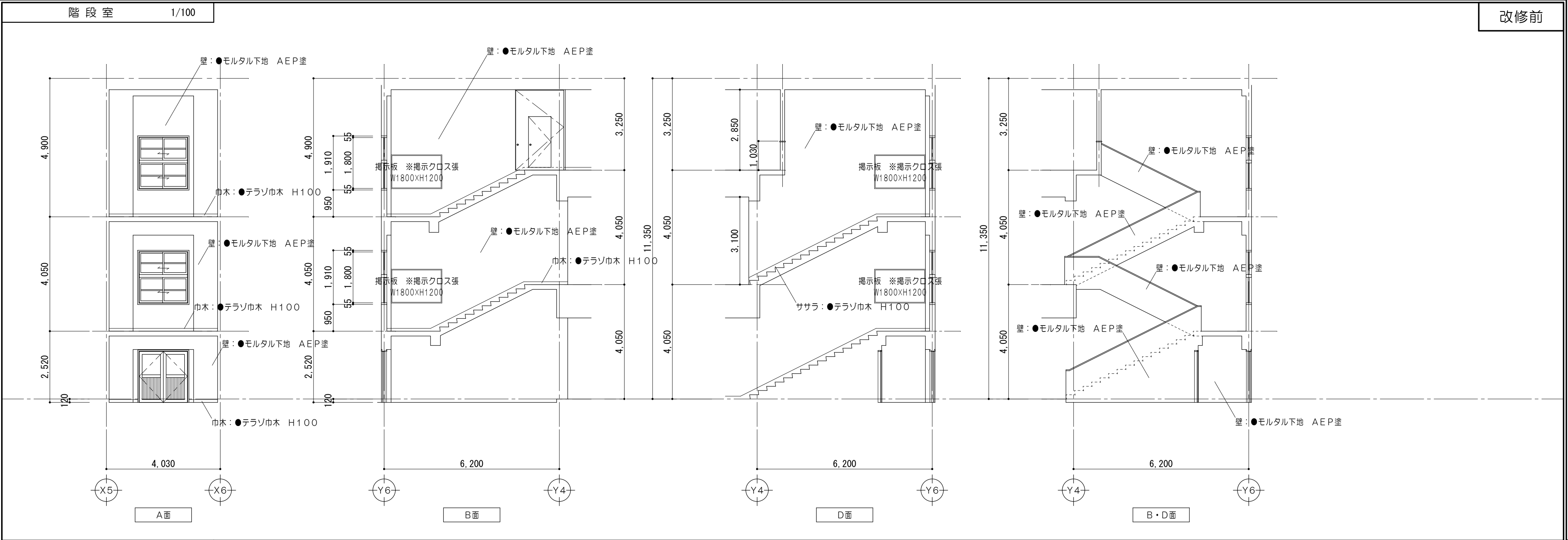


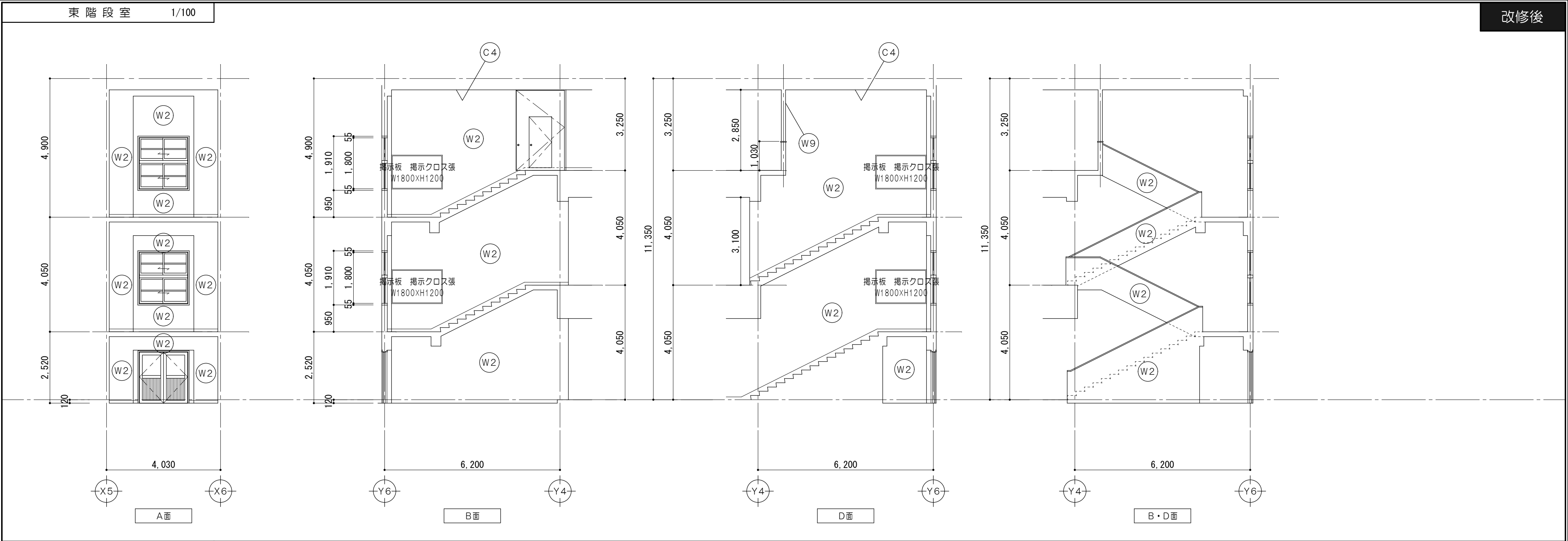




凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のままを示す
	既設塗替を示す

仕上凡例	
(F5)	床 : ビニル床タイルA3、0張 モルタル金コテ押工
(F6)	床 : ビニル床タイルA3、0張 下地調整RB種の上
(FW1)	巾木 : ビニル巾木 H100
(FW3)	巾木 : EP-G塗 H100 下地調整RB種の上
(FW5)	巾木 : ビニル巾木 H100 モルタル金コテ押工
(W1)	壁 : PBア12.5 EP塗 LGS下地
(W2)	壁 : 下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
(W3)	壁 : モルタル金コテ押工 EP塗
(W8)	壁 : 耐火中空二重壁 EP塗
(W9)	壁 : 下地調整RB種の上 EP塗 既設PB下地
(W10)	壁 : 下地調整RB種の上 EP塗 既設ケイカル板
(C1)	天井 : 化粧PBア9.5張 LGS下地
(C3)	天井 : 化粧PBア9.5張 既設下地
(C4)	天井 : 下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板

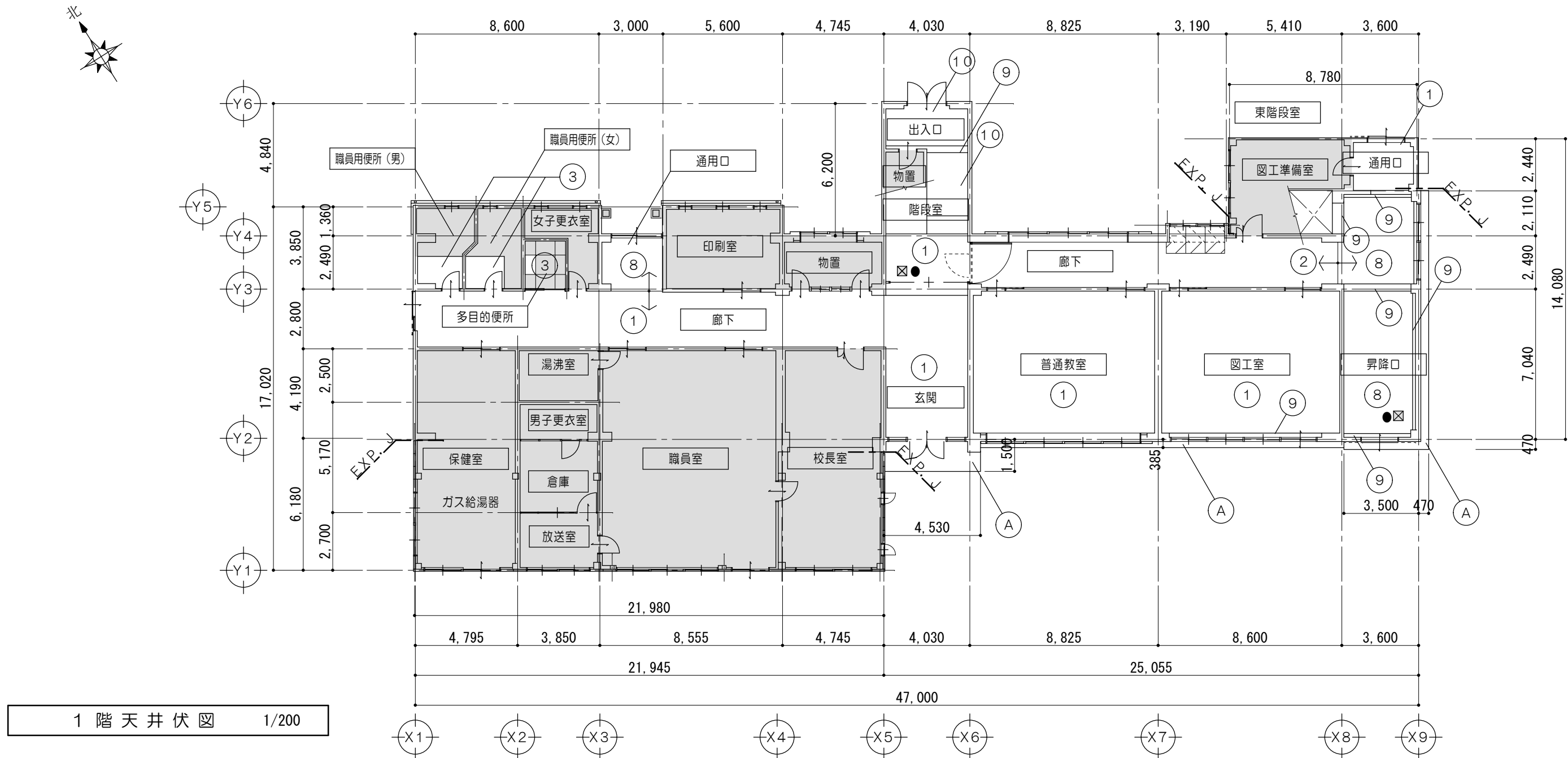




仕上凡例	
W2	壁：下地調整R B種の上 EP塗 既設モルタル下地
W9	壁：下地調整R B種の上 EP塗 既設PB下地
C4	天井：下地調整R C種の上 EP塗 既設ケイカル板

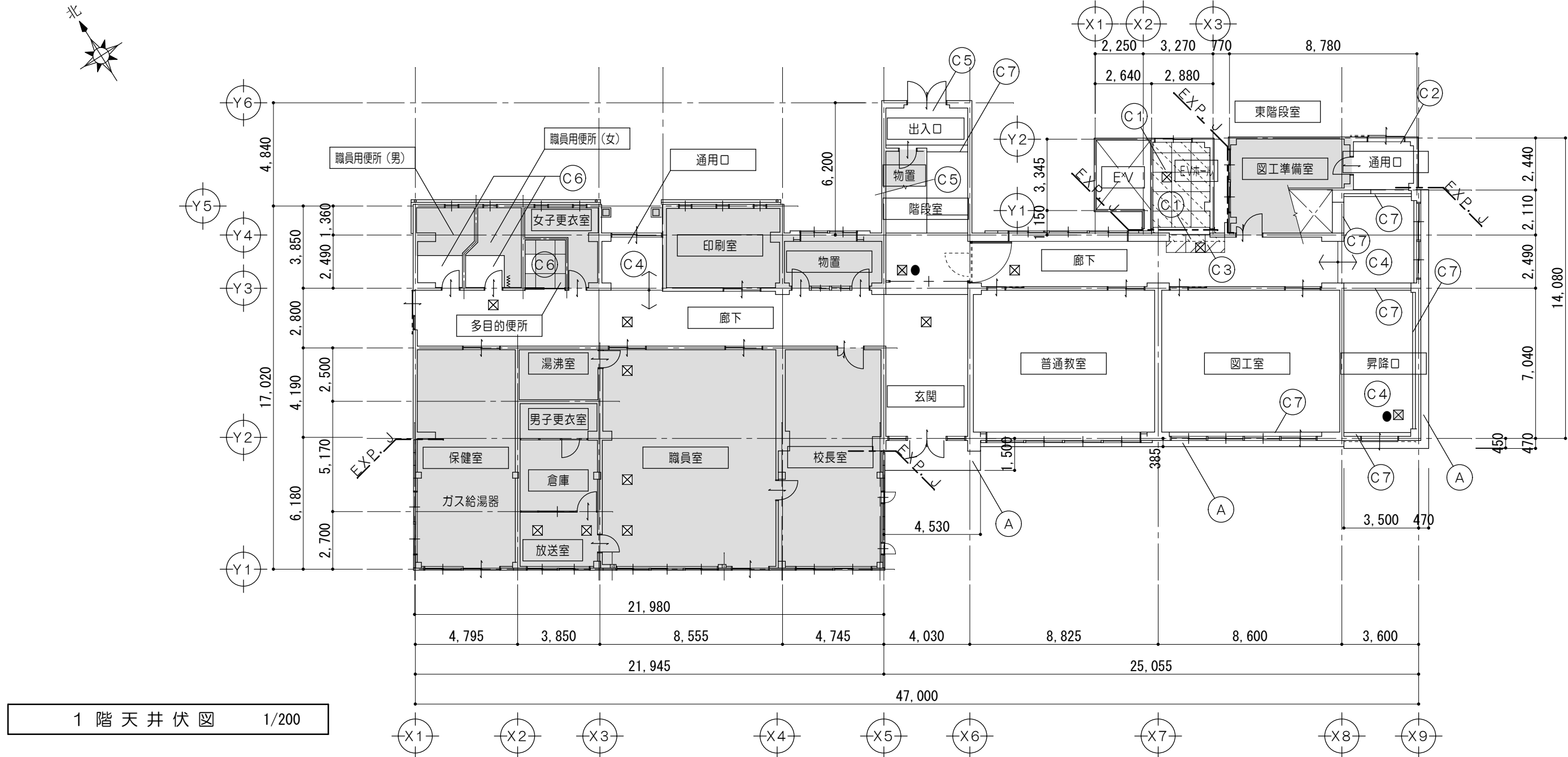
凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

改修前



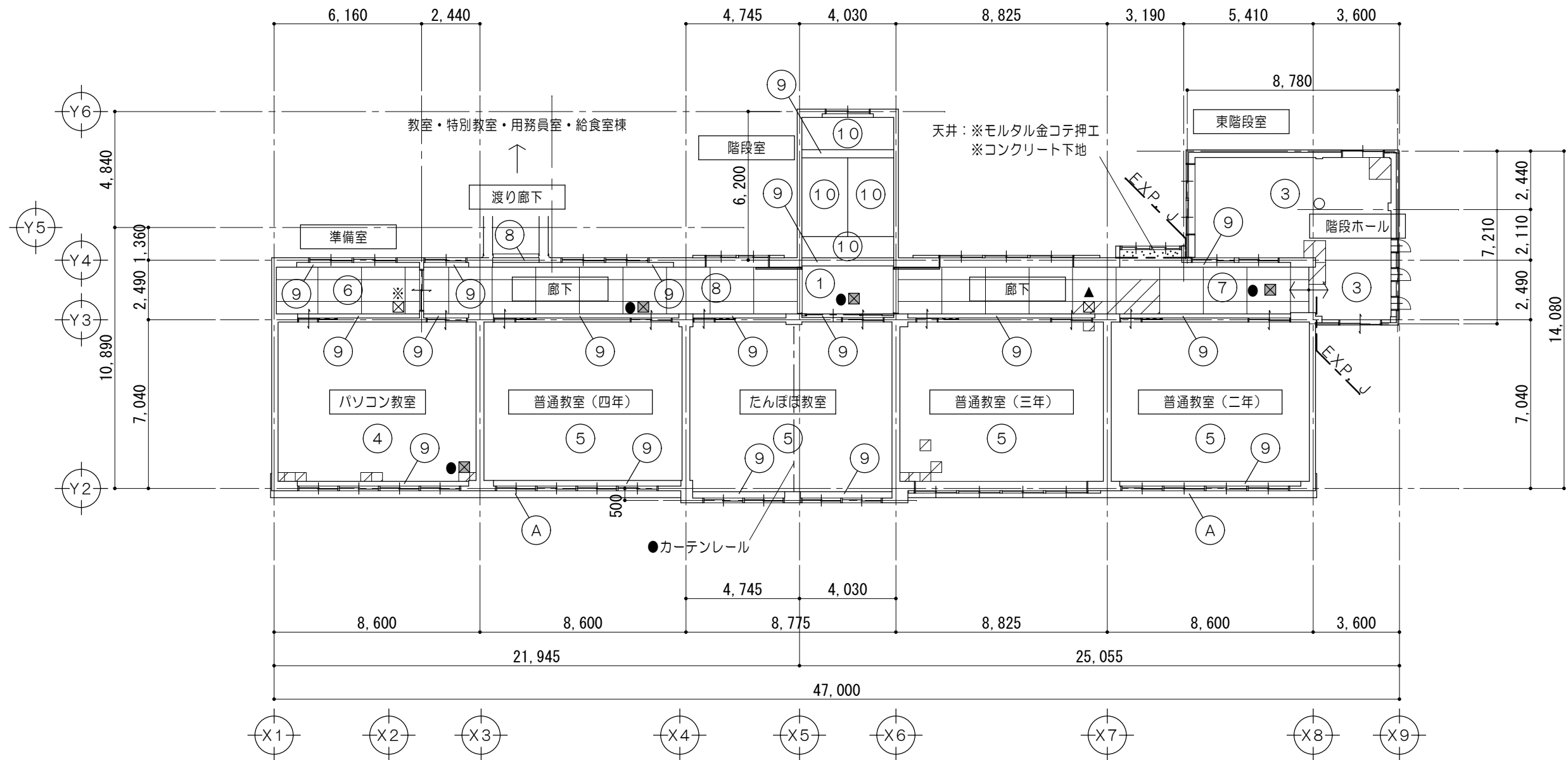
凡 例	
	既設のままを示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	塗替範囲を示す
※	撤去を示す
●	既設のままを示す
⊗	既設天井点検口を示す
仕 上 凡 例	
①	天井：化粧PBA9張 既設のまま LGS下地 既設のまま
②	天井：化粧PBA9張 一部撤去 LGS下地 一部撤去
③	天井：化粧PBA9張 一部撤去 LGS下地 既設のまま
④	天井：化粧PBA9張 一部撤去 木組下地 既設のまま
⑤	天井：化粧PBA9張 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑥	天井：既設ケイカル板α6 AEP塗 撤去
⑦	天井：既設ケイカル板α6 AEP塗 一部撤去 木組下地 一部撤去
⑧	天井：既設ケイカル板α6 AEP塗 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑨	梁型：モルタル金コテ下地 AEP塗 既設のまま
⑩	段裏：段裏表シ OP塗 既設のまま
A	軒天：吹付タイル（アスベスト含有）撤去

改修後



凡 例	
	既設のままを示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設を示す
	塗替範囲を示す
●	既設のままを示す
⊗	天井点検口（アルミ枠）新設を示す
仕 上 凡 例	
Ⓒ1	天井：化粧PBA9、5張 LGS下地
Ⓒ3	天井：化粧PBA9、5 既設下地
Ⓒ4	天井：下地調整RC種の上 E P塗 既設ケイカル板
Ⓒ5	段裏：下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
Ⓒ6	天井：化粧PBA9、5張 既設下地
Ⓒ7	梁型：下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
Ⓒ8	天井：ケイカル板α6 E P塗 既設下地
A	下地調整塗材（C-1） 外装薄塗材E吹付 軒天：剥離剤併用手工具クレン工法

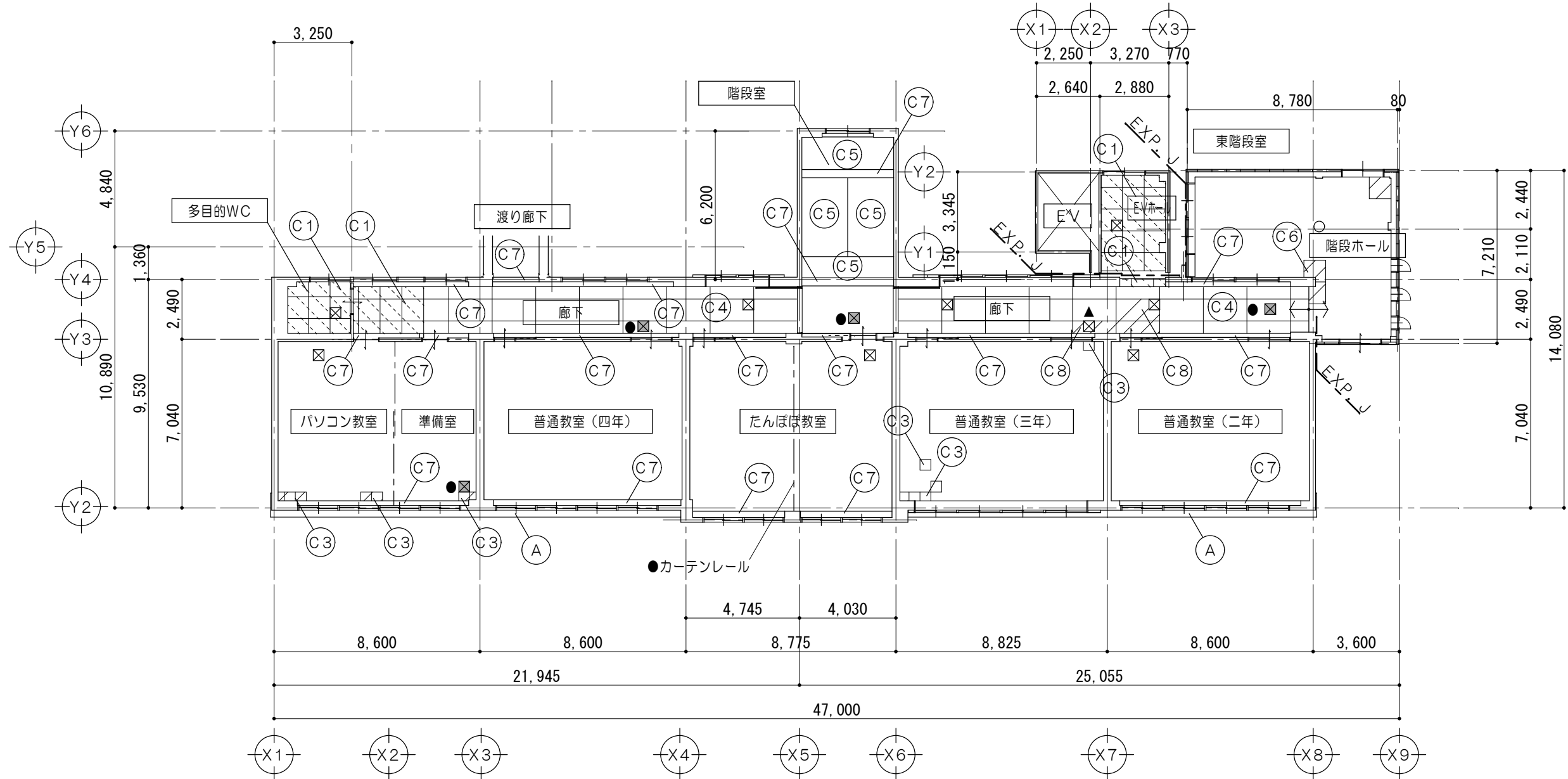
改修前



2 階 天 井 伏 図 1/200

凡 例	
	既設のままを示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	仕上材・下地・コンクリート撤去範囲を示す
	塗替範囲を示す
※	撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
☒	既設天井点検口を示す
仕 上 凡 例	
①	天井: 化粧PＢァ9張 既設のまま LGS下地 既設のまま
②	天井: 化粧PＢァ9張 一部撤去 LGS下地 一部撤去
③	天井: 化粧PＢァ9張 一部撤去 LGS下地 既設のまま
④	天井: 化粧PＢァ9張 一部撤去 木組下地 既設のまま
⑤	天井: 化粧PＢァ9張 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑥	天井: 既設ケイカル板ァ6 AEP塗 撤去
⑦	天井: 既設ケイカル板ァ6 AEP塗 一部撤去 木組下地 一部撤去
⑧	天井: 既設ケイカル板ァ6 AEP塗 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑨	梁型: モルタル金コテ下地 AEP塗 既設のまま
⑩	段裏: 段裏表シ OP塗 既設のまま
A	軒天: 吹付タイル(アスベスト含有) 撤去

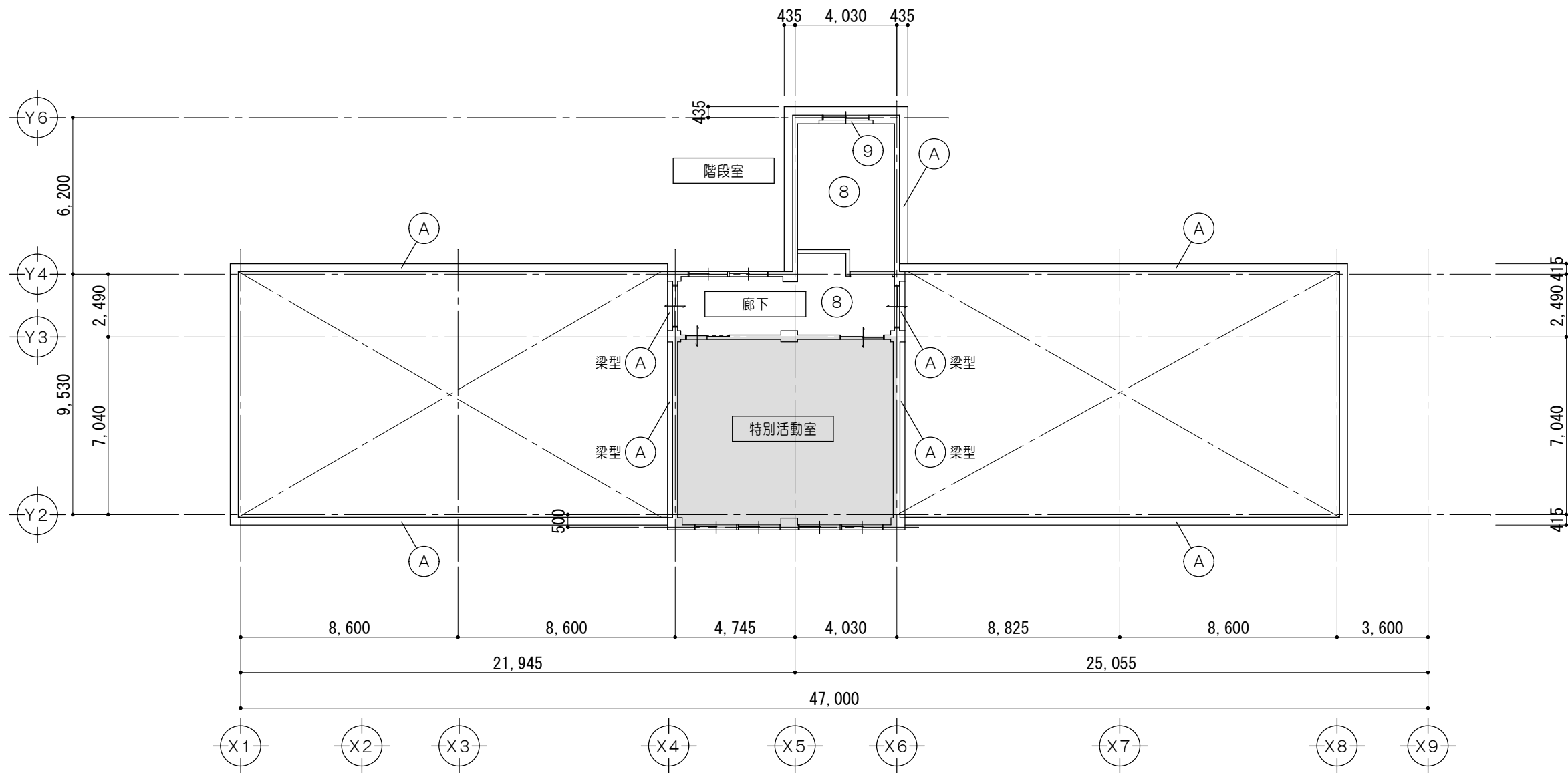
改修後



2 階 天 井 伏 図 1/200

凡 例	
	既設のままを示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設を示す
	塗替範囲を示す
●	既設のままを示す
☒	天井点検口(アルミ枠)新設を示す
仕 上 凡 例	
①	天井: 化粧PＢァ9、5張 LGS下地
③	天井: 化粧PＢァ9、5 既設下地
④	天井: 下地調整RC種の上 E P塗 既設ケイカル板
⑤	段裏: 下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
⑥	天井: 化粧PＢァ9、5張 既設下地
⑦	梁型: 下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
⑧	天井: ケイカル板ァ6 E P塗 既設下地
A	下地調整塗材(C-1) 外装薄塗材E吹付 軒天: 剥離剤併用手工具クレン工法

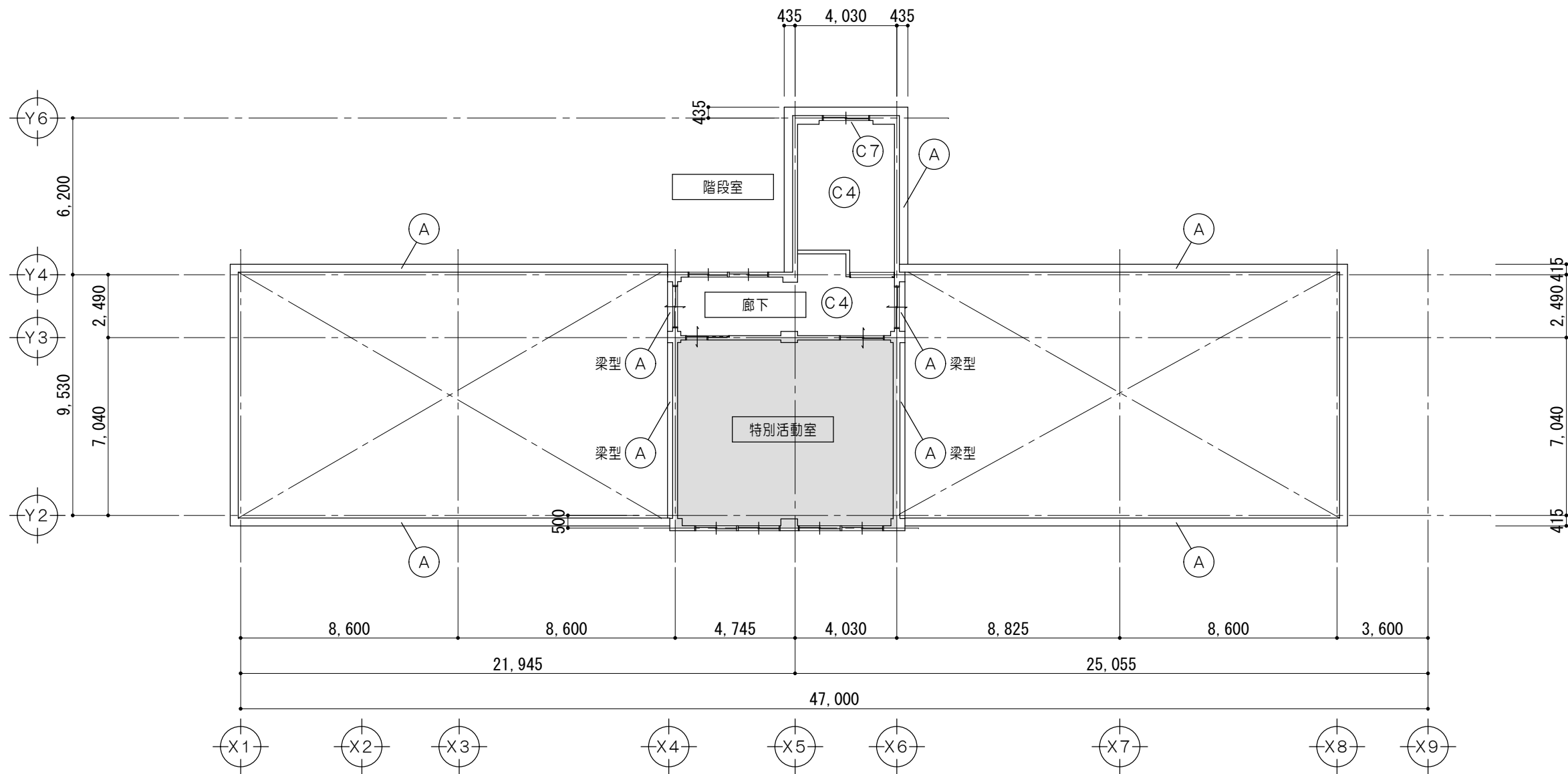
改修前



3 階 天 井 伏 図 1/200

凡 例	
	既設のままを示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	仕上材・下地・コンクリート撤去範囲を示す
	塗替範囲を示す
※	撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
☒	既設天井点検口を示す
仕 上 凡 例	
①	天井：化粧PＢァ9張 既設のまま LGS下地 既設のまま
②	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 LGS下地 一部撤去
③	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 LGS下地 既設のまま
④	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 木組下地 既設のまま
⑤	天井：化粧PＢァ9張 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑥	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 撤去 木組下地 撤去
⑦	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 一部撤去 木組下地 一部撤去
⑧	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑨	梁型：モルタル金コテ下地 AEP塗 既設のまま
⑩	段裏：段裏表シ OP塗 既設のまま
A	軒天：吹付タイル（アスベスト含有）撤去

改修後

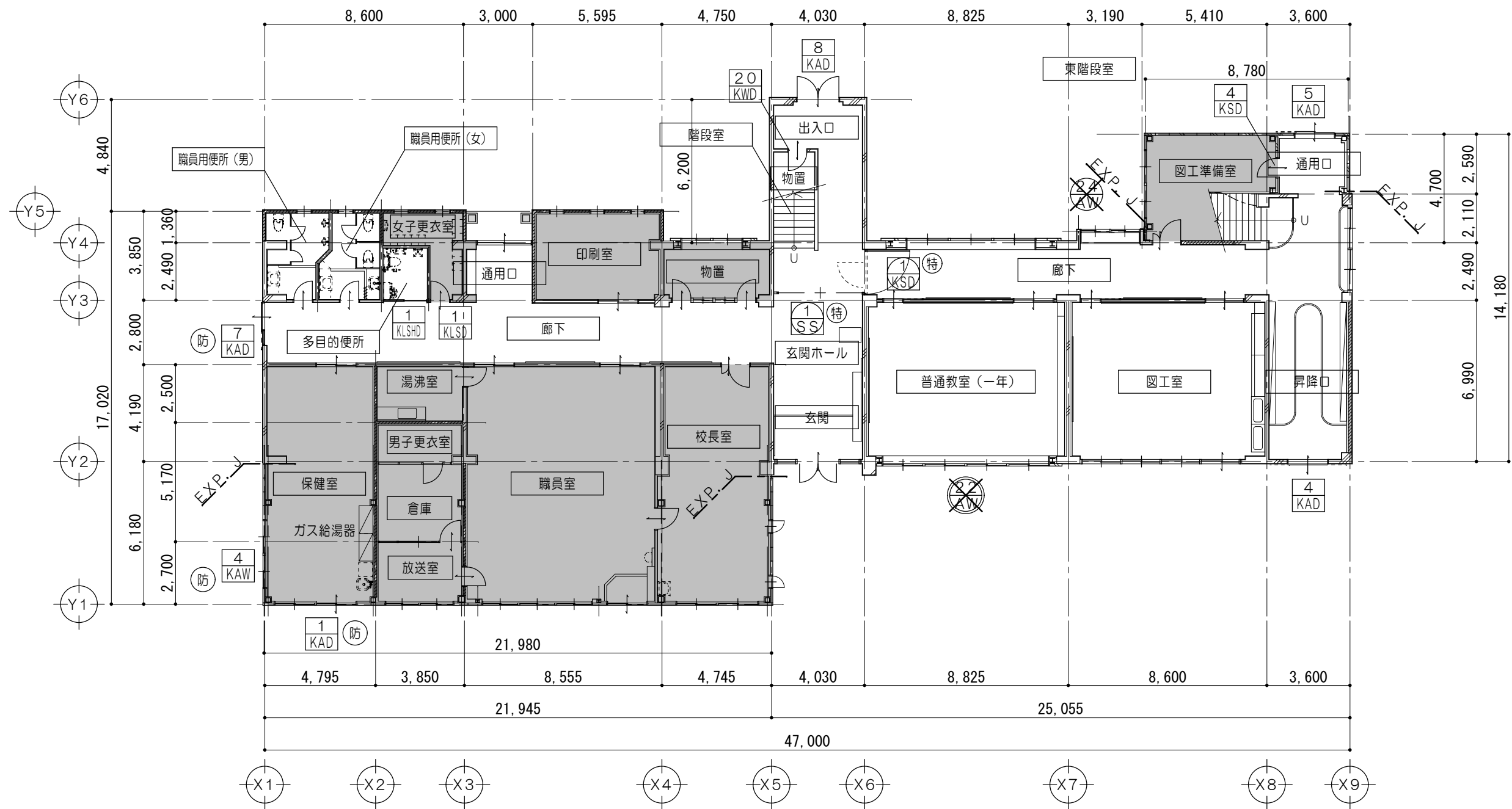


3 階 天 井 伏 図 1/200

凡 例	
	既設のままを示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設を示す
	塗替範囲を示す
●	既設のままを示す
☒	天井点検口（アルミ枠）新設を示す
仕 上 凡 例	
①	天井：化粧PＢァ9、5張 LGS下地
③	天井：化粧PＢァ9、5 既設下地
④	天井：下地調整RC種の上 E P塗 既設ケイカル板
⑤	段裏：下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
⑥	天井：化粧PＢァ9、5張 既設下地
⑦	梁型：下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
⑧	天井：ケイカル板ァ6 E P塗 既設下地
A	下地調整塗材（C-1） 外装薄塗材E吹付 軒天：剥離剤併用手工具クレン工法

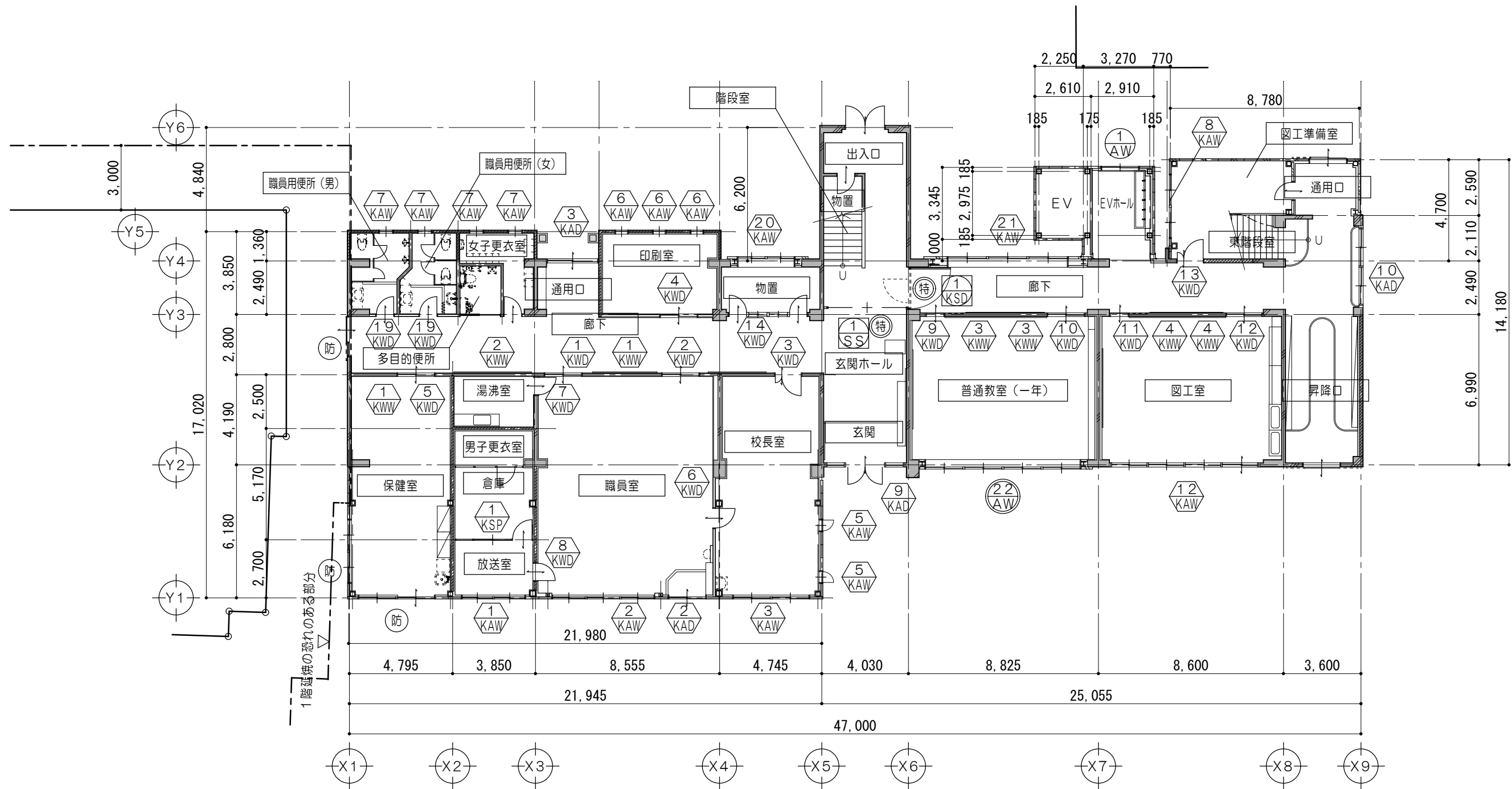
特	
記	
事	
項	

	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
	株式会社 前野建築設計	一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第320204号 前野 将輝					津市立明合小学校長寿命化改修工事	
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		図面名称		縮 尺		図面番号				
		改修前 改修後 3階天井伏図		A2:1/200 A3:1/282		A085 原図:A2				



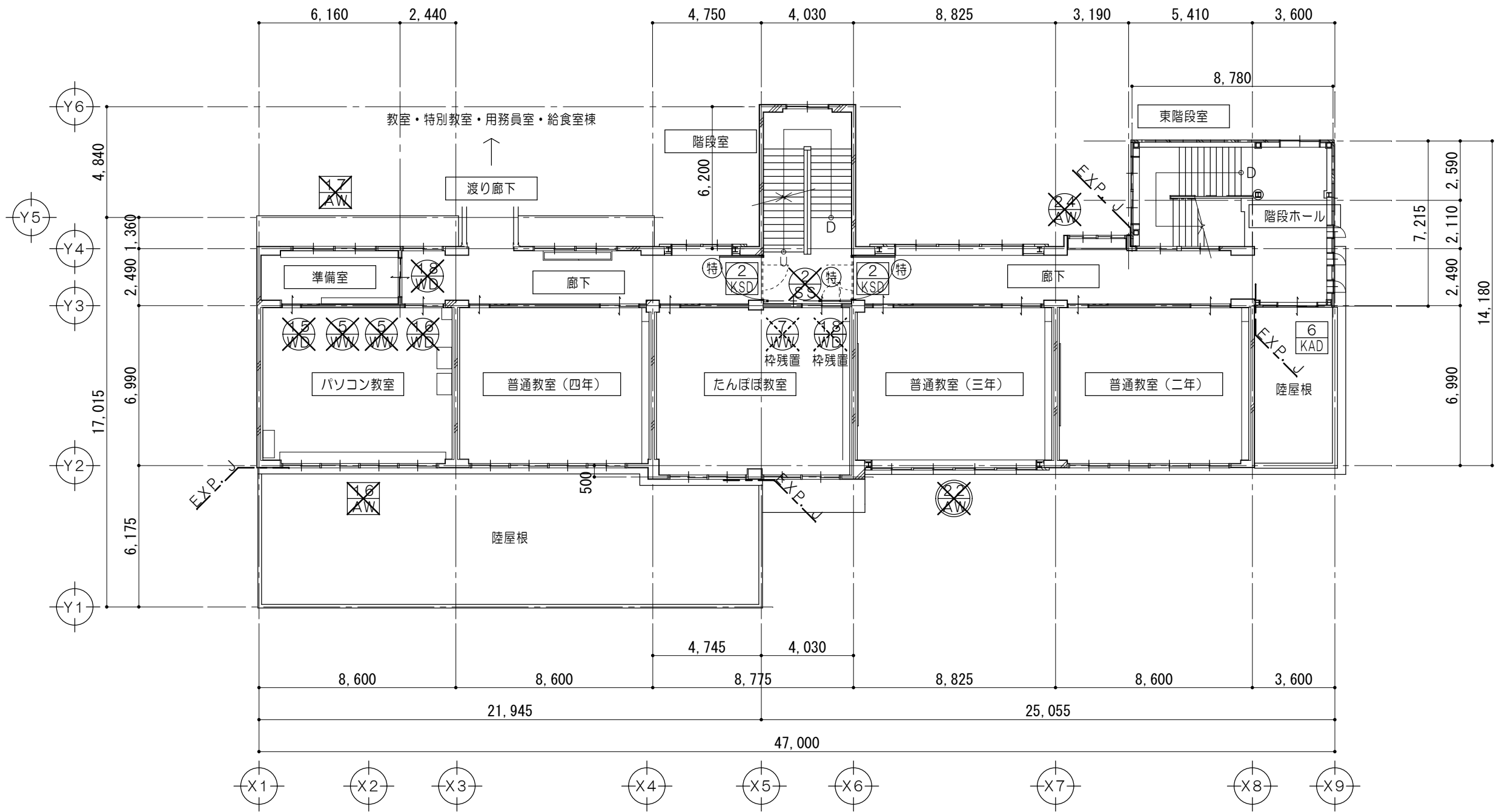
凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す (既設力パー工法部分のみ撤去)
	既設建具改修を示す (既設一部のみ撤去)
	特定防火設備撤去を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す
外部に面する建具は、 ・建具周りシーリング（外部）撤去	

1 階 建 具 符 号 図 1/200



凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具力パー工法にて改修を示す
	既設建具力パー工法にて改修を示す (既設部分は飛散防止フィルム張)
	飛散防止フィルム張を示す ※網入りガラス・強化ガラス除く
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す
外部に面する建具は、 ・建具周りシーリング（外部）打替：MS-2	

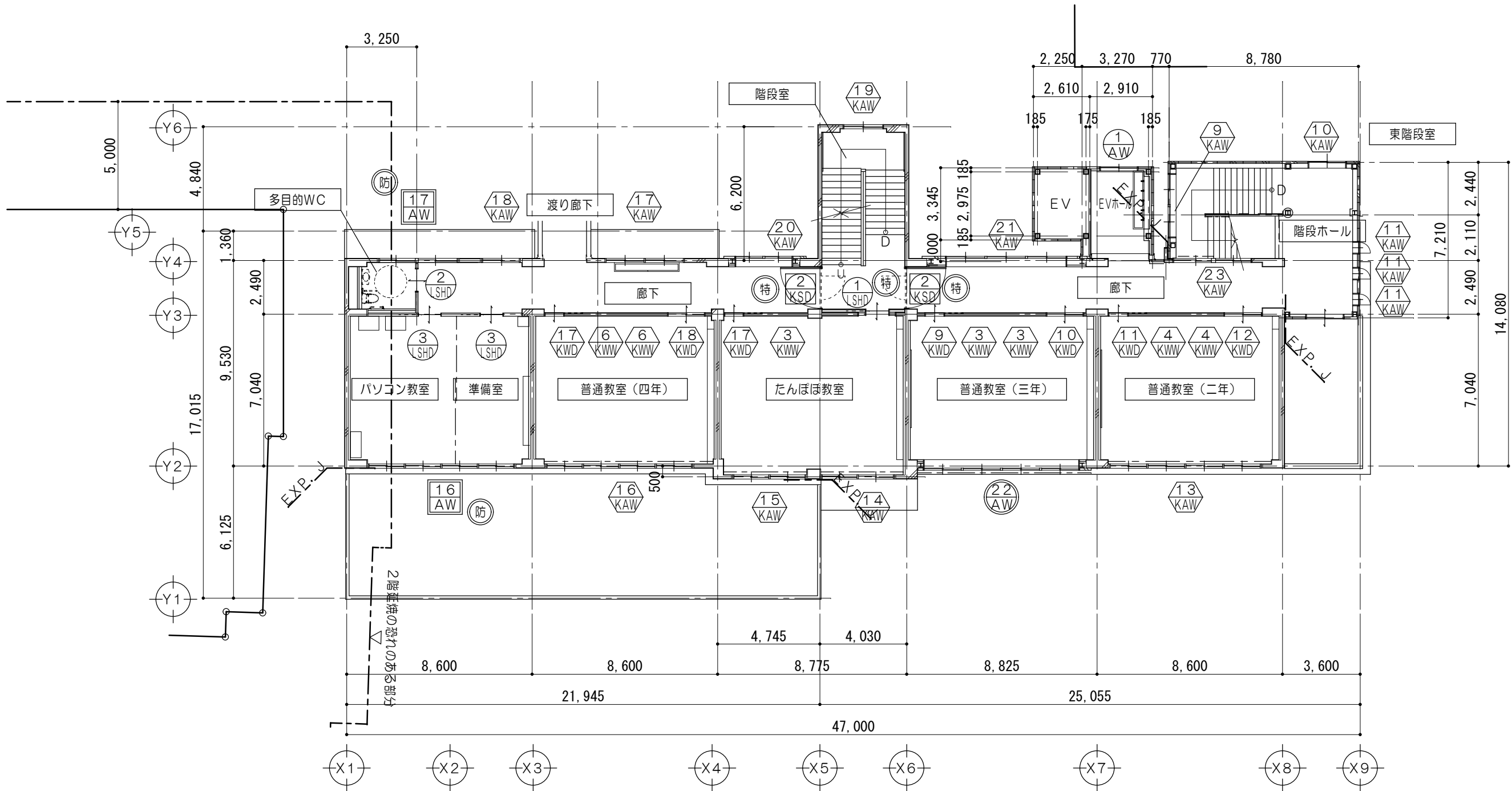
1 階 建 具 符 号 図 1/200



凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	撤去建具（枠残置）を示す
	既設建具改修を示す （既設力バー工法部分のみ撤去）
	既設建具改修を示す （既設一部のみ撤去）
	特定防火設備撤去を示す （遮煙性能なし）
	既設防火設備を示す

外部に面する建具は、
・建具周りシーリング（外部）撤去

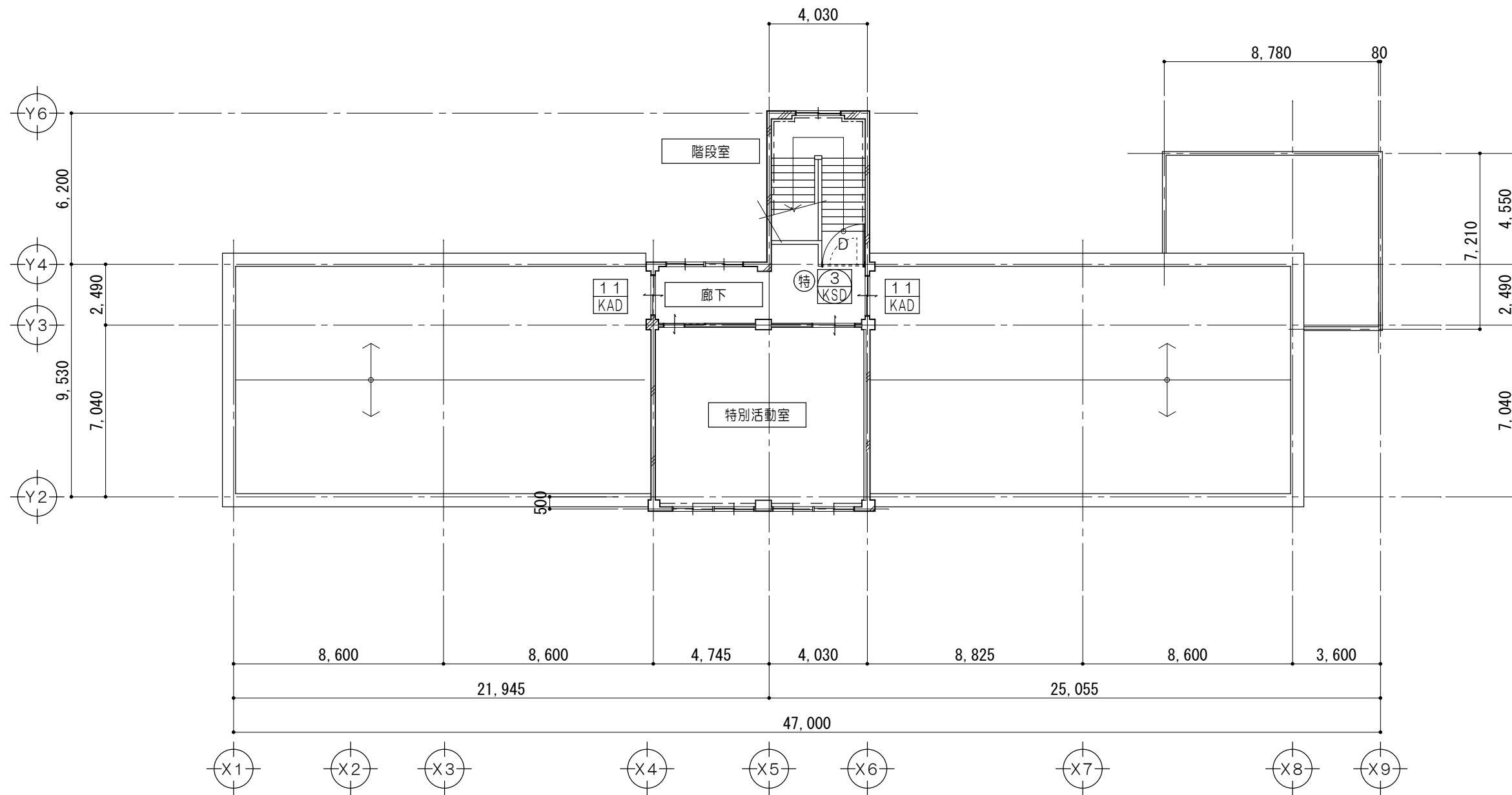
2 階 建 具 符 号 図 1/200



凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具力バー工法にて改修を示す
	既設建具力バー工法にて改修を示す （既設部分は飛散防止フィルム張）
	飛散防止フィルム張を示す ※網入りガラス・強化ガラス除く
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す

外部に面する建具は、
・建具周りシーリング（外部）打替：MS-2

2 階 建 具 符 号 図 1/200

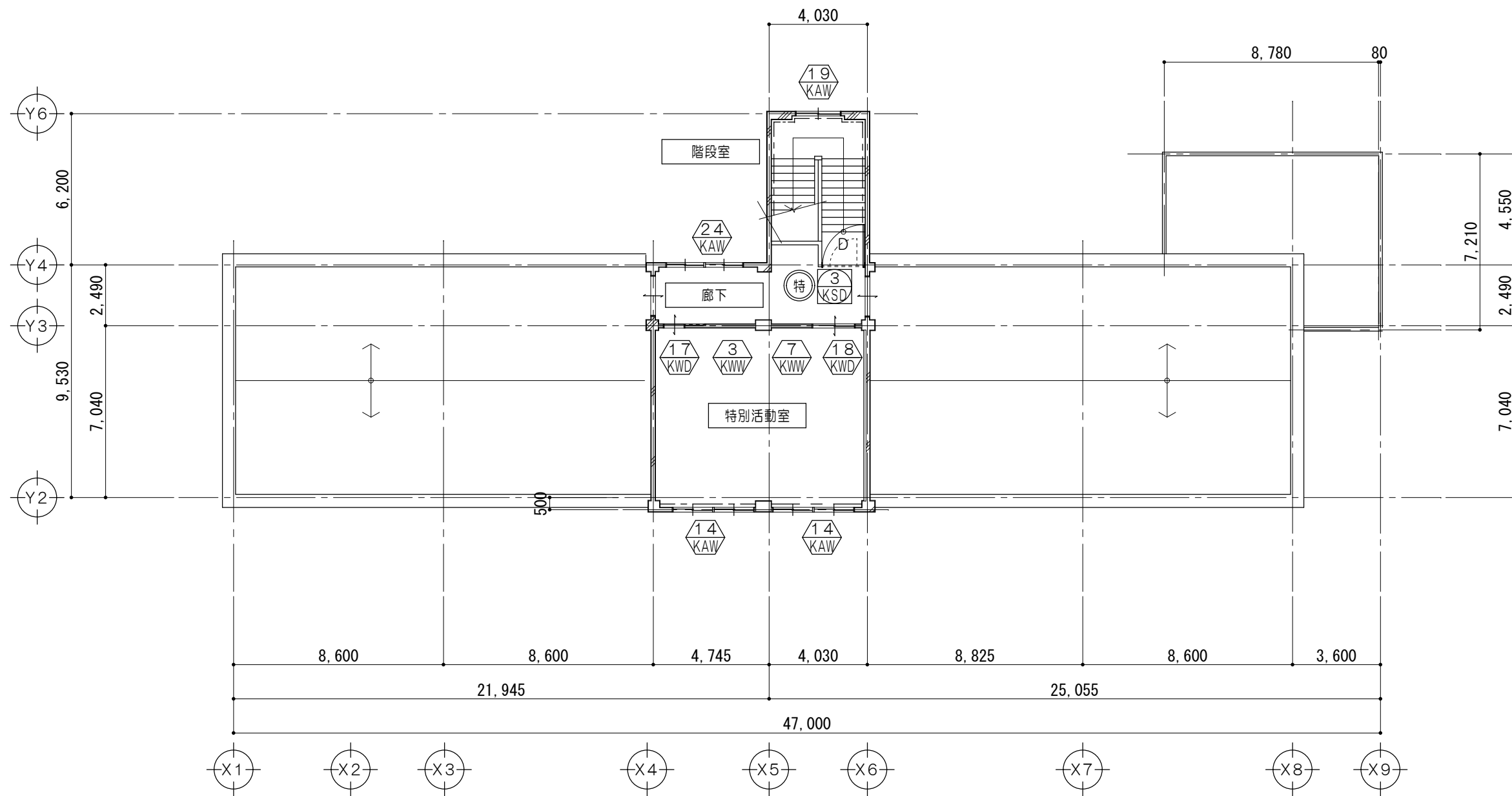


3 階 平 面 図 1/200

凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す (既設力バー工法部分のみ撤去)
	特定防火設備撤去を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す

外部に面する建具は、
・建具周りシーリング（外部）撤去

3 階 建 具 符 号 図 1/200

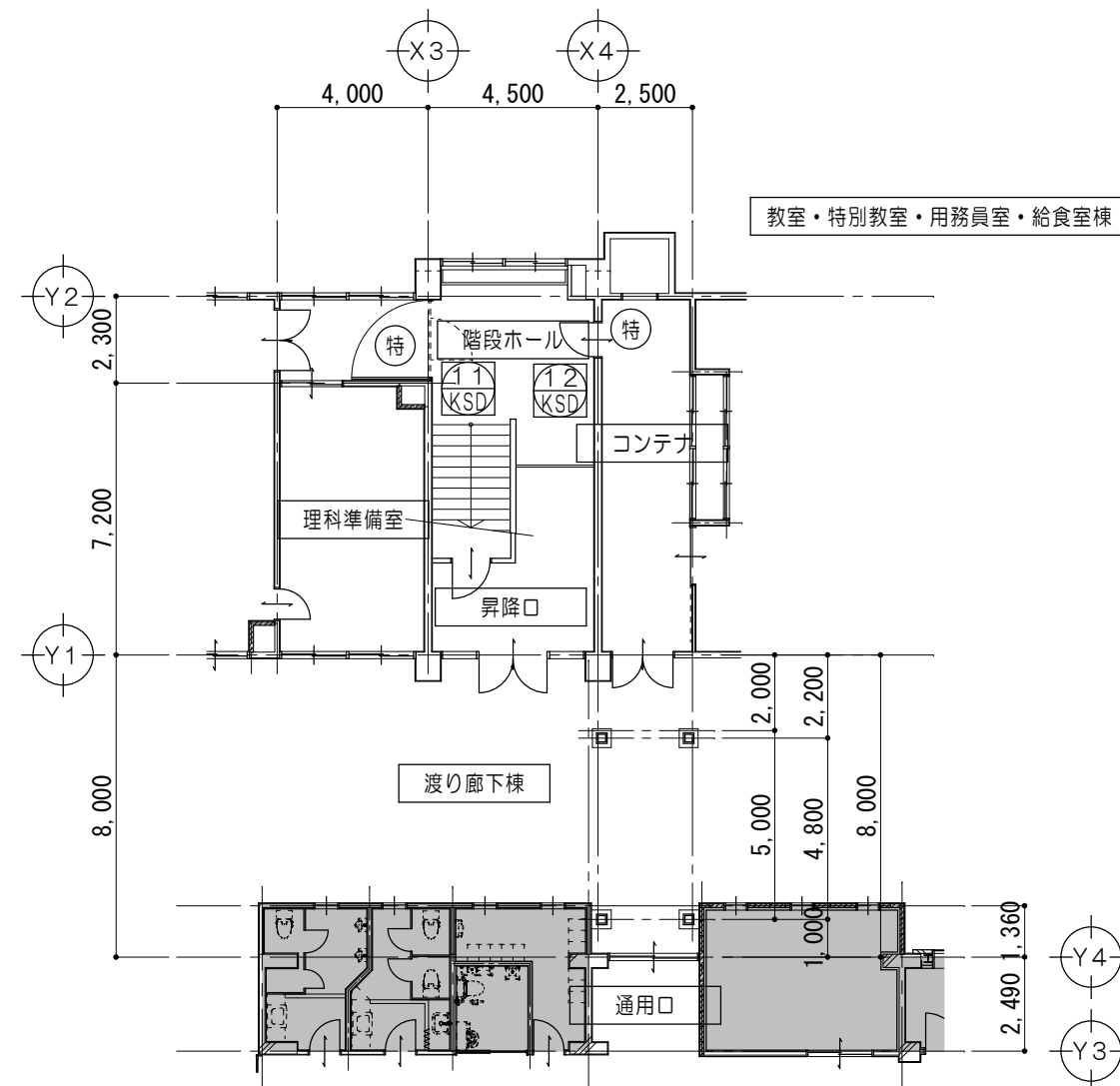


3 階 平 面 図 1/200

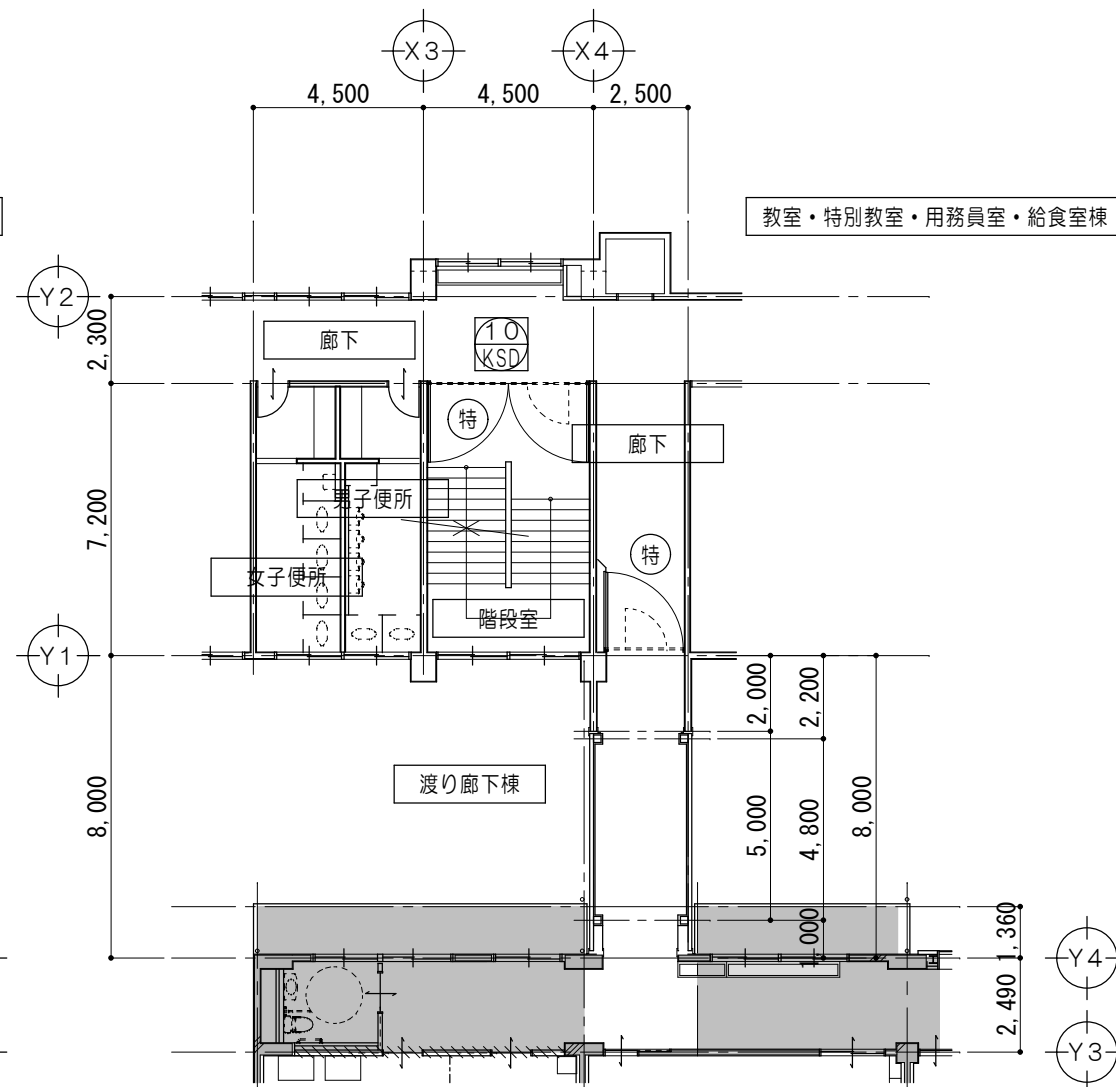
凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具カバー工法にて改修を示す
	飛散防止フィルム張を示す ※網入りガラス・強化ガラス除く
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す

外部に面する建具は、
・建具周りシーリング（外部）打替：MS-2

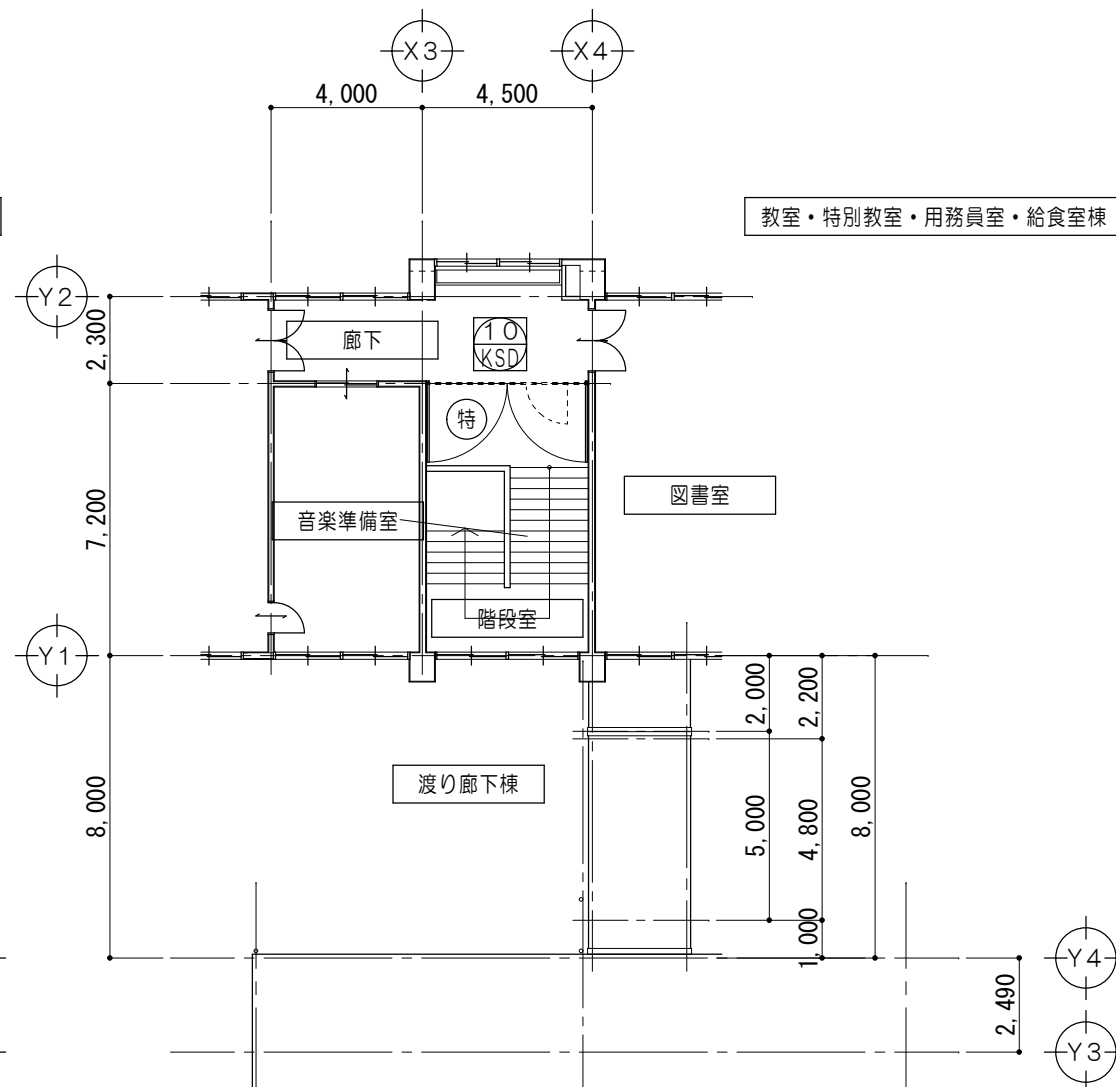
3 階 建 具 符 号 図 1/200



1 階 建 具 符 号 図 1/200

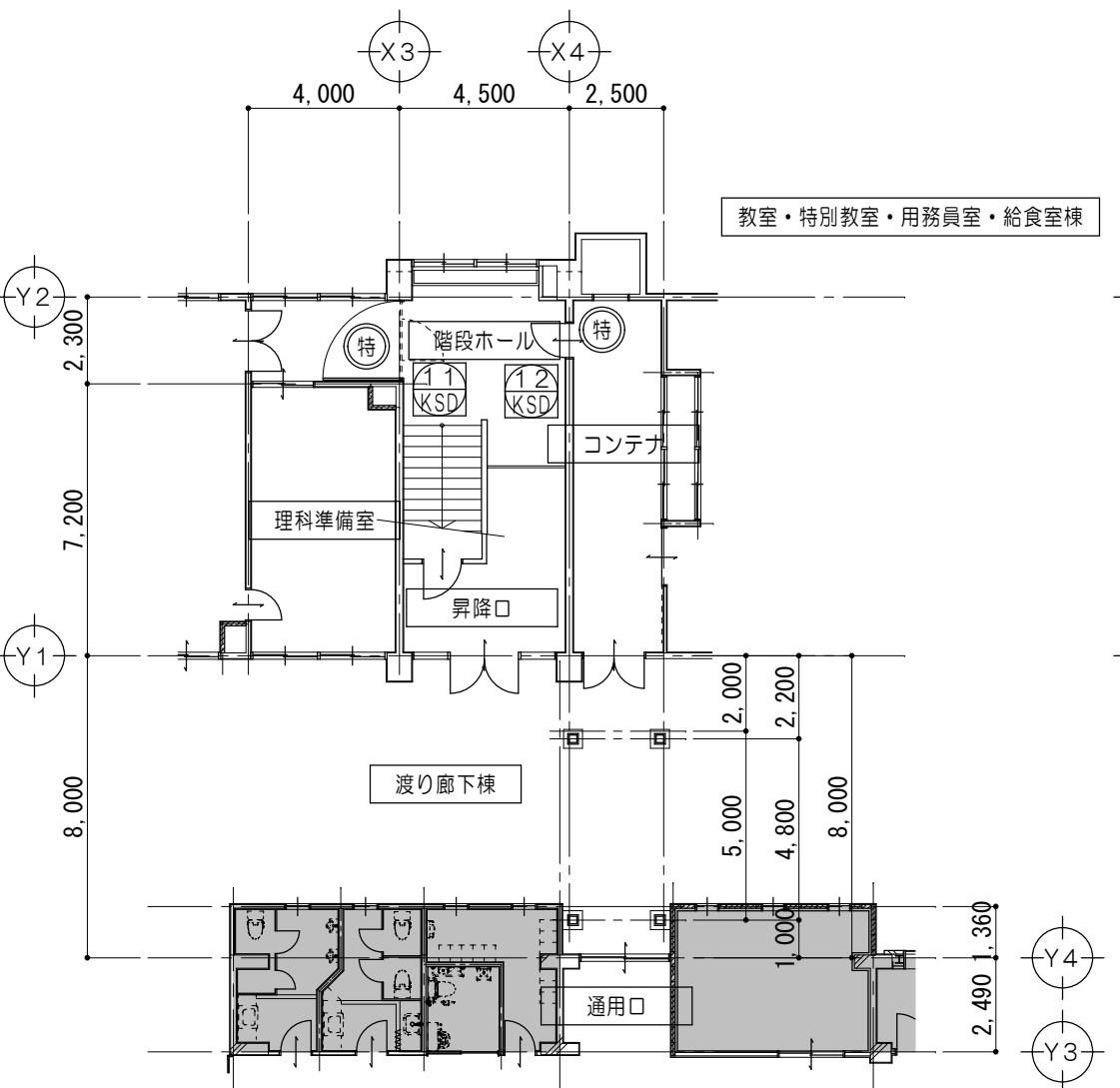


2 階 建 具 符 号 図 1/200

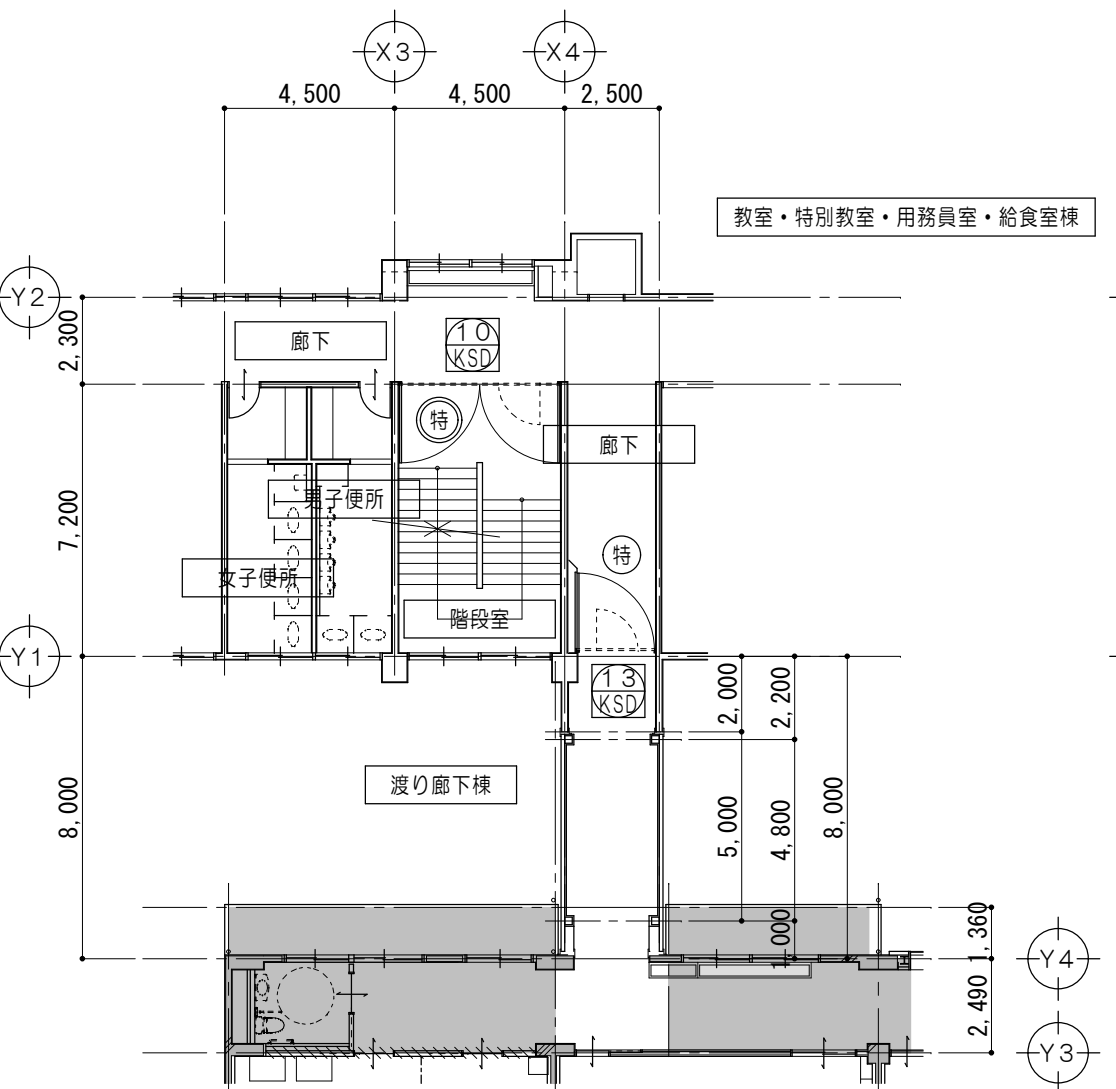


3 階 建 具 符 号 図 1/200

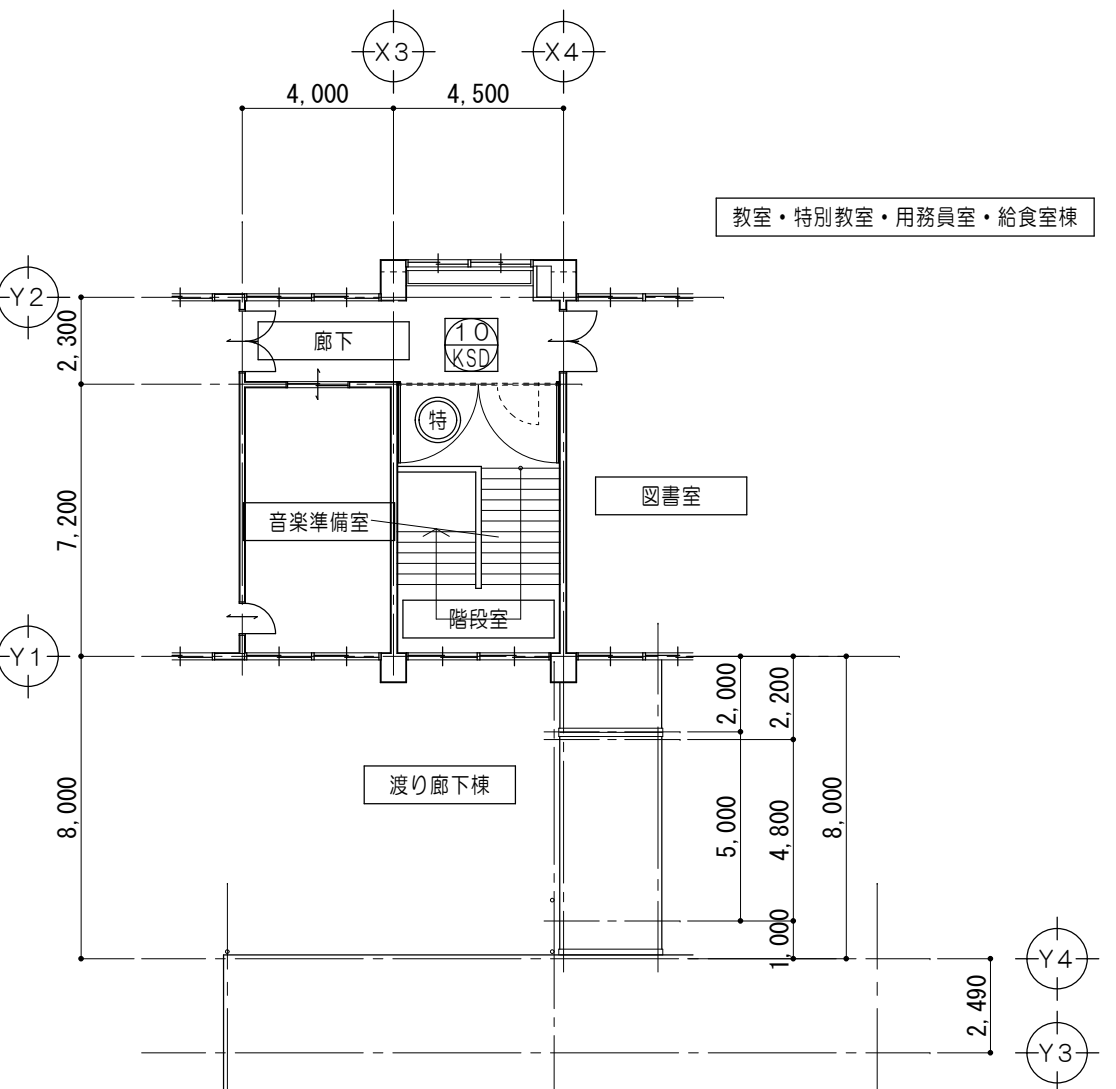
凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す (既設力バー工法部分のみ撤去)
	既設建具改修を示す (既設一部のみ撤去)
	特定防火設備撤去を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す
外部に面する建具は、 ・建具周りシーリング（外部）撤去	



1 階 建 具 符 号 図 1/200

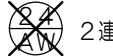
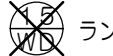
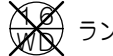
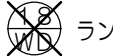
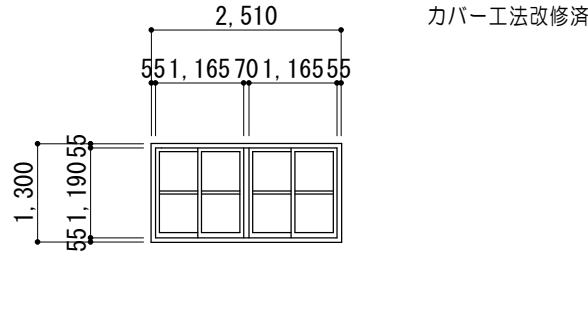
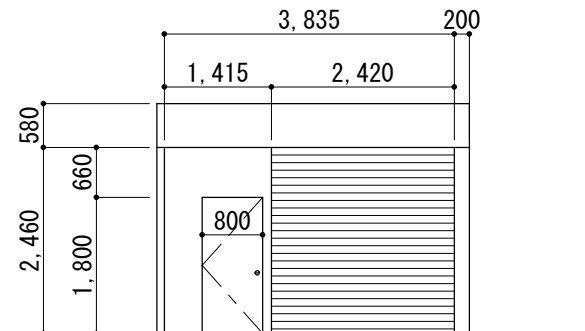
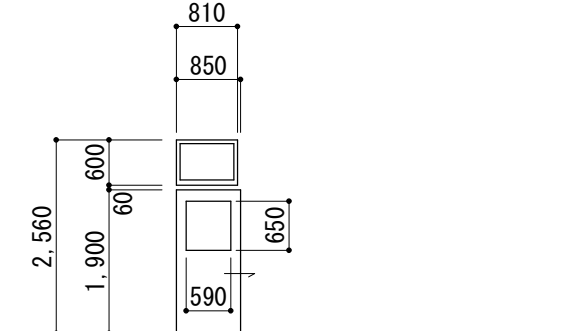
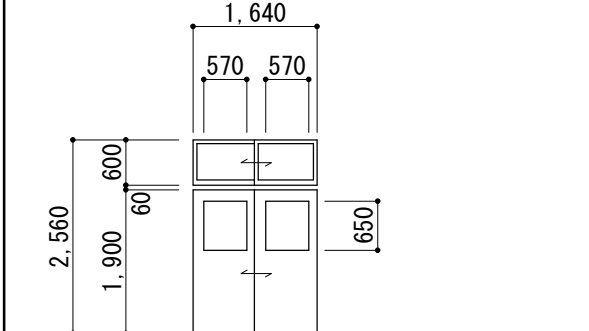
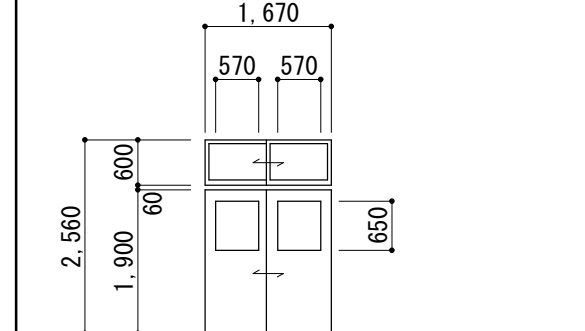
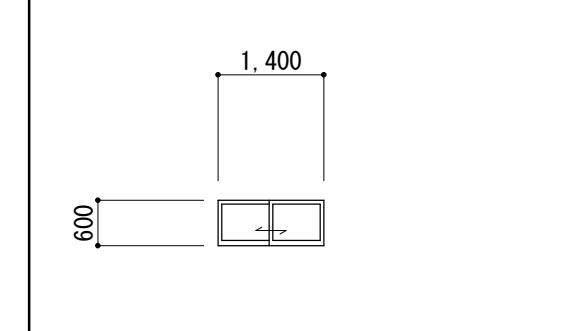
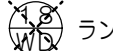
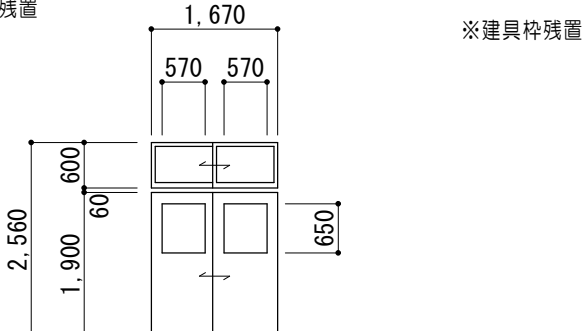
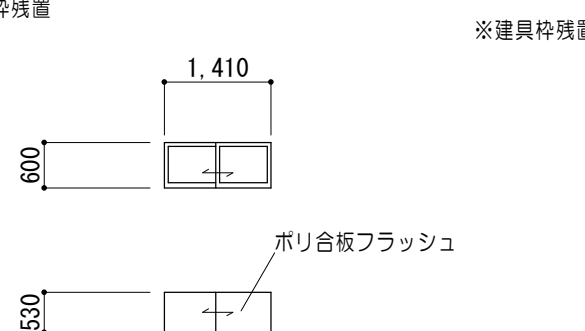


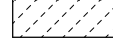
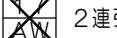
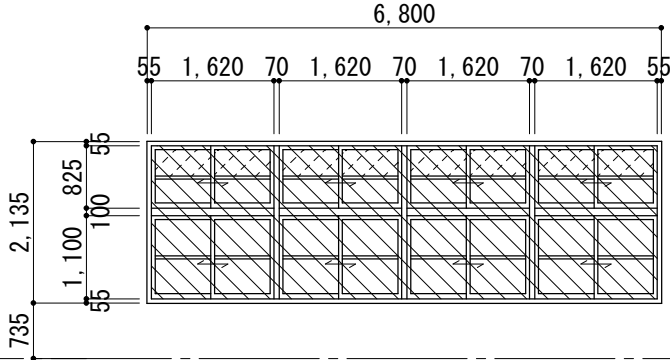
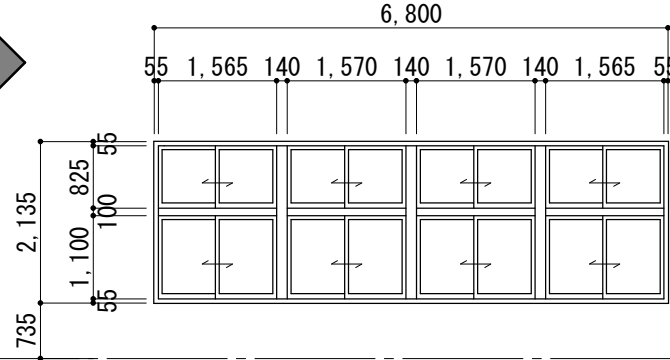
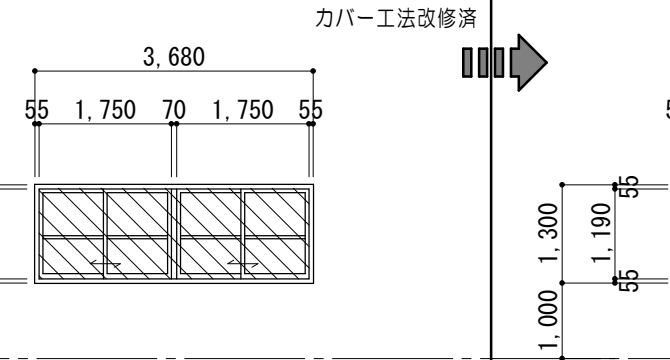
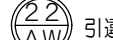
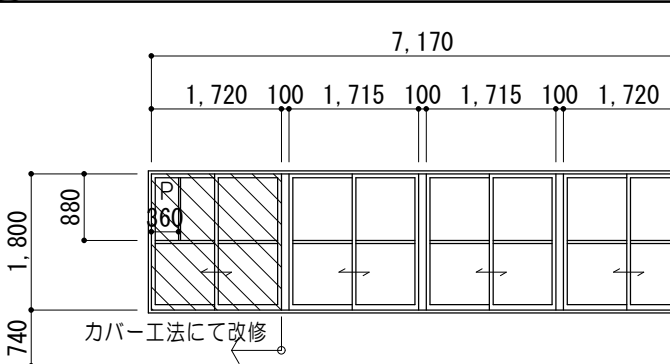
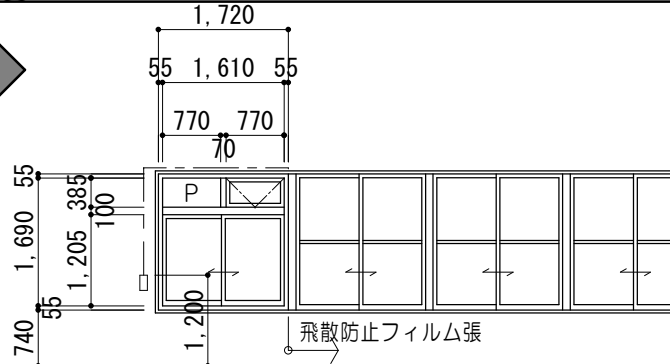
2 階 建 具 符 号 図 1/200



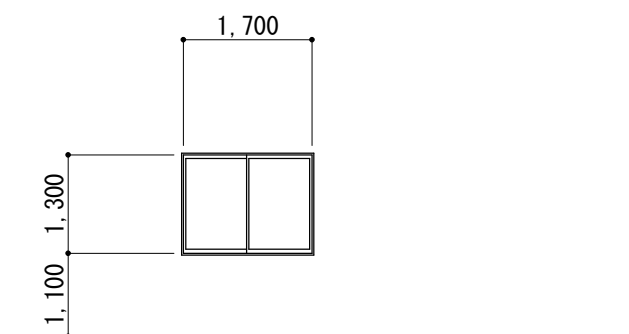
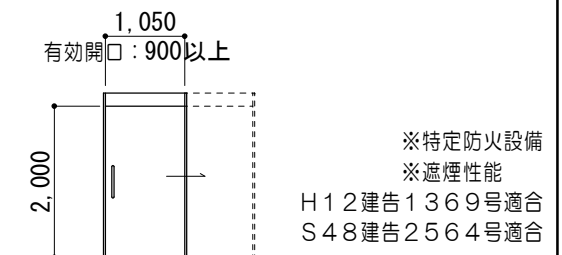
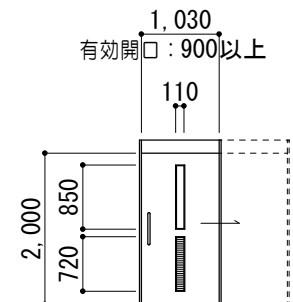
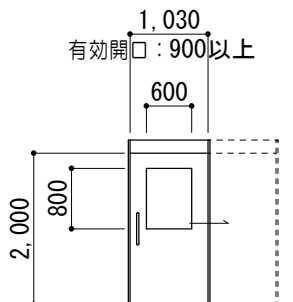
3 階 建 具 符 号 図 1/200

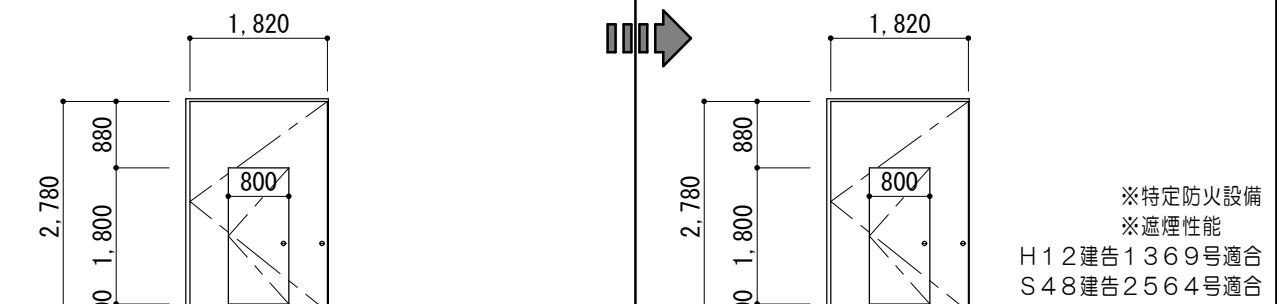
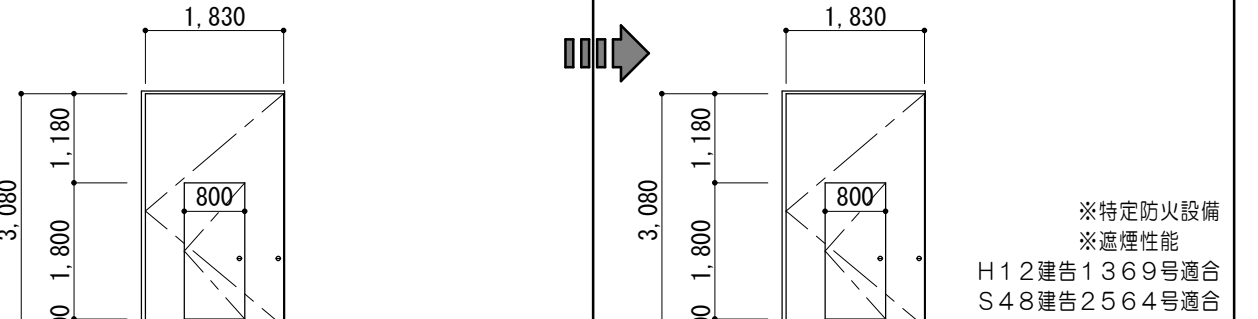
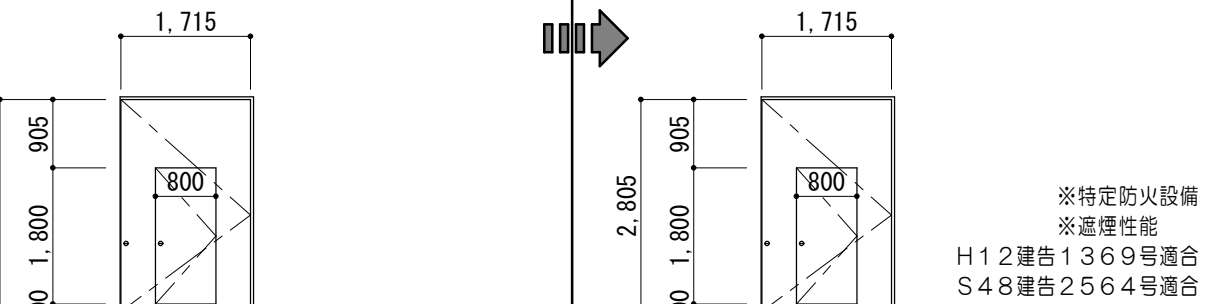
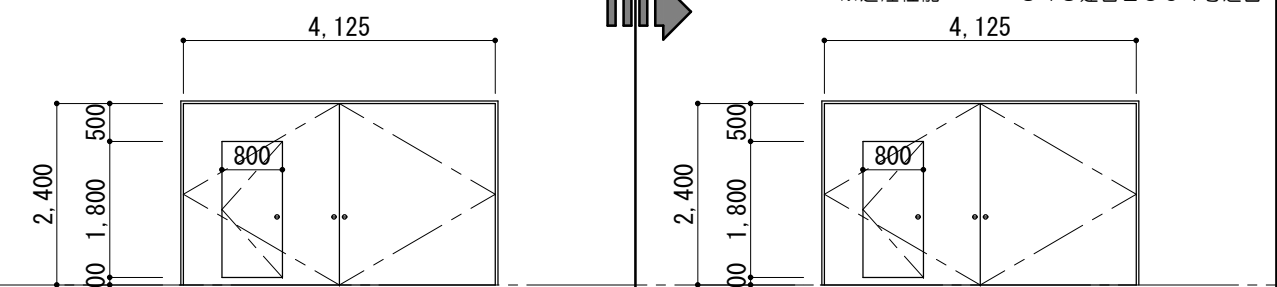
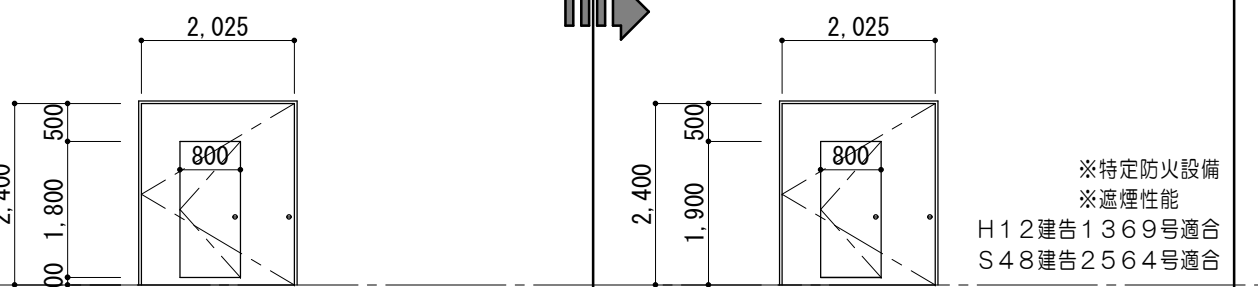
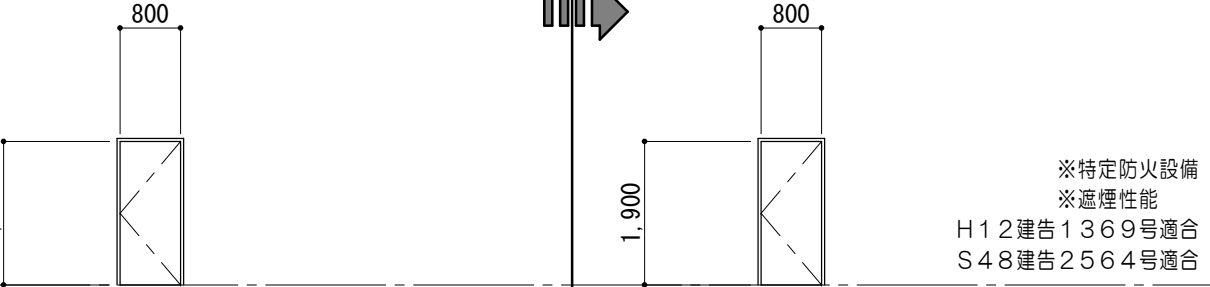
凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具力バー工法にて改修を示す
	既設建具力バー工法にて改修を示す (既設部分は飛散防止フィルム張)
	飛散防止フィルム張を示す ※網入りガラス・強化ガラス除く
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す
外部に面する建具は、 ・建具周りシーリング（外部）打替：MS-2	

建 具 表 ＜ 撤 去 ＞												1/100		※  型板ガラス部分を示す														
符 号 名 称 数 量	 2連引違イアルミサッシ		2		 くぐり戸付上部手動式防火シャッター（煙感運動）		1		 ランマFⅠX付片引キ木製ドア		1		 ランマ引違イ付引違イ木製ドア		1		 ランマ引違イ付引違イ木製ドア				 引違イ木製窓		2					
姿 図					カバー工法改修済																							
一般F L																												
見 込 硝 子	7 0		フロートA3						9 5		フロートA3		9 5		フロートA3		9 5		フロートA3		9 5		フロートA3					
仕 上	シルバー				スチールA1. 6				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ							
金 物	クレセント																											
室 名	1階：廊下 2階：廊下				2階：廊下				2階：パソコン教室				2階：パソコン教室				2階：準備室				2階：パソコン教室							
符 号 名 称 数 量	 ランマ引違イ付引違イ木製ドア		1		 引違イ木製窓		1																					
姿 図					枠残置 ※建具枠残置								枠残置 ※建具枠残置															
一般F L																												
見 込 硝 子	9 5		フロートA3		9 5		フロートA3																					
仕 上	ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ																							
金 物																												
室 名	2階：たんぼほ教室				2階：たんぼほ教室																							

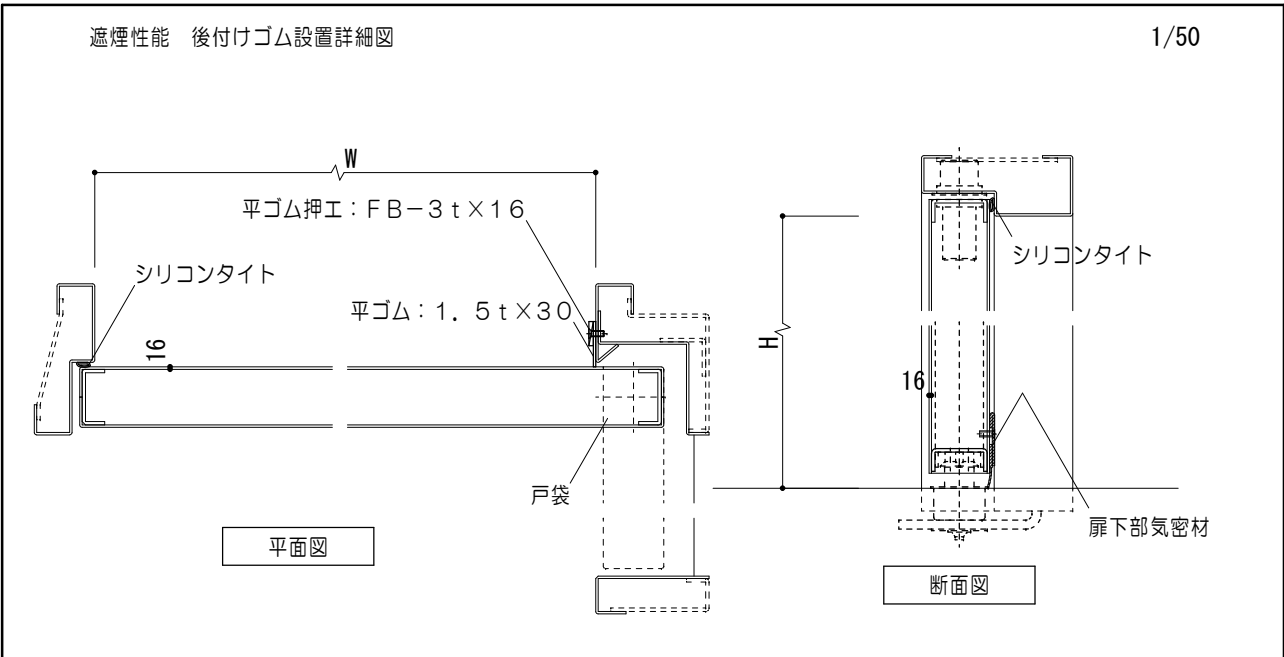
建 具 表 ＜ カ バ ー 工 法 改 修 ＞												1/100		※  撤去範囲を示す		※  型板ガラス部分を示す									
符 号 名 称 数 量		 ランマ引違い付4連引違いアルミサッシ		1		 ランマ引違い付4連引違いアルミサッシ（カバー工法）		1		 2連引違いアルミサッシ		1		 2連引違いアルミサッシ（カバー工法）		1									
姿 図		カバー工法改修済								※防火設備 大臣認定品 EB-3076-3				カバー工法改修済								※防火設備 大臣認定品 EB-2562-4			
		一般F L ▽																							
見 込 硝 子	70	フロートA3、型A4				70	網入りガラスA6. 8				70	フロートA3				70	網入りガラスA6. 8、網入り型板ガラスA6. 8								
仕 上	シルバー						アルミ陽極酸化塗装皮膜（BB-1種）						シルバー						アルミ陽極酸化塗装皮膜（BB-1種）						
金 物	クレセント						クレセント、戸車、アルミ額縁、付属金物一式						クレセント						クレセント、戸車、アルミ額縁、付属金物一式						
室 名	2階：普通教室（四年）、パソコン教室																								
符 号 名 称 数 量		 4連引違いアルミサッシ		2		 引違いアルミサッシ（カバー工法）		2																	
姿 図		ALC用								※既設サッシ部飛散防止フィルム張															
		一般F L ▽		カバー工法にて改修																					
見 込 硝 子	70	フロートA5、アルミパネル				70	学校用強化ガラスA4、アルミパネル																		
仕 上	シルバー						アルミ陽極酸化塗装皮膜（BB-1種）																		
金 物	クレセント						クレセント、戸車、アルミ額縁、オペレーター装置、付属金物一式																		
室 名	1階：普通教室（一年） 2階：普通教室（三年）																								

特 記 事 項				MAENO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事	設計日
												検図	図面名称 建具表<撤去>、建具表<カバー工法改修>	縮 尺 A2:1/100 A3:1/141

建 具 表 ＜ 新 設 ＞					1/100												
符 号 名 称 数 量	① AW	引連イアルミサッシ	2	① LSHD	片引軽量スチールハンガードA（常閉） （壁内蔵タイプ）	1	② LSHD	片引軽量スチールハンガードA （壁内蔵タイプ）	1	③ LSHD	片引軽量スチールハンガードA （壁内蔵タイプ）	2					
姿 図																	
	見 込	硝子	7 0	学校用強化ガラスA4	枠	2 2 0	扉	4 0	枠	1 3 5	扉	4 0	学校用強化型ガラスA4	枠	1 3 5	扉	4 0
仕 上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（BB－1種）			化粧銅板A0.6			化粧銅板A0.6			化粧銅板A0.6							
金 物	サムターン表示錠、自閉制御装置、オイルダンパー、大型引手、ステンレス番搭 煙感運動装置、ガイドローラー、スチール三方枠（焼付塗装仕上）、付属金物一式			サムターン表示錠、自閉制御装置、オイルダンパー、大型引手、ステンレス番搭 煙感運動装置、ガイドローラー、スチール三方枠（焼付塗装仕上）、付属金物一式			サムターン表示錠、自閉制御装置、オイルダンパー、大型引手、ステンレス番搭 ガイドローラー、スチール三方枠（焼付塗装仕上）、付属金物一式			サムターン表示錠、自閉制御装置、オイルダンパー、大型引手、ステンレス番搭 ガイドローラー、スチール三方枠（焼付塗装仕上）、付属金物一式							
室 名	1階：EVホール 2階：EVホール			2階：たんぼぼ教室			2階：多目的WC			2階：パソコン教室、準備室							

建 具 表 ＜ 遮 煙 性 能 改 修 ＞										1/100															
符 号 名 称 数 量		① KSD	くぐり戸付常時開放式甲種防火戸		【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置		1	② KSD	くぐり戸付常時開放式甲種防火戸		【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置		2	③ KSD	くぐり戸付常時開放式甲種防火戸		【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置		1						
姿 図																									
見 込 硝子		96						96						96											
仕 上		スチールA1.6 OP								スチールA1.6 OP								スチールA1.6 OP							
金 物						パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式								パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式								パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式			
室 名		1階：階段室								2階：階段室								3階：階段室							
符 号 名 称 数 量		①④ KSD	くぐり戸付常時開放式甲種防火戸		【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置		2	①① KSD	くぐり戸付常時開放式甲種防火戸		【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置		1	①② KSD	片開キスチールドア（常閉）		【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置		1						
姿 図																									
見 込 硝子		100						100						100											
仕 上		スチールA1.6 OP								スチールA1.6 OP								スチールA1.6 OP							
金 物						パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式								パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式								パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式			
室 名		2階：廊下 3階：廊下 （教室・特別教室・用務員室・給食室棟）								1階：廊下 （教室・特別教室・用務員室・給食室棟）								1階：廊下 （教室・特別教室・用務員室・給食室棟）							

建 具 表 ＜ 危 害 防 止 装 置 改 修 ＞					1/100	
符 号 名 称 数 量	1 SS	上部手動式防火シャッター（煙感連動）	1	【建具工事内容】危害防止装置設置	1	
姿 図 一般FL ▽	3,640 2,850 → 3,640 2,850 ※特定防火設備 ※遮煙性能 H12建告1369号適合 S48建告2564号適合					
仕 上	スチールA1.6					
金 物				シャッターケース（天井内）、危害防止装置一式、付属金物一式		
室 名	1階：階段室			1階：階段室		



特 記 事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

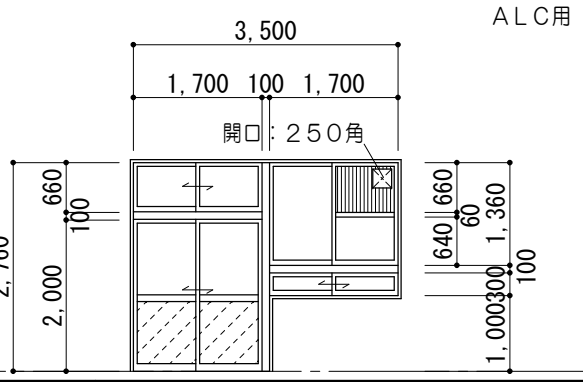
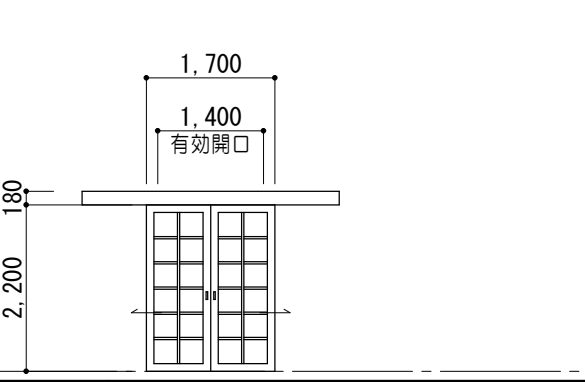
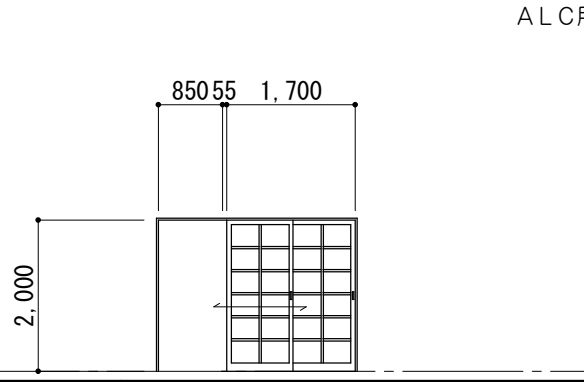
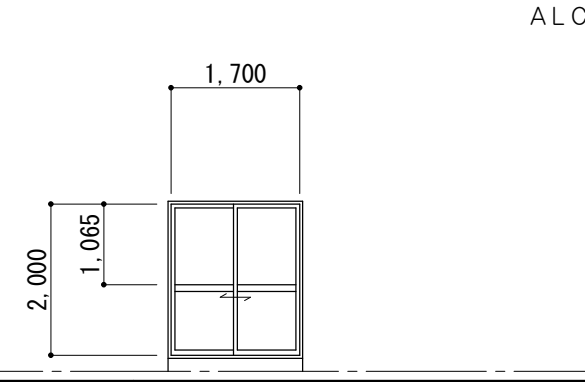
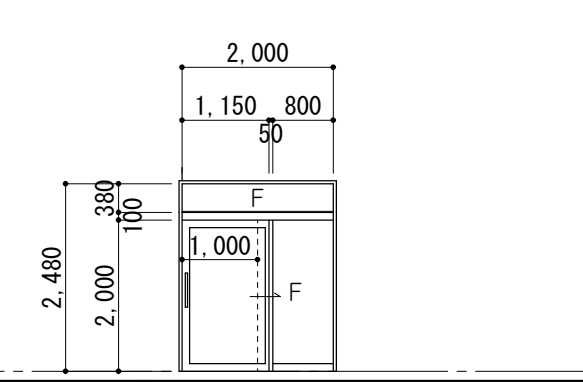
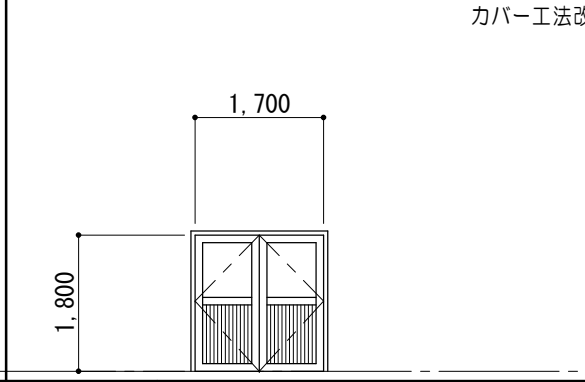
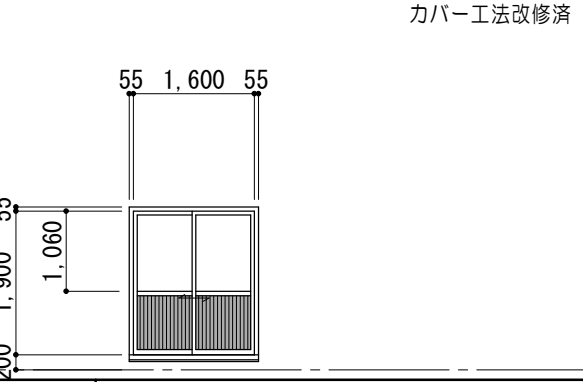
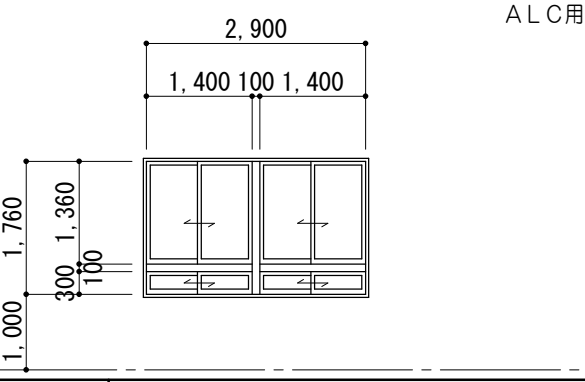
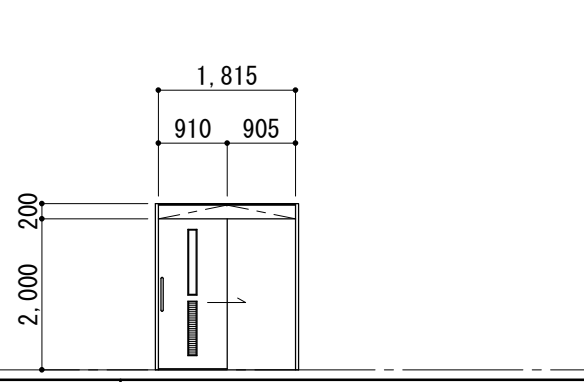
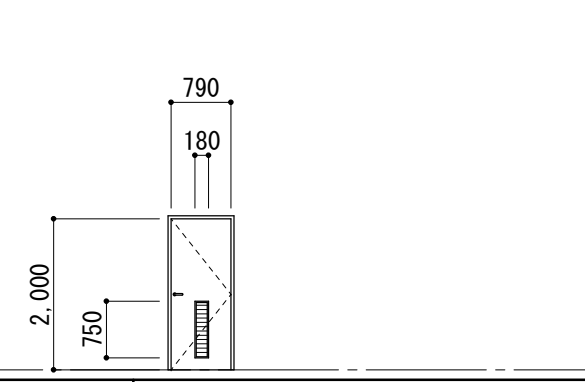
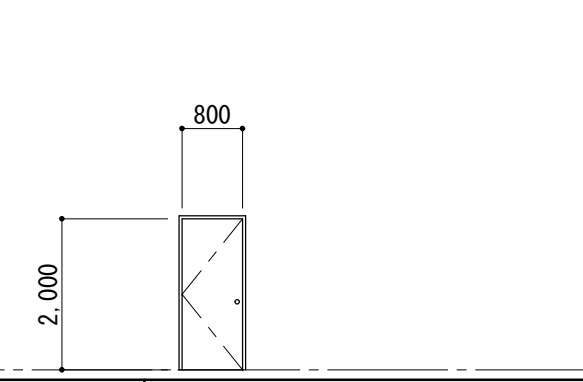
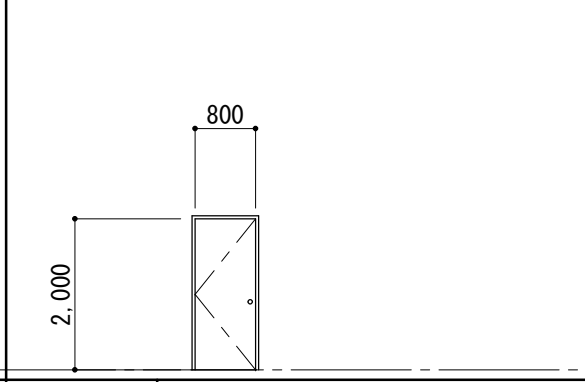
MAINO

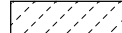
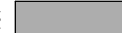
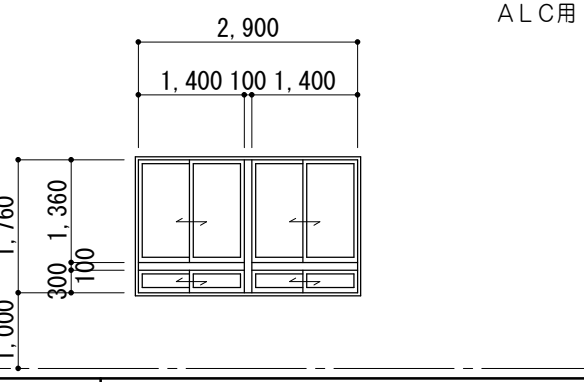
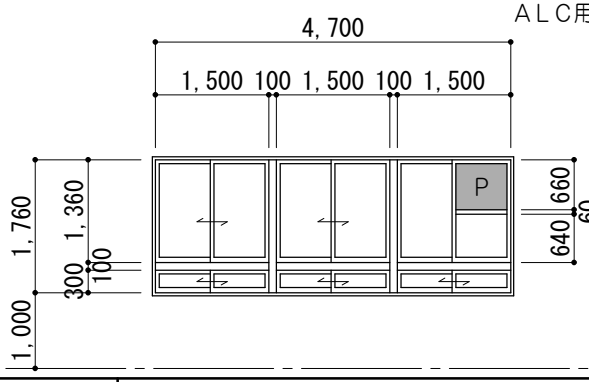
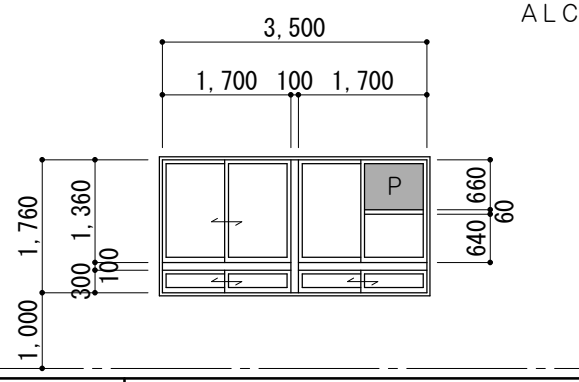
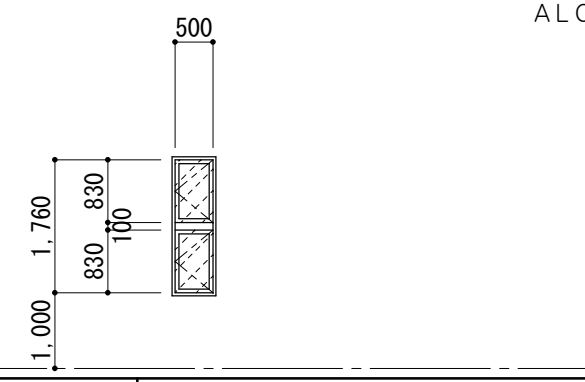
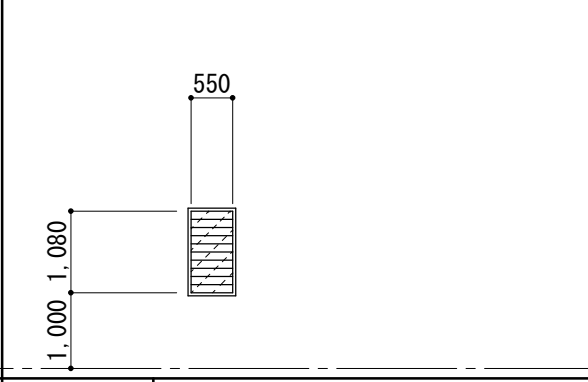
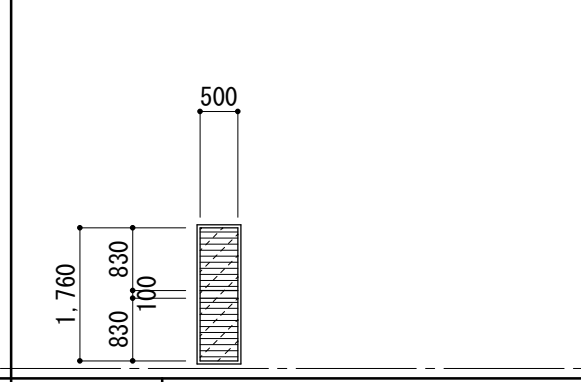
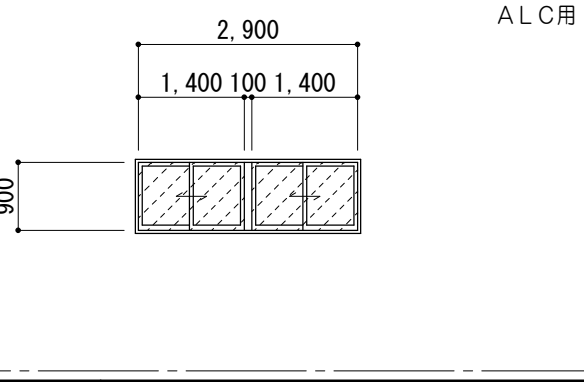
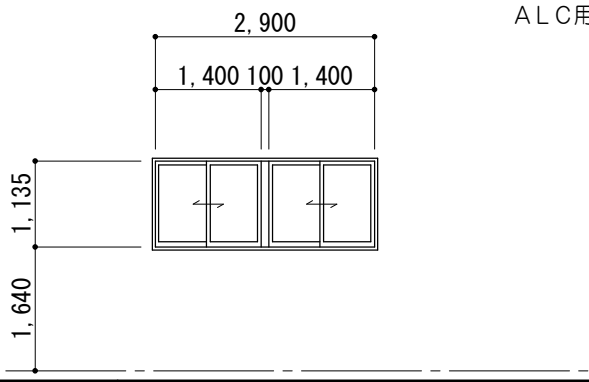
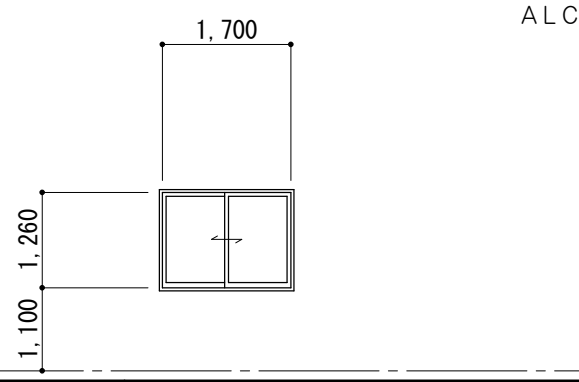
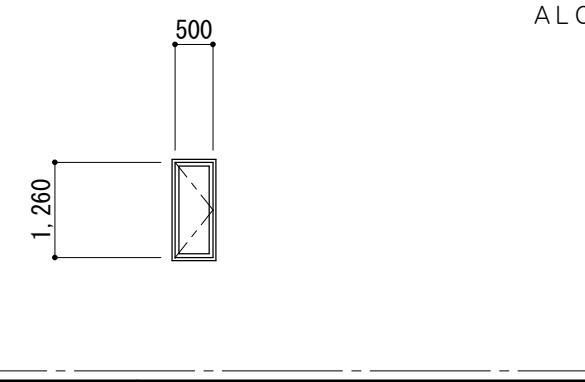
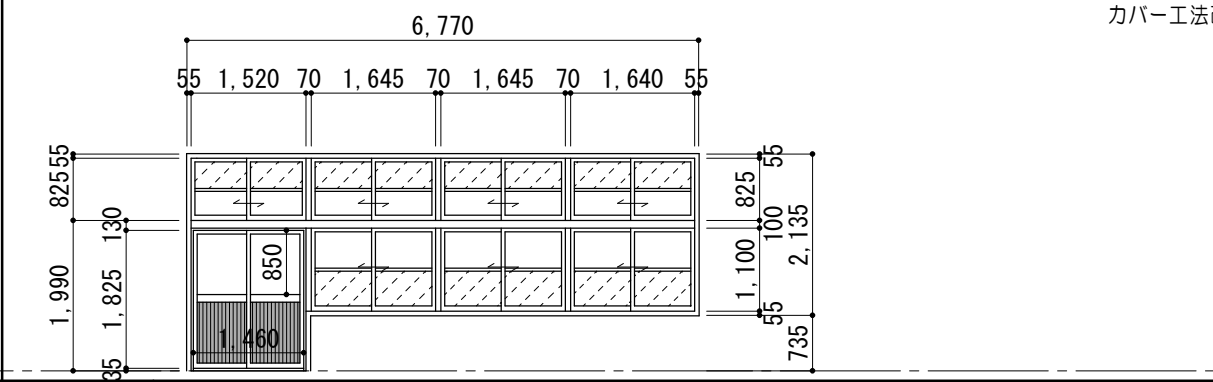
株式会社 前野建築設計

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

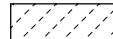
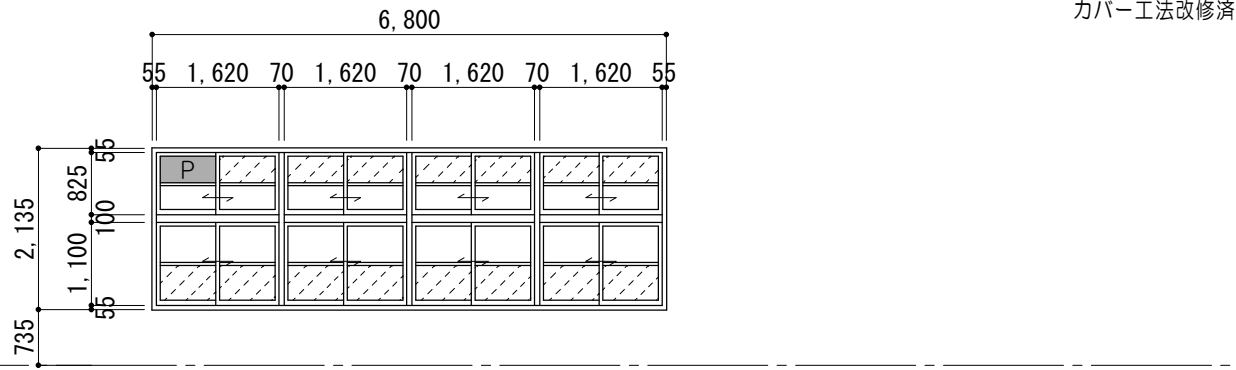
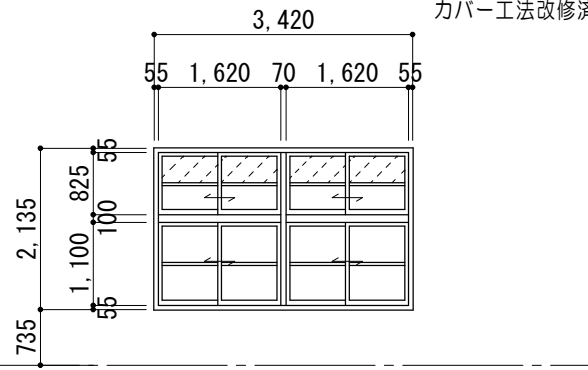
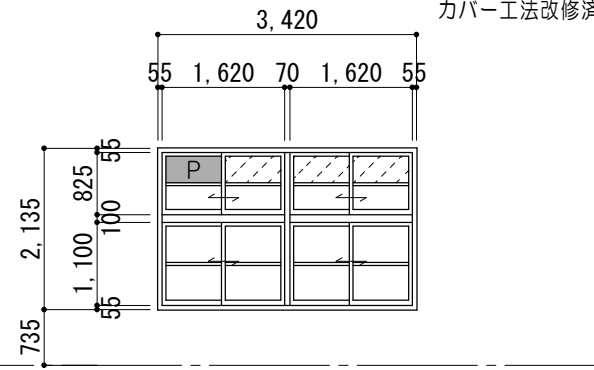
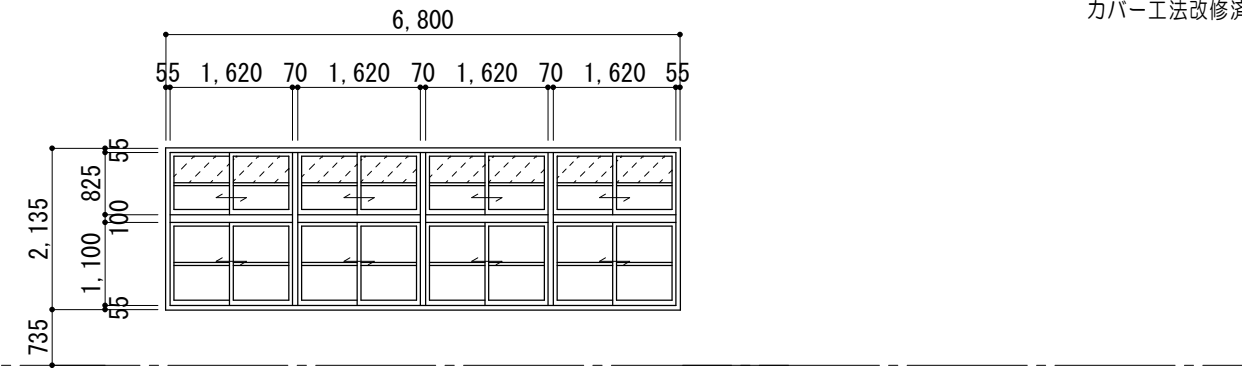
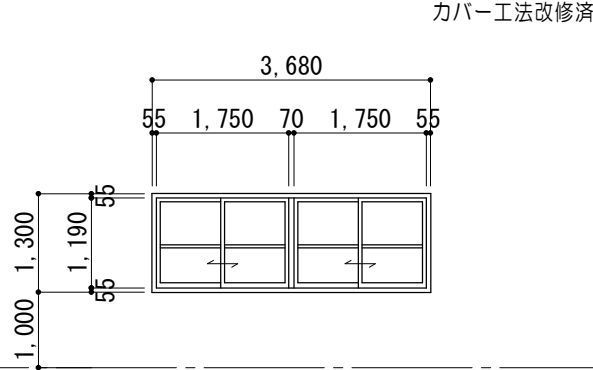
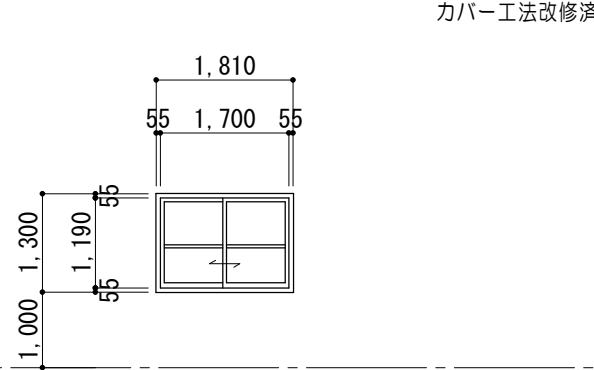
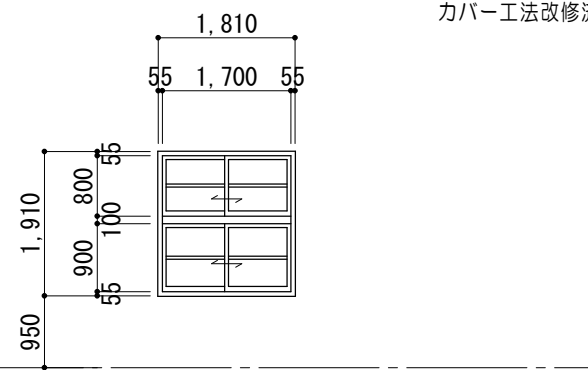
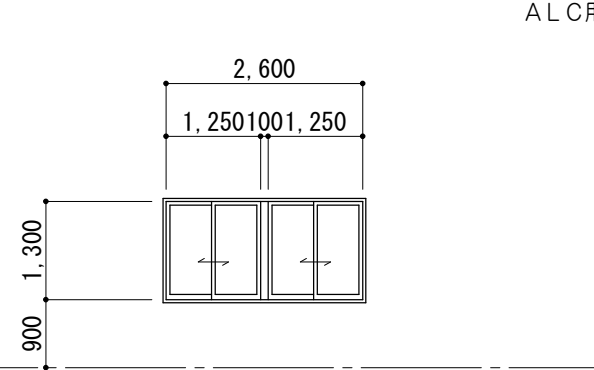
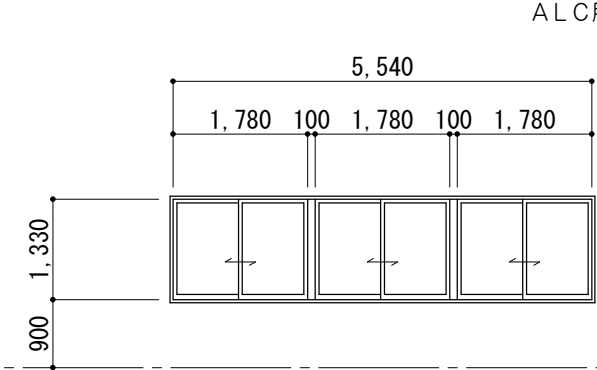
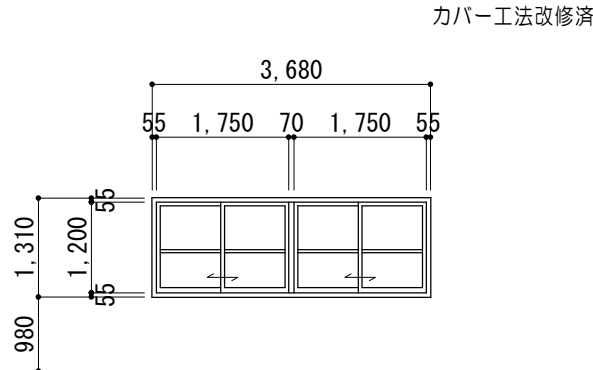
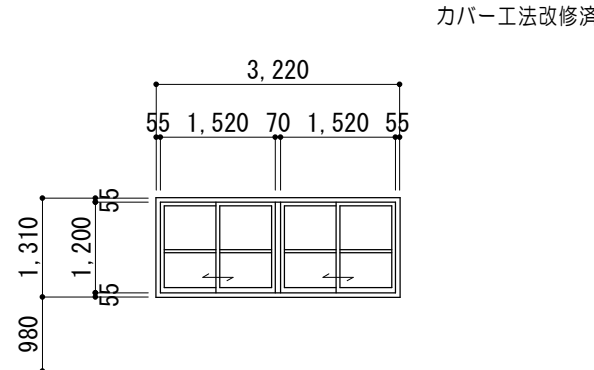
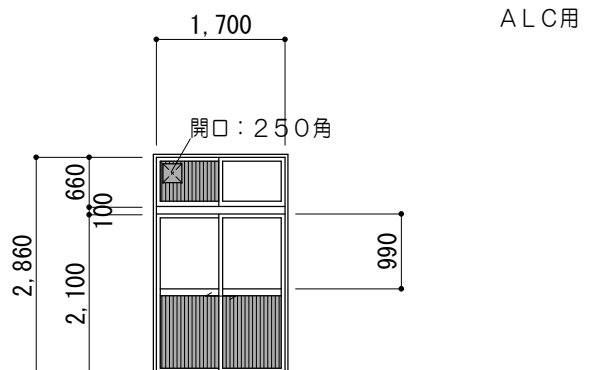
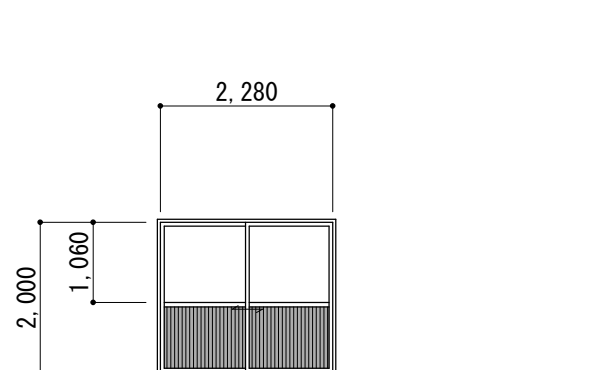
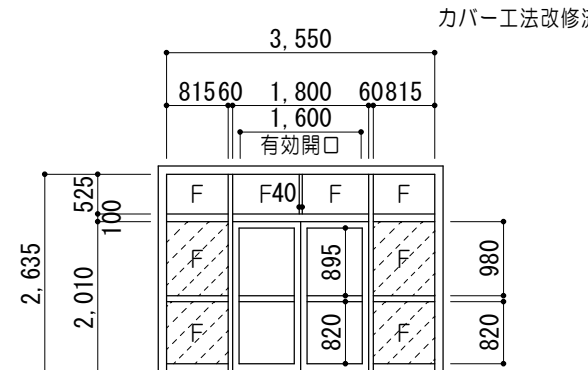
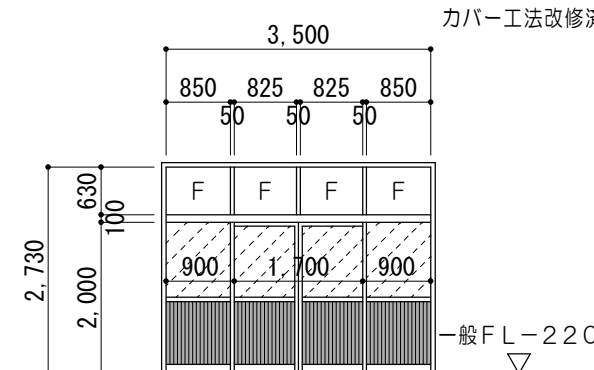
代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当
一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第320204号 前野 将輝		

法適合確認	作図	工事名称	設計日
	検図	津市立明合小学校長寿命化改修工事	
		図面名称	図面番号
		建具表＜新設＞、建具表＜遮煙性能改修＞、建具表＜危害防止装置改修＞	A2:1/100 A3:1/141 A091 原図:A2

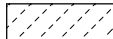
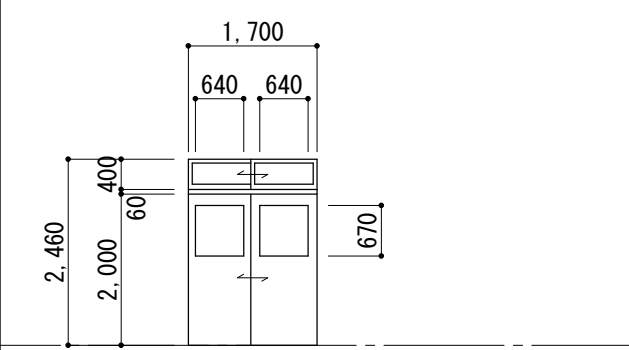
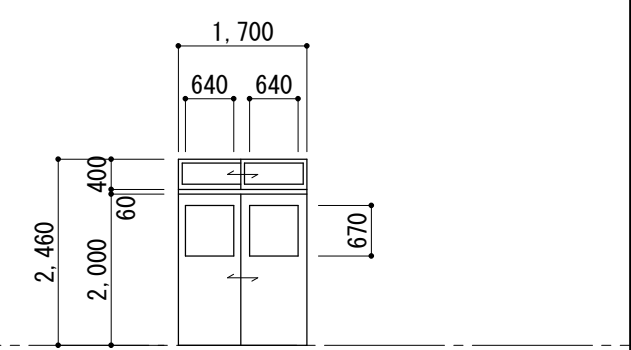
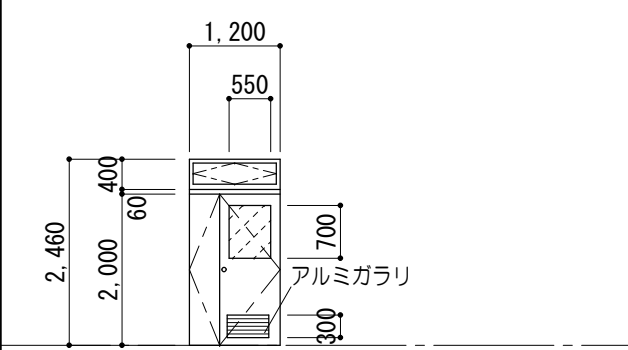
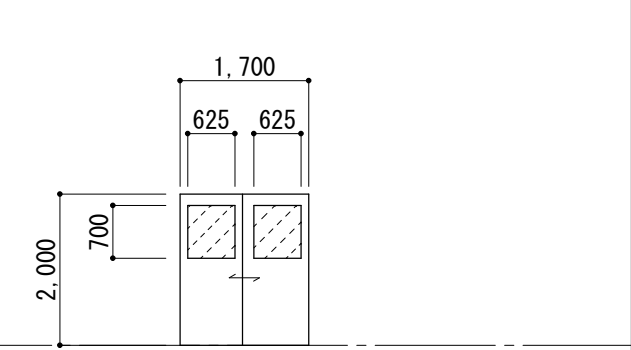
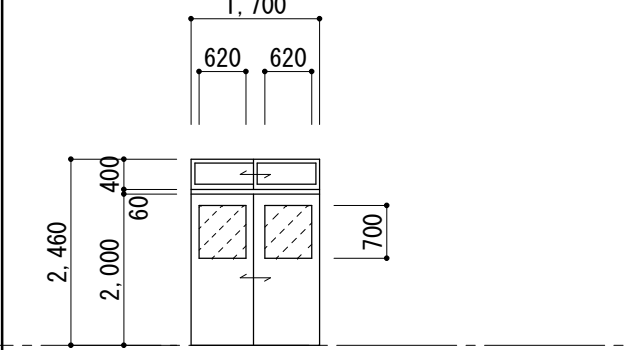
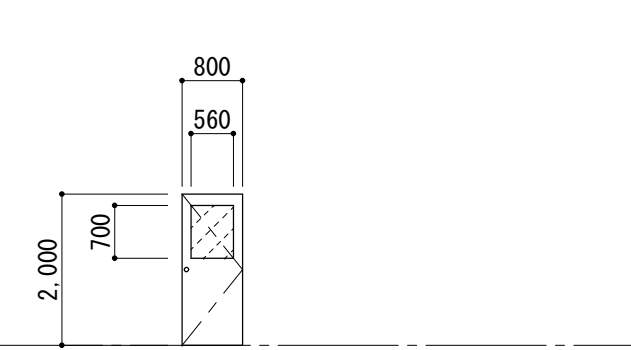
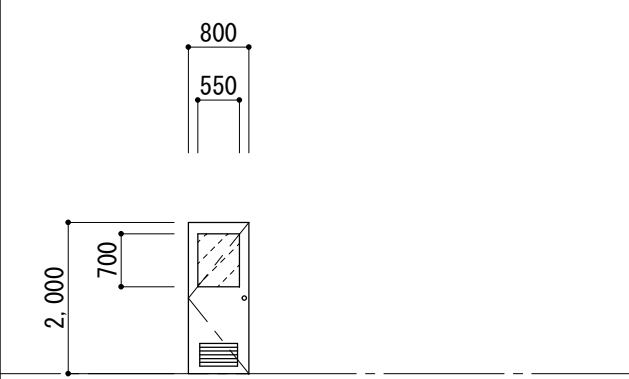
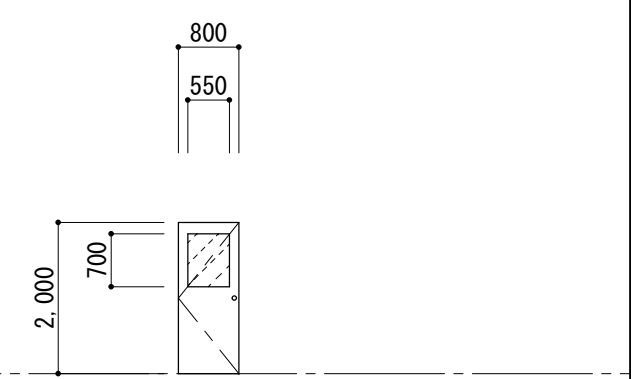
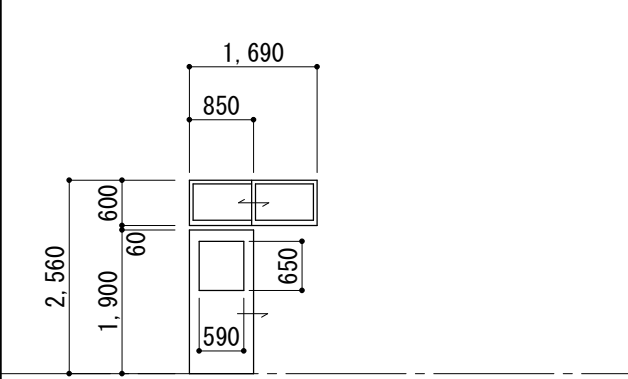
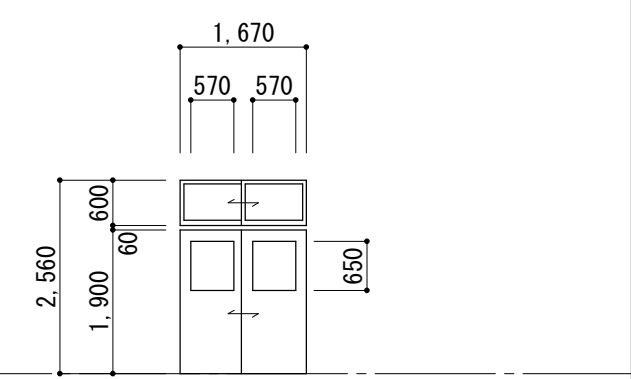
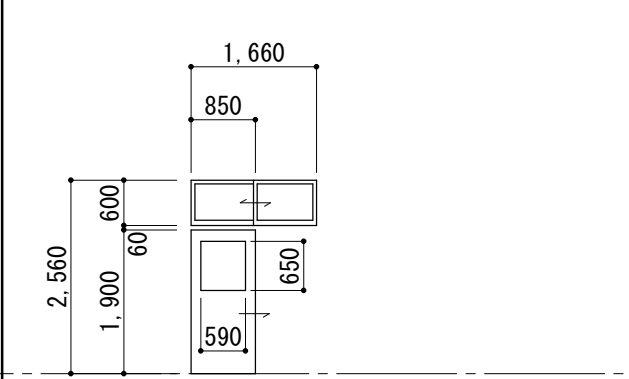
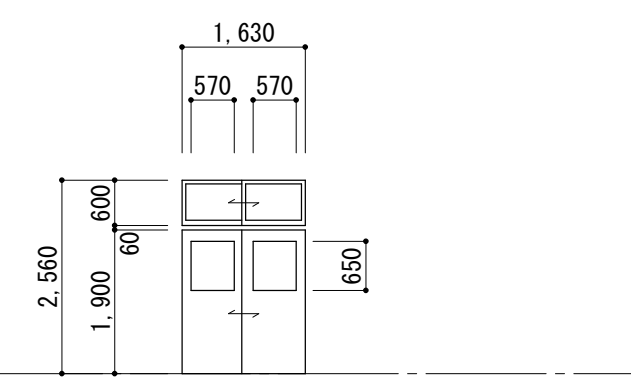
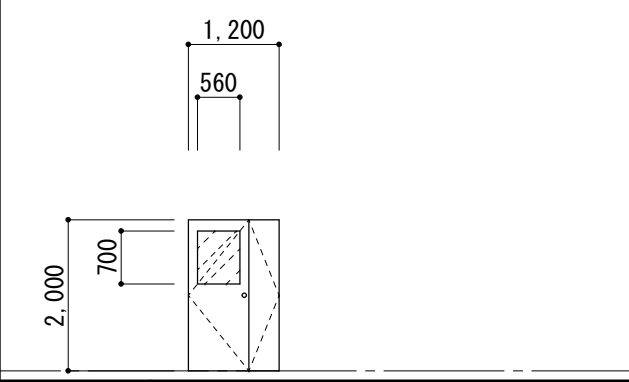
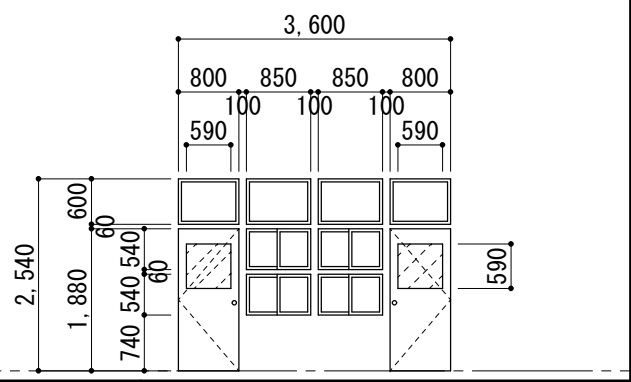
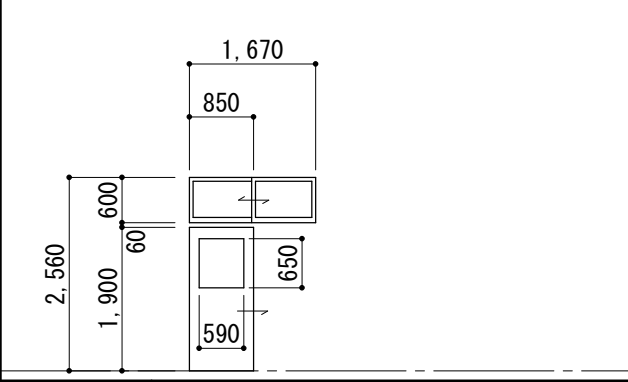
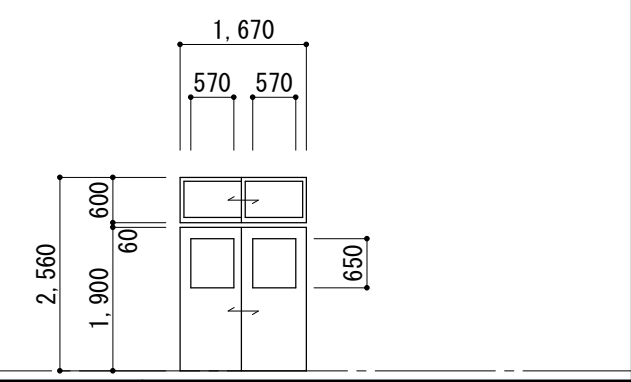
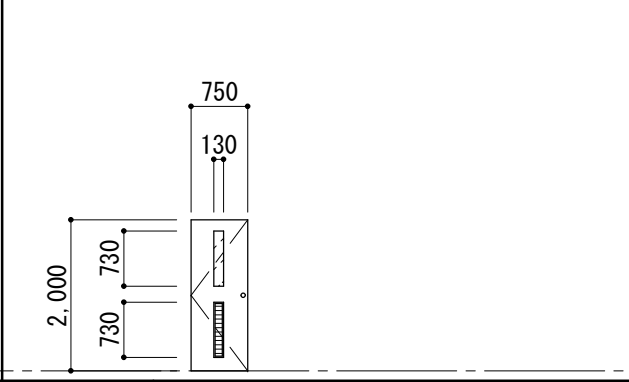
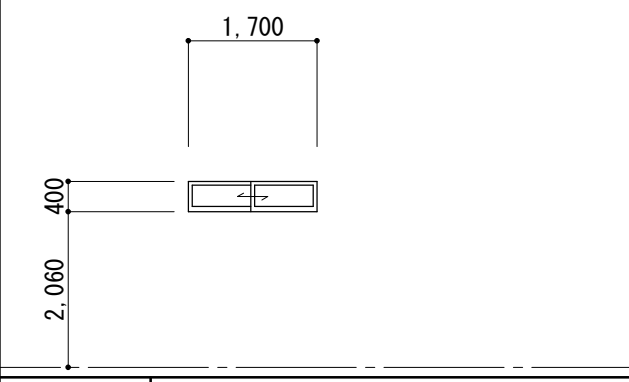
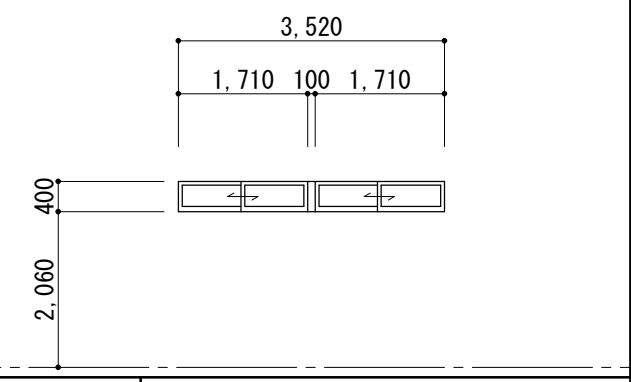
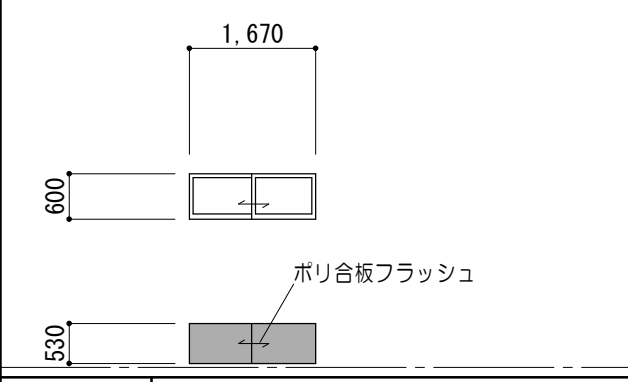
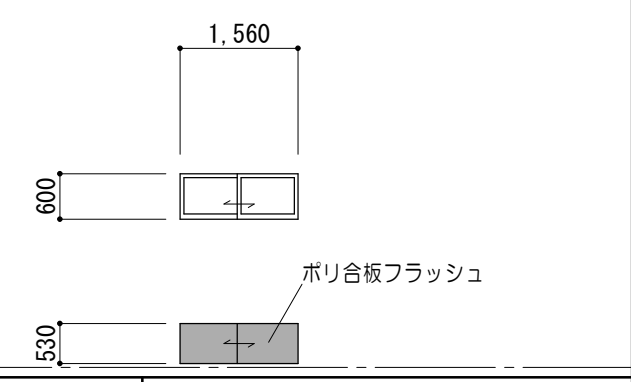
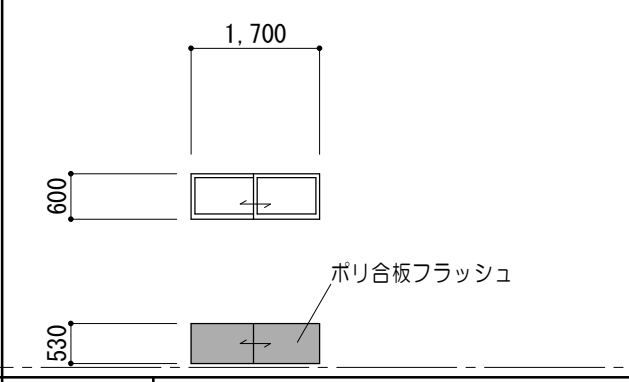
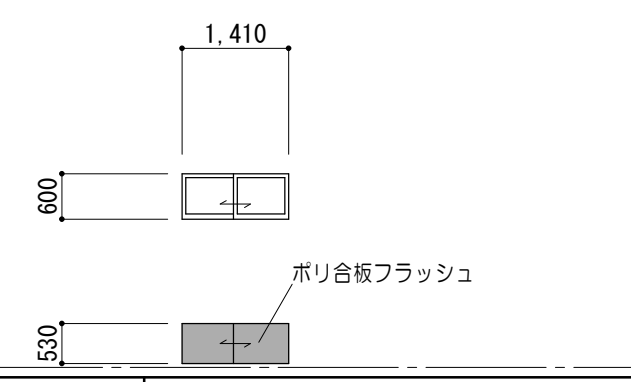
建 具 表 ＜ 既 設 ＞												1/100
符 号 名 称 数 量	1 KAD ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ	1	4 KAD 引分ケアルミハンガードア	1	5 KAD 2枚片引き引込アルミドア	1	6 KAD 引違いアルミサッシ	1	7 KAD ランマ・片袖FⅠX付片引きアルミドア	1	8 KAD 両開キアルミドア	1
姿 図												
見 込 硝 子		網入り型ア6、8、網入り透明ア6、8		網入り透明ア6、8		網入り透明ア6、8		網入り透明ア6、8	70	網入り透明ア6、8	70	線入り型、アルミパネル
室 名	1階：保健室		1階：昇降口		1階：通用口		2階：階段ホール		1階：廊下		1階：出入口	
符 号 名 称 数 量	11 KAD 引違いアルミサッシ	2	4 KAW ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ	1	1 KLSD 片引軽量スチールハンガードア（戸袋付）	1	1 KLSD 片開キ軽量スチールドア	1	4 KSD 片開キスチールドア	1	20 KWD 片開キ木製ドア	1
姿 図												
見 込 硝 子	70	線入型ガラス、アルミパネル		網入り型ア6、8		型板強化ガラスA4						
室 名	3階：廊下		1階：保健室		1階：多目的便所		1階：職員女子更衣室		1階：準備室		1階：階段下物置	

建 具 表 ＜ フ ィ ル ム 張 ＞ No. 1												1/100	※  型板ガラス部分を示す	※  アルミパネル及び既設のままを示す	工事内容：ガラス面に飛散防止フィルム張り（特記以外）						
符 号 名 称 数 量	1 KAW ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ	1	2 KAW ランマ引違い付3連引違いアルミサッシ	1	3 KAW ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ	1	5 KAW 片開キ2段アルミサッシ	2	6 KAW ルーバーアルミサッシ	3	7 KAW ルーバーアルミサッシ	4									
姿 図																					
	一般FL																				
見 込 硝 子		フロートA3		フロートA3、アルミパネル		フロートA3、アルミパネル		型A4		型A6		型A4									
室 名	1階：放送室		1階：職員室		1階：校長室		1階：校長室		1階：印刷室		1階：更衣室、職員用男子便所（男）、職員用女子便所（女）										
符 号 名 称 数 量	8 KAW 2連引違いアルミサッシ	1	9 KAW 2連引違いアルミサッシ	1	10 KAW 引違いアルミサッシ	1	11 KAW 片開キアルミサッシ	3	12 KAW ランマ引違い付4連引違いアルミサッシ	1											
姿 図																					
	一般FL																				
見 込 硝 子		型A4		フロートA3		フロートA3		フロートA3		フロートA3、型A4、アルミパネル											
室 名	1階：図工準備室		東階段踊り場		2階：階段ホール		2階：階段ホール		1階：図工室												

特 記 事 項					 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事		設計日	
						横図	図面名称 建具表＜既設＞、 建具表＜フィルム張＞No. 1								縮 尺 A2:1/100 A3:1/141		図面番号 A092 原図:A2	

建 具 表 ＜ フ ィ ル ム 張 ＞ No. 2										
1/100		※  型板ガラス部分を示す		※  アルミパネル及び既設のままを示す		工事内容：ガラス面に飛散防止フィルム張り（特記以外）				
符 号 名 称 数 量	 ランマ引違いイ付4連引違いアルミサッシ	1	 ランマ引違いイ付2連引違いアルミサッシ	3	 ランマ引違いイ付2連引違いアルミサッシ	1	 ランマ引違いイ付4連引違いアルミサッシ	1		
姿 図										
見 込 硝 子		フロートア3、型ア4、アルミパネル		フロートア3、型ア4		フロートア3、型ア4、アルミパネル		フロートア3、型ア4		
室 名	2階：普通教室（二年）		2階：たんぼほ教室 3階：特別活動室		2階：たんぼほ教室		2階：普通教室（四年）			
符 号 名 称 数 量	 2連引違いアルミサッシ	1	 引違いアルミサッシ	1	 ランマ引違いイ付引違いアルミサッシ	2	 2連引違いアルミサッシ	2	 3連引違いアルミサッシ	
姿 図										
見 込 硝 子		フロートア3		フロートア3		フロートア3、型ア4		フロートア5		
室 名	2階：廊下		2階：廊下		階段踊場		1階：物置 2階：廊下		1階：廊下 2階：廊下	
符 号 名 称 数 量	 2連引違いアルミサッシ	1	 2連引違いアルミサッシ	1						
姿 図										
見 込 硝 子		フロートア3		フロートア3						
室 名	2階：廊下		3階：廊下							
符 号 名 称 数 量	 ランマ引違いイ付2連引違いアルミサッシ	1	 引違いアルミサッシ	1	 ランマ・両袖FⅠX付両開キアルミドア	1	 ランマ・両袖FⅠX付引分ケアルミサッシ	1	 スチールパーテーション	
姿 図										
見 込 硝 子		フロートア3、アルミパネル		透明ガラス、アルミパネル	70	フロートア5、型	70	フロートア4、型、アルミパネル		
室 名	1階：職員室		1階：通用口		1階：玄関		1階：昇降口		1階：放送室	

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当		法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
									検図	図面名称 建具表<フィルム張>№.2	縮 尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 A093 原図:A2

建 具 表 ＜ フ ィ ル ム 張 ＞ No. 3															
1/100			※  型板ガラス部分を示す			※  アルミパネル及び既設のままを示す			工事内容：ガラス面に飛散防止フィルム張り（特記以外）						
符 号 名 称 数 量	 ランマ引違い付引違い木製ドア	1	 ランマ引違い付引違い木製ドア	1	 ランマ回転付親子開キ木製ドア	1	 2枚引違い木製ドア	1	 ランマ引違い付引違い木製ドア	1	 片開キ木製ドア	1			
姿 図															
見 込 硝 子	95	フロートA4	95	フロートA4	95	フロートA3、型A4	95	型A4	95	型A4、フロートA3	131.5	型A4			
仕 上	ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ				
金 物															
室 名	1階：職員室		1階：職員室		1階：校長室		1階：印刷室		1階：保健室		1階：校長室				
符 号 名 称 数 量	 片開キ木製ドア	1	 片開キ木製ドア	1	 ランマ引違い付片引キ木製ドア	2	 ランマ引違い付引違い木製ドア	2	 ランマ引違い付片引キ木製ドア	2	 ランマ引違い付引違い木製ドア	2			
姿 図															
見 込 硝 子	131.5	型A4	95	型A4	95	フロートA3	95	フロートA3	95	フロートA3	95	フロートA3			
仕 上	ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ				
金 物															
室 名	1階：湯沸室		1階：放送室		1階：普通教室（一年） 2階：普通教室（三年）		1階：普通教室（一年） 2階：普通教室（三年）		1階：図工室 2階：普通教室（二年）		1階：図工室 2階：普通教室（二年）				
符 号 名 称 数 量	 親子開キ木製ドア	1	 ランマF I X ・引違い付片開キ木製ドア	1	 ランマ引違い付片引キ木製ドア	3	 ランマ引違い付引違い木製ドア	2	 片開キ木製ドア	2					
姿 図															
見 込 硝 子	131.5	型A4		型A4、フロートA3	95	フロートA3	95	フロートA3	95	型A4					
仕 上	ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ						
金 物															
室 名	1階：図工準備室		1階：物置		2階：普通教室（四年）、たんぼほ教室 3階：特別活動室		2階：普通教室（四年） 3階：特別活動室		1階：職員用便所（男）、職員用便所（女）						
符 号 名 称 数 量	 引違い木製窓	2	 2連引違い木製窓	1	 引違い木製窓	6	 引違い木製窓	4	 引違い木製窓	2	 引違い木製窓	1			
姿 図															
見 込 硝 子	95	フロートA3	95	フロートA3	95	フロートA3	95	フロートA3	95	フロートA3	95	フロートA3			
仕 上	ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ				
金 物															
室 名	1階：職員室、保健室		1階：湯沸室		1階：普通教室（一年） 2階：たんぼほ教室、普通教室（三年） 3階：特別活動室		1階：図工室 2階：普通教室（二年）		2階：普通教室（四年）		3階：特別活動室				
特 記 事 項					 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認 	作図 	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事 図面名称 建具表＜フィルム張＞No.3 縮 尺 A2:1/100 A3:1/141	設計日 図面番号 A094 原図:A2